

令和5年9月19日提出（その1）

# 経営状況報告書

鳥 取 県

## 目 次

(1)	智頭急行株式会社	1
(2)	公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー	19
(3)	公益財団法人 鳥取県国際交流財団	43
(4)	一般財団法人 因幡街道ふるさと振興財団	68
(5)	公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター	90
(6)	公益財団法人 鳥取県文化振興財団	113
(7)	公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館	137
(8)	公益財団法人 鳥取県スポーツ協会	160
(9)	公益財団法人 鳥取県教育文化財団	199
(10)	公益財団法人 鳥取県臓器・アイバンク	222

## (1) 智頭急行株式会社経営状況報告書

### 法人の概要

- |   |         |   |                         |
|---|---------|---|-------------------------|
| 1 | 名 称     | 智頭急行株式会社                                  |                         |
| 2 | 目 的     | 鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに付帯又は関連する事業を営むことを目的とする。 |                         |
| 3 | 設立登記年月日 | 昭和61年5月31日                                |                         |
| 4 | 資 本 金   | 450,000,000円(9,000株)                      |                         |
| 5 | 株 主     | 鳥 取 県                                     | 152,500,000円(3,050株)    |
|   |         | 兵 庫 県                                     | 60,000,000円(1,200株)     |
|   |         | 鳥 取 市                                     | 50,550,000円(1,011株)     |
|   |         | 岡 山 県                                     | 36,450,000円( 729株)      |
|   |         | 各 市 町 村                                   | 89,300,000円(1,786株)     |
|   |         | 民 間 企 業                                   | 58,500,000円(1,170株)     |
|   |         | 各 団 体                                     | 2,700,000円( 54株)        |
| 6 | 役 員     | 取 締 役 15人                                 | 監 査 役 2人                |
|   |         | 取 締 役 会 長                                 | 平 井 伸 治(鳥取県知事)          |
|   |         | 取 締 役 副 会 長                               | 服 部 洋 平(兵庫県副知事)         |
|   |         | 取 締 役 副 会 長                               | 小 谷 敦(元岡山県副知事)          |
|   |         | 代 表 取 締 役 社 長                             | 西 尾 浩 一                 |
|   |         | 代 表 取 締 役 常 務                             | 稲 田 雅 也                 |
|   |         | 取 締 役                                     | 深 澤 義 彦(鳥取市長)           |
|   |         | 〃   | 吉 田 英 人(八頭町長)           |
|   |         | 〃   | 金 兒 英 夫(智頭町長)           |
|   |         | 〃   | 青 木 秀 樹(西粟倉村長)          |
|   |         | 〃   | 萩 原 誠 司(美作市長)           |
|   |         | 〃   | 庵 途 典 章(佐用町長)           |
|   |         | 〃   | 梅 田 修 作(上郡町長)           |
|   |         | 〃   | 石 丸 文 男(株式会社山陰合同銀行特別顧問) |

(1) 智頭急行株式会社

取締役 八木俊英 (株式会社鳥取銀行取締役常務  
執行役員)

〃 丸山明則 (神姫バス株式会社代表取締役  
専務取締役)

監査役 広田一恭 (倉吉市長)

〃 三宅智章 (姫路信用金庫専務理事)

7 従業員 72人 (うち県退職職員1名)

8 事務所 本社 鳥取県八頭郡智頭町智頭2052番地1

運輸部 鳥取県八頭郡智頭町智頭1862番地2

大原事業所 岡山県美作市古町1550番地2

## 令和4年度事業実施状況

## 1 営業の概要及び成果

輸送の安全確保を最優先に全社員が一丸となって取り組み、「社員の責に起因した鉄道運転事故」は無事故で終了した。

特急列車の輸送人員は、565,895人(前期比149.4%、第34期比66.7%)と新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナ」という。)の影響を受けた期間が限定的だった第34期(令和元年度)を282,856人下回ったものの、前期を187,027人上回った。これは、新型コロナの第7波、第8波の爆発的な感染拡大はあったものの、年度間を通して緊急事態措置又はまん延防止等重点措置の実施地域が無い状態が続いたこと、10月からは交通付旅行商品支援を含む「全国旅行支援」が開始されたこと、3月から外国からの新規入国制限が緩和されるなど国内外において徐々に規制が緩和されたこと等により、新型コロナの影響が出始めた令和2年3月以降、列車を利用した旅行、外出等は減少や回復基調を繰り返しながらも、令和4年度末に向けて回復傾向となってきたことが要因である。

列車別には、スーパーはくと号は411,276人(前期比155.6%、第34期比68.7%)、スーパーいなば号は154,619人(前期比134.9%、第34期比61.9%)となり、観光目的のお客様のウエイトが大きいスーパーはくと号のご利用の回復傾向がより大きくなった。

運行期間が4ヵ月不足だった第9期(平成6年度)を除くと、前年度を187,027人上回ったものの開業以来28年間で3番目に少ない輸送人員となった。

普通列車の輸送人員は、198,715人(前期比106.9%、第34期比72.5%)と2019年度を75,489人下回り、前年度を12,794人上回った。これは、佐用高校の通学利用が減少しているものの、「全国旅行支援」が継続されたこと、新型コロナに関する規制が徐々に緩和されたこと等により、列車を利用した旅行、外出等が少しずつ増えてきたことが要因である。

運行期間が4ヵ月不足だった第9期(平成6年度)を除くと、開業以来28年間で3番目に少ない輸送人員となった。

## 《輸送人員》

(単位：人、%)

区 分		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第37期累計
スーパーはくと	人 員	78,866	91,002	119,216	122,192	411,276
	乗車率	27.6	29.5	37.5	42.2	34.2
	前期比	213.3	191.0	112.4	166.2	155.6
	第34期比	53.1	55.1	75.0	96.6	68.7
スーパーいなば	人 員	32,367	34,929	44,154	43,169	154,619
	乗車率	25.8	27.8	33.9	35.6	30.7
	前期比	168.5	156.4	97.8	154.4	134.9
	第34期比	50.6	50.8	66.3	85.6	61.9
特急列車合計	人 員	111,233	125,931	163,370	165,361	565,895
	乗車率	27.0	29.0	36.4	40.3	33.2
	前期比	198.0	179.9	108.0	163.0	149.4
	第34期比	52.4	53.8	72.4	※ 93.5	66.7
普通列車	人 員	56,819	51,016	50,714	40,166	198,715
	前期比	120.9	107.1	113.4	86.3	106.9
	第34期比	75.8	68.8	68.7	78.4	72.5

※新型コロナの影響を受けていない第33期(平成30年度)第4四半期比では71.7%

## 2 収支状況

営業収益は、2,204百万円(前期比122.5%、第34期比79.8%)と新型コロナウイルス感染症の影響を受けた期間が限定的だった第34期より559百万円の大幅な減となった。

旅客運輸収入は、911百万円(前期比158.2%、第34期比70.8%)と新型コロナの影響等により輸送人員が大きく減少し、第34期より375百万円の大幅な減となった。

運輸雑収は、1,293百万円(前期比105.6%、第34期比87.6%)とスーパーはくと6号及び9号が平日等に往復運休となったこと等により受取車両使用料が減少し、第34期より183百万円の減となった。

営業費用は、2,343百万円(前期比105.5%、第34期比92.0%)と第34期と比較して、軽油単価の高騰に伴う動力費の増加等があったものの、新規投資を抑制したことに伴う固定資産税及び減価償却費の減少、高架橋の修繕の減少等により204百万円の減となった。

営業損益は、△138百万円と第34期より354百万円の減となり、経常損益は、△95百万円と外貨定期預金解約に伴う為替差益、定期預金等の受取利息等による営業外収益等により赤字幅が縮小したものの第34期より313百万円の減となり、大幅な減収減益となった。

前期の経常損益と比較すると増収となり188百万の赤字幅縮小となった。

第37期の経常損益の赤字額は、第35期(令和2年度)から3期連続で、運行期間が4カ月不足だった第9期(平成6年度)を除くと、開業以来28年間で4番目の赤字額となった。

なお、国及び自治体からの補助金等を計上する特別損益を加味した実質的な赤字である税引前当期純損益は△7百万円となった。

(単位：人、%)

区 分		第37期(2022年度)	(前期比) (第34期比)	第36期(2021年度) 差額	第34期(2019年度) 差額
収 入	営業収益	2,204,269,201	(122.5) (979.8)	404,398,839	△558,752,064
	旅客運輸 収入	910,822,414	(158.2) (970.8)	335,253,458	△375,474,282
	運輸雑収	1,293,446,787	(105.6) (987.6)	69,145,381	△183,277,782
費 用	営業費用	2,342,601,424	(105.5) (992.0)	121,301,759	△204,282,023
	人件費	506,249,353	(101.7) (103.5)	8,457,727	17,098,455
	修繕費	787,345,725	(110.7) (986.9)	76,052,329	△118,731,448
	動力費	349,387,258	(130.0) (123.5)	80,597,903	66,508,747
	経 費	360,894,370	(100.9) (996.1)	3,331,341	△14,594,964
	諸 税	56,263,007	(994.9) (977.7)	△2,996,568	△16,132,562
	減価償却費	282,461,711	(986.5) (967.1)	△44,140,973	△138,430,251
営業損益		△138,332,223	( - ) ( - )	283,097,080	△354,470,041
営業外収益		46,327,461	(932.5) (318.8)	△96,080,912	31,793,452
営業外費用		2,757,598	(972.2) (922.9)	△1,059,702	△9,268,530
経常損益		△94,762,360	( - ) ( - )	188,075,870	△313,408,059

特別利益	130,899,098	(951.5) (706.7)	△123,315,969	112,376,284
特別損失	43,491,038	(965.5) (183.3)	△22,903,678	19,767,084
税引前当期純損益	△7,354,300	( ) ( )	87,663,579	△220,798,859
法人税等	1,136,000	(100.0) (991.7)	0	△64,398,400
当期純損益	△8,490,300	( ) ( )	87,663,579	△156,400,459

### 3 運転計画等

令和4年3月のダイヤ改正を3月12日に実施し、スーパーはくと6号及び9号は、臨時列車とし、お客様のご利用が見込める場合に週末等を中心に運転することとした。

上期は、ご利用が低迷したことからGW期間を除き、運転休止したが、下期はご利用が見込まれたため週末、連休、年末年始等に運転した。

### 4 輸送の安全確保のための取組

安全対策については、経営トップと現場が一体となって安全を最優先の意識の浸透を図るため、社員一人ひとりが、「安全感度の向上」を図り、リスクの予見に繋がれた。また、関係機関との協力体制の確立に向けて、新型コロナ感染防止対策を講じた上で、沿線の消防署、警察署等と協議や合同訓練等による連携の強化に努めた。

新型コロナの影響による大幅な収入減のなかにおいても、安全な列車の運行を確保するために必要な「激甚化する自然災害への備え」、「設備の老朽化対策」、施設設備及び車両の検査・修繕及び更新等を実施して、安全の確保と品質の維持向上に努め、お客様・社員の感染防止と安全・安心な鉄道の提供の両立に取り組んだ。

〔主な修繕の状況〕

(単位：千円)

	主な工事	金額	補助事業
線路	志戸坂トンネル修繕(第2工区)	55,000	補
	小計	55,000	
車両	PLC関連部品(注1)	29,438	
	HOT7000冷房装置整備工事	14,999	
	HOT3500系全般検査、重要部検査工事	18,400	
	HOT7000系多目的室非常通報、MC2暖房改修工事	16,200	
	HOT7000系エンジン(2023年度分14台)	74,088	
	小計	153,125	
	合計	208,125	

〔主な設備投資の状況〕

(単位：千円)

	主な工事	金額	補助事業
線路	佐用・平福間落石防護工新設	43,000	補
	小計	43,000	
電気	河野原円心・久崎間外ATS-P装置更新(注2)	44,100	補
	小計	44,100	

(1) 智頭急行株式会社

車両	HOT3500系 LED 前照灯更新	12,586	
	HOT7041 構体調査工事	13,390	
	小計	25,976	
	合計	113,076	

※主な修繕及び主な設備投資については、10,000千円以上の工事を記載している。

注1：エンジン、変速機(オートマチックトランスミッション)の制御を行う装置の部品

注2：ATS-P(自動列車停止装置P形)は、列車の速度を連続的にチェックし、停止(赤)信号や制限速度を超えて異常な運転をされることの無いよう自動でブレーキをかけて停止、減速させる装置

5 新型コロナウイルス感染症への対応状況等について

「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」、国並びに兵庫県知事、岡山県知事及び鳥取県知事から発出されたメッセージ等に沿って、感染防止対策を徹底した。

第7波、第8波においても、With コロナに向けた新たな段階へ移行する中でも、基本的な感染対策等を徹底すること等によって、クラスターを発生させること無く、年度間を通じて安全、安定輸送を提供することができた。

6 主な企画きっぷの発売状況等

JR西日本と連携の企画きっぷの「東京往復割引きっぷ」の発売状況は、新型コロナウイルス感染症の影響で旅行、企業の出張の自粛等が行われ、特に山陰からの送り出しが大幅に落ち込んだこと等により、特急列車の輸送人員の第34期(令和元年度)比よりも大幅に減少し、第37期の累計では60.7%減となった。

智頭急行独自の企画きっぷについては、特急列車関係の普通乗車券又は普通回数券と同時にご利用可能な「自由席回数特急券」が第34期(令和元年度)比55.2%増、普通列車関係の免許返納の方が購入できる「優ユウきっぷ」が第34期(令和元年度)比37.2%増、70歳以上の方が購入できる「楽ラクきっぷ」が第34期(令和元年度)比2.4%増となった。これは、特定のお客様の購入回数が増加したこと等により、第34期(令和元年度)を上回りましたが、その他の企画きっぷは第34期(令和元年度)を下回った。

(1) JR西日本と連携

従来の特別企画きっぷ(カッコ内は第34期(令和元年度)比)

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第37期累計	第34期(2019年度)増減
東京往復割引きっぷ	293枚 (35.7%)	302枚 (30.2%)	384枚 (41.5%)	363枚 (54.1%)	1,342枚 (39.3%)	△2,076枚

(2) 智頭急行独自

ア. 特急列車関係(カッコ内は第34期(令和元年度)比)

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第37期累計	第34期(2019年度)増減
定期券用自由席回数特急券 自由席特急券430円を 1枚200円 5枚綴り1,000円	221冊 (76.5%)	223冊 (91.8%)	261冊 (89.1%)	175冊 (82.5%)	880冊 (84.9%)	△157冊



自由席回数特急券 自由席特急券 430 円を 1枚 300円 5枚綴り 1,500円	56冊 (164.7%)	47冊 (188.0%)	67冊 (163.4%)	52冊 (120.9%)	222冊 (155.2%)	+79冊
--	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	------

イ. 普通列車関係（カッコ内は第34期(令和元年度)比）

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第37期累計	第34期(2019年度)増減
智頭線1日 フリーきっぷ 大人 1,200円 小児 600円	946枚 (77.1%)	2,823枚 (75.3%)	1,313枚 (91.8%)	2,025枚 (124.3%)	7,107枚 (88.5%)	△924枚
普通列車 ペアきっぷ 2名で2,000円	140枚 (64.5%)	263枚 (78.7%)	177枚 (71.7%)	172枚 (72.6%)	752枚 (72.7%)	△283枚
特殊回数乗車券 3,000円 (100円券/33枚綴り)	33冊 (157.1%)	22冊 (88.0%)	22冊 (84.6%)	19冊 (90.5%)	96冊 (99.0%)	△1冊
楽ラクきっぷ (70歳以上の方) 2,500円 (100円券/33枚綴り)	34冊 (91.9%)	38冊 (118.8%)	33冊 (100.0%)	25冊 (100.0%)	130冊 (102.4%)	+3冊
優ユウきっぷ (運転免許返納者) 1,500円 (100円券/33枚綴り)	32冊 (213.3%)	23冊 (115.0%)	32冊 (118.5%)	20冊 (125.0%)	107冊 (137.2%)	+29冊

7 令和4年度の鉄道運転事故等について

令和4年度は、自社線内での鉄道運転事故、インシデントの発生はなく、比較的安定した輸送を提供できた。

ア. 主な遅延概況

JR内人身事故、踏切支障等の影響により、1ヵ月あたりの平均遅延本数28本、平均遅延時分182分だった。

イ. 主な輸送障害（運休又は30分以上の遅延）

JR線内の遅れによるものが14件、智頭線内の遅れによるものが8件発生した。

※台風接近等に伴う計画運休については、輸送障害に含まれない。

8 利用促進に向けた取組について

智頭線沿線の観光誘客を通じて地域活性化及び鉄道利用促進を図るため、7月1日から8月31日の間、智頭線スタンプラリーを実施した。非接触でデジタルサインを収集する「デジタルスタンプラリー」とし、智頭線の全駅及び駅から徒歩で立ち寄っていただける施設にデジタルサインを設置して、智頭線沿線の各スポットを巡りながら、素敵な思い出づくりを楽しんでいただいた。沿線5市町村から特産品をご提供いただき、抽選で30名の方に詰め合わせを送った。

令和4年7月10日から第三セクター鉄道等協議会に加盟する全国40社の鉄道会社

## (1) 智頭急行株式会社

が一斉に開始した「鉄印帳」の販売及び「鉄印」の記帳（記帳代＋各社の乗車券）の第37期については、「鉄印帳」74冊（累計527冊）及び「鉄印帳フリー版」88冊（累計255冊）の合計162冊の販売と前期を162冊下回り、「鉄印」2,458枚（累計8,315枚）、智頭急行オリジナルの「鉄印 宮本武蔵駅」（期間限定）993枚及び「鉄印 河野原円心駅」（期間限定）719枚の合計4,170枚の記帳と前期を690枚下回った。10月から開始された全国旅行支援が継続され、新型コロナに関する規制が緩和された年度末に向けては、利用状況が回復傾向となってきた。

## 損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
	円	円	円	
I 鉄道事業営業利益				
1 営業収益	2,204,269,201	1,799,870,362	404,398,839	
(1) 旅客運輸収入	910,822,414	575,568,956	335,253,458	
(2) 運輸雑収	1,293,446,787	1,224,301,406	69,145,381	
2 営業費	2,342,601,424	2,221,299,665	121,301,759	
(1) 運送費	1,884,446,511	1,676,972,241	207,474,270	
(2) 案内宣伝費	3,513,709	45,711,890	△ 42,198,181	
(3) 厚生福利施設費	1,720,820	1,677,760	43,060	
(4) 一般管理費	114,195,666	111,075,515	3,120,151	
(5) 諸税	56,263,007	59,259,575	△ 2,996,568	
(6) 減価償却費	282,461,711	326,602,684	△ 44,140,973	
鉄道事業営業利益	△ 138,332,223	△ 421,429,303	283,097,080	
II 営業外収益	46,327,461	142,408,373	△ 96,080,912	
1 受取利息	2,345,703	6,069,850	△ 3,724,147	
2 受取配当金	10,000	10,000	0	
3 雑収入	43,971,758	136,328,523	△ 92,356,765	
III 営業外費用	2,757,598	3,817,300	△ 1,059,702	
1 支払利息	0	0	0	
2 繰延資産償却	2,737,665	2,319,597	418,068	
3 雑支出	19,933	1,497,703	△ 1,477,770	
経常損益	△ 94,762,360	△ 282,838,230	188,075,870	
IV 特別利益	130,899,098	254,215,067	△ 123,315,969	
V 特別損失	43,491,038	66,394,716	△ 22,903,678	
税引前当期純利益	△ 7,354,300	△ 95,017,879	87,663,579	
法人税等	1,136,000	1,136,000	0	
当期純利益	△ 8,490,300	△ 96,153,879	87,663,579	

## 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	2,509,326,681	2,572,099,490	△ 62,772,809
未収運賃	366,433,811	287,650,564	78,783,247
未収入金	48,790,508	61,929,694	△ 13,139,186
未収収益	1,621,405	11,666,732	△ 10,045,327
有価証券	492,121,506	300,000,000	192,121,506
貯蔵品	381,039,298	335,418,856	45,620,442
前払費用	23,299,455	15,292,088	8,007,367
未収入還付法人税等			0
未収入還付消費税等		6,691,700	△ 6,691,700
その他の流動資産	60,000	290,000	△ 230,000
流動資産合計	3,822,692,664	3,591,039,124	231,653,540
2 固定資産			
(1) 鉄道事業固定資産	1,837,511,189	1,962,004,115	△ 124,492,926
有形固定資産	1,823,150,081	1,952,977,024	△ 129,826,943
無形固定資産	14,361,108	9,027,091	5,334,017
(2) 投資等	2,581,560	2,581,560	0
差入保証金	1,910,000	1,910,000	0
その他	671,560	671,560	0
固定資産合計	1,840,092,749	1,964,585,675	△ 124,492,926
3 繰延資産			
開発費	27,708,210	15,977,875	11,730,335
繰延資産合計	27,708,210	15,977,875	11,730,335
資産合計	5,690,493,623	5,571,602,674	118,890,949
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	277,091,247	177,504,947	99,586,300
未払費用	6,913,881	6,580,990	332,891
未払法人税等	4,930,400	4,131,900	798,500
預り金	2,160,826	1,893,739	267,087
前受運賃	1,214,131	1,814,560	△ 600,429
前受収益	18,240,770	18,263,670	△ 22,900
仮受金		80,000	△ 80,000
未払消費税等	27,099,800		27,099,800
流動負債合計	337,651,055	210,269,806	127,381,249
2 固定負債			
長期末払金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	337,651,055	210,269,806	127,381,249
III 純資産の部			
1 資本金	450,000,000	450,000,000	0
2 利益剰余金	4,902,842,568	4,911,332,868	△ 8,490,300
利益準備金	2,700,000	2,700,000	0
その他の利益剰余金	4,900,142,568	4,908,632,868	△ 8,490,300
別途積立金	2,360,000,000	2,460,000,000	△ 100,000,000
固定資産圧縮積立金	2,540,000,000	2,540,000,000	0
繰越利益剰余金	142,568	△ 91,367,132	91,509,700
純資産合計	5,352,842,568	5,361,332,868	△ 8,490,300
負債及び純資産合計	5,690,493,623	5,571,602,674	118,890,949

## 株主資本等変動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

	株主資本							株主資本合計	評価・ 換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金							
		資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金						
					別途積立金	固定資産圧縮 積立金	繰越 利益剰余金				
前期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,460,000,000	2,540,000,000	△ 91,367,132	5,361,332,868	0	0	5,361,332,868
当期変動額											
剰余金の配当											
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立											
積立金の積立					△ 100,000,000		100,000,000				
役員賞与の支給											
過年度税効果調整額											
当期純損益							△ 8,490,300	△ 8,490,300			△ 8,490,300
当期変動額合計	0	0	0	0	△ 100,000,000	0	91,509,700	△ 8,490,300	0	0	△ 8,490,300
当期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,360,000,000	2,540,000,000	142,568	5,352,842,568	0	0	5,352,842,568

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ① 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法

##### ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

#### (2) 固定資産、繰延資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く。）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

##### ② 無形固定資産

定額法を採用しています。

##### ③ 繰延資産

法人税法の規定による定額法を採用しています。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しています。

### 2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額	12,783,085,682円
----------------	-----------------

### 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数	9,000株
--------------------------	--------

### 4. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額	594,760円
----------------	----------

(2) 1株当たりの当期純損益	△943円
-----------------	-------

## 令和5年度事業計画

## (1) 安全輸送

地域の重要なインフラとして安心、信頼して御利用いただくために、輸送の安全確保を最優先に安全目標である事故ゼロを目指す。また、近年の集中豪雨、台風、大雪など激甚化する自然災害に備え設備等を充実させると共に、災害や事故等発生時の対応力向上と関係機関との連携強化を図る。

## ① 安全確保

安全最優先の企業風土の構築に努める。

- ・「気がかり事象」「ヒヤリ・ハット」等の取組を通じてリスクを洗い出し、対策を講ずることにより、死傷事故、運転事故、労働災害ゼロを継続する。
- ・過去の事故などの対策に加えて、安全に対する感度を高め、部門、会社の垣根を越えた関係者間のコミュニケーションの充実により安全に関する情報を的確に伝達するなど、組織全体で安全を確保する。
- ・新型コロナウイルス等感染拡大防止に向けた取組を継続的に実施することにより、安全で安心な輸送の提供を継続する。

## ② 危機管理

自然災害や重大事故・事件発生時の対応力向上に努める。

- ・各種勉強会及び異常時対応訓練等を通じ、社員相互間で連携した異常時対応能力の向上を図る。
- ・JR、消防、警察、自治体など、関係機関との合同訓練等による連携の強化を図る。

## ③ 安全投資

鉄道設備の適正な維持管理に努める。

- ・経年箇所 の把握に努め計画的な修繕・更新を行い、安全性の向上に繋げる。
- ・激甚化する自然災害に対応するため、計画的に防災力の強化を図る。

## (2) CS の向上（お客様満足 の向上）

お客様のご期待にお応えすることにより、お客様に喜んでいただける質の高いサービスの提供に努める。

## ① 品質の向上

お客様の期待に応えるサービスの提供に努める。

- ・「配慮の必要なお客様への対応マニュアル」等を活用した研修を更にブラッシュアップすることで、お客様の立場に立った親身なサービスの提供を行う。

## ② 商品の充実

お客様のニーズに合った商品設定等に努める。

- ・旅行会社等と連携し、「あまつぼし」を活用したサイクルトレインの運行などお客様のニーズに合った旅行商品の開発及び設定を行う。

## ③ お客様の声

お客様のご意見等を基にサービスの向上に努める。

- ・お客様からいただくご意見やご要望に速やかに対応し、今後の取組に積極的に活用していく。

## (1) 智頭急行株式会社

### (3) 地域社会

地域住民と連携し、地域との共生と共創に取り組み、地域全体の活性化と地域社会、経済の持続的な発展に貢献していく。

#### ① 地域連携

沿線地域との連携強化と域外からの誘客に努める。

- ・沿線自治体、観光協会等と連携し、因幡街道三宿(平福、大原、智頭)、10周年を迎える恋山形駅等の沿線の観光資源等を活かして、域外からの誘客を図る。

#### ② 魅力発信

地域の魅力発信に努める。

- ・名誉駅長、親善大使、沿線5市町村等と連携して、沿線地域の情報発信を相互に努める。

#### ③ 地域共生

地域との共生に努める。

- ・沿線5市町村、3県等と課題を共有して、持続可能な鉄道の実現に努める。

### (4) 財務運営

ウィズコロナ・アフターコロナに向けて、収入の安定確保に努めるとともに、業務の進め方の見直しなどにより、作業の効率化や経費削減の取組を推進する。また、補助金等を積極的に活用することにより、計画的に事業を進めていく。

#### ① 経営基盤の強化

安定的な会社経営に努める。

- ・JR、旅行会社等との連携を深め、市場変化に柔軟に対応した商品等の充実を図る。
- ・作業方法の見直しなど生産性の向上により、経営体質の向上に努める。
- ・運用益の安定を目的として、運用方法の検討など、資金の効率的な運用を目指す。

#### ② 効率経営の追求

業務の効率化とコスト削減に努める。

- ・社員一人ひとりがコスト意識を持ち、業務の効率化に努める。
- ・国、自治体の補助金、新型コロナ関係の助成金等を積極的に活用し、実質的な経費及び固定資産税の軽減に努める。
- ・車両の検査、修繕を適切、計画的に実施しながら、在庫部品の削減に努める。

#### ③ 車両更新の検討

特急車両更新について検討を行う。

- ・JR西日本、車両メーカーなどから情報を収集し、更新へ向けてのスケジュールを調整する。

### (5) CSR（企業の社会的責任）

社員一人ひとりがコンプライアンスの理解を深め、誠実かつ公正な企業活動に取り組むことにより、地域社会からの期待と信頼に応える。

#### ① コンプライアンスの強化

法令・規程類の理解に努める。

- ・コンプライアンス行動指針の理解を深め、確実に遵守する。
- ・コンプライアンスに関する研修を実施し、理解を深める。
- ・定期券購入時等のお客様の個人情報について適正な取扱いの確保に努める。



② 公正で健全な企業活動

社会から信頼される企業を目指す。

- ・ 誠実な対応により、お客様や取引先などからの信頼を築く。
- ・ 公正、透明及び自由な競争並びに適正な取引を継続していくことにより、社会から信頼される企業を目指す。
- ・ 反社会的勢力等との関係は一切持たない。
- ・ ホームページなどにおいて、適宜・適切に情報開示に努める。

③ 地域社会への貢献

地域貢献活動の推進に努める。

- ・ 安全、安定輸送の提供を継続し、指定地方公共機関として輸送力の維持に努める。
- ・ 「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」等を遵守し、輸送力を維持する。

(6) 人材育成

事業を継続していくために計画的な人材の確保を行い、知識、技術・技能の向上と継承を図るため、部内外の教育を通じて、将来を見据えた人材育成に努める。

① 人材の育成

知識、技術・技能の向上を目指した人材育成に努める。

- ・ 日々の業務を通じ、経験上培った知識、技術・技能を継承する。
- ・ 専門分野の知識の向上を目的として、講習会、研修会等に参加を促す。

② 人材の確保

優秀な人材確保及び将来を見据えた社員運用に努める。

- ・ 事業計画に基づいた継続的な社員採用を行う。
- ・ 熟練社員の知識、技術・技能を活かすための定年年齢の引き上げ及び再雇用を推進する。

③ 意識の改革

社員の成長につながる企業風土づくりに努める。

- ・ 職場改善提案等を通じて業務の改善を図り、変化に対応し成長していくための力を育てる。

(7) ES 向上（従業員満足の向上）

職場でのコミュニケーションや福利厚生の実施を図り、社員の要望を取り入れるなど、一人ひとりが明るく働きやすい職場環境づくりを目指す。

① 働きがいのある職場

社員のモチベーション向上に努める。

- ・ 職場改善提案を積極的に取り入れ、表彰制度等の充実を図り、社員のモチベーションアップに繋げる。
- ・ 人事考課制度の適切な運用に努める。

② 職場環境の改善

働きやすい職場環境づくりに努める。

- ・ 職場におけるハラスメントの防止措置を講じるなど、相互信頼関係を醸成し、誰もが安心して働ける職場環境づくりに取り組む。

(1) 智頭急行株式会社

- ・リモートワークやウェブ会議室システムを活用し、多様な働き方を推進するとともに、仕事と育児・介護の両立を目指す。

③ 福利厚生の実施

社員のニーズを捉えた取組を推進する。

- ・健康経営の実現を目指し、食生活の改善、健康増進に向けた取組を実施するとともに、定期的な健康診断の実施及び有所見者の2次健診の勧奨を行う。
- ・外部相談員に相談しやすい環境を整え、メンタルヘルスキアの充実を図る。

1. 令和5年度 収支見込

(単位：千円)

区 分	令和元年度決算	令和4年度決算	令和5年度 見込額	差 額 (令和5年度-令和4年度)
営業収益	2,763,021	2,165,647	2,178,870	13,223
旅客運輸収入	1,286,297	875,271	895,429	20,158
運輸雑収	1,476,724	1,290,376	1,283,441	△6,935
営業費用	2,546,883	2,469,586	2,501,575	31,989
人件費	489,151	506,132	516,608	10,476
修繕費	906,077	916,521	901,329	△15,192
動力費	282,879	348,304	366,476	18,172
経費	375,489	359,815	380,200	20,385
諸税	72,395	54,680	52,083	△2,597
減価償却費	420,892	284,134	284,879	745
営業損益	216,138	△303,939	△322,705	△18,766
営業外収益	14,534	46,982	2,888	△44,094
営業外費用	12,026	2,847	4,718	1,871
経常損益	218,646	△259,804	△324,535	△64,731
特別利益	18,523	128,424	—	△128,424
特別損失	23,724	4,954	—	△4,954
税引前当期純損益	213,445	△136,334	△324,535	△188,201

営業収益は、新型コロナウイルス感染症の分類が5月には5類に引き下げられたことなどにより、その影響がある程度落ち着いてくるものと見込まれることから、令和5年度の特急列車の輸送人員がGW、盆、年末年始期間等旅客流動が見込まれる期間については、令和元年度の約75%、それ以外の期間については約60%、年度を通じて約70%の59.8万人(前年度の5.6万人増)で、旅客運輸収入は前年度(令和4年度決算見込み)を20百万円上回り、令和元年度の約70%と見込み、車両の減価償却費の減等により、運輸雑収(受取車両使用料等)が前年度を7百万円下回り、令和元年度の約87%と見込み、合計の営業収益は前年度から13百万円増額し、令和元年度から584百万円減額する見込である。

営業費用は、軽油単価の上昇などで動力費が前年度から 18 百万円増額、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた広告宣伝費の 7 百万円増額などにより、合計の営業費用は前年度から 32 百万円増額する。

営業損益は△323 百万円と前年度から 19 百万円の赤字幅拡大、経常損益は△325 百万円と 65 百万円の赤字幅拡大となる。

経常損益は、令和 2 年度から 4 年連続の赤字が見込まれる。

(参考)

	記 事
収入の要因	特急列車当初見込輸送人員 59.8 万人(令和元年度輸送人員の約 70%) 車両の減価償却費の減 ※スーパーはくとは、定期列車 6 往復、臨時列車 1 往復 (臨時列車は、年間を通して週末中心(金曜・土曜・日曜・祝日)に運転)
支出の要因	動力費 軽油単価上昇により 18 百万円増 広告宣伝費 ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた広報活動 7 百万円増(予備費扱い)
投資	投 資 第 112 回取締役会(令和 4 年 2 月 21 日)で承認いただいた中期経営計画の一部変更により、安全な列車の運行を確保するために必要な工事等を除き令和 6 年度以降に先送りしたものの、半導体不足のため令和 4 年度から令和 5 年度へ先送りした普通車両の前照灯更新、尾見高架橋の緊急修繕などにより、8 百万円増

## (1) 智頭急行株式会社

## 2. 令和5年度 投資・修繕計画

(単位：百万円)

区分		令和4年度 実績見込	令和5年度計画				
			小計	増減額	主な内容	金額	補助金
線 路	投資	47	0	△47		0	
	修繕	104	155	51	高架橋修繕	37	一部補
					トンネル修繕	29	補
					ホーム修繕	19	補
					レール更換	18	一部補
					その他	52	
小計	151	155	4				
電 気	投資	49	102	53	ATS-P装置(自動列車停止装置)更新	55	補
					防災監視システム改良	23	補
					踏切保安設備更新	16	補
					信号機改良	6	補
					その他	2	
	修繕	28	19	△9	電気設備検修	9	
					その他	10	
小計	77	121	44				
車 両	投資	90	112	22	エンジン取替(特急)	74	
					前頭映像記録装置(普通)	21	
					前照灯LED更新(普通)	12	
					その他	5	
	修繕	774	712	△62	定期検査(特急)	225	
					臨時検査(特急)	28	
					冷房装置点検・修繕(特急)	27	
					振子制御シリンダー更新(特急)	5	
					定期検査(普通)	20	
					その他	407	
小計	864	824	△40				
そ の 他	投資	33	13	△20			
	修繕	11	15	4			
	小計	44	29	△15			
計	投資	219	227	8			
	修繕	917	901	△16			
	小計	1,136	1,128	△8			

\* 令和4年度実績見込及び令和5年度計画は、令和5年1月時点での見込額で、今後の旅客状況や費用の動向次第では必要に応じて見直す。

\* 補助金欄中、「補」は令和4年度補正で採択されたもの。

## (2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー経営状況報告書

### 法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー
- 2 目 的 鳥取県の有する優れた自然、歴史的・文化的資源を生かし、コンベンションの誘致・支援等を行うことにより、鳥取県におけるコンベンションの振興を図り、もって県内産業の振興、地域の活性化、国際的な相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成25年3月21日  
(財団法人 とっとりコンベンションビューロー設立許可年月日  
平成7年7月7日)
- 4 設立登記年月日 平成25年4月1日  
(財団法人 とっとりコンベンションビューロー設立登記年月日  
平成7年7月7日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 972,142,000円  
鳥取県出えん金 500,000,000円  
4市出えん金 250,000,000円  
その他出えん金 222,142,000円
- 6 役 員 等 評 議 員 9人 理 事 6人 監 事 2人  
評議員長 坂口 平兵衛 (米子商工会議所会頭)  
評議員 鈴木 俊一 (鳥取県輝く鳥取創造本部観光交流局長)  
" 若林 満弘 (米子市経済部長)  
" 藪田 千登世 (国立大学法人鳥取大学理事・副学長)  
" 森田 進 (株式会社鳥取銀行執行役員米子営業  
部長)  
" 吉岡 佐和子 (株式会社山陰合同銀行執行役員米子駐  
在米子営業本部長)  
" 細田 耕治 (鳥取県経済同友会代表幹事)  
" 足立 珠希 (弁護士)  
" 寺谷 寛 (株式会社新日本海新聞社本社長兼論説

委員)

理事長 石村隆男

常務理事 丸山堅一

理事 田中規靖 (公益社団法人鳥取県観光連盟専務理事)

〃 岸田寛昭 (特定非営利活動法人未来理事長)

〃 小谷文夫 (鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合理  
事長)

〃 山崎裕美子 (皆生菊乃家若女将)

監事 高橋敬一 (有限会社高橋会計事務所代表取締役社  
長・公認会計士)

〃 塚田武志 (米子市会計管理者)

7 職員 22人 (うち県退職職員 1人)

8 事務所 米子市末広町294番地

## 令和4年度事業実施状況

### 1 財団運営

(1) 組織体制の充実強化のため、各種研修会の実施及び外部研修への参加を推進した。

- ・ 実施研修（コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修）
- ・ 外部研修（MICEセミナー初級、舞台技術研修 ほか）

(2) 社会的責任を果たすための活動を推進した。

- ・ 中海アダプトプログラム参加、週1回の周辺清掃実施
- ・ 鳥取県版環境管理システム第Ⅱ種に基づいた環境保全活動

### 2 コンベンションの誘致事業及び支援事業

#### (1) 誘致事業

- ・ 令和4年度は行動制限の緩和など徐々に回復の兆しも見られたが、主催者の慎重傾向も依然続いており、コンベンションの中止や延期、オンラインやハイブリッド方式の開催によって、当該年度開催件数は116件（前年55件）、参加人数33,089人（前年12,966人）と前年比では増となったが、コロナ禍前の水準に比べ4割程度にとどまった。
- ・ 県外主催者への訪問活動も徐々に再開するとともに、3年振りに現地開催となった「第32回国際MICEエキスポIME2023」、「中国・四国地区コンベンション誘致懇談会」に出展し、MICE取扱事業者及びコンベンション主催者等に対して鳥取県開催を働きかけた。

※出展予定であったJNTO（日本政府観光局）主催「JAPANインセンティブセミナー（台中・台北）」「韓国インセンティブマート」はオンライン開催となり、県内受け入れ状況を鑑み参加を見合わせた。

#### (2) 開催支援事業

- ・ 当該年度に開催されたコンベンションのうち56件に対して、コンベンション開催助成金の交付を行った。（交付実績 17,100千円）
- ・ 感染症予防対策支援助成金制度を継続し、当該年度に開催されたコンベンションのうち18件に対して、開催時の新型コロナウイルス感染症対策経費の一部を助成した。（交付実績 2,241千円）
- ・ コンベンションバック・観光パンフレット・文化観光施設優待割引券の提供、歓迎看板の掲出のほか、新型コロナウイルス感染症の影響による開催延期、会場変更等に伴う主催者支援を行った。
- ・ 「コロナ禍におけるコンベンション開催チェックリスト」を配布し、安心安全なコンベンション開催を働きかけた。

#### (3) 調査企画事業

- ・ コンベンション開催意向調査を行い、その結果を踏まえ、各主催者に対し誘致活動を行った。
- ・ コンベンション参加者アンケートを実施し報告書を作成した。関係諸機関に報告し、地域のもてなしの向上につなげることとした。コンベンション開催による経済的波及効

## (2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

果の推計調査については、開催件数及び参加者数の減少により、統計上の偏りが生じるため、前年に引き続き中止とした。

- ・ 「コンベンション情報説明会・交流会 in 中部」を倉吉市で開催し、主催者と関係事業者との交流並びにコンベンションによる地域振興の機運醸成を図った。

### (4) 広報宣伝事業

- ・ ホームページを随時更新し、コンベンション主催者及び参加者等に常に新しい情報を発信した。
- ・ 機関紙の発行、広報記事の掲載、各種広報宣伝活動を展開した。
- ・ オンライン、ハイブリッド開催となったコンベンションで鳥取県の観光・物産情報を発信するため、主催者に短編PR動画の提供を行った。

## 3 米子コンベンションセンターの管理運営に関する事業（指定管理事業）

感染症予防対策を徹底し、各種ガイドラインに基づく安心・安全な会館運営を行うとともに、オンラインやハイブリッド開催といったコンベンション開催形態の変化や利用者ニーズに対応するため、安定した通信環境の提供や職員の対応力強化を図った。また、地域のにぎわい回復に繋げるため、自主事業の実施や新設した助成金制度等を活用し利用促進に取り組んだ。

### (1) 管理運営の取組

#### ① 施設の利用状況

年間利用者数 159,859人（前年104,683人）

年間利用料収入 93,926,200円（前年73,660,120円）

#### ② 利用促進及び顧客サービスの向上

- ・ 展示会を開催する企業を中心に情報収集や利用促進活動を行った。また、大型催事主催者には開催終了後に意見や要望を伺うことで、再利用に繋がるよう努めた。
- ・ 利用者懇談会の開催及び利用者（主催者）へのアンケート調査を徹底し、サービスや設備の充実に反映させた。

#### ③ 広報関連事業

イベントガイドの発行や、地元ケーブルテレビの文字放送による催事情報の発信を行うとともに、センター公式ホームページ、公式ツイッター及びインスタグラムを活用し、タイムリー且つ広範囲にわたる情報発信を行った。

#### ④ 地域連携事業

「食のみやこ鳥取県西部フェスタ連絡協議会」、「Yonagoヒカリ☆マチプロジェクト実行委員会」等への参画を通じて、地域と連携を強化し、一体となった賑わい創出を図った。

#### ⑤ 施設管理事業

- ・ 安心・安全のための施設運営

利用者の安全確保と危機管理体制の強化のための避難誘導訓練・救命救急講習を実施した。また、保守点検の徹底、故障又は故障の恐れがあるものに対して、早期修繕及び予防修繕を実施した。



- ・ 安全・快適な施設

感染対策としての消毒や換気の徹底をはじめ、清掃、常駐管理、安全管理等の委託業者と定期的な連絡を密に行い、情報と課題の共有を図り、良好な施設環境づくりに努めた。

⑥ SDGsの取組

- ・ 環境に配慮した施設運営グリーンコンベンションの理念をはじめとした基本方針を来館者に示すとともに、省エネルギー、ごみの減量化等の推進を主催者に広く呼び掛け、鳥取県版環境管理システム（TEASⅡ種）に基づく会館運営を実施した。

⑦ 自主企画事業

- ・ コンベンションセンターの施設・設備を活用し、地域の賑わい創出や文化振興に繋がる企画事業を実施した。

「ビッグシップコンサート」（6月、12月）

「ビッグシップ探検ツアー」（8月）

「ビッグシップ航海デー ハンドメイドフェスタ」（11月）

4 米子コンベンションセンター地域振興事業基金による事業

(1) 地域のコンベンション振興に資する事業

① 利用団体支援制度事業

- ・ 多目的ホール・国際会議室を利用した大規模催事で、利用日数等の規定の条件を満たす利用団体に対し、助成金を交付した。（5件）
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けている地域の経済・文化活動の振興を図るため、鳥取県内の企業・団体が主催し一定の条件を満たす「展示会」又は「文化芸術活動」に助成金を交付した。（7件）
- ・ 地域の企業や団体等が実施する事業について財団が共催者として関与し、施設利用料の助成や施設優先予約、広報協力によって地域の賑わい創出と活性化に寄与した。（2件）

(2) 地域の文化活性化に資する事業

① 演劇ワークショップ

- ・ 将来の文化活動者の育成につなげるため、鳥取県西部の高校演劇部を対象に舞台・照明・音響技術の講習を行った。（5月）

② ビッグシップ子どもワークショップ-廃材でアートしよう-（アート交流ひろば）

- ・ 「廃材活用」をテーマに、海の漂流ゴミを使った工作やSDGsについて楽しく学ぶことができるワークショップを開催した。（9月）

③ 光のナイトセーリング（ビッグシップウィンターイルミネーション）

- ・ 鳥取県電業協会と連携協力し、隣接する米子市文化ホールと一体となったイルミネーション、ライトアップによって地域の賑わいを創出した。（12月～1月）

## 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,883,622	5,425,455	△ 541,833
基本財産受取利息	4,883,622	5,425,455	△ 541,833
受取会費	3,120,000	0	3,120,000
受取会費	3,120,000	0	3,120,000
事業収益	93,392,925	73,199,900	20,193,025
事業収益	93,392,925	73,199,900	20,193,025
受託事業収益	201,290,020	184,279,049	17,010,971
地方公共団体受託収益	201,290,020	184,279,049	17,010,971
受取補助金等	65,014,342	53,580,901	11,433,441
地方公共団体受取補助金	59,560,000	49,415,500	10,144,500
受取補助金等振替額	5,454,342	4,165,401	1,288,941
雑収益	10,286,265	17,476,980	△ 7,190,715
雑収益	10,286,265	17,476,980	△ 7,190,715
経常収益計	377,987,174	333,962,285	44,024,889
(2) 経常費用			
事業費	373,653,096	325,686,119	47,966,977
役員報酬	2,850,000	1,050,000	1,800,000
給料	75,109,420	70,899,200	4,210,220
職員手当	34,620,883	30,255,806	4,365,077
社会保険料	17,684,272	16,382,837	1,301,435
福利厚生費	243,708	238,525	5,183
退職共済金	5,452,000	5,148,840	303,160
諸謝金	408,940	100,000	308,940
旅費	2,855,189	335,625	2,519,564
消耗品費	11,164,006	8,999,008	2,164,998
燃料費	176,042	118,900	57,142
飲食費	470,889	15,698	455,191
印刷製本費	2,579,485	2,269,195	310,290
光熱水費	60,454,555	43,524,481	16,930,074
修繕費	9,518,911	10,142,489	△ 623,578
使用料及び賃借料	1,877,262	2,169,133	△ 291,871
支払負担金	926,939	807,833	119,106
通信運搬費	3,223,425	2,992,827	230,598
手数料	2,203,234	2,285,048	△ 81,814
保険料	499,440	391,550	107,890
広告料	911,828	1,179,846	△ 268,018
委託費	106,346,091	101,547,422	4,798,669
租税公課	10,944,600	8,056,300	2,888,300
消耗什器備品費	60,500	499,950	△ 439,450
交付金	22,245,505	13,803,148	8,442,357
減価償却費	825,972	2,472,458	△ 1,646,486
管理費	7,703,958	7,183,454	520,504
役員報酬	3,082,400	1,162,800	1,919,600
給料	1,474,320	2,948,400	△ 1,474,080
職員手当	871,058	932,006	△ 60,948
社会保険料	809,650	808,130	1,520
福利厚生費	11,575	11,455	120
退職共済金	120,000	115,200	4,800
旅費	47,610	6,460	41,150
消耗品費	264,136	198,327	65,809
燃料費	4,603	11,608	△ 7,005

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
飲 食 費	40,570	13,750	26,820
印 刷 製 本 費	118,034	40,317	77,717
光 熱 水 費	8,487	8,252	235
使 用 料 及 び 賃 借 料	202,044	146,244	55,800
支 払 負 担 金	218,877	207,007	11,870
通 信 運 搬 費	88,204	99,584	△ 11,380
手 数 料	83,271	133,765	△ 50,494
保 険 料	67,500	91,350	△ 23,850
租 税 公 課	34,500	50,500	△ 16,000
雑 費	26,690	67,870	△ 41,180
減 価 償 却 費	130,429	130,429	0
経常費用計	381,357,054	332,869,573	48,487,481
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,369,880	1,092,712	△ 4,462,592
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,369,880	1,092,712	△ 4,462,592
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産廃棄損	0	4	△ 4
什器備品廃棄損	0	4	△ 4
経常外費用計	0	4	△ 4
当期経常外増減額	0	△ 4	4
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 3,369,880	1,092,708	△ 4,462,588
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,369,880	1,092,708	△ 4,462,588
一般正味財産期首残高	17,202,667	16,109,959	1,092,708
一般正味財産期末残高	13,832,787	17,202,667	△ 3,369,880
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	16,294,000	0	16,294,000
受取地方公共団体補助金	16,294,000	0	16,294,000
基本財産運用益	2,696,622	3,238,416	△ 541,794
基本財産受取利息	2,696,622	3,238,416	△ 541,794
一般正味財産への振替額	△ 8,150,964	△ 7,403,817	△ 747,147
一般財産へ振替	△ 8,150,964	△ 7,403,817	△ 747,147
当期指定正味財産増減額	10,839,658	△ 4,165,401	15,005,059
指定正味財産期首残高	1,021,290,021	1,025,455,422	△ 4,165,401
指定正味財産期末残高	1,032,129,679	1,021,290,021	10,839,658
<b>III 正味財産期末残高</b>	1,045,962,466	1,038,492,688	7,469,778

## 正味財産増減計算書 内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			合 計
	コンベンション 振興事業	法人会計	内部取引等消去	
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,441,811	2,441,811	0	4,883,622
基本財産受取利息	2,441,811	2,441,811	0	4,883,622
受取会費	1,560,000	1,560,000	0	3,120,000
受取会費	1,560,000	1,560,000	0	3,120,000
事業収益	93,471,785	0	78,860	93,392,925
事業収益	93,471,785	0	78,860	93,392,925
受託事業収益	201,290,020	0	0	201,290,020
地方公共団体受託収益	201,290,020	0	0	201,290,020
受取補助金等	61,010,342	4,004,000	0	65,014,342
地方公共団体受取補助金	55,556,000	4,004,000	0	59,560,000
受取補助金等振替額	5,454,342	0	0	5,454,342
雑収益	10,337,756	0	51,491	10,286,265
雑収益	10,337,756	0	51,491	10,286,265
経常収益計	370,111,714	8,005,811	130,351	377,987,174
(2) 経常費用				
事業費	373,653,096	0	0	373,653,096
役員報酬	2,850,000	0	0	2,850,000
給料	75,109,420	0	0	75,109,420
職員手当	34,620,883	0	0	34,620,883
社会保険料	17,684,272	0	0	17,684,272
福利厚生費	243,708	0	0	243,708
退職共済金	5,452,000	0	0	5,452,000
諸謝金	408,940	0	0	408,940
旅費	2,855,189	0	0	2,855,189
消耗品費	11,164,006	0	0	11,164,006
燃料費	176,042	0	0	176,042
飲食費	470,889	0	0	470,889
印刷製本費	2,579,485	0	0	2,579,485
光熱水費	60,454,555	0	0	60,454,555
修繕費	9,518,911	0	0	9,518,911
使用料及び賃借料	1,877,262	0	0	1,877,262
支払負担金	926,939	0	0	926,939
通信運搬費	3,223,425	0	0	3,223,425
手数料	2,203,234	0	0	2,203,234
保険料	499,440	0	0	499,440
広告料	911,828	0	0	911,828
委託費	106,346,091	0	0	106,346,091
租税公課	10,944,600	0	0	10,944,600
消耗什器備品費	60,500	0	0	60,500
交付金	22,245,505	0	0	22,245,505
減価償却費	825,972	0	0	825,972
管理費	0	7,834,309	130,351	7,703,958
役員報酬	0	3,082,400	0	3,082,400
給料	0	1,474,320	0	1,474,320
職員手当	0	871,058	0	871,058
社会保険料	0	809,650	0	809,650
福利厚生費	0	11,575	0	11,575
退職共済金	0	120,000	0	120,000
旅費	0	47,610	0	47,610
消耗品費	0	264,136	0	264,136
燃料費	0	4,603	0	4,603

科 目	公益目的事業会計			合 計
	コンベンション 振興事業	法人会計	内部取引等消去	
飲 食 費	0	40,570	0	40,570
印 刷 製 本 費	0	118,034	0	118,034
光 熱 水 費	0	30,862	22,375	8,487
使用料及び賃借料	0	280,904	78,860	202,044
支 払 負 担 金	0	218,877	0	218,877
通 信 運 搬 費	0	117,320	29,116	88,204
手 数 料	0	83,271	0	83,271
保 険 料	0	67,500	0	67,500
租 税 公 課	0	34,500	0	34,500
雑 費	0	26,690	0	26,690
減 価 償 却 費	0	130,429	0	130,429
経常費用計	373,653,096	7,834,309	130,351	381,357,054
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,541,382	171,502	0	△ 3,369,880
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,541,382	171,502	0	△ 3,369,880
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 3,541,382	171,502	0	△ 3,369,880
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,541,382	171,502	0	△ 3,369,880
一般正味財産期首残高	12,679,177	4,523,490	0	17,202,667
一般正味財産期末残高	9,137,795	4,694,992	0	13,832,787
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受 取 補 助 金 等	16,294,000	0	0	16,294,000
受取地方公共団体補助金	16,294,000	0	0	16,294,000
基 本 財 産 運 用 益	1,348,311	1,348,311	0	2,696,622
基 本 財 産 受 取 利 息	1,348,311	1,348,311	0	2,696,622
一般正味財産への振替額	△ 6,802,653	△ 1,348,311	0	△ 8,150,964
一 般 財 産 へ 振 替	△ 6,802,653	△ 1,348,311	0	△ 8,150,964
当期指定正味財産増減額	10,839,658	0	0	10,839,658
指定正味財産期首残高	535,219,021	486,071,000	0	1,021,290,021
指定正味財産期末残高	546,058,679	486,071,000	0	1,032,129,679
<b>III 正味財産期末残高</b>	555,196,474	490,765,992	0	1,045,962,466

## 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	64,834,875	74,303,666	△ 9,468,791
売掛金	49,320	0	49,320
未収金	8,595,136	6,982,145	1,612,991
流動資産合計	73,479,331	81,285,811	△ 7,806,480
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産預金	33,944	2,243,672	△ 2,209,728
投資有価証券	972,108,056	969,898,328	2,209,728
基本財産合計	972,142,000	972,142,000	0
(2)特定資産			
地域振興事業基金預金	58,835,028	47,334,398	11,500,630
什器備品	1,152,651	1,554,423	△ 401,772
ソフトウェア	0	259,200	△ 259,200
特定資産合計	59,987,679	49,148,021	10,839,658
(3)その他固定資産			
車両運搬具	129,650	260,079	△ 130,429
什器備品	5	5	0
ソフトウェア	1,031,250	646,250	385,000
電話加入権	224,952	224,952	0
リサイクル預託金	31,680	31,680	0
その他固定資産合計	1,417,537	1,162,966	254,571
固定資産合計	1,033,547,216	1,022,452,987	11,094,229
資産合計	1,107,026,547	1,103,738,798	3,287,749
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	23,329,890	18,303,579	5,026,311
前受金	10,616,930	5,886,280	4,730,650
預り金	27,117,261	41,056,251	△ 13,938,990
流動負債合計	61,064,081	65,246,110	△ 4,182,029
負債合計	61,064,081	65,246,110	△ 4,182,029
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	59,987,679	49,148,021	10,839,658
指定正味財産合計	1,032,129,679	1,021,290,021	10,839,658
(うち基本財産への充当額)	(972,142,000)	(972,142,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 59,987,679)	( 49,148,021)	( 10,839,658)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
正味財産合計	1,045,962,466	1,038,492,688	7,469,778
負債及び正味財産合計	1,107,026,547	1,103,738,798	3,287,749

## 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
投資有価証券(国債)は、償却原価法によっている。(満期保有目的)
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
法人税法に基づき、有形固定資産は定率法、無形固定資産は定額法によっている。
- (3) リース取引の処理方法  
賃貸借処理による。
- (4) 消費税等の会計処理  
税込方式による。

## 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産預金	2,243,672	0	2,209,728	33,944
投資有価証券	969,898,328	2,209,728	0	972,108,056
小 計	972,142,000	2,209,728	2,209,728	972,142,000
特定資産				
地域振興事業基金預金	47,334,398	16,294,000	4,793,370	58,835,028
什器備品	1,554,423	0	401,772	1,152,651
ソフトウェア	259,200	0	259,200	0
小 計	49,148,021	16,294,000	5,454,342	59,987,679
合 計	1,021,290,021	18,503,728	7,664,070	1,032,129,679

## 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
普通預金	33,944	(33,944)	0	0
投資有価証券	972,108,056	(972,108,056)	0	0
(国債)	472,108,056	(472,108,056)	0	0
(地方債)	300,000,000	(300,000,000)	0	0
(電力債)	200,000,000	(200,000,000)	0	0
小 計	972,142,000	(972,142,000)	0	0
特定資産				
地域振興事業基金預金	58,835,028	(58,835,028)	0	0
什器備品	1,152,651	(1,152,651)	0	0
小 計	59,987,679	(59,987,679)	0	0
合 計	1,032,129,679	(1,032,129,679)	0	0

## 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	3,267,586	3,137,936	129,650
什器備品	16,976,320	15,823,664	1,152,656
ソフトウェア	1,375,000	343,750	1,031,250
合計	21,618,906	19,305,350	2,313,556

## 5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価格	時 価	評価損益
国 債	472,108,056	467,703,682	△ 4,404,374
第366回利付国債(10年)野村証券	123,172,587	122,517,366	△ 655,221
第368回利付国債(10年)野村証券	164,693,812	165,916,403	1,222,591
第367回利付国債(10年)鳥取銀行	114,764,232	114,229,730	△ 534,502
第367回利付国債(10年)米子信用金庫	10,005,600	9,959,000	△ 46,600
第167回利付国債(20年)野村証券	59,471,825	55,081,183	△ 4,390,642
地 方 債			
千葉県第26回公募公債(20年)野村証券	300,000,000	275,538,900	△ 24,461,100
電 力 債			
東北電力(株)第508回一般担保付社債(10年)野村証券	200,000,000	196,583,200	△ 3,416,800
合計	972,108,056	939,825,782	△ 32,282,274

## 6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
交付金	鳥取県	0	21,230,000	21,230,000	0	
運営費負担金(補助金)	鳥取市	0	6,608,000	6,608,000	0	
	倉吉市	0	2,731,000	2,731,000	0	
	米子市	0	10,783,000	10,783,000	0	
	境港市	0	1,108,000	1,108,000	0	
コンベンション開催助成補助金	鳥取県	0	8,550,000	8,550,000	0	
	鳥取市	0	1,249,359	1,249,359	0	
	倉吉市	0	213,314	213,314	0	
	米子市	0	5,987,327	5,987,327	0	
	若桜町	0	300,000	300,000	0	
	三朝町	0	25,000	25,000	0	
	湯梨浜町	0	175,000	175,000	0	
	大山町	0	475,000	475,000	0	
	日南町	0	125,000	125,000	0	
米子コンベンションセンター 基金造成事業補助金	鳥取県	49,148,021	16,294,000	5,454,342	59,987,679	指定正味財産
合計		49,148,021	75,854,000	65,014,342	59,987,679	



## 7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産(国債)受取利息の振替額	2,696,622
鳥取県基金積立補助金の振替額	5,454,342
(補助金目的達成による指定解除額)	(4,793,370)
(特定資産減価償却費計上による振替額)	(660,972)
合 計	8,150,964

## 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金 預金	手元保管	運転資金	55,383
		普通預金 (株)山陰合同銀行米子支店	運転資金	15,755,819
	普通預金 (株)山陰合同銀行米子支店	所得税・保険料等預り金	2,020,181	
	普通預金 (株)山陰合同銀行米子支店	運転資金	47,003,492	
	売掛金	施設利用料 1件	公益目的事業の売掛金である 施設利用料	49,320
未収金	施設利用者 38件 湯梨浜町等 5件	開催助成費補助金等	公益目的事業の未収金である 施設利用料	8,595,136
			入居団体者等 12件	施設テナント等
<b>流動資産合計</b>				<b>73,479,331</b>
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	基本財産預金	普通預金 (株)山陰合同銀行米子支店	(共用財産) 基本財産のうち50%が公益目的保有 財産であり、運用益を公益目的事業 の財源として使用	33,944
	投資有価証券	第366回利付国債(野村証券) 第368回利付国債(野村証券) 第367回利付国債(鳥取銀行) 第367回利付国債(米子信用金庫) 第167回利付国債(野村証券) 千葉県第26回公募公債(野村証券) 東北電力第508回社債(野村証券)	50%が法人管理に充てる財産であり、 運用益を法人管理業務の財源として 使用	123,172,587 164,693,812 114,764,232 10,005,600 59,471,825 300,000,000 200,000,000
特定資産	地域振興事業基金預金	普通預金 (株)山陰合同銀行米子支店	公益目的保有財産であり、公益目的 事業の財源として使用する資産であ る	58,835,028
	什器備品	施設紹介DVD、テント 3張 LAN設備、大型プリンター	公益目的事業に使用	1,152,651
その他固定資産	車両運搬具	普通乗用車2台、商用車1台	管理業務に普通車1台、 公益目的事業に普通車1台、 商用車1台	129,650
	什器備品	誘致データベース機器1式、予約 管理システム機器1式、その他事 務機器等 2台	公益目的事業に使用	5 (4)
			事務機器 1台	管理業務に使用
	ソフトウェア	誘致データベースシステム	公益目的事業に使用	1,031,250
	電話加入権	3回線	(共用財産) 公益目的事業に50%を使用 管理業務に50%を使用	224,952
リサイクル預託金	車両リサイクル預託金3台分	管理業務に使用(1台) 公益目的事業に使用(2台)	31,680 (10,040) (21,640)	
<b>固定資産合計</b>				<b>1,033,547,216</b>
<b>資産合計</b>				<b>1,107,026,547</b>

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金			23,329,890
		米子年金事務所等 69件 3月分社会保険料等 5件	公益目的事業の未払金である 管理業務の未払金である	(23,249,876) (80,014)
	前受金			10,616,930
		施設利用者 282件	公益目的事業の翌事業年度以降の施設利 用料収入である	(10,616,930)
	預り金			27,117,261
	社会保険料	役職員		1,079,397
	所得・市町村税	役職員他		491,375
	労働保険	役職員		449,409
地方公共団体返納金	鳥取県、米子市、鳥取市、倉吉市	2022年度補助金及び指定管理料 の返納金	24,641,980	
チケット売上	チケット販売依頼主	預かりチケットの売上金	455,100	
流動負債合計				61,064,081
負債合計				61,064,081
正味財産				1,045,962,466

附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細  
財務諸表に対する注記の記載事項に同じ。
  
- 2 引当金の明細  
該当なし。

## 令和5年度事業計画

## 1 財団運営

財団の設置目的を確実に実施できるよう、組織体制の強化を図るとともに、以下のような取組により円滑な財団運営を推進する。

- (1) 人材育成・組織体制の強化
- (2) 財源の確保
- (3) 職場環境の適正化
- (4) 社会的責任を果たすための活動及びSDGsの推進

## 2 コンベンション誘致事業及び支援事業

新型コロナウイルス感染症による社会環境の変化や、収束に向かうウィズコロナの流れのなかで、柔軟な開催支援対応を行うとともに、積極的且つ効率的な誘致活動によって、コンベンション開催件数及び参加者数の拡大を図る。またインターネットを活用したハイブリッド方式の開催形態の浸透により減少した現地参加者数の回復のため、関係事業者と連携し主催者への啓発を強化するとともに、比較的オンラインの影響の少ないスポーツ大会や企業コンベンション、合宿等の短期商談案件を受入施設等と連携し強化推進していく。

## (1) 誘致推進事業

- ① 誘致推進：学術会議・一般大会、スポーツ大会、企業コンベンション、MICE（インセンティブツアー）、合宿の県内誘致推進
- ② 県人会・同窓会等を通じた情報収集及び人脈づくり
- ③ コンベンション開催意向調査の実施
- ④ 各種協議会・商談会等への参加

## (2) 開催支援事業

鳥取県開催コンベンションの円滑な運営支援を行うため、主催者へ財政的・物的等支援を行い、また、参加者に対しおもてなしを通して鳥取県の魅力をPRする。

- ① 財政的支援：開催助成金交付
- ② 物的支援：歓迎看板、コンベンションバック、地元特産品、観光パンフレット等提供
- ③ その他の支援
  - (ア) 会場手配、業務応援、コンベンション会場に観光案内・県内特産物の販売所の設置
  - (イ) 大会ホームページに開催地域の観光・イベント等情報サイトのバナー添付を推進、参加者への事前情報提供によるアフターコンベンションの促進
  - (ウ) コンベンション事務局運営支援

## (3) 調査企画事業

- ① コンベンション参加者アンケートの実施
- ② 経済的波及効果の推計調査
- ③ コンベンション交流会の開催
- ④ アジア・ウォーキング・フェスタ in 鳥取の開催（共催事業）

## (4) 広報宣伝事業

- ① ホームページ等によるコンベンションの情報発信

## (2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

- ② 機関紙の発行
  - ③ 新聞等への広報宣伝記事掲載
  - ④ 文化・観光施設割引券WEB版の作成
  - ⑤ 大会歓迎ステッカー・タクシーステッカーの作成
- ### 3 米子コンベンションセンターの管理運営に関する事業
- (1) 管理運営の基本姿勢
    - ① 交流人口増大による地域のにぎわい創出の実現
    - ② 感動を共有する心豊かな文化・芸術の拠点づくり
    - ③ 公平な利用機会の確保と安心・安全・満足の追求
    - ④ 効率的で環境に配慮した会館運営と積極的な利用促進
    - ⑤ 公益法人としてのミッションと行政との連携
  - (2) 管理運営の方針・内容
    - ① 利用者サービス
      - ・ インターネットによる利用申込み受付  
インターネットによる利用申込みや利用料のオンライン決済導入について周知を図り、利用者の利便性向上及び事務の効率化を図る。
      - ・ ワンストップサービスの充実  
利用者の利便性向上を目的にワンストップサービス（看板作成サービス、ピアノ調律手配、インターネット回線専用接続サービス等）の充実を図る。
      - ・ 利便施設の充実  
ビジネスコーナーの設置他、各種利便施設の充実を図る。
      - ・ 利用者ニーズの把握  
顧客満足度、利用者の声を利用後の聞き取りや利用者懇談会等で収集し、サービスの向上に活かす。
    - ② 利用促進  
利用実績のある主催者への対応強化と新規利用へとつながる提案営業を通じて、積極的な利用促進を図る。
      - ・ 利用者の潜在的ニーズを探り、効果的な利用提案ができる企画営業力の強化
      - ・ 誘致部門との連携を進め、地域へ有益な波及効果をもたらす全国大会などの大型コンベンションの獲得
      - ・ 利用者へのフォロー強化による継続利用促進
      - ・ 蓄積されたデータを活用したイベントの特性に合わせた利用提案
    - ③ 広報関連  
当センターで開催されるイベントや情報を様々な媒体を使い広報する。
      - ・ ホームページでのG o o g l eストリートビューと連動した施設紹介やセンターPR動画を活用した効果的な情報発信
      - ・ イベントガイド情報紙の発行（毎月発行）
      - ・ 地元ケーブルテレビ文字放送でのイベント情報発信（毎日）

- ・ 公式SNS (X (旧 Twitter)、Instagram) による情報発信の更なる強化

④ 地域連携

地域との連携を通じ、催事サポートをすることで地域の賑わい創出に努める。

- ・ 地元主体のイベント実行委員会への参画
- ・ 地域の自主企画事業への参画と周辺施設との連携推進
- ・ イベントへのボランティアスタッフ派遣

⑤ 施設管理

施設・設備を常に良好な状態に維持することに努めるとともに、省エネルギーの取組を継続する。

- ・ 予防修繕の取組継続による、施設・設備の長寿命化
- ・ 省エネルギー型照明器具の導入、不要箇所の照明消灯、温度管理の徹底による重油使用量の削減等の取組の継続
- ・ 避難誘導訓練の実施 (年2回)
- ・ 感染症対策を含む各種災害対応マニュアル等による職員教育の強化、災害時対応力の向上

⑥ SDGsの取組

「とっとりSDGsパートナー」制度に登録し、これまで提唱してきた環境に配慮したグリーンコンベンションの理念をSDGsへと継承し、更なる普及啓発を図る。

- ・ 公式ホームページ特設サイトや館内掲示等による主催者・利用者への普及啓発
- ・ 鳥取県版環境管理システム (TEAS II種) に基づく環境負荷低減を目指した施設運営

⑦ 自主企画事業

- ・ ビッグシップコンサート

地域のアーティストによる多目的ホールホワイエでのサロンコンサート。

実施時期：8月 スマイルキッズコンサート (親子対象)

12月 ヒカリノ音楽会 (一般対象) クリスマスイルミネーション併催

- ・ ビッグシップ探検ツアー

センターをより身近に感じていただくために施設を地域住民に広く公開した施設見学会を実施し、ファンの拡大を図る。

実施時期：8月

- ・ ビッグシップ航海デー

地域で創作活動するクリエイターや団体の交流の場として多目的ホールを開放し、マーケット開催による地域一体となった賑わい創出を図る。

実施時期：11月

4 米子コンベンションセンター地域振興事業基金による事業

(1) 地域のコンベンション振興に資する事業

① 利用団体支援事業

(ア) 助成金交付

## (2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

当センターを利用する展示会及び県民を対象とした催事のうち、規定の条件を満たす利用団体に対し施設利用料の一部を助成するなどの開催支援を行い、地域経済の振興に寄与するとともに、多目的ホール及び国際会議室に重点を置いた利用促進につなげる。

### (イ) 企画共催支援

地域の企業・団体等が実施する事業について当財団が共催者として関与し、相互協力と連携強化することによって地域の賑わい創出及び活性化に寄与する。

## (2) 文化振興及び地域の活性化を目的としたにぎわい創出事業

### ① 演劇ワークショップ

県西部の高校演劇部を対象に舞台・照明・音響技術の基本から実践までを職員が説明し、将来の文化活動の担い手育成を図る。

実施時期：5月

### ② アート交流ひろば

地域で創作活動を行う展示系文化団体等に作品発表の場を提供し、地域に広く紹介するとともに創作者と来場者の交流の場を作り、地域住民がアートに触れる機会を創出する。

実施時期：8月、12月

### ③ ビッグシップイルミネーション

鳥取県電業協会等との連携協力によりクリスマスにイルミネーションを設置し、隣接する米子市文化ホールや米子彫刻ロードと一体となった地域の賑わいを創出する。

実施時期：12月～1月

### ④ 開館25周年記念事業「大鉄道博 in 米子」

開館25周年を迎える本年、JR米子駅がリニューアルオープンすることから「鉄道」をテーマとした博覧会を実施し、地域振興につなげる。

実施時期：8月（11日間）



## 収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,303,000	4,846,000	△ 1,543,000
基本財産受取利息	3,303,000	4,846,000	△ 1,543,000
受取会費	3,000,000	3,080,000	△ 80,000
受取会費	3,000,000	3,080,000	△ 80,000
事業収益	99,930,000	100,000,000	△ 70,000
事業収益	99,930,000	100,000,000	△ 70,000
受託事業収益	214,569,000	214,569,000	0
地方公共団体受託収益	214,569,000	214,569,000	0
受取補助金等	118,532,978	72,056,972	46,476,006
地方公共団体受取補助金	84,172,000	63,114,000	21,058,000
受取補助金等振替額	34,360,978	8,942,972	25,418,006
雑収益	11,368,000	11,423,000	△ 55,000
雑収益	11,368,000	11,423,000	△ 55,000
経常収益計	450,702,978	405,974,972	44,728,006
(2) 経常費用			
事業費	444,719,978	404,201,972	40,518,006
役員報酬	2,850,000	2,850,000	0
給料	76,446,000	81,086,000	△ 4,640,000
職員手当	37,280,000	37,414,000	△ 134,000
社会保険料	19,040,000	19,647,000	△ 607,000
福利厚生費	315,000	301,000	14,000
退職共済金	5,472,000	5,452,000	20,000
諸謝金	1,120,000	450,000	670,000
旅費	4,208,000	3,503,000	705,000
消耗品費	13,676,000	11,998,000	1,678,000
燃料費	419,000	322,000	97,000
飲食費	1,195,000	563,000	632,000
印刷製本費	4,358,000	4,019,000	339,000
光熱水費	88,986,000	63,453,000	25,533,000
修繕費	9,397,000	9,709,000	△ 312,000
使用料及び賃借料	2,490,000	2,439,000	51,000
支払負担金	6,609,000	1,095,000	5,514,000
通信運搬費	4,426,000	3,603,000	823,000
手数料	2,589,000	2,322,000	267,000
保険料	496,000	421,000	75,000
広告料	1,334,000	1,198,000	136,000
委託費	109,980,000	109,644,000	336,000
租税公課	12,013,000	11,976,000	37,000
交付金	39,350,000	29,911,000	9,439,000
減価償却費	670,978	825,972	△ 154,994
管理費	8,687,647	8,050,429	637,218
役員報酬	3,212,000	3,212,000	0
給料	1,527,000	1,438,000	89,000
職員手当	894,000	708,000	186,000
社会保険料	864,000	813,000	51,000
福利厚生費	14,000	13,000	1,000
退職共済金	120,000	116,000	4,000
旅費	87,000	87,000	0
消耗品費	341,000	226,000	115,000

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
燃 料 費	14,000	12,000	2,000
飲 食 費	69,000	69,000	0
印 刷 製 本 費	130,000	130,000	0
光 熱 水 費	8,000	8,000	0
修 繕 費	30,000	30,000	0
使 用 料 及 び 賃 借 料	417,000	344,000	73,000
支 払 負 担 金	285,000	285,000	0
通 信 運 搬 費	126,000	126,000	0
手 数 料	205,000	109,000	96,000
保 險 料	94,000	73,000	21,000
租 税 公 課	51,000	51,000	0
雑 費	70,000	70,000	0
減 価 償 却 費	129,647	130,429	△ 782
経常費用計	453,407,625	412,252,401	41,155,224
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,704,647	△ 6,277,429	3,572,782
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,704,647	△ 6,277,429	3,572,782
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,704,647	△ 6,277,429	3,572,782
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,704,647	△ 6,277,429	3,572,782
一般正味財産期首残高	12,796,238	17,202,667	△ 4,406,429
一般正味財産期末残高	10,091,591	10,925,238	△ 833,647
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産運用益	1,116,000	2,696,622	△ 1,580,622
基本財産受取利息	1,116,000	2,696,622	△ 1,580,622
一般正味財産への振替額	33,244,978	△ 11,639,594	44,884,572
一般財産へ振替	33,244,978	△ 11,639,594	44,884,572
当期指定正味財産増減額	34,360,978	△ 8,942,972	43,303,950
指定正味財産期首残高	1,032,134,049	1,021,290,021	10,844,028
指定正味財産期末残高	1,066,495,027	1,012,347,049	54,147,978
<b>III 正味財産期末残高</b>	1,076,586,618	1,023,272,287	53,314,331

## 収支予算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
	コンベンション 振 興 事 業			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,652,000	1,651,000	0	3,303,000
基本財産受取利息	1,652,000	1,651,000	0	3,303,000
受取会費	1,500,000	1,500,000	0	3,000,000
受取会費	1,500,000	1,500,000	0	3,000,000
事業収益	99,930,000	0	0	99,930,000
事業収益	99,930,000	0	0	99,930,000
受託事業収益	214,569,000	0	0	214,569,000
地方公共団体受託収益	214,569,000	0	0	214,569,000
受取補助金等	113,078,978	5,454,000	0	118,532,978
地方公共団体受取補助金	78,718,000	5,454,000	0	84,172,000
受取補助金等振替額	34,360,978	0	0	34,360,978
雑収益	11,415,000	0	47,000	11,368,000
雑収益	11,415,000	0	47,000	11,368,000
経常収益計	442,144,978	8,605,000	47,000	450,702,978
(2) 経常費用				
事業費	444,719,978	0	0	444,719,978
役員報酬	2,850,000	0	0	2,850,000
給料	76,446,000	0	0	76,446,000
職員手当	37,280,000	0	0	37,280,000
社会保険料	19,040,000	0	0	19,040,000
福利厚生費	315,000	0	0	315,000
退職共済金	5,472,000	0	0	5,472,000
諸謝金	1,120,000	0	0	1,120,000
旅費	4,208,000	0	0	4,208,000
消耗品費	13,676,000	0	0	13,676,000
燃料費	419,000	0	0	419,000
飲食費	1,195,000	0	0	1,195,000
印刷製本費	4,358,000	0	0	4,358,000
光熱水費	88,986,000	0	0	88,986,000
修繕費	9,397,000	0	0	9,397,000
使用料及び賃借料	2,490,000	0	0	2,490,000
支払負担金	6,609,000	0	0	6,609,000
通信運搬費	4,426,000	0	0	4,426,000
手数料	2,589,000	0	0	2,589,000
保険料	496,000	0	0	496,000
広告料	1,334,000	0	0	1,334,000
委託費	109,980,000	0	0	109,980,000
租税公課	12,013,000	0	0	12,013,000
消耗備品費	0	0	0	0
交付金	39,350,000	0	0	39,350,000
減価償却費	670,978	0	0	670,978
管理費	0	8,734,647	47,000	8,687,647
役員報酬	0	3,212,000	0	3,212,000
給料	0	1,527,000	0	1,527,000
職員手当	0	894,000	0	894,000
社会保険料	0	864,000	0	864,000
福利厚生費	0	14,000	0	14,000
退職共済金	0	120,000	0	120,000
旅費	0	87,000	0	87,000
消耗品費	0	341,000	0	341,000

## (2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
	コンベンション 振 興 事 業			
燃 料 費	0	14,000	0	14,000
飲 食 費	0	69,000	0	69,000
印 刷 製 本 費	0	130,000	0	130,000
光 熱 水 費	0	34,000	26,000	8,000
修 繕 費	0	30,000	0	30,000
使用料及び賃借料	0	417,000	0	417,000
支 払 負 担 金	0	285,000	0	285,000
通 信 運 搬 費	0	147,000	21,000	126,000
手 数 料	0	205,000	0	205,000
保 險 料	0	94,000	0	94,000
租 税 公 課	0	51,000	0	51,000
雑 費	0	70,000	0	70,000
減 価 償 却 費	0	129,647	0	129,647
経常費用計	444,719,978	8,734,647	47,000	453,407,625
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,575,000	△ 129,647	0	△ 2,704,647
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,575,000	△ 129,647	0	△ 2,704,647
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,575,000	△ 129,647	0	△ 2,704,647
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,575,000	△ 129,647	0	△ 2,704,647
一般正味財産期首残高	8,403,177	4,393,061	0	12,796,238
一般正味財産期末残高	5,828,177	4,263,414	0	10,091,591
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
基本財産運用益	558,000	558,000	0	1,116,000
基本財産受取利息	558,000	558,000	0	1,116,000
一般正味財産への振替額	33,802,978	△ 558,000	0	33,244,978
一般財産へ振替	33,802,978	△ 558,000	0	33,244,978
当期指定正味財産増減額	34,360,978	0	0	34,360,978
指定正味財産期首残高	546,063,049	486,071,000	0	1,032,134,049
指定正味財産期末残高	580,424,027	486,071,000	0	1,066,495,027
<b>III 正味財産期末残高</b>	586,252,204	490,334,414	0	1,076,586,618

### (3) 公益財団法人 鳥取県国際交流財団経営状況報告書

#### 法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県国際交流財団
- 2 目 的 国際化の進展など社会情勢の変化に適切に対処し、多文化共生の社会づくりを目指し、県民、民間団体、行政が一体となって全県的な国際交流活動を推進するとともに、様々な国籍や多様な文化を背景とした人々がともに安心して暮らせる地域づくりを推進し多様な文化への理解と諸外国との相互理解や友好親善協力関係を深め、もって国際性豊かな県民の育成と魅力ある地域の創造と活性化を図り、世界に開かれ、世界に貢献する豊かで活力ある鳥取県づくりに寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成23年3月24日  
(財団法人 鳥取県国際交流財団設立許可年月日  
平成2年11月1日)
- 4 設立登記年月日 平成23年4月1日  
(財団法人 鳥取県国際交流財団設立登記年月日  
平成2年11月2日)
- 5 基本財産 出えん金 631,034,461円  
鳥取県出えん金 500,320,000円  
関係市町村出えん金 100,000,000円  
民間団体出えん金 30,714,461円
- 6 役員等 評議員 11人 理事 13人 監事 2人  
評議員長 大月悦子(鳥取県男女共同参画をすすめるネットワーク会長)  
評議員 内田正志(元鳥取県海外子女教育・国際理解教育研究協議会会長)  
〃 岡田克夫(公益社団法人鳥取県医師会常任理事)  
〃 小山富見男(前学校法人鳥取家政学園鳥取敬愛高等学校校長)  
〃 崎原麗霞(国立大学法人鳥取大学教育支援・国際交流推進機構教養教育センター准教授)

評議員	鈴木俊一 (鳥取県輝く鳥取創造本部観光交流局長)
〃	原利一郎 (一般社団法人鳥取県薬剤師会会長)
〃	西村瑞穂 (青年海外協力隊鳥取県OV会会員)
〃	平田早百合 (日南町国際交流協会事務局長)
〃	村田佳壽子 (タイム (とっとり国際交流連絡会) 会長)
〃	廖汝幸 (とっとり青友会副会長)
理事長	本名俊正 (元国立大学法人鳥取大学学長顧問)
副理事長	亀井一賀 (鳥取県副知事)
常務理事	佐々木満也
理事	石橋潤 (株式会社山陰合同銀行執行役員鳥取営業部長)
〃	竹本哲哉 (株式会社鳥取銀行執行役員)
〃	西原昌彦 (鳥取ブラジル会理事)
〃	渡邊眞子 (ドイツを語る会事務局長)
〃	川口斐斐 (多文化交流教室日華ふれんず代表)
〃	米本ゆかり (コントリビューションの会代表)
〃	シェリーメガリー (マリーナ英語サービス翻訳師)
〃	渡邊太 (学校法人藤田学院鳥取短期大学国際文化交流学科教授)
〃	御館久里恵 (国立大学法人鳥取大学教育支援・国際交流推進機構国際交流センター教授)
〃	橋本真弓 (特定行政書士)
監事	大谷芳徳 (社会福祉法人やず理事長)
〃	田村博信 (鳥取信用金庫理事長)
7 職員	13人 (うち県派遣職員 2人)
8 事務所	本所 鳥取市扇町21番地
	倉吉事務所 倉吉市東巖城町2番地
	米子事務所 米子市末広町294番地

## 令和4年度事業実施状況

## ＜公益目的事業＞国際交流・多文化共生の推進

## 1 地域の国際化に向けた情報の収集・提供・発信

## (1) 多言語情報の提供と発信

## ア ホームページの運営（県補助事業1／2）

財団の情報を迅速に提供するとともに、地域における国際交流の情報交換や、在住の外国出身者が生活していく上で必要な生活情報の提供等を行うホームページ（日本語・英語・中国語・ベトナム語版）を運営。新型コロナウイルス感染症に関する多言語特設ページを設け、随時情報の更新に努めた。

今年度はWeb版「外国人のための鳥取県生活ガイドブック」の作成に着手し、在留・転入転出手続きや緊急時の連絡方法等について、分野別に順次、県内在住外国人への情報発信に努めることとし、県内で最も在留者数の多いベトナム語版を先行して掲載した。

## イ SNSによる情報発信（県補助事業1／2）

在住外国人にダイレクトに有益な情報を伝える手段として公式SNS（Facebookとっとりニコニコ 英語/やさしい日本語版、中国語簡体字版、中国語繁体字版、ベトナム語版の4言語）を運営。特に、新型コロナウイルス感染症関係、大雨や台風時等の防災情報をきめ細やかに配信することに留意した。

## ウ 機関紙の発行（県補助事業1／2）

財団の活動状況や、地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」第140～142号を発行。（A4・一部カラー刷り 一部記事については英語・中国語・ベトナム語表記 各2,000部）。

## (2) 交流拠点の運営と関係機関との連携

## ア 本所・倉吉事務所・米子事務所の運営

全県的な国際交流の推進のため、各地域の拠点となる施設として財団本所、倉吉事務所（鳥取県中部総合事務所別館内）、米子事務所（米子コンベンションセンター4階）を設置・運営した。令和元年度より、県から外国人相談窓口業務の委託を受けるほか、各拠点では一般図書、日本語教材、視聴覚資料及び雑誌を購入し、来館者の閲覧や貸出に供したほか、毎月第二日曜日（14：00～16：00）に本所において、在留資格の変更等の手続きについて申請取次行政書士がボランティアで相談に応じる窓口を運営した。

## イ 関係機関との連携

## i) 連絡調整

県内に拠点を置く民間国際交流・協力関係者及び県・市町村担当者と、地域の国際交流の活性化のために連携して活動していくための意見交換、県内の高等教育機関における外国人留学生の円滑な受入れと地域社会と連携した国際交流活動を図ることを目的とする鳥取県留学生交流推進会議については、書面での情報共有とした。また、中国5県の地域国際化協会連携会議、中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会のブロック会議及び研修会に参加し、意見交換・情報共有を行った。

## ii) 地域連携等

市町教育委員会事務局及び小中学校等と連携し、外国にルーツを持つ児童生徒の日本語支援を実施した。(要請のあった小・中・高等学校(東部:9校12名、中部1校2名、西部10校12名)に日本語支援員や教材などをコーディネート)

## 2 地域の国際化につながる活動の推進と在住外国人トータルサポート事業

### (1) あんしん生活・コミュニケーション支援

#### ア 多文化共生コーディネーターの配置(県委託事業、県補助事業10/10)

外国人住民の増加及び多国籍化・多言語化に伴い、単に言葉の問題にとどまらず解決しなければならない問題がますます多様化・複雑化してきている現状において、県内在住外国人ならではの目線・視点をもって、日本人では気づきにくい日本人と外国人との文化的な背景や慣習・制度の違いによるギャップを把握し、寄り添いながら課題解決に取り組む「多文化共生コーディネーター」を新設した。(ベトナム出身1名)

日本人も外国人も共に暮らしやすいまちづくりを目指し、多文化共生出前講座の講師役や県立図書館主催の国際交流ライブラリー講演会の対談者役を務めるなど地域住民に対する多文化共生意識の啓発等を行ったほか、県内在住外国人の視点でWeb版「外国人のための鳥取県生活ガイドブック」の作成・編集を立案し、市町村が行う防災訓練等の企画運営に参画した。<配置状況>本所:月・火・水・金曜日 8:45~17:15(週30時間)

#### イ 国際交流コーディネーターの配置(県委託事業)

外国出身者の日常生活における言語及び文化の違いによる障壁をできるだけ低くするべく、英語圏、中国語圏、ベトナム出身(平成30年度倉吉事務所に配置、令和元年度は本所、米子事務所にも配置)の国際交流コーディネーターを配置し、面談や電話等により、さらにトリオフォン(三者通話機能)、TV会議システム等も活用して母国語で困りごと等の相談に応じるとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行った。(他の言語については多言語対応アプリを搭載したタブレットにより対応)

また、ホームページやSNS、機関紙といった情報ツールによる発信情報等の翻訳、国際理解を促す財団事業の企画、運営のほか学校や地域の要請に応じた国際理解講座の講師を務めるなど地域の国際交流事業にも積極的に参画した。(英語圏出身1名、中国語圏出身2名、ベトナム出身1名)

#### ウ 日本語クラスの運営(県補助事業3/4)

県内に在住するいろいろな立場・国籍の外国出身者が、日常生活に役立つ日本語を共に楽しく学べる場として、毎週水曜日または日曜日に専任講師とボランティアパートナーによるクラス形式の日本語教室を運営した。クラスに参加しにくい人などには、希望の日程にマンツーマンでボランティアが対応する個別学習を組み合わせ実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により第1期及び第2期ともに開始時期の延期、事前研修会の休止を余儀なくされ、予防対策をさらに強化したうえで実施した。また、運営に関わる講師及びボランティアの研修や意見交換の場を組み入れ、クラス運営の一体的な充実を図った。

また、令和4年3月の「日本語クラスのあり方検討会」による提言により、生活者としての外国人に対する日本語支援の充実、持続可能な体制づくりの検討を進めることとし、誰もが学習機会を得られるような運営方法として、前年度に続きオンラインクラスを試行した。



## エ 医療・コミュニティ通訳ボランティアの派遣（県補助事業3／4）

医療通訳ボランティア（要請に応え医療・保健機関等に派遣）及びコミュニティ通訳ボランティア（保育園や学校、福祉分野、在留資格相談など言葉の支援の要請が多様化している現状でのより具体的な支援として、外国出身者がより円滑な社会生活を行うため、また公的機関等での適切な制度説明や手続きを促すために必要な言葉の支援）を専門通訳ボランティア派遣として一体的に運営することで、ワンストップサービスとして利用者目線で利便性が高まる工夫を行った。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特別警報発令中は派遣を休止し、電話通訳、オンライン通訳又は翻訳での対応とした。（派遣及び対応件数：179件（医療：120件、コミュニティ：59件））

## オ 防災・災害時支援事業の実施（県補助事業3／4）

大規模災害時に、災害弱者となりやすい外国出身者の不安を取り除き、外国人が防災についての知識を得たり、実際に体験してみることでいざというときに備える意識を醸成するため、日本語クラスなどを利用した防災学習を実施した。また、市町村が実施する地域における防災訓練等の機会に多文化共生コーディネーターが在住外国人の視点で参画した。

## カ 外国人相談窓口運営事業（県委託事業）

平成31年4月の改正入管法施行とともに、県より外国人受入環境整備交付金を財源とする「鳥取県国際交流財団外国人相談窓口業務」を受託し、これまで行ってきた外国人相談を拡充して各事務所に窓口を設け、相談内容に応じた専門機関との連携を図った。（職員で対応できない言語については多言語対応アプリを搭載したタブレット等翻訳機器により対応）

なお、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症に関して、外国人の方で発熱等の症状がある場合や陽性者と接触した可能性があるなどの不安に対応するための外国人向け相談窓口となるなど、ホームページ、SNSと連携した広報を継続した。

## キ 多文化共生サポート事業（県補助事業3／4）

平成30年度に財団ホームページに構築した多文化共生ポータルサイト（災害情報などの「重要なお知らせ」、「せいかつ安心情報」、「多言語相談フォーム」）の運用による相談内容の翻訳（回答）や情報提供のほか、広報及び専門機関等との連携強化によるサポート体制の充実を図った。

## ク 私費留学生奨学金の支給（県補助事業10／10）

県内の大学・大学院・短期大学等に通学する私費留学生11名に月額2万円の奨学援助を行い、奨学生には「国際交流活動ボランティア」として、当財団や地域の国際交流活動への貢献を促している。（鳥取大学6名（中国4、バングラデシュ2））、公立鳥取環境大学5名（中国5）

また、鳥取県の交流地域である韓国江原道、中国吉林省・河北省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、ロシアハバロフスク地方、台湾台中市、米国バーモント州、ジャマイカ、ウエストモアランド県出身者を対象に月額2万円の奨学援助を行い、在県時には地域における国際交流活動への協力を通じて県民の国際理解促進に貢献し、将来、鳥取県と友好交流地域間の架け橋となり得る人材の育成を図っている。（前期 公立鳥取環境大学1名（台湾台中市1）、後期 鳥取大学1名（中国吉林省1）、公立鳥取環境大学1名（台湾台中市1））

ケ 地域の多文化共生推進交流会の実施（県補助事業3／4）

生活者としての外国人住民の文化を尊重しながら日本文化への理解も促し、自然なかたちで相互に交流できる機会を創出することで多文化共生の実践と浸透を図るきっかけづくりとして、感染症予防対策に十分配慮のうえ実施した。

コ 鳥取県多文化共生サポーター制度の運営業務（県委託事業）

鳥取県より委嘱を受けた多文化共生サポーターの活動に対する研修や情報提供を行うとともに、活動報告の共有、活動費の支給、保険加入等の業務を行った。

サ 国際交流ボランティア登録制度の運営（自主事業）

日本語教育、ホームステイ、ホストファミリーのボランティア登録制度を運営し、公的機関や民間団体等の要請に応じて活動の場を紹介することで、県民のボランティア活動の推進に努めた。（日本語教育10名）

(2) 担い手となる人材の育成

ア 医療・コミュニティ通訳ボランティア確保・育成事業の実施（県補助事業3／4）

今後、多文化共生社会を推進していくためには、通訳ボランティアの果たす役割はますます重要であり、ボランティア人材及び人材の質を確保していくため、人材の確保・育成・派遣の三本立てで事業を実施することで、優秀な人材を着実に確保し登録者の拡充に結びつけた。（講座後新規登録者：7名（英語4、中国語1、タイ語1、スペイン語1））

また、登録者の自発的な活動を促進するため、勉強会や意見交換会の会場確保や講師の派遣費用を負担するなど側面的な支援を行った。

イ 地域における日本語教育支援者養成講座の実施（県補助事業3／4）

地域の日本語教育の中核となる人材及び日本語教育ボランティアの初心者向けの研修並びにスキルアップを目的とする研修会を開催した。

ウ 通訳ボランティアスキルアップ講座の実施（県委託事業）

平成29年度から県委託事業として実施してきた本事業により、スポーツの国際大会や海外選手団の受入に対応しうる技量を備えた通訳ボランティアを一定数確保することができた。今後、2024世界パラ陸上神戸大会に出場するジャマイカパラ陸上選手団事前キャンプ誘致を念頭に想定されるパラスポーツの国際案件について、障がいの有無によらず対応できる人員体制を構築すべく、パラスポーツに特化した講座運営業務を受託、実施した。

3 世界につながる県民の国際理解・国際協力推進事業

(1) 国際理解推進事業

ア 米国バーモント州との青少年交流促進事業の実施（県補助事業10／10）

平成30年7月に鳥取県とバーモント州政府が姉妹提携協定書に調印したことを機に、これまで10年間にわたりカウンターパートとして交流事業を進めてきたNPO法人Green Across the World（略称：GATW）と「環境学習を通じた青少年交流」に関する協定を締結したところである。今後さらに強固な体制で国際的視野をもった青少年の育成を図るとともに、鳥取県と米国バーモント州とのさらなる交流を促進するため、県内の高校生等をバーモント州に派遣及び同州の高校生を県内に受け入れる予定であったが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない現状からいずれの事業も前年度に続き

中止とした。

直接の往来ができない中でも交流の灯を絶やさぬよう、代替事業として事業PR動画を制作し、県立高等学校ICT環境の利用など現役高校生と安全に情報共有を図ることのできるプラットフォームに向けた協議を行った。

## (2) 国際協力推進事業

### ア 県費留学生・研修員等の受入（県委託事業）

鳥取県が本県と関係の深い国々の将来を担う青年を「県費留学生」「海外技術研修員」または「協力交流研修員」として招へいし、必要な技術を習得、研究することで母国の発展に大きく寄与する人材となるよう養成するにあたり、併せて県民との友好親善の担い手となることを目的に、受入にかかる研修機関との連絡調整や生活支援等の業務を行った。

なお、自治体職員協力交流事業（中国吉林省）については最後まで来県を検討していたため、県との連絡調整及び宿舍等の確保と管理業務について受託した。

## 4 山陰・夢みなど博覧会記念基金を活用した県民主体・参加型国際交流事業

### (1) 基金による助成事業

県民参加型の地域の国際化に資する交流事業を支援するための助成制度を運営した。

なお、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、予算に対し12%の執行率にとどまった。

#### ア 民間国際交流・協力事業への助成

県内に拠点を置く民間交流団体等が実施する県民参加型の地域の国際化に資する国際交流・協力事業に対し、事業にかかる直接的な経費を同年度内に一団体あたり合計で300万円（青少年事業を含む場合は500万円）を上限に助成した。

#### イ 海外教育旅行への助成

本件の将来を担う児童・生徒の国際性豊かな資質の醸成と、山陰唯一の国際定期便である米子ーソウル便・香港便・上海便及び環日本海定期貨客船の利用促進に資するものとして、県内の小・中学校、高等学校等が実施する海外への教育旅行に対し、経費の一部を助成（パスポート（5年）相当分の半額として5,500円を全員に交付した。ただし、米子ーソウル便・香港便・上海便及び環日本海定期貨客船を利用した場合には、1万円を上乗せして交付）。

### (2) 基金による県民参加型交流事業

#### ア 子どものための異文化理解体験講座の実施

小学生を対象に、多言語による歌やダンス、遊びやゲームの体験などさまざまな国の文化に触れる機会を提供することを目的に実施した。（新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、9～12月にかけて順次開催）

#### イ 国際交流フェスティバルの実施

広く県民と在住外国人との協働による異文化理解を促進するため、県内3地区で開催されている民間団体（実行委員会）主催の国際交流フェスティバルを共催で実施した。

なお、中部と西部については3年ぶりの開催となった。

#### ウ 多文化共生ネットワーク連携事業

### (3) 公益財団法人 鳥取県国際交流財団

平成28年度より、外国人コミュニティや社会活動に積極的に参画している在住外国出身者を主たるメンバーとする「多文化共生ネットワーク会議」を組織し、定期的に意見を交換するとともに、必要な取組を企画し、協働で実施するなど、外国人住民目線で「必要なこと」を実現していくことに取り組んでいる。「多文化共生ポータルサイト」の翻訳などの運営補助のほか、地域における多文化共生推進のための多文化共生出前講座を実施した。

## 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	122,065	112,980	9,085
基本財産資産受取利息	122,065	73,780	48,285
基本財産債券受取利息	0	39,200	△ 39,200
特定資産運用益	12,973	5,550	7,423
基金受取利息	12,601	5,040	7,561
退職給付積立金受取利息	372	510	△ 138
受取会費	198,000	179,000	19,000
賛助会員受取会費	198,000	179,000	19,000
受取補助金等	75,442,793	67,681,806	7,760,987
受取地方公共団体補助金	48,981,531	46,220,366	2,761,165
国際交流財団運営事業費補助金	48,981,531	46,220,366	2,761,165
鳥取県事業受託収益	26,304,707	21,461,440	4,843,267
自治体職員協力交流事業受託金	4,291,888	1,201,917	3,089,971
江原道相互派遣研修員事業受託金	3,313,084	1,202,251	2,110,833
通訳ボランティアスキルアップ講座運営業務受託金	447,964	761,661	△ 313,697
多文化共生サポーター制度運営業務受託金	239,794	131,210	108,584
外国人相談窓口業務委託業務受託金	18,011,977	18,164,401	△ 152,424
受取民間助成金	156,555	0	156,555
C L A I R 助成金	156,555	0	156,555
受取負担金	150,000	150,000	0
受取寄付金	8,348,338	6,260,056	2,088,282
雑収益	522	556	△ 34
受取利息	522	556	△ 34
経常収益計	84,274,691	74,389,948	9,884,743
(2) 経常費用			
管理費	527,467	4,183,148	△ 3,655,681
役員報酬	223,457	1,476,630	△ 1,253,173
給与手当	0	1,442,007	△ 1,442,007
福利厚生費	36,140	318,463	△ 282,323
会議費	3,360	8,842	△ 5,482
旅費交通費	91,280	110,920	△ 19,640
印刷製本費	0	28,275	△ 28,275
賃借料	41,035	20,820	20,215
諸謝金	0	352,000	△ 352,000
租税公課	62,345	47,901	14,444
支払負担金	0	124,500	△ 124,500
委託費	68,860	61,160	7,700
手数料	990	191,630	△ 190,640
事業費	83,822,025	70,206,800	13,615,225
役員報酬	5,541,675	4,229,969	1,311,706
給与手当	30,385,700	27,398,134	2,987,566
臨時雇賃金	8,166,630	6,454,320	1,712,310
退職給付費用	2,556,722	4,339,488	△ 1,782,766
福利厚生費	7,624,452	6,078,964	1,545,488
会議費	11,970	0	11,970
旅費交通費	886,096	406,065	480,031
通信運搬費	1,793,717	1,655,545	138,172
消耗什器備品費	379,513	348,406	31,107
消耗品費	1,593,233	1,641,420	△ 48,187
修繕費	0	12,906	△ 12,906
印刷製本費	283,800	333,872	△ 50,072
燃料費	45,479	60,163	△ 14,684
光熱水料費	2,050,605	1,849,233	201,372
賃借料	4,786,926	4,716,663	70,263
保険料	77,090	71,223	5,867
諸謝金	2,087,732	1,405,478	682,254
租税公課	802,605	822,871	△ 20,266
支払負担金	264,834	117,750	147,084
支払助成金	1,323,500	164,000	1,159,500
支払奨学金	3,000,000	3,240,000	△ 240,000
委託費	3,650,584	3,201,292	449,292
手数料	459,270	257,950	201,320
雑費	1,200	0	1,200
減価償却費(什器備品)	63,720	63,720	0
広告宣伝費	0	13,200	△ 13,200
自治体協力交流研修員滞在費	2,009,017	609,000	1,400,017
自治体協力交流研修員研修付帯費	1,002,626	0	1,002,626
自治体協力交流研修員事務費	200,245	52,917	147,328
江原道職員相互派遣事業研修員滞在費	1,927,161	609,000	1,318,161
江原道職員相互派遣事業研修員研修付帯費	694,453	0	694,453
江原道職員相互派遣事業研修員事務費	151,470	53,251	98,219
経常費用計	84,349,492	74,389,948	9,959,544
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 74,801	0	△ 74,801
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 74,801	0	△ 74,801
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	0	1
什器備品除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	△ 74,802	0	△ 74,802
一般正味財産期首残高	7,800,788	7,800,788	0
一般正味財産期末残高	7,725,986	7,800,788	△ 74,802
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 8,348,338	△ 6,260,056	△ 2,088,282
受取寄付金	△ 8,348,338	△ 6,260,056	△ 2,088,282
当期指定正味財産増減額	△ 8,348,338	△ 6,260,056	△ 2,088,282
指定正味財産期首残高	1,191,274,190	1,197,534,246	△ 6,260,056
指定正味財産期末残高	1,182,925,852	1,191,274,190	△ 8,348,338
III 正味財産期末残高	1,190,651,838	1,199,074,978	△ 8,423,140

## 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	79,225	42,840	0	122,065
基本財産資産受取利息	79,225	42,840		122,065
特定資産運用益	12,973	0	0	12,973
基金受取利息	12,601	0		12,601
退職給付積立金受取利息	372	0		372
受取会費	198,000	0	0	198,000
賛助会員受取会費	198,000	0		198,000
受取補助金等	75,183,196	259,597	0	75,442,793
受取地方公共団体補助金	48,721,934	259,597	0	48,981,531
国際交流財団運営事業費補助金	48,721,934	259,597		48,981,531
鳥取県事業受託収益	26,304,707	0	0	26,304,707
自治体職員協力交流事業受託金	4,291,888	0		4,291,888
江原道相互派遣研修員事業受託金	3,313,084	0		3,313,084
通訳ボランティアスキルアップ講座運営業務受託金	447,964	0		447,964
多文化共生サポーター制度運営業務受託金	239,794	0		239,794
外国人相談窓口業務受託金	18,011,977	0		18,011,977
受取民間助成金	156,555	0	0	156,555
C L A I R助成金	156,555	0		156,555
受取負担金	0	150,000		150,000
受取寄付金	8,348,338	0		8,348,338
雑収益	293	229	0	522
受取利息	293	229		522
経常収益計	83,822,025	452,666	0	84,274,691
(2) 経常費用				
管理費	0	527,467	0	527,467
役員報酬	0	223,457		223,457
福利厚生費	0	36,140		36,140
会議費	0	3,360		3,360
旅費交通費	0	91,280		91,280
賃借料	0	41,035		41,035
租税公課	0	62,345		62,345
委託費	0	68,860		68,860
手数料	0	990		990
事業費	83,822,025	0	0	83,822,025
役員報酬	5,541,675	0		5,541,675
給与手当	30,385,700	0		30,385,700
臨時雇賃金	8,166,630	0		8,166,630
退職給付費用	2,556,722	0		2,556,722
福利厚生費	7,624,452	0		7,624,452
会議費	11,970	0		11,970
旅費交通費	886,096	0		886,096
通信運搬費	1,793,717	0		1,793,717
消耗什器備品費	379,513	0		379,513
消耗品費	1,593,233	0		1,593,233
印刷製本費	283,800	0		283,800
燃料費	45,479	0		45,479
光熱水料費	2,050,605	0		2,050,605
賃借料	4,786,926	0		4,786,926
保険料	77,090	0		77,090
諸謝金	2,087,732	0		2,087,732
租税公課	802,605	0		802,605
支払負担金	264,834	0		264,834
支払助成金	1,323,500	0		1,323,500
支払奨学金	3,000,000	0		3,000,000
委託費	3,650,584	0		3,650,584
手数料	459,270	0		459,270
雑費	1,200	0		1,200
減価償却費(什器備品)	63,720	0		63,720
自治体協力交流研修員滞在費	2,009,017	0		2,009,017
自治体協力交流研修員研修付帯費	1,002,626	0		1,002,626
自治体協力交流研修員事務費	200,245	0		200,245
江原道職員相互派遣事業研修員滞在費	1,927,161	0		1,927,161
江原道職員相互派遣事業研修員研修付帯費	694,453	0		694,453
江原道職員相互派遣事業研修員事務費	151,470	0		151,470
経常費用計	83,822,025	527,467	0	84,349,492
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 74,801	0	△ 74,801
評価損益等計	0	0		0
当期経常増減額	0	△ 74,801	0	△ 74,801
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	1	0	1
什器備品除却損	0	1		1
経常外費用計	0	1	0	1
当期経常外増減額	0	△ 1	0	△ 1
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	△ 74,802	0	△ 74,802
当期一般正味財産増減額	0	△ 74,802	0	△ 74,802
一般正味財産期首残高	△ 38,901,699	46,702,487		7,800,788
一般正味財産期末残高	△ 38,901,699	46,627,685	0	7,725,986
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 8,348,338	0	0	△ 8,348,338
受取寄付金	△ 8,348,338	0		△ 8,348,338
当期指定正味財産増減額	△ 8,348,338	0	0	△ 8,348,338
指定正味財産期首残高	987,274,190	204,000,000		1,191,274,190
指定正味財産期末残高	978,925,852	204,000,000	0	1,182,925,852
III 正味財産期末残高	940,024,153	250,627,685	0	1,190,651,838

## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	35,742,273	42,350,994	△ 6,608,721
前払金	437,663	38,780	398,883
流動資産合計	36,179,936	42,389,774	△ 6,209,838
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産資産	630,868,971	630,868,971	0
基本財産合計	630,868,971	630,868,971	0
(2) 特定資産			
山陰・夢みなと博覧会記念基金積立資産	532,304,000	532,304,000	0
退職給付積立資産	21,284,337	18,727,615	2,556,722
特定資産合計	553,588,337	551,031,615	2,556,722
(3) その他固定資産			
什器備品	63,720	127,441	△ 63,721
電話加入権	224,952	224,952	0
その他固定資産合計	288,672	352,393	△ 63,721
固定資産合計	1,184,745,980	1,182,252,979	2,493,001
資産合計	1,220,925,916	1,224,642,753	△ 3,716,837
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,715,435	5,848,372	1,867,063
前受会費	22,000	28,000	△ 6,000
預り金	544,306	478,788	65,518
未払消費税等	708,000	485,000	223,000
流動負債合計	8,989,741	6,840,160	2,149,581
2. 固定負債			
退職給付引当金	21,284,337	18,727,615	2,556,722
固定負債合計	21,284,337	18,727,615	2,556,722
負債合計	30,274,078	25,567,775	4,706,303
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	1,182,925,852	1,191,274,190	△ 8,348,338
指定正味財産合計	1,182,925,852	1,191,274,190	△ 8,348,338
(うち基本財産への充当額)	(630,868,971)	(630,868,971)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(532,304,000)	(532,304,000)	(0)
2. 一般正味財産	7,725,986	7,800,788	△ 74,802
正味財産合計	1,190,651,838	1,199,074,978	△ 8,423,140
負債及び正味財産合計	1,220,925,916	1,224,642,753	△ 3,716,837

## 貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
<b>I 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現金預金	26,804,558	8,937,715		35,742,273
前払金	0	437,663		437,663
他事業貸付金	0	46,017,096	△ 46,017,096	0
流動資産合計	26,804,558	55,392,474	△ 46,017,096	36,179,936
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産資産	426,868,971	204,000,000		630,868,971
基本財産合計	426,868,971	204,000,000	0	630,868,971
(2) 特定資産				
山陰・夢みなと博覧会記念基金積立資産	532,304,000	0		532,304,000
退職給付積立資産	21,284,337	0		21,284,337
特定資産合計	553,588,337	0	0	553,588,337
(3) その他固定資産				
什器備品	63,720	0		63,720
電話加入権	0	224,952		224,952
その他固定資産合計	63,720	224,952	0	288,672
固定資産合計	980,521,028	204,224,952	0	1,184,745,980
資産合計	1,007,325,586	259,617,426	△ 46,017,096	1,220,925,916
<b>II 負債の部</b>				
1. 流動負債				
未払金	0	7,715,435		7,715,435
前受会費	0	22,000		22,000
預り金	0	544,306		544,306
他事業借入金	46,017,096	0	△ 46,017,096	0
未払消費税等	0	708,000		708,000
流動負債合計	46,017,096	8,989,741	△ 46,017,096	8,989,741
2. 固定負債				
退職給付引当金	21,284,337	0		21,284,337
固定負債合計	21,284,337	0	0	21,284,337
負債合計	67,301,433	8,989,741	△ 46,017,096	30,274,078
<b>III 正味財産の部</b>				
1. 指定正味財産				
寄付金	978,925,852	204,000,000		1,182,925,852
指定正味財産合計	978,925,852	204,000,000	0	1,182,925,852
(うち基本財産への充当額)	(426,868,971)	(204,000,000)		(630,868,971)
(うち特定資産への充当額)	(532,304,000)	(0)		(532,304,000)
2. 一般正味財産	△ 38,901,699	46,627,685		7,725,986
正味財産合計	940,024,153	250,627,685	0	1,190,651,838
負債及び正味財産合計	1,007,325,586	259,617,426	△ 46,017,096	1,220,925,916



## 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

## (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- 1 満期保有目的の債券 ..... 移動平均法による原価法によっている。ただし、債券金額と異なる価額で取得した債券で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法(定額法)によっている。
- 2 その他の有価証券  
時価のあるもの ..... 期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。
- 時価のないもの ..... 移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法  
定額法によっている。

## (3) 引当金の計上基準

- 退職給付引当金 ..... 期末退職給与の自己都合退職要支給額に相当する金額を計上している。

## (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

## 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産資産	630,868,971	0	0	630,868,971
小 計	630,868,971	0	0	630,868,971
特定資産				
山陰・夢みなど博覧会記念基金積立資産	532,304,000	0	0	532,304,000
退職給付積立金	18,727,615	2,556,722	0	21,284,337
小 計	551,031,615	2,556,722	0	553,588,337
合 計	1,181,900,586	2,556,722	0	1,184,457,308

## 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
基本財産資産	630,868,971	(630,868,971)		
小 計	630,868,971	(630,868,971)	0	0
特定資産				
山陰・夢みなど博覧会記念基金積立資産	532,304,000	(532,304,000)		
退職給付積立金	21,284,337			(21,284,337)
小 計	553,588,337	(532,304,000)	0	(21,284,337)
合 計	1,184,457,308	(1,163,172,971)	0	(21,284,337)

(3) 公益財団法人 鳥取県国際交流財団

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産 什器備品	318,600	254,880	63,720
合 計	318,600	254,880	63,720

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 財団運営事業費補助金	鳥取県	0	48,981,531	48,981,531	0	—
合 計		0	48,981,531	48,981,531	0	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 受取寄付金	8,348,338
合 計	8,348,338

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
普通預金	山陰合同銀行 湖山出張所	運転資金として	35,742,273	
	山陰合同銀行 湖山出張所	運転資金として	8,442,771	
前払金	鳥取銀行 湖山支店	運転資金として	0	
	鳥取銀行 鳥取県庁支店	運転資金として	372,672	
	鳥取信用金庫 湖山支店	運転資金として	1,108	
	山陰合同銀行 鳥取県庁支店	運転資金として	192	
	山陰合同銀行 鳥取県庁支店	運転資金として	120,972	
	山陰合同銀行 鳥取県庁支店	山陰・夢みなと博覧会記念基金活用事業の運転資金として	26,804,558	
		公益		
			437,663	
		(株) 福祉保険サービス	福祉サービス総合補償保険料	7,353
		(株) エステートセンター	研修員用宿舎 火災・家財保険契約更新料	19,500
流動資産合計			36,179,936	
	基本財産	山陰合同銀行 湖山出張所	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	630,868,971
		鳥取信用金庫 湖山支店		31,256,224
	鳥取銀行 鳥取県庁支店	9,635,215		
	山陰合同銀行 鳥取県庁支店	13,917,532		
	山陰合同銀行 鳥取県庁支店	200,000,000		
	山陰合同銀行 鳥取県庁支店	172,060,000		
	山陰合同銀行 鳥取県庁支店	4,000,000		
	特定資産	退職給付積立資産	運用益を管理費の財源として使用している。	200,000,000
		山陰・夢みなと博覧会記念基金積立資産	職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産	21,284,337
	其他固定資産	大和ネクスト銀行	職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産	21,284,337
		大和ネクスト銀行	職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産	532,304,000
		大和ネクスト銀行	職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産	21,284,337
仕器備品	電話加入権	職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産	532,304,000	
	電話加入権	職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産	21,284,337	
固定資産合計			1,184,745,980	
			1,220,925,916	
流動負債	未払金	外国人相談窓口業務運営費委託料不用返納額	7,715,435	
		多文化共生センター制度運営業務委託料不用返納額	1,988,023	
未払消費税等	消費税込額	財団運営事業費補助金不用返納額	410,206	
		江原道職員相互派遣研修員受入業務委託料不用返納額	1,655,548	
		自治体職員協力交流研修員受入業務委託料不用返納額	351,716	
		山陰・夢みなと博覧会記念基金民間国際交流・協力事業助成金	946,456	
		山陰・夢みなと博覧会記念基金海外教育旅行助成金	75,000	
		山陰・夢みなと博覧会記念基金海外教育旅行助成金	280,500	
		山陰・夢みなと博覧会記念基金海外教育旅行助成金	363,000	
		職員時間外手当3月分	324,453	
		カウンター職員賃金(3/16~3/31分)	75,255	
		国際交流コーディネーター賃金(3/16~3/31分)	170,908	
		多文化共生コーディネーター賃金(3/16~3/31分)	97,800	
		社会保険料3月分	352,821	
		労働保険料	36,567	
		冷暖房加算金(倉吉事務所)	26,358	
		冷暖房加算金(米子事務所)	83,070	
		入居者割当光熱水費(米子事務所)	126,245	
		清掃委託料(倉吉事務所)	4,774	
		清掃委託料(米子事務所)	8,800	
		新聞購読料3月分(本所)	2,600	
		新聞購読料3月分(本所)	4,000	
		新聞購読料3月分(本所)	3,400	
		新聞購読料3月分(本所)	3,950	
		新聞購読料3月分(倉吉事務所)	2,600	
		新聞購読料3月分(倉吉事務所)	1,300	
		新聞購読料3月分(米子事務所)	3,300	
		新聞購読料3月分(米子事務所)	2,600	
		電話料金3月分(本所)	15,441	
		サイボウズOFFICEスタンダード租用料3月分(本所、倉吉、米子事務所)	4,400	
		モバイルルータ通信料3月分(本所、倉吉、米子事務所)	8,976	
		コピー料金3月分(本所、倉吉、米子事務所)	41,427	
		機関紙送料3月分(本所、米子事務所)	84,972	
		IB基本手数料3月分(本所)	3,300	
		BEATレンタル料3月分(本所、倉吉、米子事務所)	14,080	
		医療・コミュニティ通訳ボランティア	8,956	
		研修員宿舎電気料金	5,146	
		定期購読雑誌購読料	3,512	
		交換用蛍光灯購入代金(本所)	19,800	
		消耗品購入代金	10,450	
		支出調書印刷代	7,150	
		会計顧問報酬3月分	11,000	
		国際交流コーディネーター通勤費用(3/16~3/31分)	2,086	
		多文化共生コーディネーター通勤費用(3/16~3/31分)	6,088	
		カウンター職員通勤費用(3/16~3/31分)	1,500	
		国際交流コーディネーター出張旅費	11,350	
		ガソリン代3月分(本所)	3,751	
		一般廃棄物処理料2、3月分(米子事務所)	8,800	
		HP保守維持管理費3月分	22,000	
		多文化共生サポーター活動費3月分(4団体)	20,000	
			708,000	
			708,000	

(3) 公益財団法人 鳥取県国際交流財団

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
前受会費     預り金	賛助会費（個人会費）令和5～9年度分		22,000
	賛助会費（個人会費）令和5～7年度分		10,000
	賛助会費（個人会費）令和5～6年度分		6,000
	賛助会費（個人会費）令和5～6年度分		4,000
	賛助会費（個人会費）令和5年度分		2,000
	源泉所得税 3月6～31日 報酬料金等		544,306
	源泉所得税 3月20日 給与		48,430
	住民税 3月20日 給与		64,999
	社会保険料 2月21日 給与（過大控除分）		81,600
	社会保険料 3月20日 給与		2,296
流動負債合計			346,981
(固定負債)			8,989,741
退職給付引当金	職員	公益 職員に対する退職金の支払いに備えた引当金	21,284,337
固定負債合計			21,284,337
負債合計			21,284,337
正味財産			30,274,078
			1,190,651,838

## 附 属 明 細 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

### 1 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分・資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産資産	<b>630,868,971</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>630,868,971</b>
山陰合同銀行 湖山出張所	31,256,224	0	0	31,256,224
山陰合同銀行 鳥取県庁支店	576,060,000	0	0	576,060,000
鳥取信用金庫 湖山支店	9,635,215	0	0	9,635,215
鳥取銀行 鳥取県庁支店	13,917,532	0	0	13,917,532
基本財産計	<b>630,868,971</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>630,868,971</b>
特定資産				
山陰・夢みなど博覧会記念基金積立資産	<b>532,304,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>532,304,000</b>
大和ネクスト銀行 〆ンテン支店	50,406,000	0	0	50,406,000
大和ネクスト銀行 〆ンテン支店	431,492,000	0	0	431,492,000
大和ネクスト銀行 〆ンテン支店	50,406,000	0	0	50,406,000
退職給付積立資産	<b>18,727,615</b>	<b>2,556,722</b>	<b>0</b>	<b>21,284,337</b>
鳥取銀行 鳥取県庁支店	18,727,615	2,556,722	0	21,284,337
特定資産計	<b>551,031,615</b>	<b>2,556,722</b>	<b>0</b>	<b>553,588,337</b>

### 2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退 職 給 付 引 当 金	18,727,615	2,556,722	0	0	21,284,337

### (3) 公益財団法人 鳥取県国際交流財団

令和5年度事業計画書

基本方針

人種、国籍、文化の違いを認め、尊重し、互いに支え合う多文化共生の社会づくりを実現するため、県民の国際理解と地域の活性化を図り、世界に開かれ、世界に貢献する鳥取県づくりに寄与するための諸事業を展開していく。また、在留外国人が安心して訪問、生活できる多文化共生社会を推進していくため、平成31年4月より、鳥取県が外国人受入環境整備交付金を活用した生活全般における多言語での情報提供や相談を受け付ける窓口を設置するにあたり、「鳥取県国際交流財団外国人相談窓口」として業務の委託を受けており、令和5年度も引き続き関係機関との連携を図りながら、本所、倉吉事務所、米子事務所において関係する事業を実施する。特に、アフターコロナの新しい生活様式における日常生活での幅広く複雑化する相談への適切な対応、生活者としての外国人に対する日本語支援の充実、きめ細やかな多言語情報の提供や言語支援など直面する課題の解決に向けて、国・県・市町村・民間団体等との連携を強化する。

法人管理においては、評議員会、理事会の運営を適正に行い、公益認定法人として法令を遵守し、役職員一体となって定款と内部規程に沿った業務執行体制の整備と持続可能な財政基盤の強化に努める。

＜公益目的事業＞ 国際交流・多文化共生の推進

#### 1 地域の国際化に向けた情報の収集・提供・発信

##### (1) 多言語情報の提供と発信

###### ア ホームページの運営（県補助事業1/2）

財団の事業やサービスを広く紹介し、地域の国際交流・協力活動についての関心を高めるための情報提供の場としての機能の充実を図るとともに、多言語情報を必要としている住民にとって利用しやすいホームページとするため、緊急のお知らせ、多言語相談フォーム、SNS（Facebook）との連携などさらに運用の充実を図っていく。

###### イ SNSによる情報発信（県補助事業1/2）

直接利用者とコミュニケーションを図れるツールとしてSNSを用い、現在の職員体制で運用可能な「やさしい日本語及び英語、中国語簡体字、中国語繁体字、ベトナム語版」の4言語のFacebookページを公開する。よりよい運用を検討しながら、平時に有益な情報ツールとして認識され信頼を得ることで、緊急時にも有効に活用できるツールとして定着させていく。

###### ウ 機関紙の発行（県補助事業1/2）

財団の事業や、地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」を発行する。（年3回・A4カラー刷 12ページ 各号2,000部 一部記事については英語・中国語・ベトナム語でも表記）

##### (2) 交流拠点の運営と関係機関との連携

###### ア 本所・倉吉事務所・米子事務所の運営（県補助事業10/10）

全県的な国際化推進のため、本所、倉吉事務所、米子事務所を運営し、国際交流、国際協力、多文化共生の拠点としての機能充実を図り、関連図書や外国語学習教材、日本語学習教材、外国語の新聞・雑誌、民族衣装等を整備し、利用者の閲覧及び貸出に供する。

また、本所においては、毎月第2日曜日の午後に行行政書士による在留資格相談日を設ける。

## イ 関係機関との連携（自主事業）

県内に拠点を置く国際交流・協力団体や市町村担当者のほか関係機関と連携し、地域の国際交流の推進と活性化のために共に活動していくための情報交換とともに、多文化共生社会の浸透を図るための意見交換を行う。

また、先進的な取組を学び、財団の事業に反映させていくための地域国際化協会連絡協議会等における研修や意見交換会への参加、地域への貢献、外国人コミュニティとの連携などにも積極的に取り組んでいく。

## 2 地域の国際化につながる活動の推進と在住外国人トータルサポート事業

## (1) あんしん生活・コミュニケーション支援

ア 多文化共生コーディネーターの配置（県委託事業・外国人受入環境整備交付金（運営）、  
県補助事業）

外国人住民の増加及び多国籍化・多言語化に伴い、単に言葉の問題にとどまらず解決しなければならない問題がますます多様化・複雑化してきている現状において、県内在住外国人ならではの目線・視点をもって、日本人では気づきにくい日本人と外国人との文化的な背景や慣習・制度の違いによるギャップを把握し、寄り添いながら課題解決に取り組む「多文化共生コーディネーター」を配置する。（ベトナム出身1名）

日本人も外国人も共に暮らしやすいまちづくりを目指し、事業の企画立案・実践や、関係者間の調整及びコーディネート、地域住民に対する多文化共生意識の啓発等を行う。

## イ 国際交流コーディネーターの配置（県委託事業・外国人受入環境整備交付金（運営））

外国出身者の日常生活における言語及び文化の違いによる障壁をできるだけ低くするべく、英語圏、中国語圏、ベトナム出身の国際交流コーディネーターを配置し、外国人相談窓口業務として面談や電話等により、さらにトリオフォン（三者通話機能）、TV会議システム等も活用して母国語で困りごと等の聞き取りや通訳のほか、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行う。

また、ホームページやFacebook、機関紙といった情報ツールによる発信情報等の作成及び翻訳、学校や地域の要請に応じた国際理解講座の講師など地域の国際交流事業にも積極的に参画していく。（英語圏出身1名、中国語圏出身2名、ベトナム出身1名）

## ウ 【新規】鳥取県における地域日本語教育推進体制整備事業

（県委託事業・文化芸術振興費補助金（地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業））

令和元年6月に「日本語教育の推進に関する法律」が施行され、地域の状況に応じた施策を策定・実施することが地方公共団体の責務とされた。財団では令和3年度に「日本語クラスのあり方検討会」を設置し、コロナ禍にあっても地域に在住する外国人が自立した言語使用者として生活していく上で必要となる日本語能力を身に付け、日本語で意思疎通を図り生活できるよう支援していくための持続可能な運営方法について検討し、地域の日本語教育推進体制の整備、学習機会の確保・充実、日本語教育に携わる人材の育成、企業等関係機関との連携について提言を取りまとめた。これを機にこれまでの事業成果を活かしつつ、推進体制の構築と持続を目標とした年次計画のもと、県、市町村、財団、支援人材それぞれの役割を明確にしながら、連携・協働を進めていく。

<実施内容>

① 総合調整会議の設置

有識者、日本語教育関係者等から成る総合調整会議を設置し、県内における地域日本語教育の現状把握と課題を整理するとともに、県の基本方針に基づいて、さらに日本語教育に特化した総合的な推進計画（方向性と取組）を策定することで関係機関の役割を明確にし、連携体制を構築する。

② 地域日本語教育総括コーディネーターの配置

事業推進の中心的な役割を果たす「総括コーディネーター」を配置し、関係機関等との連携や事業を推進する協力体制を構築する。併せて事業の推進に必要な資質と実践力の向上を図る。

③ 地域日本語教育コーディネーター候補者の育成（別掲）

④ 「生活者としての外国人」に対する日本語講師養成講座の実施（別掲）

⑤ やさしい日本語の普及・活用

地域日本語教育の理解と、コミュニケーション促進を目的とする「やさしい日本語」の普及・啓発のための出前講座を実施する。

エ 日本語クラスの運営（県補助事業3/4）

外国出身者が日常生活のうえで必要最低限のコミュニケーション能力を身につけ、自立した生活をおくる一助となるよう、専任講師とボランティアによるクラス形式の日本語教室を運営する。近年、主にベトナム人等の技能実習生の増加等により学習希望者が増加していることを踏まえ、学習内容や形式など各地域の学習者の特性にあわせた運営を工夫するとともに、運営に携わる講師及びボランティアの研修や意見交換の場を組み入れ、クラス運営の一体的な充実を図っていく。なお、令和3～4年度に試行したオンライン学習プログラムの研究は「鳥取県における地域日本語教育推進体制整備事業」において検討していく。

○東部：日曜日 基礎クラス・初級クラス・中級クラス・生活漢字クラス・

子どもにほんごクラス

○中部：水曜日 初級クラス、日曜日 基礎クラス・初級クラス

○西部：日曜日 基礎クラス・初級クラス

オ 医療・コミュニティ通訳ボランティアの派遣（県補助事業3/4）

関係機関または外国出身者からの要請に応じて、登録している医療通訳ボランティアを医療及び保健機関等に派遣する。

また、コミュニティ通訳ボランティアを保育園・幼稚園や学校、福祉等の行政窓口へ派遣し、医療や適切な制度説明等に必要言葉の支援を行うことで、言葉の壁を少しでも緩和しながら鳥取県で安心して生活できる在住外国人のセーフティネットとして運用する。

カ 防災・災害時支援事業の実施（県補助事業3/4）

大規模災害時に、災害弱者となりやすい外国出身者の不安を取り除き、外国出身者が防災についての知識を得たり、実際に体験してみることでいざというときに備える意識を醸成するため、日本語クラスなどを利用した防災学習を実施する。また、県と連携・協力し「やさしい日本語」の普及・活用を進めていく。

キ 外国人相談窓口運営事業（県委託事業・外国人受入環境整備交付金（運営））



平成31年4月の改正入管法施行とともに、県より外国人受入環境整備交付金を財源とする「鳥取県国際交流財団外国人相談窓口業務（運営）」を受託し、これまで行ってきた外国人相談を拡充して各事務所に窓口を設け、相談内容に応じた専門機関との連携を図る。職員で対応できない言語については多言語対応アプリを搭載したタブレット等翻訳機器により対応する。

ク 多文化共生サポート事業（県委託事業・外国人受入環境整備交付金（運営））

- ① 多文化共生ポータルサイトの運営（「重要なお知らせ」「せいかつ安心情報」「相談フォーム」の翻訳（回答）及び専門機関への同行、対応）
- ② 広報業務（市町村窓口等で相談窓口など財団のサービス内容について紹介するフェイブルブックの配布、PRチラシ等の作成）
- ③ 専門機関との連携強化（専門家による個別相談会、在住外国人のための各種セミナーの開催、外国人相談窓口関係機関連絡会議による情報共有と連携強化を図る）

ケ 私費外国人留学生奨学金の支給（県補助事業10/10）

県内の高等教育機関に在籍する私費留学生に対し、月額2万円の奨学金を支給し勉学生生活を支援する。なお、奨学生には「国際交流活動ボランティア」として当財団や地域の国際交流活動への貢献を促す。

また、「鳥取県友好提携・交流地域私費外国人留学生奨学金」として、一般奨学生と同様に月額2万円の奨学金を支給し、鳥取県と関係の深い地域との交流の牽引役としての協力を期待するとともに、地域の国際交流事業への積極的な参画を促していく。

コ 地域の多文化共生推進交流会の実施（県補助事業3/4）

生活者としての外国人住民の文化を尊重しながら、日本文化の理解も促し、自然なかたちで相互に交流できる機会を創出し、県民の中で身近な地域の多文化共生推進のリーダーの養成も含め、各地域での多文化共生の実践と浸透を図るきっかけづくりとする。

サ 鳥取県多文化共生サポーター制度の運營業務（県委託事業）

外国人住民の抱える問題を早期に発見し迅速かつ的確に対応するため、外国人住民と行政等との間に立って地域での橋渡し役となる担い手を県と協力して発掘し、多文化共生サポーターとして県が委嘱した後、その活動に係る制度の運營業務を受託、実施する。

シ 国際交流ボランティア登録制度の運営（自主事業）

交流活動、ホストファミリー等のボランティア登録制度を運営し、公的機関や民間団体等の要請に応じて紹介することにより、県民のボランティア活動を推進する。

(2) 担い手となる人材の育成

ア 医療・コミュニティ通訳ボランティア確保・育成事業の実施（県補助事業3/4）

今後、多文化共生社会を推進していくためには、専門通訳ボランティアの果たす役割はますます重要であり、ボランティア人材及び人材の質を確保していくため、人材の確保・育成・派遣の三本立てで事業を実施することで、優秀な人材を着実に確保し未登録や登録の少ない言語の拡充につなげていく。なお、アフターコロナの効率的かつ持続可能な開催形式として、全講座オンラインと会場受講とのハイブリッド方式で開催する。

<専門通訳ボランティアの一体的な充実>

- ① 確保事業 → 人材確保のための導入研修

### (3) 公益財団法人 鳥取県国際交流財団

資質・適性のある活動候補者（希望者）について、基本的な専門通訳ボランティア派遣制度の理解、通訳者としての心得（県内における多文化共生の現状、通訳倫理、派遣事例）などの導入研修を開催する。

#### ② 育成事業 → スキルアップ講座、自発的活動促進支援

言語及び医療の専門知識、対人援助能力など専門通訳ボランティア登録者としてのさらなる資質向上とモチベーションの維持を目的にスキルアップ研修会を実施する。

併せて、登録者の自発的な活動を促進するため、勉強会や意見交換会会場の確保、講師の派遣など側面的な支援を行う。

#### ③ 派遣事業 → 医療・コミュニティ通訳ボランティア派遣事業（別掲）

#### イ【新規】地域日本語教育コーディネーター候補者の育成

（県委託事業・文化芸術振興費補助金（地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業））

県内を三地域に分け、それぞれの地域を担当する「地域日本語教育コーディネーター」候補者を育成し、日本語教育プログラムの編成及び実施に必要な資質の向上を図る。（東部・中部・西部 各1名）

#### ウ【組替】「生活者としての外国人」に対する日本語講師養成講座の実施

（県委託事業・文化芸術振興費補助金（地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業））

これまで実施してきた「地域における日本語教育支援者養成講座」を一新し、地域の日本語教育の専門的な知識を有する人材を育成する養成講座を開催する。

#### エ 通訳ボランティアスキルアップ講座の実施（県委託事業）

平成29年度から県委託事業として実施してきた本事業により、スポーツの国際大会や海外選手団の受入れに対応し得る技量を備えた通訳ボランティアを一定数確保し堅持する。今後、2024世界パラ陸上神戸大会に出場するジャマイカパラ陸上選手団事前キャンプ誘致を念頭に今後想定されるパラスポーツの国際案件について、障がいの有無によらず対応できる人員体制を構築すべく、パラスポーツに特化した講座運営業務を受託、実施する。

### 3 世界につながる県民の国際理解・国際協力推進事業

#### (1) 国際理解推進事業

##### ア 米国バーモント州との青少年交流促進事業の実施（県補助事業10/10）

平成30年7月に鳥取県とバーモント州政府が姉妹提携協定書に調印したことを機に、これまで10年間にわたりカウンターパートとして交流事業を進めてきたNPO法人Green Across the World（略称：GATW）と「環境学習を通じた青少年交流」に関する協定を締結し、さらに強固な体制で国際的視野をもった青少年の育成を図るとともに、鳥取県と米国バーモント州とのさらなる交流を促進するため、感染症予防対策を講じながら同州の高校生を県内に受け入れ、鳥取県の自然・歴史・文化などの体験、高校の授業参加プログラムなどを通じた交流を行う。また、県内の高校生等をバーモント州に派遣し、生きた英語に触れながら文化や生活習慣を学び、現地の高校生と共に環境学習や米国の学校生活を体験するなどの相互交流事業を展開する。（受入：4月24～30日を予定、派遣：10月中・下旬を想定）

#### (2) 国際協力推進事業

##### ア 県費留学生・研修員等の受入れ（県委託事業）

鳥取県と関係の深い国々の将来を担う青年を招き、必要な技術を習得、研究することで母国の発展に大きく寄与する人材となるよう養成し、併せて県民との友好親善の担い手となることを目的に、県からの委託を受けて、県内で技術研修を行う研修員等の受入業務を行う。

- ① 韓国江原道相互派遣研修生受入事業
- ② 自治体職員協力交流研修員受入事業（中国吉林省）
- ③ ブラジル県費留学生・研修員受入事業

#### 4 山陰・夢みなと博覧会記念基金を活用した県民主体・参加型国際交流事業

##### (1) 基金による助成事業

###### ア 民間国際交流・協力事業への助成

県内に拠点をおく民間交流団体等が実施する県民参加型の地域の国際化に資する国際交流・協力事業に対し、事業にかかる直接的な経費を同一年度内に一団体あたり合計で300万円（青少年事業を含む場合は500万円）を上限に助成する。

###### イ 海外教育旅行への助成

本県の将来を担う児童・生徒の国際性豊かな資質の醸成と、国際定期便の利用促進に資するものとして、県内の小・中学校、高等学校等が実施する海外への教育旅行に対し、経費の一部を助成する。（パスポート（5年）相当分の半額として5,500円を全員に交付。ただし、米子ーソウル便・香港便・上海便等を利用した場合には、1万円を上乗せして交付。）

##### (2) 基金による県民参加型交流事業

###### ア 子どものための異文化理解体験講座の実施

小学生を対象に、学校に直接出向き外国人講師との多言語による歌やダンス、遊びやゲームの体験を通じてさまざまな国の文化に触れ、世界の中の日本について考える機会を提供する講座を実施する。

###### イ 国際交流フェスティバルの実施

多文化共生社会の実現に向けて、誰でも気軽に交流ができる機会を広く提供するとともに、県民と在住外国出身者との協働による異文化理解の促進を目指して、県内三地区で国際交流フェスティバルを実施する。（東部：11月23日、中部：11月12日、西部：10月1日を予定）

###### ウ 多文化共生ネットワーク連携事業

県内で外国人の定住化が進む中で、多様な文化を持つ人々が尊重し合いながら生活していく地域づくりに向けて平成28年度から取り組んでおり、外国出身者の声を直接聴き、事業に反映させていく場としての「多文化共生ネットワーク会議」の運営と、協働事業を実施する。

## 収 支 予 算 書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	122	173	△ 51	
特定資産運用益	50	50	0	
受取会費	186	200	△ 14	
受取補助金等	101,395	87,756	13,639	
受取負担金	780	150	630	
受取寄附金	15,196	15,925	△ 729	
雑収益	2	2	0	
経常収益計	117,731	104,256	13,475	
(2) 経常費用				
事業費	125,117	109,128	15,989	
職員給与費	32,248	34,127	△ 1,879	
その他事業費	92,869	75,001	17,868	
管理費	339	2,928	△ 2,589	
その他管理費	339	2,928	△ 2,589	
経常費用計	125,456	112,056	13,400	
当期経常増減額	△ 7,725	△ 7,800	75	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 7,725	△ 7,800	75	
一般正味財産期首残高	7,726	7,800	△ 74	
一般正味財産期末残高	1	0	1	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 15,196	△ 15,925	729	
当期指定正味財産増減額	△ 15,196	△ 15,925	729	
指定正味財産期首残高	1,182,926	1,191,274	△ 8,348	
指定正味財産期末残高	1,167,730	1,175,349	△ 7,619	
III 正味財産期末残高	1,167,731	1,175,349	△ 7,618	

## 収支予算書内訳表

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	121	1		122
特定資産運用益	50	0		50
受取会費	0	186		186
受取補助金等	101,395	0		101,395
受取負担金	630	150		780
受取寄附金	15,196	0		15,196
雑収益	0	2		2
経常収益計	117,392	339	0	117,731
(2) 経常費用				
事業費	125,117	0		125,117
職員給与費	32,248	0		32,248
その他事業費	92,869	0		92,869
管理費	0	339		339
その他管理費	0	339		339
経常費用計	125,117	339	0	125,456
当期経常増減額	△ 7,725	0	0	△ 7,725
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,725	0	0	△ 7,725
一般正味財産期首残高	△ 38,902	46,628	0	7,726
一般正味財産期末残高	△ 46,627	46,628	0	1
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 15,196	0		△ 15,196
当期指定正味財産増減額	△ 15,196	0	0	△ 15,196
指定正味財産期首残高	978,926	204,000		1,182,926
指定正味財産期末残高	963,730	204,000		1,167,730
III 正味財産期末残高	917,103	250,628	0	1,167,731

## (4) 一般財団法人 因幡街道ふるさと振興財団経営状況報告書

### 法人の概要

- 1 名 称 一般財団法人 因幡街道ふるさと振興財団
- 2 目 的 国の重要文化財である石谷家住宅を近代和風建築の代表的な文化財産として将来へ継承しながら、石谷家住宅を中心とした歴史的町並みが残る智頭宿を交流拠点ゾーンとした因幡街道沿いの文化施設との連携を図った事業を展開することにより、地域住民の文化生活の向上を図り、もって地域の振興に資することを目的とする。
- 3 組織変更認可年月日 平成25年3月21日  
(財団法人因幡街道ふるさと振興財団設立許可年月日  
平成12年5月24日)
- 4 組織変更登記年月日 平成25年4月1日  
(財団法人因幡街道ふるさと振興財団設立登記年月日  
平成12年6月1日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 26,100,000円  
鳥取県出えん金 10,000,000円  
関係市町村出えん金 12,000,000円  
民間団体出えん金 4,100,000円
- 6 役 員 等 評 議 員 7人 理 事 7人 監 事 2人  
評 議 員 金兒 英夫 (智頭町長)  
" 石谷 正樹  
" 石谷 樹人 (石谷林業株式会社代表取締役社長)  
" 飛田 範夫 (元公立大学法人長岡造形大学教授)  
" 江面 嗣人 (学校法人加計学園岡山理科大学建築学科教授)  
" 藤井 恵介 (元国立大学法人東京大学大学院教授)  
" 降幡 廣信 (降幡設計事務所)  
代表理事 長石 彰祐 (元智頭町教育長)  
理 事 田中 靖 (智頭町教育長)

理 事 八木 俊英 (株式会社鳥取銀行取締役常務執行役員)  
" 井嶋 泰雄 (鳥取県輝く鳥取創造本部観光交流局交流推  
進課課長)  
" 田村 文孝 (鳥取信用金庫常勤理事)  
" 草刈 久富 (鳥取いなば農業協同組合非常勤理事)  
" 秋下 宗一 (株式会社山陰合同銀行専務執行役員)  
監 事 葉狩 健一 (智頭町観光協会監事)  
" 平尾 貞雄 (栄興商事株式会社代表取締役)

7 職 員 3人

8 事 務 所 八頭郡智頭町大字智頭396番地

#### 令和4年度事業実施状況

令和4年度は、新型コロナウイルス第8波の影響で12月、1月は団体入館者なしという状況になったが、個人入館者により年間入館者数は14,149人となり、昨年度より28%増となった。

今後も感染症流行により誘客において厳しい状況が続くと予想される中でも、入館者に石谷家住宅の良さを知ってもらうため、職員による案内の充実、会員への情報提供、展示品の充実及び喫茶室、売店の売上増に取り組み、「リピーター」増を目指し、客単価のアップによる経営の安定を図った。

#### 事業内容

##### (1) 文化美術品展示事業

###### ア 石谷家住宅 お雛様展

会期：令和4年1月22日（土）～4月24日（日）

- ・1号蔵展示室に石谷家の雛人形、主屋に智頭町内外の方々からの寄贈・寄託の雛人形及び天神人形を展示した。
- ・毎年恒例の展示ではあるが、マスコミにも取り上げられ明るい話題作りとなった。
- ・令和4年度は、例年行っている根本幽娥の「内裏雛図」の軸装（鳥取県立博物館所蔵品）の展示は見合わせた。

###### イ 小林博道竹細工昆虫展

会期：令和4年4月1日（金）～4月29日（金）

令和4年7月1日（金）～7月31日（日）

令和4年9月10日（土）～10月1日（土）

- ・小林博道氏の煤竹を使った作品の展示販売を実施した。
- ・「オニヤンマ」や「赤とんぼ」の昆虫作品の新作があり、子どもたちが楽しそうに眺めていた。
- ・来館者からは、小林氏の説明や作品が大変好評であり、多くの喜びの声が寄せられた。
- ・昆虫作品のほかにも竹のスプーンや箸、バターナイフ等の日用品の販売もあり、売上増につながった。また、夏の展示から新発売となった「なっとう混ぜ棒」の売れ行きが良かった。
- ・日本海新聞のほか、NHKからの取材もあり、集客へとつながった。

###### ウ たなかかおる童画展

会期：令和4年4月21日（木）～6月5日（日）

第一期 令和4年4月21日（木）～5月2日（月）

第二期 令和4年5月3日（水・祝）～5月17日（火）

第三期 令和4年5月19日（木）～6月5日（日）

- ・会期を3回に分け、作品を入れ替えながら、鳥取市在住の童画家・たなかかおる氏の童画及びポストカードの展示販売を実施した。
- ・根強いファンが多く、たなか氏も都合がつく日は在廊したことで、初日から売上アップにつながった。また、日本海新聞に掲載されたことで、集客へとつながった。

###### エ 安部朱美創作人形展 繋がり

会期：令和4年4月28日（木）～7月3日（日）

- ・「繋がり」をテーマに南部町出身・米子市在住の創作人形作家・安部朱美氏の作品を1号蔵展示室と主屋全館に展示した。あわせて、書籍やポストカードなどのグッズ販売も実施した。
- ・日本海新聞に大きく取り上げられたことや、新聞広告の影響もあり、今年度は「春の庭園特別公開」を中止したにも関わらず、昨年度を上回る入館者数となった。また、5月3日開催のギャラリートークはコロナ禍のため事前告知を控えたにも関わらず、30名ほどの来館があった。
- ・多くの来館者からは「感動した」との声が聞かれた。

###### オ 鳥取木材工芸振興会展示販売

会期：令和4年5月1日（日）～5月16日（月）



令和4年11月10日(木)～11月23日(水)

- ・毎年、春と秋に行っている鳥取木材工芸振興会による展示即売会を実施した。
- ・昨年度からメンバーに変更があったが、例年並みの売上げがあった。
- ・石谷氏庭園「秋の庭園公開」の時期と合わせて開催したため、売れ行きもよく、特に「木の鏡餅」は在庫が全て売り切れ、再入荷後も残り2個になるほどの売れ行きであった。
- ・木のカスタネットやまな板などの木工芸以外にもガラスのアクセサリ作品等があり、作品のバリエーションが豊富なイベントとなった。

カ 暮らしの竹細工と草の布展

会期：令和4年6月10日(金)～6月27日(月)

- ・智頭町板井原地区在住の荒井よし子(工房名「草緑」)氏と鳥取市在住の齋江夫妻(工房名「仁人竹工房」)による染め物と竹細工の展示販売を実施した。また、会期中には2号蔵にて4回のワークショップを実施した。
- ・智頭町内には手仕事や民芸への関心が高い方々が多く、ワークショップへの積極的な参加や展示を見て「わくわくする!」といった喜びの声が聞かれた。
- ・ワークショップに関して会期前から数件の問い合わせがあり、当日は老若男女問わず多くの参加者があった。
- ・日本海新聞(6月15日(水))や日本海テレビお出かけ情報アプリ「6月お出かけ情報」などメディアにも取り上げられ、集客へとつながった。

キ 橋詰峯子 七宝 故郷の自然と共に

会期：令和4年7月8日(金)～8月7日(日)

- ・鳥取県無形文化財「七宝」の保持者にも認定されている、橋詰峯子氏の七宝作品を展示した。展示数は23作品に及び、処女作から近年の作品まで歴代作品を展示した。また、売店では七宝焼きのペンダントや香合を販売した。
- ・橋詰氏は鳥取市在住のためか、鳥取市内の来館者が多くみられた。
- ・展示だけでなく、物販があることが珍しいと来館者も喜ばれていた。

ク 西尾正道 絞り染め展 染空閑

会期：令和4年7月1日(金)～8月7日(日)

- ・鳥取市佐治町在住の西尾正道氏による絞り染めの展示販売を実施した。ハンカチや卓布、手ぬぐいなど数多くの作品が販売された。
- ・卓布や手ぬぐいの売れ行きが良く、本展示を目当てに来館し、一度に5点以上の作品を購入する来館者もあった。
- ・日本海テレビのお出かけ情報アプリに掲載され、集客へとつながった。

ケ 毛利彰・みきイラストレーション展

会期：令和4年8月11日(木・祝)～9月25日(日)

- ・鳥取市本町生まれの毛利彰氏とみき氏親子によるイラストレーション展を実施した。1号蔵では、毛利彰氏による1960～90年代を中心とした作品を展示し、3号蔵では毛利みき氏による歴代の挿絵等の展示及び、イラストレーションの展示販売を実施した。また、売店ではポストカードや毛利みき氏による星取県トートバッグの販売も実施した。
- ・毛利彰氏は伊勢丹の広告イラストを手掛け美術界でも歴史的な業績があり、毛利みき氏は現在の国語の教科書や多数の本の表紙イラストなどすでに日常に溶け込んでいる作品を多く手掛けているため、親子での展示は昭和から令和の時代が交差するような内容となった。
- ・8月17日(水)には本展示の新聞記事が掲載され来館者数の増加につながった。
- ・物品販売も売れ行きが良く、特に鳥取砂丘のポストカードは「鳥取に来た記念になるから」と多くの売上があった。また、最終日前の3日間は毛利みき氏が在廊したためか、イラストを購入する来館者もみられた。

#### (4) 一般財団法人 因幡街道ふるさと振興財団

- コ 鳥取県立博物館所蔵 石谷コレクション展 「当主が好んだ煎茶の世界」  
会期：令和4年9月30日（金）～10月25日（火）
- ・鳥取県立博物館が所蔵している石谷コレクションの煎茶道具17点の展示を実施した。搬入日及び搬出日には、県立博物館にて美術品の検品を行った。
  - ・石谷コレクションの中で、初の煎茶道具に焦点を当てた展示となった。青木木米や清風与平など、著名な煎茶道具の作者が並び、見ごたえのある展示となった。
  - ・本展示を行ったことで、石谷家には数多くの煎茶道具があり、お客様をもてなしていたことが見受けられ、石谷家の新たな一面を知ることができた。
  - ・短い展示期間ではあったが、一眼レフカメラを持った来館者がまじまじと美術品を観察し撮影するなど、一定の来館者の興味をそそる展示となった。
- サ 山葡萄 樹皮と和布の手仕事展  
会期：令和4年10月1日（土）～11月6日（日）
- ・京都府在住の後藤氏による手編みのカゴバックと和布の洋服の展示を実施した。
  - ・展示初日から、花の一輪挿しとコサージュがよく売れた。
  - ・本展示を目当てに来館したとの声もあり、大変人気の展示会となった。
  - ・展示作品数も多く、ひとつひとつ手に取って作品を吟味する来館者が多くみられた。また、リピーターも数人あり、口コミで評判が広がり来館者増につながる良い循環が生まれていた。
- シ 小谷さんの木彫アート展 めくもり  
会期：令和4年10月29日（土）～12月25日（日）
- ・八頭町出身の小谷次彦氏による木彫アートの展示販売（非売品2点を除く）を実施した。
  - ・木彫フォークアートおおや（兵庫県養父市の木彫芸術団体）関係者や、すでに小谷氏の作品を持っている方など、多様なつながりから訪れる来館者がみられた。
  - ・展示即売という形式が好評であり、「その場で作品が購入できて、その日に自宅で作品が飾れることが嬉しい」との声もあった。
  - ・12月14日（水）に日本海新聞で掲載されたことで、集客へつながった。
- ス さいとうさんの手仕事展  
会期：令和4年11月10日（木）～11月28日（水・祝）
- ・鳥取市在住の齋藤洋子氏によるリメイク作品展を実施した。併せてバックや洋服等の展示販売も実施した。
  - ・毎年根強い人気があり、今年も売れ行きが非常によく、展示期間中に数回の入荷があるほどだった。齋藤氏は鳥取市内や智頭町内の知り合いが多く、リピーターとなる来館者も多くみられた。
- セ atelier cafe M 花雑貨展 時を編む  
会期：令和4年12月2日（金）～令和5年1月10日（火）
- ・鳥取市内に店を構えるatelier cafe Mの上野氏による花雑貨の展示を実施した。また、会期中にはワークショップを4日間実施した。
  - ・4日間行われたワークショップでは「とても楽しかった。またつくりたい！」との声が多く、大盛況となった。
  - ・ワークショップについて参加者からの口コミが広がり、集客へとつながった。
  - ・子どもや年配の方、男性の参加者もあり、老若男女が楽しめる企画となった。
  - ・今回はワークショップに力を入れたこともあり、展示品の売上はあまり伸びなかったが、日本海新聞や町民ライターの記事が入り、幅広い広報をすることができた。
- ソ 日本遺産 因幡の麒麟獅子舞展  
会期：令和5年1月6日（金）～1月30日（月）
- ・鳥取市文化交流課が主催する「日本遺産・麒麟獅子舞パネル巡回展」の一環として実施した。

- ・日本遺産・麒麟獅子舞パネル巡回展で展示している約15枚のパネル展示に加え、鳥取市から民芸品や剪画を借用し展示したため、他の巡回場所との差別化を図ることができた。また、無料配布した「麒麟獅子舞カード」が好評だった。
- ・日本海新聞に掲載され、集客へつながった。

タ 石谷家住宅 お雛様展

会期：令和5年2月4日（土）～4月23日（日）

- ・例年開催している「石谷家住宅 お雛様展」を実施した。
- ・借用等の手続き、搬入及び展示、チラシ作成と広報業務等の作業全般を行った。
- ・1号蔵には、当時石谷家で使用されていた雛人形が並び、主屋には智頭町民から寄贈された雛人形や天神人形を展示した。
- ・2月にはひな祭りツアーが組まれており、複数人での入館が多くみられた。
- ・来館者から「10年前に来て、またこうして見に来ることができてよかった」との声もあり、例年通り開催することの意義を感じることができた。
- ・3月11日（火）の日本海新聞にも掲載され、集客へつながった。

チ 第15回池田家墓所写真コンクール作品展

会期：令和5年1月20日（金）～2月19日（日）

- ・公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会による写真展を実施した。
- ・本展示は2・3号蔵を利用するため、見ごたえのある展示となった。
- ・池田家墓所の缶バッジを無料配布したため、記念に持ち帰る人も見られた。また、提灯やのぼり旗を蔵の前に出したことで、蔵通りが賑やかになった。

(2) 智頭町内作品展示販売及び文化美術品展示事業

ア 智頭写真クラブ 柱祭り写真展

会期：令和4年3月10日（木）～令和4年4月17日（日）

- ・4月17日の第41回式年御中祭にあわせて、智頭写真クラブの柱祭りの写真を展示した。
- ・6年に1度の式年御柱祭を前に勇壮な祭りを紹介することができた。

イ ホヤホヤ 智頭町民4人組 「ちづとわたし展」

会期：令和5年2月25日（土）～3月21日（火・祝）

- ・昨年の春に移住してきた4人によるイラスト、写真、木工、抽象画などのグループ展示を実施した。また、併せて展示販売と物販も行った。
- ・展示会を開催するにあたり、展示搬入及びチラシ作成と広報活動などの全般作業を行った。
- ・出展者4人が移住してからの1年間の作品を春夏秋冬の順に壁面に展示し、蔵の中心のBOXには各々の自己紹介コーナーと物販を設けた。
- ・出展者の職場がそれぞれ異なることや、全員が20代ということもあり、多方面から来館者があった。また、将来智頭町への移住を検討している家族からは「移住者の生の声が聴けて嬉しい」との声もあった。
- ・3月9日の日本海新聞に掲載されたことで、集客へとつながった。

ウ 智頭写真クラブ写真展「春を待つ」

会期：令和5年3月25日（土）～4月18日（火）

- ・智頭写真クラブによる写真展を実施した。
- ・例年より作品数の多い22点を展示した。初日には日本海新聞の取材が入り、3月28日に掲載されたことで集客へとつながった。
- ・初日から写真クラブの方や出展者の友人、地域の方が来館し、一点一点じっくりと作品を眺める様子が見受けられた。

(3) 館内での体験型イベント事業

ア 暮らしの竹細工と草の布展 竹かごづくりワークショップ

#### (4) 一般財団法人 因幡街道ふるさと振興財団

日程：令和4年6月12日(日)、6月18日(土)、6月23日(木)、6月26日(日)

イ atelier café M 花雑貨展 時を編む ワークショップ

日程：令和4年12月15日(木)・17日(土)・18日(日)・20日(火)

##### (4) 情報発信事業

- ・若年層を中心に「SNS」での情報発信が重要であることから、従来からの紙媒体（新聞、雑誌、チラシ）での情報発信に加え、HP、ブログ、Instagram、Facebookでの情報発信に力を入れた。
- ・「SNS」での情報発信の頻度と内容を増やしていくことを念頭に、イベントの告知、館内の日常の様子、智頭宿周辺、職員の感じていることを日々発信し、関係者の来館増へとつなげた。またInstagramは投稿開始から3年が経過し、投稿数が1,000投稿を超え、フォロワー数は2倍となった。

##### (5) 石谷家住宅の管理運営

ア 石谷家庭園 秋の庭園特別公開

会期：【第一期】令和4年11月11日(金)～11月13日(日)

【第二期】令和4年11月18日(金)～11月20日(日)

- ・国登録名勝地である石谷家庭園の特別公開を実施した。庭園以外にも石谷家住宅の外観や裏門等も公開した。
- ・石谷家住宅のメインイベントであり、年に一度の庭園散策ということもあり、来館者数が非常に多かった。
- ・11月19日(土)の日本海新聞にも掲載され、集客へとつながった。
- ・本イベント開催に伴い、庭園の見える喫茶室も繁盛した。

イ 消火設備設置位置の確認と消火器具の点検

- ・館内のパッケージ型消火設備、自動火災報知設備、避雷設備の点検を受け、不良個所の修繕を行った。

##### (6) その他

- ・喫茶のみ利用の来館者は318名であり、昨年度より39名の減となった。また、テイクアウトにおいては126食の注文があった。
- ・町民の公益的な施設であることから、町民にとって親しみやすく使いやすい施設となるよう、今後は町民の作品を展示、販売する機会も増やしていく。

## 正味財産増減計算書

令和4年4月1日 から令和5年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	7,894	7,894	0
事業収益			
智頭町受託収益	10,785,000	10,785,000	0
入館料収益	7,740,444	5,486,549	2,253,895
イベント収益	210,000	258,000	△ 48,000
喫茶・物販収益	4,100,708	3,929,565	171,143
事業収益計	22,836,152	20,459,114	2,377,038
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	0	6,000,000	△ 6,000,000
雑収益			
受取利息	157	87	70
雑収益	34,450	63,742	△ 29,292
雑収益計	34,607	63,829	△ 29,222
経常収益計	22,878,653	26,530,837	△ 3,652,184
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	468,184	508,471	△ 40,287
原材料費	1,023,414	940,726	82,688
商品仕入高	0	18,200	△ 18,200
期末たな卸高	△ 402,909	△ 468,184	65,275
給料手当	4,725,229	5,327,509	△ 602,280
臨時雇賃金	6,154,336	4,198,457	1,955,879
福利厚生費	1,494,666	1,344,698	149,968
旅費交通費	400	0	400
通信運搬費	306,715	168,846	137,869
消耗品費	557,126	594,039	△ 36,913
修繕費	129,899	0	129,899
印刷製本費	219,632	187,671	31,961
燃料費	137,407	130,376	7,031
光熱水料費	1,215,602	898,103	317,499
賃借料	696,367	363,138	333,229
保険料	82,087	17,000	65,087
諸謝金	250,992	244,561	6,431
租税公課	876,100	903,600	△ 27,500
支払負担金	70,960	89,100	△ 18,140
委託料	758,129	770,230	△ 12,101
支払手数料	171,249	98,932	72,317
広告料	594,000	807,700	△ 213,700
雑費	3,000	6,000	△ 3,000
事業費計	19,532,585	17,149,173	2,383,412
管理費			
給料手当	900,044	1,014,764	△ 114,720
福利厚生費	284,698	256,133	28,565
交際費	29,726	42,704	△ 12,978
通信運搬費	3,098	1,706	1,392
消耗品費	5,628	6,000	△ 372
修繕費	1,313	0	1,313
印刷製本費	2,219	1,401	818
燃料費	1,389	1,317	72
光熱水料費	12,278	9,020	3,258
賃借料	7,034	3,517	3,517
諸謝金	473,000	473,000	0
租税公課	73,000	83,000	△ 10,000
支払手数料	1,730	999	731
委託料	7,658	7,780	△ 122
食料費	79,915	0	79,915
管理費計	1,882,730	1,901,341	△ 18,611
経常費用計	21,415,315	19,050,514	2,364,801
評価損益等調整前当期経常増減額	1,463,338	7,480,323	△ 6,016,985
当期経常増減額	1,463,338	7,480,323	△ 6,016,985

## (4) 一般財団法人 因幡街道ふるさと振興財団

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,463,338	7,480,323	△ 6,016,985
当期一般正味財産増減額	1,463,338	7,480,323	△ 6,016,985
一般正味財産期首残高	15,115,571	7,635,248	7,480,323
一般正味財産期末残高	16,578,909	15,115,571	1,463,338
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	26,100,000	26,100,000	0
指定正味財産期末残高	26,100,000	26,100,000	0
III 正味財産期末残高	42,678,909	41,215,571	1,463,338

## 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日 から令和5年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	0	0	7,894	0	7,894
事業収益					
智頭町受託収益	6,869,000	3,916,000	0	0	10,785,000
入館料収益	5,403,253	0	2,337,191	0	7,740,444
イベント収益	210,000	0	0	0	210,000
喫茶・物販収益	0	4,100,708	0	0	4,100,708
事業収益計	12,482,253	8,016,708	2,337,191	0	22,836,152
雑収益					
受取利息	0	0	157	0	157
雑収益	26,182	2,756	5,512	0	34,450
雑収益計	26,182	2,756	5,669	0	34,607
経常収益計	12,508,435	8,019,464	2,350,754	0	22,878,653
(2) 経常費用					
事業費					
期首たな卸高	0	468,184	0	0	468,184
原材料費	0	1,023,414	0	0	1,023,414
期末たな卸高	0	△ 402,909	0	0	△ 402,909
給料手当	3,867,511	857,718	0	0	4,725,229
臨時雇賃金	1,950,000	4,204,336	0	0	6,154,336
福利厚生費	1,352,317	142,349	0	0	1,494,666
旅費交通費	400	0	0	0	400
通信運搬費	294,322	12,393	0	0	306,715
消耗品費	528,988	28,138	0	0	557,126
修繕費	124,651	5,248	0	0	129,899
印刷製本費	210,758	8,874	0	0	219,632
燃料費	131,856	5,551	0	0	137,407
光熱水料費	1,120,487	95,115	0	0	1,215,602
賃借料	633,231	63,136	0	0	696,367
保険料	81,087	1,000	0	0	82,087
諸謝金	250,992	0	0	0	250,992
租税公課	665,836	210,264	0	0	876,100
支払負担金	70,960	0	0	0	70,960
委託料	727,498	30,631	0	0	758,129
支払手数料	164,330	6,919	0	0	171,249
広告料	594,000	0	0	0	594,000
雑費	3,000	0	0	0	3,000
事業費計	12,772,224	6,760,361	0	0	19,532,585
管理費					
給料手当	0	0	900,044	0	900,044
福利厚生費	0	0	284,698	0	284,698
交際費	0	0	29,726	0	29,726
通信運搬費	0	0	3,098	0	3,098
消耗品費	0	0	5,628	0	5,628
修繕費	0	0	1,313	0	1,313
印刷製本費	0	0	2,219	0	2,219
燃料費	0	0	1,389	0	1,389
光熱水料費	0	0	12,278	0	12,278
賃借料	0	0	7,034	0	7,034
諸謝金	0	0	473,000	0	473,000
租税公課	0	0	73,000	0	73,000
支払手数料	0	0	1,730	0	1,730
委託料	0	0	7,658	0	7,658
食料費	0	0	79,915	0	79,915
管理費計	0	0	1,882,730	0	1,882,730
経常費用計	12,772,224	6,760,361	1,882,730	0	21,415,315
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 263,789	1,259,103	468,024	0	1,463,338
当期経常増減額	△ 263,789	1,259,103	468,024	0	1,463,338
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 263,789	1,259,103	468,024	0	1,463,338
税引前当期一般正味財産増減額	△ 263,789	1,259,103	468,024	0	1,463,338
当期一般正味財産増減額	△ 263,789	1,259,103	468,024	0	1,463,338
一般正味財産期首残高	△ 11,609,497	21,453,598	5,271,470	0	15,115,571
一般正味財産期末残高	△ 11,873,286	22,712,701	5,739,494	0	16,578,909
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	26,100,000	0	26,100,000
指定正味財産期末残高	0	0	26,100,000	0	26,100,000
III 正味財産期末残高	△ 11,873,286	22,712,701	31,839,494	0	42,678,909

## 貸借対照表

令和5年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,225,161	15,555,106	1,670,055
未収金	53,048	61,242	△ 8,194
たな卸資産	402,909	468,184	△ 65,275
流動資産合計	17,681,118	16,084,532	1,596,586
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
基本財産預金	16,100,000	16,100,000	0
基本財産合計	26,100,000	26,100,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
出資金	100,000	100,000	0
その他固定資産合計	100,000	100,000	0
固定資産合計	26,200,000	26,200,000	0
資産合計	43,881,118	42,284,532	1,596,586
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	952,143	866,182	85,961
預り金	250,066	202,779	47,287
流動負債合計	1,202,209	1,068,961	133,248
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,202,209	1,068,961	133,248
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	26,100,000	26,100,000	0
指定正味財産合計	26,100,000	26,100,000	0
(うち基本財産への充当額)	(26,100,000)	(26,100,000)	(0)
2. 一般正味財産			
正味財産合計	16,578,909	15,115,571	1,463,338
負債及び正味財産合計	42,678,909	41,215,571	1,463,338
負債及び正味財産合計	43,881,118	42,284,532	1,596,586



## 貸借対照表内訳表

令和5年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	17,225,161	0	0	17,225,161
未収金	53,048	0	0	0	53,048
たな卸資産	0	402,909	0	0	402,909
他会計短期貸付金	0	5,476,910	5,639,494	△ 11,116,404	0
流動資産合計	53,048	23,104,980	5,639,494	△ 11,116,404	17,681,118
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	0	0	10,000,000	0	10,000,000
基本財産預金	0	0	16,100,000	0	16,100,000
基本財産合計	0	0	26,100,000	0	26,100,000
(2) 特定資産					
特定資産合計	0	0	0	0	0
(3) その他固定資産					
出資金	0	0	100,000	0	100,000
その他固定資産合計	0	0	100,000	0	100,000
固定資産合計	0	0	26,200,000	0	26,200,000
資産合計	53,048	23,104,980	31,839,494	△ 11,116,404	43,881,118
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	809,930	142,213	0	0	952,143
預り金	0	250,066	0	0	250,066
他会計短期借入金	11,116,404	0	0	△ 11,116,404	0
流動負債合計	11,926,334	392,279	0	△ 11,116,404	1,202,209
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	11,926,334	392,279	0	△ 11,116,404	1,202,209
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	0	0	26,100,000	0	26,100,000
指定正味財産合計	0	0	26,100,000	0	26,100,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(26,100,000)	(0)	(26,100,000)
2. 一般正味財産	△ 11,873,286	22,712,701	5,739,494	0	16,578,909
正味財産合計	△ 11,873,286	22,712,701	31,839,494	0	42,678,909
負債及び正味財産合計	53,048	23,104,980	31,839,494	△ 11,116,404	43,881,118

(4) 一般財団法人 因幡街道ふるさと振興財団

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記  
該当なし。
2. 重要な会計方針
  - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当なし。
  - (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法。
  - (3) 固定資産の減価償却の方法  
該当なし。
  - (4) 引当金の計上基準  
該当なし。
  - (5) 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更  
該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高  
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券（基）	10,000,000	0	0	10,000,000
基本財産預金	16,100,000	0	0	16,100,000
小 計	26,100,000	0	0	26,100,000
合 計	26,100,000	0	0	26,100,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳  
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
投資有価証券（基）	10,000,000	10,000,000	0	—
基本財産預金	16,100,000	16,100,000	0	—
小 計	26,100,000	26,100,000	0	—
合 計	26,100,000	26,100,000	0	0

6. 担保に供している資産  
該当なし。
7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高  
該当なし。
8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
該当なし。
9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務  
該当なし。
10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし。
11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
該当なし。
12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
該当なし。
13. 関連当事者との取引の内容  
該当なし。
14. 重要な後発事象  
該当なし。
15. その他  
該当なし。

## 財 産 目 録

令和5年3月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額			
(流動資産)	現金	手許有り高		717,709			
	普通預金						
	(株)鳥取銀行/智頭支店	八頭郡智頭町智頭2050-5		12,965,571			
	(株)鳥取銀行/智頭支店	八頭郡智頭町智頭2050-5		2,169,878			
	(株)山陰合同銀行/智頭支店	八頭郡智頭町智頭1642-21		1,242,664			
	鳥取信用金庫/智頭支店	八頭郡智頭町智頭1648-1		114,853			
	鳥取いなば農協/智頭支店	八頭郡智頭町智頭2052-1		14,486			
			16,507,452				
未収金							
智頭町等			49,135				
損保ジャパン日本興亜(株)	東京都新宿区西新宿1-26-1	入館料, 売店売上 保険確定分	3,913				
			53,048				
たな卸資産			402,909				
流動資産合計				17,681,118			
(固定資産)	基本財産						
				投資有価証券		10,000,000	
				鳥取県債			
				基本財産預金			
				(株)鳥取銀行/智頭支店	八頭郡智頭町智頭2050-5	スﾊﾞｰ定期	4,000,000
				(株)鳥取銀行/智頭支店	八頭郡智頭町智頭2050-5	スﾊﾞｰ定期	100,000
	(株)山陰合同銀行/智頭支店	八頭郡智頭町智頭1642-21	スﾊﾞｰ定期	4,000,000			
	鳥取信用金庫/智頭支店	八頭郡智頭町智頭1648-1	スﾊﾞｰ定期	4,000,000			
	鳥取いなば農協/智頭支店	八頭郡智頭町智頭2052-1	スﾊﾞｰ定期	4,000,000			
				16,100,000			
その他固定資産	出資金						
	智頭町複業協同組合			100,000			
固定資産合計				26,200,000			
資産合計				43,881,118			
(流動負債)	未払金						
				ちずぶる一他	売店売上精算金	60,338	
				中村伊平商店他	仕入	81,875	
				従業員	3月分賃金	698,967	
	年金事務所他	社会保険料他	110,963				
				952,143			
	預り金						
従業員		社会保険料	92,425				
従業員		源泉所得税	43,748				
従業員		町県民税	76,800				
従業員		雇用保険料	37,093				
			250,066				
流動負債合計				1,202,209			
固定負債合計				0			
負債合計				1,202,209			
正味財産				42,678,909			

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券(基)	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産預金	16,100,000	0	0	16,100,000
	基本財産計	26,100,000	0	0	26,100,000

2. 引当金の明細

該当なし。

## 令和5年度事業計画

### 1 事業計画方針

近年、鳥取・岡山・兵庫県内の来館者が多く見受けられるため、令和5年度は3県に縁のある作家や文化施設等に関する事業を行う方針とする。その上で、1号蔵では施設間交流、2・3号蔵では地域振興を主眼とする事業を展開する。

また、近年は県外の出展者に関する事業を実施し、県外からの集客に繋がっているが、令和5年度は智頭町や近隣地域に目を向けた事業を実施し、地元地域の魅力再発進に資する事業を計画する。

そのため、智頭町及び近隣地域の出展者を例年より増やすことはもちろん、智頭町民に対して回覧板や文書配布・告知端末放送を活用した広報活動に力を入れる。

### 2 事業内容

#### (1) 文化財保護啓発事業

##### ア 「建築図面から読み解く石谷家住宅」展

会期：令和5年10月28日～12月24日

史料館に収蔵されている石谷家住宅の図面を複写及びパネル化し展示することで、国指定重要文化財である石谷家住宅の図面を公開する貴重な機会とする。

##### イ 「因幡の麒麟獅子舞」展

会期：令和6年1月6日～1月28日

智頭町教育委員会の主催により、鳥取市文化交流課が所有する麒麟獅子舞に関するパネル及び智頭町芦津集落や那岐地区の麒麟獅子のレプリカ等を展示する。

##### ウ 「池田家墓所写真コンクール作品」展

会期：令和6年2月17日～3月24日

池田家墓所保存会の主催により、例年開催している池田家墓所の写真コンクール作品の展示を行う。

#### (2) 文化施設交流事業

##### ア 「妖精の森ガラス美術館所蔵 光輝くウランガラス」展

会期：令和5年4月29日～6月18日

岡山県鏡野町に位置する「妖精の森ガラス美術館」が所蔵するウランガラス作品の展示をゴールデンウィーク期間に合わせて開催する。ウランガラスは、ブラックライトを当てると発光するため、1号蔵では珍しい体験型展示となる。

##### イ 「智頭中学校写真」展 【新規】

会期：令和5年8月5日～9月4日

ちえの森ちづ図書館が所有する、智頭中学校の生徒が撮影した写真を展示する。智頭町内での施設間交流及び智頭中学校の生徒来館を目的とするため、小中学生の夏休みに合わせて開催する。

#### (3) 文化美術品展示事業

##### ア 「池田泰弘 懐かしの風景」展

会期：令和5年6月24日～8月13日

岡山県津山市在住の池田泰弘氏による、切り絵を展示する。懐かしい風景をテーマにした切り絵作品が並び、切り絵の緻密さや風景の懐かしさなど、多世代に響く作品である。

##### イ 「今田拓志 ーツチモノー」展 【新規】

会期：令和5年9月16日～10月22日

#### (4) 一般財団法人 因幡街道ふるさと振興財団

岡山県津山市出身の今田拓志氏による陶芸の展示を実施する。今田氏は日本工芸正会員に認定されており、現在は比治山大学短期大学部美術科准教授（広島市）であるため、比治山大学や広島市からの来館者が見込める。

#### (4) 観光振興事業・国際交流事業

##### ア 「智頭町写真クラブ」展

会期：令和5年3月25日～令和5年4月18日

令和6年1月6日～2月11日

「春を待つ」（前期）、「智頭町の冬景色」（後期）をテーマに、例年開催している智頭町写真クラブによる写真展を実施する。

##### イ 「小林博道竹細工昆虫」展

会期：令和5年4月1日～4月16日、7月1日～7月17日

例年開催している小林博道氏による竹彫刻展を実施する。竹彫刻で作った昆虫や箸やスプーンなどの展示販売を行う。

##### ウ 「ちずぶる一」展

会期：令和5年4月27日～5月21日

ちずぶる一による藍染作品の展示を実施する。工房を移転したちずぶる一の新しい作品等の展示販売を行う。鳥取市内や米子方面でも展示を行っており、県内各地域から多くの来館者が見込める。

##### エ 「鳥取木材工芸振興会展示即売」

会期：令和5年5月1日～5月15日、11月9日～11月21日

例年開催している鳥取木材工芸振興会による展示販売を、ゴールデンウィークと秋の庭園公開時にあわせて開催する。

##### オ 「松良幸則 樹脂粘土と植物画の山野草」展 【新規】

会期：令和5年6月10日(土)～7月9日(日)

米子市在住の松良幸則氏による、樹脂粘土の山野草展を実施する。

##### カ 「三々窯」展 【新規】

会期：令和5年5月27日～7月9日

いなば西郷工芸の郷のメンバーであり、若い世代にも人気が高い、鳥取市河原町の三々窯による初の展示会を実施する。

##### キ 「智頭のどうぶつたち」展 【新規】

会期：令和5年7月15日～8月20日

智頭町民からペットの写真を募集しパネル化をして、3号蔵の壁一面に展示する。猫ちぐら（稲わらを編んで作った猫用の寝床の一種）やペット用ご飯台などの作品展示及び販売も実施を予定している。

##### ク 「C l a r a イラスト」展

会期：令和5年8月29日～10月1日

鳥取市在住のイラストレーターC l a r a氏によるイラスト展を実施する。シルバーウィーク中に、C l a r a氏による張り子ワークショップを開催する。

##### ケ 「さいとうさんの手仕事」展

会期：令和5年10月7日～10月29日

例年開催している、鳥取市在住の齋藤洋子氏によるバック等の展示を実施する。

##### コ 「フェルト+パッチワーク」展 【新規】

会期：令和5年11月4日～11月27日

鳥取市在住の野際のぶ子氏による、フェルトとパッチワークの作品展を実施する。

サ 「花雑貨」展

会期：令和5年12月2日～12月23日

例年開催している、鳥取市に工房を構える atelier cafe Mによる花雑貨展を実施する。また、会期中に atelier cafe Mによるワークショップを開催する。

シ お雛様展

会期：未定

毎年恒例のお雛様展で、1号蔵展示室に石谷家のお雛様、主屋に智頭町内外の方のお雛様を展示する。

ス 「草刈さんの刺繍」展 【新規】

会期：令和6年3月30日～4月28日

智頭町在住の草刈聆子氏による刺繍展を開催する。草刈氏が所持している細やかな作品を数多く展示する。

(5) 石谷家住宅の管理運営

ア 石谷氏庭園 秋の特別庭園公開

会期：【第一期】令和5年11月10日～11月12日

【第二期】令和5年11月17日～11月19日

鳥取県指定名勝地「石谷氏庭園」を公開し、来館者に庭園の魅力と庭園から眺める石谷家住宅の佇まいを披露する。

(6) その他

ア 山野草展

会期：令和5年4月22日、23日

例年、石谷家住宅の前庭にて開催されている山野草展を実施する。

イ 第25回智頭宿雪祭り

開催：令和6年2月頃

昨年度から再開した智頭宿雪祭りを実施する。

## 収 支 予 算 書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	8	8	0	
基本財産受取利息	8	8	0	
事業収益	25,755	22,119	3,636	
智頭町受託収入	13,135	10,785	2,350	
入館料収入	7,940	6,264	1,676	
イベント収入	380	470	△ 90	
喫茶・物販収入	4,300	4,600	△ 300	
受取補助金等	0	0	0	
受取鳥取県補助金	0	0	0	
受取智頭町補助金	0	0	0	
受取民間補助金	0	0	0	
雑収益	455	665	△ 210	
受取利息	1	1	0	
雑収益	454	664	△ 210	
経常収益計	26,218	22,792	3,426	
(2) 経常費用				
事業費	23,741	20,399	3,342	
給料手当	6,573	5,906	667	
臨時雇賃金	6,950	4,329	2,621	
福利厚生費	1,750	2,306	△ 556	
旅費交通費	40	43	△ 3	
通信運搬費	346	362	△ 16	
消耗品費	644	456	188	
修繕費	198	198	0	
印刷製本費	194	417	△ 223	
燃料費	148	148	0	
光熱水料費	1,526	1,045	481	
賃借料	432	825	△ 393	
保険料	110	125	△ 15	
諸謝金	453	500	△ 47	
租税公課	1,199	1,149	50	



科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
	千円	千円	千円	
支払手数料	308	292	16	
委託料	1,150	801	349	
広告料	600	600	0	
雑費	3	3	0	
負担金	117	94	23	
原材料費	1,000	800	200	
管理費	2,477	2,393	84	
給料手当	1,206	1,125	81	
福利厚生費	434	434	0	
旅費交通費	150	150	0	
通信運搬費	4	4	0	
消耗品費	7	7	0	
修繕費	2	2	0	
印刷製本費	6	6	0	
燃料費	2	2	0	
光熱水料費	11	11	0	
賃借料	5	5	0	
保険料	0	0	0	
諸謝金	407	407	0	
租税公課	83	83	0	
支払手数料	3	4	△ 1	
委託料	12	8	4	
食料費	100	100	0	
交際費	40	40	0	
雑費	5	5	0	
経常費用計	26,218	22,792	3,426	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	11,199	11,199	0	
一般正味財産期末残高	11,199	11,199	0	
II 指定正味財産増減の部				
指定正味財産期首残高	26,100	26,100	0	
指定正味財産期末残高	26,100	26,100	0	
III 正味財産期末残高				
正味財産期末残高	37,299	37,299	0	

## 収支予算書内訳表

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円	千円
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益			8		8
基本財産受取利息			8		8
事業収益	16,543	6,735	2,477		25,755
智頭町受託収入	11,080	2,055	0		13,135
入館料収入	5,463		2,477		7,940
イベント収入	0	380			380
喫茶・物販収入		4,300			4,300
受取補助金等	0		0		0
受取鳥取県補助金	0				0
受取智頭町補助金			0		0
受取民間補助金					0
雑収益		454	1		455
受取利息			1		1
雑収益		454			454
経常収益計	16,543	7,189	2,486	0	26,218
(2) 経常費用					
事業費	20,440	3,301			23,741
給料手当	5,609	964			6,573
臨時雇賃金	6,450	500			6,950
福利厚生費	1,575	175			1,750
旅費交通費	40	0			40
通信運搬費	346	0			346
消耗品費	594	50			644
修繕費	148	50			198
印刷製本費	144	50			194
燃料費	148	0			148
光熱水料費	1,402	124			1,526
賃借料	400	32			432
保険料	100	10			110
諸謝金	453	0			453
租税公課	911	288			1,199

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円	千円
支払手数料	296	12			308
委託料	1,104	46			1,150
広告料	600				600
雑費	3				3
負担金	117				117
原材料費		1,000			1,000
管理費			2,477		2,477
給料手当			1,206		1,206
福利厚生費			434		434
旅費交通費			150		150
通信運搬費			4		4
消耗品費			7		7
修繕費			2		2
印刷製本費			6		6
燃料費			2		2
光熱水料費			11		11
賃借料			5		5
保険料			0		0
諸謝金			407		407
租税公課			83		83
支払手数料			3		3
委託料			12		12
食料費			100		100
交際費			40		40
雑費			5		5
経常費用計	20,440	3,301	2,477	0	26,218
当期経常増減額	△ 3,897	3,888	9	0	0
2. 経常外増減の部					
当期一般正味財産増減額	△ 3,897	3,888	9	0	0
一般正味財産期首残高	△ 14,488	19,229	6,458	0	11,199
一般正味財産期末残高	△ 18,385	23,117	6,467	0	11,199
II 指定正味財産増減の部					
指定正味財産期首残高	0	0	26,100	0	26,100
指定正味財産期末残高	0	0	26,100	0	26,100
III 正味財産期末残高					
正味財産期末残高	△ 18,385	23,117	32,567	0	37,299

## (5) 公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター経営状況報告書

### 法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター
- 2 目 的 ボランティア活動、地域づくり活動及びNPO活動を総合的に支援するとともに、NPO、企業、行政、自治組織等、多様な主体による協働・連携を推進することにより、県民活動の活性化及び持続可能な活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成27年4月1日
- 4 設立登記年月日 平成27年4月1日  
(一般財団法人 とっとり県民活動活性化センター設立登記年月日  
平成26年1月23日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 4,500,000円  
鳥取県出えん金 3,000,000円  
県内市町村出えん金 1,500,000円
- 6 役 員 等 評 議 員 5人 理 事 9人 監 事 2人  
評 議 員 児 嶋 祥 悟 (鳥取県商工会議所連合会会長)  
" 平 井 伸 治 (鳥取県知事)  
" 深 澤 義 彦 (鳥取県市長会会長)  
" 宮 脇 正 道 (前鳥取県町村会会長)  
" 吉 岡 徹 (株式会社新日本海新聞社代表取締役社長)  
理 事 長 毛 利 葉  
常務理事 小 林 綾 子  
理 事 末 次 多衣子 (NPO法人こうふのたより理事)  
" 長曾我部まどか (国立大学法人鳥取大学工学部社会システム土木系学科准教授)  
" 中 井 みずほ (T o t t o r i M a m a ' s 代表)  
" 長谷川 智 之 (米子商工会議所事務局長)  
" 盛 田 聖 一 (鳥取県地域社会振興部長)  
" 森 本 智 喜 (日野ボランティア・ネットワーク副代表)  
" 四 門 隆 (琴浦まちづくりネットワーク会長)

監 事 橋 本 修 (税理士)

〃 前 田 博 史 (株式会社鳥取銀行倉吉中央支店支店長)

7 職 員 5人

8 事 務 所 倉吉市山根557番地1 パープルタウン2階

## (5) 公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター

### 令和4年度事業実施状況

#### 1 地域づくり活動活性化のための基盤強化事業

##### (1) 専門家派遣事業

NPO等からの法人業務や会計等の専門的な相談に対応するため、専門家を派遣した。

- ・ 専門家アドバイザー派遣制度への登録者 延べ50名
- ・ 専門家派遣回数 11回

##### (2) NPO経営実態把握事業

アンケート調査及び訪問又は電話による聞き取りにより、NPO法人の経営実態を調査し、きめ細かい相談支援のための基礎資料「NPO経営実態資料」を更新した。

- ・ 資料作成団体 30法人

##### (3) 非営利組織基盤強化・評価推進事業

NPO等の組織診断・評価・基盤強化支援を行い、組織力強化、ガバナンスの向上を図るとともに、積極的な情報開示・情報発信を行った。

##### (4) NPO基盤強化事業

NPO法人等の事務力やガバナンスを高める「事務力セミナー」を開催した。

- ・ 事務力セミナー 3回

##### (5) 相談体制整備・情報発信事業

###### ア とっとり創生支援センター事業

東・中・西部に、県と共同設置したとっとり創生支援センターにおいて、圏域内の相談対応、伴走型支援（個別支援）を実施した。

- ・ 相談対応 274件

###### イ 相談対応・出前相談事業

常設相談窓口を開設し、相談の受付・対応を行ったほか、伴走型個別支援や出前相談会を実施した。

- ・ 相談対応 288件（うち創生支援案件 274件）
- ・ 伴走型個別支援 14団体
- ・ 出前相談会 3回

###### ウ 団体の総合支援モデル事業

ガバナンス認証に向かおうとする団体の課題を確認し、組織の基盤強化や人材育成等の団体の取組を支援した。

- ・ 支援団体 1団体

エ 情報集積・発信事業

情報誌や機関紙を作成し、県内の公共施設やNPO等へ配布するとともに、県民活動に関する情報をウェブサイト、SNS等により広く県民等へ発信した。

- ・情報誌「てとり」2回発行、機関紙「センターつうしん」4回発行 等

2 ネットワークを活用した持続可能な地域づくり支援事業

(1) 社会人・若者ボランティア（プロボノ）推進事業

県内外の社会人や若者ボランティア（プロボノワーカー）が、仕事や学業などで培ったスキルや経験を活かして県内NPOを支援するプロジェクトを実施した。

- ・プロボノ支援団体 1団体
- ・プロボノワーカー参加者 5名（プロボノワーカー登録者 60名）

また、鳥取大学と連携して、大学生のスキルを活かして県内NPO団体の情報発信を支援する「おためしプロボノ」を実施した。

- ・おためしプロボノ支援団体 5団体

(2) 地域づくり活動体験機会提供事業

夏休み期間を中心に地域づくり団体等でのボランティア体験の機会を提供し、高校生など若者の地域づくり活動への参加を促進した。

- ・ボランティア参加者 延べ114名
- ・ボランティア受入団体 11団体

また、大学等の協力を得ながら、学校に出向いて若者向け地域課題解決ワークショップ（出前講座）を開催した。

- ・出前講座連携件数 6件

(3) 持続可能な地域づくり促進事業

NPO等同士がお互いを知り、ともに支え合う連携・協働のきっかけづくりとするため、市町村と連携し、NPO等とのネットワーク会議等を開催した。

- ・ネットワーク会議 6回（連携市町村数 8市町）

また、自治会や地域づくり団体等が開催する研修会等に対する計画立案の助言や講師としての出講、実行委員会や審査会への参画など、幅広く地域づくりの支援活動に携わった。

(4) 多様な主体による連携の促進

県と連携し、持続可能な地域社会の実現を目指し、SDGsの普及啓発を図るとともに、若者、企業、NPOなど多様な主体の参画を得て、地域の課題解決や新たな価値創出に向けた意見交換会を実施した。

## (5) 公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター

- ・とっとりSDGsプラットフォーム参画者数 117 (団体101、個人16)
- ・意見交換会 3回
- ・とっとりSDGsパートナー登録者数 558 (団体536、個人22)
- ・とっとりSDGs伝道師派遣件数 24件

### 3 地域課題解決等に取り組む団体活動促進支援事業

#### (1) 助成金活用促進事業

県内外の助成団体が提供する助成金情報を紹介し、効果的な活用を促す「助成金合同説明会」等を開催した。

- ・助成金合同説明会等 2回

#### (2) 資金調達支援事業

NPO等による団体運営や活動に必要な資金確保につなげるため、クラウドファンディングなど資金調達に関するアドバイス等を行った。

#### (3) 寄付つき商品開発普及事業

NPO等と企業等をマッチングし、売上の一部を活動団体等に寄付する取組である「寄付つき商品」を県内に普及するため、寄付つき商品の開発や広報面での支援を行った。

- ・マッチング件数 27件

#### (4) 民間協働型活動支援事業

企業や県内外の支援団体と連携して、県内NPO等を資金、物品、ノウハウ等で支援するプログラム（休眠預金等活用コンソーシアム事業など計7件）を実施した。

#### (5) 控除対象特定非営利活動法人指定支援補助金交付事業

指定申請の可能性のあるNPO法人へ呼びかけ等を行ったが、条例個別指定制度を活用するNPO法人はなかった。

#### (6) とっとりSDGs推進補助金交付事業

SDGsの達成に向けて、積極的に取り組む地域づくり団体やNPO等の広報活動、研修等の開催支援、若者が取り組むSDGsの普及啓発活動に必要な経費の一部を補助した。

- ・採択団体数 広報活動支援型 6団体  
研修等支援型 1団体  
若者団体活動支援型 1団体

### 4 震災復興活動支援センター事業

鳥取県中部地震からの復興を図るため、県、市町、関係機関等と連携し、生活面での課題が未だに解決されていない方々の生活復興を支援するための連絡受付業務を行った。



5 法人運営に関する事項

- (1) 評議員会・理事会の開催
- (2) 職員研修

## 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	(90)	(90)	0
基本財産受取利息	90	90	0
事業収益	(65,332,614)	(68,062,233)	(△2,729,619)
県民活動活性化事業	58,171,200	58,119,500	51,700
鳥取県中部地震生活復興支援事業	40,997	3,326,963	△ 3,285,966
とっとりSDGsパートナー制度事業	1,326,669	880,000	446,669
とっとりSDGs伝道師制度事業	1,138,012	650,000	488,012
事業収益	3,677,446	3,931,280	△ 253,834
手数料収益	355,580	393,295	△ 37,715
諸謝金	622,710	761,195	△ 138,485
受取補助金等	(789,000)	(2,789,995)	(△2,000,995)
鳥取県補助金	789,000	2,789,995	△ 2,000,995
受取寄付金	(2,830,000)	(2,985,832)	(△155,832)
民間協働型活動支援寄付金	2,830,000	2,985,832	△ 155,832
雑収益	(16,241)	(16,241)	0
受取利息	241	241	0
雑収益	16,000	16,000	0
経常収益計	68,967,945	73,854,391	△ 4,886,446
(2) 経常費用			
事業費	(52,512,170)	(56,684,586)	(△4,172,416)
役員報酬	1,354,320	912,000	442,320
給料手当	29,513,686	31,152,688	△ 1,639,002
退職給付費用	600,400	583,680	16,720
法定福利費	4,249,042	4,445,237	△ 196,195
福利厚生費	34,717	5,942	28,775
会議費	0	0	0
会場賃借料	93,880	67,956	25,924
旅費交通費	417,285	136,620	280,665
研修費	84,000	177,560	△ 93,560
通信運搬費	796,130	846,939	△ 50,809
消耗品費	501,117	722,525	△ 221,408
光熱水料費	143,319	153,620	△ 10,301
印刷製本費	1,156,992	1,444,011	△ 287,019
賃借料	3,160,203	3,676,418	△ 516,215
諸謝金	1,085,400	662,600	422,800
広告宣伝費	282,117	593,450	△ 311,333
支払負担金	13,280	13,280	0
支払手数料	646,751	589,796	56,955
支払助成金	789,000	855,000	△ 66,000
支払寄付金	2,830,000	3,004,930	△ 174,930
修繕費	125,308	114,308	11,000
新聞図書費	21,790	8,920	12,870
燃料費	112,019	100,728	11,291
保険料	450,698	425,242	25,456
租税公課	4,023,881	4,029,609	△ 5,728
委託費	0	1,934,335	△ 1,934,335
雑費	26,835	27,192	△ 357
管 理 費	(15,675,485)	(16,074,967)	(△399,482)
役員報酬	927,680	748,000	179,680
給料手当	9,320,111	9,837,691	△ 517,580
退職給付費用	189,600	184,320	5,280

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
法定福利費	1,341,803	1,403,759	△ 61,956
福利厚生費	10,963	1,877	9,086
会議費	22,660	0	22,660
会場賃借料	0	0	0
旅費交通費	179,835	128,885	50,950
研修費	90,240	7,000	83,240
通信運搬費	163,063	173,470	△ 10,407
減価償却費	0	119,592	△ 119,592
消耗品費	102,639	147,987	△ 45,348
光熱水料費	29,354	31,464	△ 2,110
印刷製本費	236,974	295,761	△ 58,787
賃借料	647,271	753,001	△ 105,730
諸謝金	30,000	25,000	5,000
広告宣伝費	57,783	121,550	△ 63,767
支払負担金	2,720	2,720	0
支払手数料	132,467	120,800	11,667
支払報酬	721,600	614,900	106,700
修繕費	25,666	23,412	2,254
新聞図書費	132,935	123,438	9,497
燃料費	22,944	20,631	2,313
保険料	92,312	87,098	5,214
租税公課	824,169	825,342	△ 1,173
委託費	0	0	0
保守管理費	365,200	271,700	93,500
雑費	5,496	5,569	△ 73
経常費用計	68,187,655	72,759,553	△ 4,571,898
評価損益等調整前当期経常増減額	780,290	1,094,838	△ 314,548
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	780,290	1,094,838	△ 314,548
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失	0	220,735	△ 220,735
経常外費用計	0	220,735	△ 220,735
当期経常外増減額	0	△ 220,735	220,735
当期一般正味財産増減額	780,290	874,103	△ 93,813
一般正味財産期首残高	6,065,786	5,191,683	874,103
一般正味財産期末残高	6,846,076	6,065,786	780,290
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	(2,902,220)	(3,023,580)	(△121,360)
受取寄付金-県市町村拠出金	0	0	0
受取寄付金-民間協働型活動支援寄付金	2,902,220	3,023,580	△ 121,360
特 定 資 産 運 用 益	(1)	(1)	0
特定資産受取利息	1	1	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	(△2,830,000)	(△2,985,832)	(△155,832)
一般正味財産への振替額	△ 2,830,000	△ 2,985,832	155,832
当期指定正味財産増減額	72,221	37,749	34,472
指定正味財産期首残高	5,077,409	5,039,660	37,749
指定正味財産期末残高	5,149,630	5,077,409	72,221
III 正味財産期末残高	11,995,706	11,143,195	852,511

## 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	センター事業	民間協働型活動 支援事業	小計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	(90)	(0)	(90)	(0)		(90)
基本財産受取利息	90	0	90	0		90
事業収益	(44,942,371)	(4,655,736)	(49,598,107)	(15,734,507)		(65,332,614)
県民活動活性化事業	42,436,693	0	42,436,693	15,734,507		58,171,200
鳥取県中部地震生活復興支援事業	40,997	0	40,997	0		40,997
とっとりSDGsパートナー制度事業	1,326,669	0	1,326,669	0		1,326,669
とっとりSDGs伝道師制度事業	1,138,012	0	1,138,012	0		1,138,012
事業収益	0	3,677,446	3,677,446	0		3,677,446
手数料収益	0	355,580	355,580	0		355,580
諸謝金	0	622,710	622,710	0		622,710
受取補助金等	(789,000)	(0)	(789,000)	(0)		(789,000)
鳥取県補助金	789,000	0	789,000	0		789,000
受取寄付金	(0)	(2,830,000)	(2,830,000)	(0)		(2,830,000)
民間協働型活動支援寄付金	0	2,830,000	2,830,000	0		2,830,000
雑収益	(241)	(0)	(241)	(16,000)		(16,241)
受取利息	241	0	241	0		241
雑収益	0	0	0	16,000		16,000
経常収益計	45,731,702	7,485,736	53,217,438	15,750,507	0	68,967,945
(2) 経常費用						
事業費	(45,784,019)	(6,728,151)	(52,512,170)	(0)		(52,512,170)
役員報酬	912,000	442,320	1,354,320	0		1,354,320
給料手当	26,470,404	3,043,282	29,513,686	0		29,513,686
退職給付費用	600,400	0	600,400	0		600,400
法定福利費	4,249,042	0	4,249,042	0		4,249,042
福利厚生費	34,717	0	34,717	0		34,717
会議費	0	0	0	0		0
会場賃借料	88,100	5,780	93,880	0		93,880
旅費交通費	140,625	276,660	417,285	0		417,285
研修費	24,000	60,000	84,000	0		84,000
通信運搬費	795,400	730	796,130	0		796,130
消耗品費	499,374	1,743	501,117	0		501,117
光熱水料費	143,319	0	143,319	0		143,319
印刷製本費	1,156,992	0	1,156,992	0		1,156,992
賃借料	3,160,203	0	3,160,203	0		3,160,203
諸謝金	1,050,400	35,000	1,085,400	0		1,085,400
広告宣伝費	282,117	0	282,117	0		282,117
支払負担金	13,280	0	13,280	0		13,280
支払手数料	625,495	21,256	646,751	0		646,751
支払助成金	789,000	0	789,000	0		789,000
支払寄付金	0	2,830,000	2,830,000	0		2,830,000
修繕費	125,308	0	125,308	0		125,308
新聞図書費	12,070	9,720	21,790	0		21,790
燃料費	110,359	1,660	112,019	0		112,019
保険料	450,698	0	450,698	0		450,698
租税公課	4,023,881	0	4,023,881	0		4,023,881
委託費	0	0	0	0		0
雑費	26,835	0	26,835	0		26,835
管理費	(0)	(0)	(0)	(15,675,485)		(15,675,485)
役員報酬	0	0	0	927,680		927,680
給料手当	0	0	0	9,320,111		9,320,111
退職給付費用	0	0	0	189,600		189,600
法定福利費	0	0	0	1,341,803		1,341,803
福利厚生費	0	0	0	10,963		10,963
会議費	0	0	0	22,660		22,660
会場賃借料	0	0	0	0		0
旅費交通費	0	0	0	179,835		179,835
研修費	0	0	0	90,240		90,240
通信運搬費	0	0	0	163,063		163,063

(単位：円)

科 目	公益目的事業			法人会計	内部取引消去	合 計
	センター事業	民間協働型活動 支援事業	小計			
減価償却費	0	0	0	0		0
消耗品費	0	0	0	102,639		102,639
光熱水料費	0	0	0	29,354		29,354
印刷製本費	0	0	0	236,974		236,974
賃借料	0	0	0	647,271		647,271
諸謝金	0	0	0	30,000		30,000
広告宣伝費	0	0	0	57,783		57,783
支払負担金	0	0	0	2,720		2,720
支払手数料	0	0	0	132,467		132,467
支払報酬	0	0	0	721,600		721,600
修繕費	0	0	0	25,666		25,666
新聞図書費	0	0	0	132,935		132,935
燃料費	0	0	0	22,944		22,944
保険料	0	0	0	92,312		92,312
租税公課	0	0	0	824,169		824,169
委託費	0	0	0	0		0
保守管理費	0	0	0	365,200		365,200
雑費	0	0	0	5,496		5,496
経常費用計	45,784,019	6,728,151	52,512,170	15,675,485	0	68,187,655
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 52,317	757,585	705,268	75,022	0	780,290
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 52,317	757,585	705,268	75,022	0	780,290
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
雑損失	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 52,317	757,585	705,268	75,022	0	780,290
一般正味財産期首残高	1,992,001	△ 2,014,188	△ 22,187	6,087,973	0	6,065,786
一般正味財産期末残高	1,939,684	△ 1,256,603	683,081	6,162,995	0	6,846,076
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	(0)	(2,902,220)	(2,902,220)	(0)	0	(2,902,220)
受取寄付金-県市町村拠出金	0	0	0	0	0	0
受取寄付金-民間協働型活動支援寄付金	0	2,902,220	2,902,220	0	0	2,902,220
特定資産運用益	(0)	(1)	(1)	(0)	0	(1)
特定資産受取利息	0	1	1	0	0	1
一般正味財産への振替額	(0)	(△2,830,000)	(△2,830,000)	(0)	0	(△2,830,000)
一般正味財産への振替額	0	△ 2,830,000	△ 2,830,000	0	0	△ 2,830,000
当期指定正味財産増減額	0	72,221	72,221	0	0	72,221
指定正味財産期首残高	4,500,000	577,409	5,077,409	0	0	5,077,409
指定正味財産期末残高	4,500,000	649,630	5,149,630	0	0	5,149,630
III 正味財産期末残高	6,439,684	△ 606,973	5,832,711	6,162,995	0	11,995,706

## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,763,982	8,558,861	2,205,121
未収金	0	10,350	△ 10,350
立替金	8,320	100,074	△ 91,754
流動資産合計	10,772,302	8,669,285	2,103,017
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	4,500,000	4,500,000	0
基本財産合計	4,500,000	4,500,000	0
(2) 特定資産			
普通預金－ろうきん	649,619	577,399	72,220
普通預金－ごうぎん私募債	7	7	0
普通預金－あいおいニッセイ同和損保	0	0	0
普通預金－カンパイチャリティー	0	0	0
普通預金－47コロナ基金	0	0	0
普通預金－とりぎん青い鳥	4	3	1
特定資産合計	649,630	577,409	72,221
(3) その他固定資産			
什器備品	102,168	102,168	0
ソフトウェア	652,320	652,320	0
減価償却累計額	△ 754,487	△ 754,487	0
敷金	0	0	0
その他固定資産合計	1	1	0
固定資産合計	5,149,631	5,077,410	72,221
資産合計	15,921,933	13,746,695	2,175,238
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	900,861	1,293,714	△ 392,853
前受金	0	0	0
預り金	635,266	594,786	40,480
未払消費税等	2,390,100	715,000	1,675,100
流動負債合計	3,926,227	2,603,500	1,322,727
負債合計	3,926,227	2,603,500	1,322,727
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,149,630	5,077,409	72,221
指定正味財産合計	5,149,630	5,077,409	72,221
(うち基本財産への充当額)	(4,500,000)	(4,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(649,630)	(577,409)	(72,221)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
一般正味財産合計	6,846,076	6,065,786	780,290
正味財産合計	11,995,706	11,143,195	852,511
負債及び正味財産合計	15,921,933	13,746,695	2,175,238

## 財務諸表に対する注記

令和5年3月31日現在

## 1. 継続事業の前提に関する注記

当法人が将来にわたって事業を継続する前提に疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しない。

## 2. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は法人税法に規程する定額法によっている。

## (2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法で処理している。

## (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

## 3. 会計方針の変更

該当なし

## 4. 法人で採用する退職給付制度

当法人で採用する退職給付制度は、次のとおりである。  
独立行政法人 勤労者退職金機構による中小企業退職金共済への加入によっている。

## 5. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金 - 鳥取信用金庫、縣市町村拠出金	4,500,000	0	0	4,500,000
小 計	4,500,000	0	0	4,500,000
特定資産				
普通預金 - 中国労働金庫、NPO寄附システム	577,330	472,220	400,000	649,550
普通預金 - 中国労働金庫、NPO立ち上げ助成金	69	0	0	69
普通預金-ごうぎん私募債	7	100,000	100,000	7
普通預金-あいおいニッセイ同和損保助成	0	330,000	330,000	0
普通預金-カンパイチャリティー	0	0	0	0
普通預金-47コロナ基金とっとりつながるプロジェクト助成金	0	0	0	0
普通預金-とりぎん青い鳥	3	2,000,001	2,000,000	4
小 計	577,409	2,902,221	2,830,000	649,630
合 計	5,077,409	2,902,221	2,830,000	5,149,630

(5) 公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター

6. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金 - 鳥取信用金庫、県市町村拠出金	4,500,000	(4,500,000)	0	0
小 計	4,500,000	(4,500,000)	0	0
特定資産				
普通預金 - 中国労働金庫、NPO寄附システム	649,550	(649,550)	0	0
普通預金 - 中国労働金庫、NPO立ち上げ助成金	69	(69)	0	0
普通預金-ごうぎん私募債	7	(7)	0	0
普通預金-あいおいニッセイ同和損保助成	0	0	0	0
普通預金-カンパイチャリティー	0	0	0	0
普通預金-47コロナ基金とっとりつながるプロジェクト助成金	0	0	0	0
普通預金-とりぎん青い鳥	4	(4)	0	0
小 計	649,630	(649,630)	0	0
合 計	5,149,630	(5,149,630)	0	0

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
ロールスクリーン一式	102,168	102,167	1
無形固定資産			
ソフトウェア	652,320	652,320	0
合 計	754,488	754,487	1

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金返還に考慮される事項	内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	内 返還額	貸借対照表上の記載区分
鳥取県補助金 (活性化センター)	交付者-鳥取県	0	789,000	789,000	0	0	
合 計		0	789,000	789,000	0	0	



## 9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額は、次のとおりである。

(単位：円)

内訳	金額
経常収益への振替額 目的事業実施による振替額	2,830,000
合 計	2,830,000

## 10. 受託金と受託金返還額

県からの受託金について、各事業の残額は、契約に基づき翌期に返還される。

(単位：円)

受託金返還に考慮される事項	内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	内 返還額	貸借対照表上の記載区分
鳥取県中部地震生活復興支援事業	交付者－鳥取県	693,307	193,000	734,304	152,003	152,003	未払金
とっとりSDGsパートナー制度事業	交付者－鳥取県	0	1,840,000	1,840,000	0	0	
とっとりSDGs伝道師制度事業	交付者－鳥取県	0	1,870,000	1,870,000	0	0	
合 計		693,307	3,903,000	4,444,304	152,003	152,003	

## 11. リース取引関係

社用車のリース料は、通常の賃貸借取引に係る方式に基づき賃借料を支払う。契約総額、支払額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

車種	リース内容	契約総額(税込)	前期までの支払額	当期支払額	当期末残高
ダイハツ ハイゼット カーゴ (鳥取 480 く 4671)	リース期間 24カ月 月額再リース料 ¥10,560 令和4年4月開始	253,440	0	126,720	126,720
スズキ ワゴンR (鳥取 580 に 2184)	リース期間 24カ月 月額再リース料 ¥7,480 令和4年4月開始	179,520	0	89,760	89,760
スズキ ワゴンR (鳥取 580 に 2194)	リース期間 24カ月 月額再リース料 ¥5,500 令和4年4月開始	132,000	0	66,000	66,000
スズキ スイフト (鳥取 500 む 8600)	リース期間 24カ月 月額再リース料 ¥9,130 令和4年4月開始	219,120	0	109,560	109,560
ダイハツ ミライース (鳥取 580 の 7822)	リース期間 24カ月 月額再リース料 ¥5,610 令和4年3月開始	134,640	0	72,930	61,710
合 計		918,720	0	464,970	453,750

## 財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	44,085
	預金	普通預金 山陰合同銀行 倉吉駅前出張所	センターの受託事業資金	10,714,435
			活性化センター補助金 SDGs推進補助金等	0
			生活復興支援事業補助金	0
		普通預金 中国労働金庫 倉吉支店	ろうきん 寄付システム事務手数料	0
		普通預金 鳥取信用金庫 倉吉支店	定期預金の受取利息	5,462
			10,719,897	
	立替金		労働保険料の立替	8,320
流動資産合計				10,772,302
(固定資産)				
基本財産	定期預金	鳥取信用金庫 倉吉支店	公益目的保有財産 (設立時の市町村からの拠出金)	4,500,000
特定資産	普通預金	中国労働金庫 倉吉支店	NPO支援のための資金	
	保健医療福祉			26,100
	社会教育			7,060
	まちづくり			14,400
	文化スポーツ			12,200
	環境保全			36,300
	災害救援			131,008
	地域安全			1,180
	人権平和			21,320
	国際協力			38,360
	男女共同参画			1
	子どもの健全育成			32,500
	情報化社会			20,948
	科学技術			193,707
	経済活動			9,181
	職業訓練雇用			25,420
	消費者保護			4,680
	NPO支援			20,280
	観光振興			11,240
	中山間振興			1,760
	おまかせコース			41,905
	立ち上げ助成金			69
				649,619

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
その他固定資産	普通預金				
	ごうぎん私募債	山陰合同銀行 倉吉駅前出張所		7	
	あいおいニッセイ同和 損保助成	山陰合同銀行 倉吉駅前出張所		0	
	カンバイチャリティー	山陰合同銀行 倉吉駅前出張所		0	
	47コロナ基金	山陰合同銀行 倉吉駅前出張所		0	
	とりぎん青い鳥	鳥取銀行 倉吉中央支店		4	
	什器備品	ロールスクリーン一式		102,168	
ソフトウェア	ソフトウェア		652,320		
減価償却累計額			△ 754,487		
				1	
固定資産合計				5,149,631	
資産合計				15,921,933	
(流動負債)	未払金	鳥取県	鳥取県中部地震生活復興支 援事業委託金返納	152,003	
		職員	アルバイト4月分給与	48,000	
		年金事務所	社会保険料	357,875	
		職員	旅費交通費	15,750	
		NTT西日本	震災復興固定電話	5,550	
		日本郵便	郵送料	137,507	
		ソネット	プロバイダ料金	1,430	
		カウネット	事務用品	12,329	
		パープルタウン	電気代	11,594	
		モリックスジャパン	コピー使用料	4,045	
		衣笠商会	コピー使用料	80,202	
		ダスキン	モップ使用料	1,628	
		山陰合同銀行	IB基本手数料	3,300	
		Chatwork株式会社	Chatwork利用手数料	13,829	
		サンテラス税理士法人	税理士顧問料	33,000	
		パープルタウン	電気調整費	2,426	
		トリバイ	ガソリン代	12,086	
		ENEOS	ガソリン代	6,920	
		パープルタウン	文化教室利用料	1,387	
					900,861
	預り金	健康保険	3月分		133,439
		厚生年金	3月分		215,940
		住民税	3月分		122,400
		所得税	3月分		67,066
		源泉所得税	3月分		66,585
		とりぎん青い鳥運営費			29,836
					635,266
未払消費税等				2,390,100	
流動負債合計				3,926,227	
負債合計				3,926,227	
正味財産				11,995,706	

## 附 属 明 細 書

令和5年3月31日現在

1. 基本財産および特定資産の明細

財務諸表に対する注記5. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載のため省略する。

2. 引当金の明細

該当なし

令和5年度事業計画

1 地域づくり活動活性化のための基盤強化事業

(1) 専門家派遣事業

NPO等からの法人業務や会計等の専門的な相談に対して、税理士、行政書士、社会保険労務士、ICT支援アドバイザー等の専門家を個別又は出前相談会へ派遣する。

(2) NPO経営実態把握事業

NPO法人経営実態把握調査を実施し、きめ細かい相談支援のための基礎資料「NPO経営実態資料」を更新し、NPO等への支援に活かす。

(3) 非営利組織基盤強化・評価推進事業

NPO等の社会的信用を高めるために組織診断・評価・基盤強化支援を行い、組織力強化、ガバナンスの向上を図るとともに、積極的な情報開示・情報発信を促進する。

(4) NPO基盤強化事業

NPO法人等の事務力やガバナンスを高めるためのセミナー等を開催する。

(5) 相談体制整備・情報発信事業

ア とっとり創生支援センター事業

地方創生の推進に向けて、東・中・西部に設置するとっとり創生支援センターにより、圏域内の相談対応、団体間のネットワーク構築支援を実施する。

イ 相談対応・出前相談事業

県民・NPO等からの県民活動に関する幅広い相談対応や伴走型の個別支援を行う。

ウ 団体の総合支援モデル事業

ガバナンス認証や認定NPO法人の認証に向かおうとする団体を、センターのあらゆる事業を複合的に組み合わせ、支援機能を最大限に活用して、団体の取組を支援する。

エ 情報集積・発信事業

ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動など県民活動の活性化に資する県内外の情報を収集し、情報誌や機関紙、WEB、SNS、メルマガ等を活用して、県民及びNPO等に広く発信する。

2 ネットワークを活用した持続可能な地域づくり支援事業

(1) 社会人・若者ボランティア（プロボノ）推進事業

自らのスキルや経験を活かし、社会貢献活動を行いたい社会人や若者にボランティアによる支援の機会を提供するとともに、支援人材の育成とNPO等の組織基盤強化を図る。

(2) 地域づくり活動体験機会提供事業

## (5) 公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター

夏休み期間を中心としたボランティア体験や、大学等と連携した地域課題解決ワークショップ（出前講座）を開催し、若者等の地域づくり活動への参加を促進する。

### (3) 持続可能な地域づくり促進事業

NPO等と市町村とのネットワーク会議等を開催し、連携・協働のネットワークの形成を図るとともに、センター職員が幅広く地域づくり活動をサポートする。

### (4) 多様な主体による連携の促進

とっとりSDGsプラットフォーム、とっとりSDGsパートナー制度等を活用し、県民、NPO、企業、行政、大学・学校など、多様な主体によるネットワークの構築及び持続可能な地域づくりを推進する。

## 3 地域課題解決等に取り組む団体活動促進支援事業

### (1) 助成金活用促進事業

県内外の助成団体が提供する助成金情報を紹介し、効果的な活用を促す「助成金合同説明会」を開催する。

### (2) 資金調達支援事業

NPO等の団体運営や活動に必要な資金の確保に向け、資金調達に関する助言等を行う。

### (3) 寄付つき商品開発普及事業

NPO等と企業等をマッチングし、売上の一部を活動団体等に寄付する取組である「寄付つき商品」を県内に普及するため、寄付つき商品の開発や広報面での支援を行う。

### (4) 民間協働型活動支援事業

企業及び県内外の支援団体と連携し、県内NPO等への資金、物品、ノウハウ等の支援プログラムを実施する。

### (5) 控除対象特定非営利活動法人指定支援補助金交付事業

鳥取県の特定非営利活動法人の条例個別指定制度に基づく指定を受けるため必要と認められる経費の一部を補助する。

### (6) 地域づくり活動改善支援補助金交付事業

地域の課題解決を図るため、地域づくり団体等が取り組む活動を改善・向上させようとするための活動に必要な経費の一部を補助する。

## 4 法人業務

### (1) 評議員会及び理事会の開催

### (2) 信頼される事務局機能の構築

### (3) DX化（デジタルトランスフォーメーション化）等によるセンター機能向上

## 収支予算書（正味財産増減計算ベース）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
<b>基本財産運用益</b>	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
<b>特定資産運用益</b>	1,000	500	500
特定資産受取利息	1,000	500	500
<b>事業収益</b>	71,323,000	68,185,842	3,137,158
県民活動活性化事業	61,133,000	58,602,842	2,530,158
鳥取県中部地震生活復興支援事業	0	193,000	△ 193,000
とっとりSDGsパートナー制度事業	1,430,000	1,840,000	△ 410,000
とっとりSDGs伝道師制度事業	1,870,000	1,870,000	0
民間協働型活動支援事業	6,890,000	5,680,000	1,210,000
<b>受取補助金等</b>	1,800,000	3,050,000	△ 1,250,000
鳥取県補助金	1,800,000	3,050,000	△ 1,250,000
<b>受取寄付金</b>	2,930,000	2,900,000	30,000
民間協働型活動支援寄付金	2,930,000	2,900,000	30,000
<b>雑収益</b>	1,000	3,000	△ 2,000
受取利息	1,000	3,000	△ 2,000
<b>経常収益計</b>	<b>76,056,000</b>	<b>74,140,342</b>	<b>1,915,658</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
<b>事業費</b>	60,890,064	59,551,263	1,338,801
役員報酬	912,000	912,000	0
給与手当	35,475,834	33,498,217	1,977,617
退職金給付費用	620,160	583,680	36,480
法定福利費	4,157,835	4,302,045	△ 144,210
福利厚生費	7,600	0	7,600
会議費	11,316	11,180	136
会場賃借料	91,046	189,644	△ 98,598
旅費交通費	827,166	736,268	90,898
研修費	156,054	0	156,054
通信運搬費	1,435,243	1,188,700	246,543
消耗品費	904,816	946,730	△ 41,914
光熱水料費	126,443	114,249	12,194
印刷製本費	1,197,112	1,320,185	△ 123,073
賃借料	2,690,567	2,620,161	70,406
諸謝金	914,128	1,080,587	△ 166,459
広告宣伝費	299,714	356,688	△ 56,974
支払負担金	14,386	0	14,386
支払手数料	358,722	360,535	△ 1,813
支払助成金	1,800,000	3,050,000	△ 1,250,000
支払寄付金	2,930,000	2,900,000	30,000
修繕費	82,002	47,982	34,020
新聞図書費	122,312	113,684	8,628
燃料費	916,340	852,007	64,333
保険料	443,170	381,335	61,835
租税公課	3,710,233	3,658,939	51,294
委託費	466,355	94,736	371,619
保守管理費	218,911	231,711	△ 12,800
雑費	599	0	599

## (5) 公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター

(単位：円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減
<b>管理費</b>	<b>15,165,936</b>	<b>14,589,079</b>	<b>576,857</b>
役員報酬	848,000	848,000	0
給与手当	9,226,684	8,857,332	369,352
退職給付費用	195,840	184,320	11,520
法定福利費	1,313,000	1,358,540	△ 45,540
福利厚生費	2,400	0	2,400
会議費	2,318	2,290	28
会場賃借料	17,169	0	17,169
旅費交通費	125,044	150,802	△ 25,758
研修費	21,608	0	21,608
通信運搬費	288,048	234,702	53,346
減価償却費	0	119,592	△ 119,592
消耗品費	178,667	186,603	△ 7,936
光熱水料費	25,897	23,400	2,497
印刷製本費	236,316	261,632	△ 25,316
賃借料	551,080	536,660	14,420
諸謝金	187,231	221,325	△ 34,094
広告宣伝費	61,387	0	61,387
支払負担金	2,947	0	2,947
支払手数料	68,000	68,000	0
支払報酬	460,765	433,947	26,818
修繕費	16,796	9,827	6,969
新聞図書費	23,573	23,285	288
燃料費	178,809	173,047	5,762
保険料	90,770	78,105	12,665
租税公課	903,108	750,807	152,301
委託費	95,519	19,404	76,115
保守管理費	44,837	47,459	△ 2,622
雑費	123	0	123
<b>経常費用計</b>	<b>76,056,000</b>	<b>74,140,342</b>	<b>1,915,658</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	6,065,786	5,191,683	874,103
一般正味財産期末残高	6,065,786	5,191,683	874,103
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産運用益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
特定資産運用益	1,000	500	500
特定資産受取利息	1,000	500	500
受取寄付金	2,930,000	2,900,000	30,000
中国ろうきんNPO寄付システム	0	0	0
中国ろうきんNPO立上げ助成	0	0	0
ごうぎん私募債寄贈	0	0	0
あいおいニッセイ同和損保助成	0	0	0
民間協働型活動支援寄付金	2,930,000	2,900,000	30,000
一般正味財産への振替額	△ 2,932,000	△ 2,901,500	△ 30,500
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	4,500,000	4,500,000	0
指定正味財産期末残高	4,500,000	4,500,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>10,565,786</b>	<b>9,691,683</b>	<b>874,103</b>



## 収支予算書内訳表（正味財産増減計算ベース）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	内部取引消去	合計
	センター事業	民間協働型活動支援事業	小計			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>						
<b>1. 経常増減の部</b>						
<b>(1) 経常収益</b>						
<b>基本財産運用益</b>	1,000	0	1,000	0	0	1,000
基本財産受取利息	1,000	0	1,000	0	0	1,000
<b>特定資産運用益</b>	1,000	0	1,000	0	0	1,000
特定資産受取利息	1,000	0	1,000	0	0	1,000
<b>事業収益</b>	49,267,064	6,890,000	56,157,064	15,165,936	0	71,323,000
県民活動活性化事業	45,967,064	0	45,967,064	15,165,936	0	61,133,000
鳥取県中部地震生活復興支援事業	0	0	0	0	0	0
とっとりSDGsパートナー制度事業	1,430,000	0	1,430,000	0	0	1,430,000
とっとりSDGs伝道師制度事業	1,870,000	0	1,870,000	0	0	1,870,000
民間協働型活動支援事業	0	6,890,000	6,890,000	0	0	6,890,000
<b>受取補助金等</b>	1,800,000	0	1,800,000	0	0	1,800,000
鳥取県補助金	1,800,000	0	1,800,000	0	0	1,800,000
<b>受取寄付金</b>	0	2,930,000	2,930,000	0	0	2,930,000
民間協働型活動支援寄付金	0	2,930,000	2,930,000	0	0	2,930,000
<b>雑収益</b>	1,000	0	1,000	0	0	1,000
受取利息	1,000	0	1,000	0	0	1,000
<b>経常収益計</b>	51,070,064	9,820,000	60,890,064	15,165,936	0	76,056,000
<b>(2) 経常費用</b>						
<b>事業費</b>	51,070,064	9,820,000	60,890,064	0	0	60,890,064
役員報酬	912,000	0	912,000	0	0	912,000
給与手当	29,217,834	6,258,000	35,475,834	0	0	35,475,834
退職金給付費用	620,160	0	620,160	0	0	620,160
法定福利費	4,157,835	0	4,157,835	0	0	4,157,835
福利厚生費	7,600	0	7,600	0	0	7,600
会議費	11,316	0	11,316	0	0	11,316
会場賃借料	81,046	10,000	91,046	0	0	91,046
旅費交通費	527,166	300,000	827,166	0	0	827,166
研修費	86,054	70,000	156,054	0	0	156,054
通信運搬費	1,395,243	40,000	1,435,243	0	0	1,435,243
消耗品費	859,816	45,000	904,816	0	0	904,816
光熱水料費	126,443	0	126,443	0	0	126,443
印刷製本費	1,137,112	60,000	1,197,112	0	0	1,197,112
賃借料	2,690,567	0	2,690,567	0	0	2,690,567
諸謝金	914,128	0	914,128	0	0	914,128
広告宣伝費	299,714	0	299,714	0	0	299,714
支払負担金	14,386	0	14,386	0	0	14,386
支払手数料	321,722	37,000	358,722	0	0	358,722
支払助成金	1,800,000	0	1,800,000	0	0	1,800,000
支払寄付金	0	2,930,000	2,930,000	0	0	2,930,000
修繕費	82,002	0	82,002	0	0	82,002
新聞図書費	112,312	10,000	122,312	0	0	122,312
燃料費	856,340	60,000	916,340	0	0	916,340
保険料	443,170	0	443,170	0	0	443,170
租税公課	3,710,233	0	3,710,233	0	0	3,710,233
委託費	466,355	0	466,355	0	0	466,355
保守管理費	218,911	0	218,911	0	0	218,911
雑費	599	0	599	0	0	599

## (5) 公益財団法人 とっとり県民活動活性化センター

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	内部取引消去	合計
	センター事業	民間協働型活動支援事業	小計			
<b>管理費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>15,165,936</b>	<b>0</b>	<b>15,165,936</b>
役員報酬	0	0	0	848,000	0	848,000
給与手当	0	0	0	9,226,684	0	9,226,684
退職給付費用	0	0	0	195,840	0	195,840
法定福利費	0	0	0	1,313,000	0	1,313,000
福利厚生費	0	0	0	2,400	0	2,400
会議費	0	0	0	2,318	0	2,318
会場賃借料	0	0	0	17,169	0	17,169
旅費交通費	0	0	0	125,044	0	125,044
研修費	0	0	0	21,608	0	21,608
通信運搬費	0	0	0	288,048	0	288,048
減価償却費	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	178,667	0	178,667
光熱水料費	0	0	0	25,897	0	25,897
印刷製本費	0	0	0	236,316	0	236,316
賃借料	0	0	0	551,080	0	551,080
諸謝金	0	0	0	187,231	0	187,231
広告宣伝費	0	0	0	61,387	0	61,387
支払負担金	0	0	0	2,947	0	2,947
支払手数料	0	0	0	68,000	0	68,000
支払報酬	0	0	0	460,765	0	460,765
修繕費	0	0	0	16,796	0	16,796
新聞図書費	0	0	0	23,573	0	23,573
燃料費	0	0	0	178,809	0	178,809
保険料	0	0	0	90,770	0	90,770
租税公課	0	0	0	903,108	0	903,108
委託費	0	0	0	95,519	0	95,519
保守管理費	0	0	0	44,837	0	44,837
雑費	0	0	0	123	0	123
<b>経常費用計</b>	<b>51,070,064</b>	<b>9,820,000</b>	<b>60,890,064</b>	<b>15,165,936</b>	<b>0</b>	<b>76,056,000</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	6,065,786	0	6,065,786	0	0	6,065,786
一般正味財産期末残高	6,065,786	0	6,065,786	0	0	6,065,786
<b>II 指定正味財産増減の部</b>						
基本財産運用益	1,000	0	1,000	0	0	1,000
基本財産受取利息	1,000	0	1,000	0	0	1,000
特定資産運用益	1,000	0	1,000	0	0	1,000
特定資産受取利息	1,000	0	1,000	0	0	1,000
受取寄付金	0	2,930,000	2,930,000	0	0	2,930,000
民間協働型活動支援寄付金	0	2,930,000	2,930,000	0	0	2,930,000
一般正味財産への振替額	△ 2,000	△ 2,930,000	△ 2,932,000	0	0	△ 2,932,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	4,500,000	0	4,500,000	0	0	4,500,000
指定正味財産期末残高	4,500,000	0	4,500,000	0	0	4,500,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>10,565,786</b>	<b>0</b>	<b>10,565,786</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>10,565,786</b>

## (6) 公益財団法人 鳥取県文化振興財団経営状況報告書

### 法人の概要

- |           |  |
|-----------|--|
| 1 名 称     | 公益財団法人 鳥取県文化振興財団   |
| 2 目 的     | 文化芸術に関する各種事業を推進することにより県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することにより自主的な活動を支援し、人と人との交流や地域を活性化させ、もって心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活の実現に寄与することを目的とする。   |
| 3 公益認定年月日 | 平成25年3月21日<br>(財団法人 鳥取県文化振興財団設立許可年月日 平成4年10月1日)  |
| 4 設立登記年月日 | 平成25年4月1日<br>(財団法人 鳥取県文化振興財団設立登記年月日 平成4年10月8日)   |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 2,000,000,000円<br>鳥取県出えん金 2,000,000,000円  |
| 6 役 員     | 評 議 員 7人 理 事 7人 監 事 2人<br>評 議 員 小野達也(国立大学法人鳥取大学地域学部教授)<br>〃 井木博子(弁護士法人アザレア法律事務所弁護士)<br>〃 河崎 誠(株式会社新日本海新聞社地域プロデュース局次長)<br>〃 小谷幸久(鳥取県文化団体連合会会長)<br>〃 松本典子(学校法人藤田学院鳥取短期大学学長)<br>〃 盛田聖一(鳥取県地域社会振興部長)<br>〃 山田衛生(鳥取県オーケストラ連盟副会長)<br>理 事 長 山本仁志(青少年育成鳥取県民会議会長)<br>常務理事 岡崎隆司(鳥取県立県民文化会館館長)<br>理 事 朝倉香織(社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会事務局長)<br>〃 井上拓也(鳥取県総合芸術文化祭実行委員会副会長)<br>〃 大西瑞香(国立大学法人島根大学教育学部講師) |

	理事	尾上 明 (鳥取県演劇連盟会長)
	〃	原 礼子 (鳥取県合唱連盟理事長)
	監事	小林 敬典 (日本赤十字社鳥取県支部事務局長)
	〃	高田 充征 (高田税理士事務所所長・税理士)
7	職員	41人 (うち県退職職員 4人)
8	事務所	本所 鳥取市尚徳町101番地5 (鳥取県立県民文化会館)
	支所	倉吉市駄経寺町212番地5 (鳥取県立倉吉未来中心)
	支所	米子市末広町311番地 米子駅前ショッピングセンター4階 (アルテプラザ)

## 令和4年度事業実施状況

## I 公益目的事業1：文化芸術に関する各種の事業を推進することによる文化振興事業

## 1 実演芸術事業の実施（財団実施事業及び鳥取県立県民文化会館の指定管理事業）

## (1) 文化芸術の振興と創造・発信事業

## ア 鑑賞公演の提供（財団実施事業）

国内外の質の高い実演芸術を県民に提供し、新しい文化芸術ファンの開拓とリピーターの維持発展に努め、文化芸術ファン層の拡大と普及を図るため、鑑賞事業を6公演（東部3公演、中部2公演、西部1公演）、関連事業を2公演（西部2公演）、また、県民へより多くの鑑賞機会を提供するため、公共性の高い優れた実演芸術事業を実施する特別共催事業を11公演（東部3公演、中部2公演、西部6公演）実施した。

## イ プロデュース公演（指定管理事業）

優れた実演芸術の創造を県民と財団が連携し、プロデュース作品として制作するプロデュース公演《演劇》U-18シアタープロジェクト Act 2、関連企画として舞台美術製作体験企画及び《音楽》とっとりチェンバーオーケストラ第3回弦楽アンサンブルコンサートを実施した。

## ウ 情報発信事業（指定管理事業）

財団情報誌「アルテ」を年4回（7月20日、9月20日、12月20日、3月20日）発行、県内文化活動の情報発信、県内文化事業の広報による支援及び文化芸術の裾野の拡大を推進した。

## (2) 文化芸術活動支援及び人材育成事業

## ア 次世代育成事業

## (ア) トライアート（指定管理事業）

未来を担う若手活動者や若年層を対象に、年間を通して継続的に実演芸術の魅力を身近に体験し深める機会を提供するため、プロデュース公演や鑑賞事業と連携したレクチャーシリーズ事業を2事業、体験して深めるワークショップを3事業実施した。

## (イ) ととりの芸術宅配便（指定管理事業）

県内の小・中学校等に県にゆかりのある実演芸術活動者を派遣し、西洋音楽、邦楽、郷土芸能等の生の芸術やワークショップ等の公演を14校実施した。

## (ウ) とっとり地域創造（指定管理事業）

市町村と連携して、未来を担う若年層や本格的な大ホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供することを目的として、「八頭郡中学校文化連盟主催：八頭郡中学校文化発表会」へとっとりチェンバーオーケストラメンバーを、また「江府町文化協会主催：ん？あり得ない！役場 de 音楽会」へ鳥取芸術宅配便登録アーティストを派遣し、公演を実施した。

## (エ) 若手クラシックアーティスト育成プロジェクト（指定管理事業）

若年層を対象にクラシック音楽への興味やオーディションへの関心を高めるこ

とを目的として、県出身・在住の若手演奏者を起用して弦楽アンサンブルクリニック（初級、上級）を実施した。

イ 伝承・継承事業（指定管理事業）

地域独自の文化継承に寄与するとともに、その素晴らしさを広く県民に伝え、古典芸能への興味・関心を引き出すことを目的として、ワークショップの開催、宝生流能楽師による能「葵上」、狂言「附子」のほか、鳥取県能楽連合会加盟団体による連吟、仕舞を披露した。

ウ 実演芸術市町村連携事業（財団実施事業）

本格的なホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と協働して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、新規鑑賞者を開拓、潜在的な鑑賞者を掘り起こし、地域の文化芸術の発展と地域の活性化を図るため、琴浦町主催「カウベル合唱フェスティバル」へとっとりチェンバーオーケストラカルテットを、また「ことうらきっずコンサート」へとっとりチェンバーオーケストラメンバー等を派遣し、公演を実施した。

2 鳥取県補助事業の実施

(1) 芸術鑑賞教室（県補助事業：芸術鑑賞教室開催事業）

県からの助成を受け、高等学校・特別支援学校の児童生徒を対象とした芸術鑑賞事業及び児童生徒を対象とした文化芸術事業（青少年劇場小公演、青少年劇場巡回公演）の開催のための業務を運営した。

(2) とりアート実行委員会等事務局（県補助事業：第20回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2022）

県からの助成を受け、とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）2022の開催に向け、鳥取県総合芸術文化祭実行委員会事務局及び東部・中部・西部地区企画運営委員会事務局の運営を行った。

3 鳥取県文化振興財団文化振興事業基金事業の実施（財団実施事業）

県からの基金造成事業補助金を受け、県民の多様化、高度化する文化芸術への志向に応えるための実演芸術に関する事業（大阪フィルハーモニー交響楽団鳥取公演ほか）の実施経費等に充当した。

4 鳥取県立県民文化会館の管理運営事業（鳥取県立県民文化会館の指定管理事業）

豊かで特色のある県民文化の育成振興に寄与する場として活用するため、県からの指定を受け、鳥取県立県民文化会館の管理運営に関する協定書に基づき、施設の管理運営を行った。

(1) 施設の貸与事業（管理事務・利用料徴収事務）（指定管理事業）

(2) 地域の賑わい創出事業（指定管理事業）

文化施設の特性を活かしながら、誰もが実演芸術に親しめる機会を提供するとともに、県民文化会館が地域コミュニティを形成する場として地域に根差した身近なホールとなるため「ARTS FOR EVERYONE『アート SQUARE 夢空間』」を

3公演、「とりぎん文化会館『ホール探検ツアー』」を1事業、「梨花ホール レクチャーコンサートシリーズ Vol.4『みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート』」を1公演、関連事業1事業を実施した。

また、パートナー協賛企業を対象にアートと食を通じて参加企業相互の新たな出会いと繋がりを生むきっかけの場を提供するため、「文化交流広場 Art Salon(アートサロン)」を1事業実施した。

### (3) 教育機関連携事業（指定管理事業）

県内の文化芸術の発展のため、蓄積した舞台技術経験やノウハウを生かし、文化芸術団体やアマチュア活動者、施設利用者等はもとより、文化・教育に係る行政機関や文化施設などを対象に、技術資料の提供やアドバイス等を行うとともに、学校や教育機関とも連携し技能や知識習得の機会を設け（舞台技術支援）、将来に繋がる人材の育成を図った。

## II 公益目的事業2：県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することにより、自主的な活動を支援し、人と人との交流、地域の活性化を図る事業

### 1 鳥取県立倉吉未来中心の管理運営事業（指定管理事業）

人と人との交流、地域活性化事業に寄与する場として活用するため、県及び倉吉市（中部町村分担金を含む）からの指定を受け、鳥取県立倉吉未来中心の管理運営に関する協定書及び鳥取県立倉吉未来中心管理運営委託契約書に基づき、倉吉未来中心の管理運営を行った。

#### (1) 施設の貸与事業（管理事務・利用料徴収事務）（指定管理事業）

#### (2) 未来つながるプロジェクト（指定管理事業）

「人と人との交流促進」及び「地域の活性化」という倉吉未来中心の設置目的の達成を目指し、地域のこれからの活力ある“まちづくり”と心豊かな“ひとづくり”を目標とした「未来つながるプロジェクト」として、地域に愛され人や文化の交流拠点となる地域に根ざした会館づくり活動の一環としたハッピースマイルコンサート、みらい楽演祭、施設体験ツアー、舞台技術ワークショップ、イベント相談窓口、舞台技術支援、みらいアートギャラリー等の各事業を実施した。

## III 収益事業1：鳥取県立県民文化会館及び鳥取県立倉吉未来中心の施設貸与事業（公益目的事業以外）

指定管理者として県から指定を受け、協定書等に基づき、県民が広く利用する公の施設の指定管理者として施設の管理運営を行った。また、文化振興に関する目的及び文化芸術を通じた人と人との交流目的以外でも施設を貸与することにより、県民の様々な活動の場を提供した。

## 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,597,808	11,029,589	△ 9,431,781
管理運営事業収益	113,017,418	83,821,767	29,195,651
施設利用料収益	104,082,420	73,956,290	30,126,130
手数料収益	4,433,898	3,639,132	794,766
使用料収益	3,462,810	3,213,975	248,835
公衆電話通話料収益	19,960	17,720	2,240
複写機利用料収益	283,410	200,400	83,010
充電器利用料収益	5,120	7,200	△ 2,080
入場料・参加料収益	729,800	2,787,050	△ 2,057,250
文化芸術事業収益	19,036,688	25,918,275	△ 6,881,587
入場料・参加料収益	12,044,000	17,134,750	△ 5,090,750
共催分配金収益	1,751,809	1,448,570	303,239
友の会会費収益	1,400,500	1,710,000	△ 309,500
預かりチケット等手数料収益	2,407,949	3,910,059	△ 1,502,110
負担金収益	1,432,430	1,714,896	△ 282,466
受託事業収益	456,188,653	444,238,083	11,950,570
県受託収益	400,689,533	388,942,735	11,746,798
市受託収益	55,499,120	55,295,348	203,772
受取補助金等	46,632,729	62,500,994	△ 15,868,265
受取県補助金	35,808,530	31,578,572	4,229,958
受取国庫助成金	6,626,199	28,409,422	△ 21,783,223
受取民間助成金	4,198,000	2,513,000	1,685,000
受取寄付金	3,600,000	4,900,000	△ 1,300,000
雑収益	313,945	6,466,550	△ 6,152,605
その他固定資産運用益	78,000	78,000	0
雑収益	235,945	6,388,550	△ 6,152,605
経常収益計	640,387,241	638,875,258	1,511,983
(2) 経常費用			
事業費	638,548,586	634,356,817	4,191,769
給料手当	186,169,904	195,263,140	△ 9,093,236
臨時雇賃金	6,139,274	4,581,776	1,557,498
福利厚生費	39,652,473	40,830,045	△ 1,177,572
旅費交通費	4,114,969	3,379,364	735,605
通信運搬費	5,675,259	7,136,123	△ 1,460,864
消耗品費	7,114,731	11,520,807	△ 4,406,076
修繕費	8,222,865	10,601,416	△ 2,378,551
印刷製本費	1,599,177	2,099,342	△ 500,165
食糧費	901,479	689,642	211,837
燃料費	431,321	436,901	△ 5,580
光熱水料費	88,665,966	74,179,716	14,486,250
賃借料	27,673,064	29,921,345	△ 2,248,281
保険料	1,024,304	1,160,946	△ 136,642
諸謝金	5,838,819	3,531,856	2,306,963
租税公課	32,229,600	19,676,400	12,553,200
支払負担金	159,200	634,800	△ 475,600
委託費	201,565,807	205,293,778	△ 3,727,971
支払手数料	8,818,822	10,724,839	△ 1,906,017
雑費	6,380	74,910	△ 68,530
賞与引当金繰入額	11,196,755	11,522,004	△ 325,249
減価償却費	1,348,417	1,097,667	250,750



(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	10,580,357	3,231,929	7,348,428
役員報酬	2,244,000	1,617,000	627,000
旅費交通費	153,020	166,350	△ 13,330
通信運搬費	112,283	109,556	2,727
消耗品費	11,904	22,849	△ 10,945
印刷製本費	2,700	10,882	△ 8,182
食糧費	11,712	11,037	675
賃借料	272,340	316,435	△ 44,095
保険料	63,750	0	63,750
諸謝金	770,548	572,000	198,548
租税公課	6,782,950	81,800	6,701,150
支払負担金	84,240	106,540	△ 22,300
委託費	11,000	11,000	0
支払手数料	59,910	206,480	△ 146,570
経常費用計	649,128,943	637,588,746	11,540,197
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,741,702	1,286,512	△ 10,028,214
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,741,702	1,286,512	△ 10,028,214
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 8,741,702	1,286,512	△ 10,028,214
他会計振替額	0	0	0
他会計からの繰入額	13,215,990	15,483,249	△ 2,267,259
他会計からの繰出額	△ 13,215,990	△ 15,483,249	2,267,259
税引前当期一般正味財産増減額	△ 8,741,702	1,286,512	△ 10,028,214
法人税、住民税及び事業税	969,500	0	969,500
当期一般正味財産増減額	△ 9,711,202	1,286,512	△ 10,997,714
一般正味財産期首残高	85,937,965	84,651,453	1,286,512
一般正味財産期末残高	76,226,763	85,937,965	△ 9,711,202
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	10,400,000	20,979,000	△ 10,579,000
受取県補助金	10,400,000	20,979,000	△ 10,579,000
基本財産運用益	1,597,808	11,029,589	△ 9,431,781
一般正味財産への振替額	△ 6,735,332	△ 11,798,599	5,063,267
受取県補助金	△ 5,137,524	△ 769,010	△ 4,368,514
基本財産運用益	△ 1,597,808	△ 11,029,589	9,431,781
当期指定正味財産増減額	5,262,476	20,209,990	△ 14,947,514
指定正味財産期首残高	2,033,847,990	2,013,638,000	20,209,990
指定正味財産期末残高	2,039,110,466	2,033,847,990	5,262,476
III 正味財産期末残高	2,115,337,229	2,119,785,955	△ 4,448,726

**正味財産増減計算書内訳表**  
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計		法人会計	合計
	県民文化会館指定管理事業 及び財団実施事業	倉吉未来中心 指定管理事業	小計	両施設の貸与事業 (公益目的事業以外)	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	1,278,246	0	1,278,246	0	0	319,562	1,597,808
管理運営事業収益	41,322,482	24,572,258	65,894,740	47,122,678	47,122,678	0	113,017,418
施設利用料収益	37,960,590	22,448,124	60,408,714	43,673,706	43,673,706	0	104,082,420
手数料収益	1,413,996	1,142,481	2,556,477	1,877,421	1,877,421	0	4,433,898
使用料収益	1,440,000	584,545	2,024,545	1,438,265	1,438,265	0	3,462,810
公衆電話通話料収益	5,736	5,721	11,457	8,503	8,503	0	19,960
複写機利用料収益	59,604	101,239	160,843	122,567	122,567	0	283,410
充電器利用料収益	1,056	1,848	2,904	2,216	2,216	0	5,120
入場料・参加料収益	441,500	288,300	729,800	0	0	0	729,800
文化芸術事業収益	19,036,688	0	19,036,688	0	0	0	19,036,688
入場料・参加料収益	12,044,000	0	12,044,000	0	0	0	12,044,000
共催分配金収益	1,751,809	0	1,751,809	0	0	0	1,751,809
友の会会費収益	1,400,500	0	1,400,500	0	0	0	1,400,500
預かりチケット等手数料収益	2,407,949	0	2,407,949	0	0	0	2,407,949
負担金収益	1,432,430	0	1,432,430	0	0	0	1,432,430
受託事業収益	168,617,107	106,789,082	275,406,189	180,782,464	180,782,464	0	456,188,653
県受託収益	168,617,107	74,515,878	243,132,985	157,556,548	157,556,548	0	400,689,533
市受託収益	0	32,273,204	32,273,204	23,225,916	23,225,916	0	55,499,120
受取補助金等	46,327,329	139,150	46,466,479	166,250	166,250	0	46,632,729
受取県補助金	35,808,530	0	35,808,530	0	0	0	35,808,530
受取国庫助成金	6,320,799	139,150	6,459,949	166,250	166,250	0	6,626,199
受取民間助成金	4,198,000	0	4,198,000	0	0	0	4,198,000
受取寄付金	3,600,000	0	3,600,000	0	0	0	3,600,000
雑収益	135,945	53,900	189,845	124,100	124,100	0	313,945
その他固定資産運用益	0	42,900	42,900	35,100	35,100	0	78,000
雑収益	135,945	11,000	146,945	89,000	89,000	0	235,945
経常収益計	280,317,797	131,554,390	411,872,187	228,195,492	228,195,492	319,562	640,387,241
(2) 経常費用							
事業費	293,570,848	133,502,255	427,073,103	211,475,483	211,475,483	0	638,548,586
給料手当	82,370,282	36,087,511	118,457,793	67,712,111	67,712,111	0	186,169,904
臨時雇賃金	4,626,526	1,512,748	6,139,274	0	0	0	6,139,274
福利厚生費	17,431,420	7,605,676	25,037,096	14,615,377	14,615,377	0	39,652,473
旅費交通費	3,584,369	530,600	4,114,969	0	0	0	4,114,969
通信運搬費	5,152,122	523,137	5,675,259	0	0	0	5,675,259
消耗品費	4,569,027	2,545,704	7,114,731	0	0	0	7,114,731
修繕費	5,099,025	3,123,840	8,222,865	0	0	0	8,222,865
印刷製本費	1,363,612	235,565	1,599,177	0	0	0	1,599,177
食糧費	775,279	126,200	901,479	0	0	0	901,479
燃料費	325,556	105,765	431,321	0	0	0	431,321
光熱水料費	27,177,089	23,853,951	51,031,040	37,634,926	37,634,926	0	88,665,966
賃借料	16,658,811	4,379,629	21,038,440	6,634,624	6,634,624	0	27,673,064
保険料	621,118	403,186	1,024,304	0	0	0	1,024,304
諸謝金	4,855,090	983,729	5,838,819	0	0	0	5,838,819
租税公課	10,005,890	6,493,991	16,499,881	15,729,719	15,729,719	0	32,229,600
支払負担金	76,000	83,200	159,200	0	0	0	159,200
委託費	93,738,617	38,678,464	132,417,081	69,148,726	69,148,726	0	201,565,807
支払手数料	7,415,447	1,403,375	8,818,822	0	0	0	8,818,822
雑費	6,380	0	6,380	0	0	0	6,380
賞与引当金繰入額	6,631,798	4,564,957	11,196,755	0	0	0	11,196,755
減価償却費	1,087,390	261,027	1,348,417	0	0	0	1,348,417
管理費	0	0	0	0	0	10,580,357	10,580,357
役員報酬	0	0	0	0	0	2,244,000	2,244,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	153,020	153,020
通信運搬費	0	0	0	0	0	112,283	112,283
消耗品費	0	0	0	0	0	11,904	11,904
印刷製本費	0	0	0	0	0	2,700	2,700
食糧費	0	0	0	0	0	11,712	11,712
賃借料	0	0	0	0	0	272,340	272,340
保険料	0	0	0	0	0	63,750	63,750
諸謝金	0	0	0	0	0	770,548	770,548
租税公課	0	0	0	0	0	6,782,950	6,782,950
支払負担金	0	0	0	0	0	84,240	84,240
委託費	0	0	0	0	0	11,000	11,000
支払手数料	0	0	0	0	0	59,910	59,910
経常費用計	293,570,848	133,502,255	427,073,103	211,475,483	211,475,483	10,580,357	649,128,943
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,253,051	△ 1,947,865	△ 15,200,916	16,720,009	16,720,009	△ 10,260,795	△ 8,741,702
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,253,051	△ 1,947,865	△ 15,200,916	16,720,009	16,720,009	△ 10,260,795	△ 8,741,702
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 13,253,051	△ 1,947,865	△ 15,200,916	16,720,009	16,720,009	△ 10,260,795	△ 8,741,702
他会計振替額	9,251,193	3,964,797	13,215,990	△ 13,215,990	△ 13,215,990	0	0
他会計からの繰入額	9,251,193	3,964,797	13,215,990	0	0	0	13,215,990
他会計からの繰出額	0	0	0	△ 13,215,990	△ 13,215,990	0	△ 13,215,990

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計		法人会計	合計
	県民文化会館指定管理事業 及び財団振興事業	倉吉未来中心 指定管理事業	小計	両施設の貸出事業 (公益目的事業以外)	小計		
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,001,858	2,016,932	△ 1,984,926	3,504,019	3,504,019	△ 10,260,795	△ 8,741,702
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	969,500	969,500	0	969,500
当期一般正味財産増減額	△ 4,001,858	2,016,932	△ 1,984,926	2,534,519	2,534,519	△ 10,260,795	△ 9,711,202
一般正味財産期首残高	△ 5,674,290	6,296,470	622,180	14,948,773	14,948,773	70,367,012	85,937,965
一般正味財産期末残高	△ 9,676,148	8,313,402	△ 1,362,746	17,483,292	17,483,292	60,106,217	76,226,763
II 指定正味財産増減の部							
受取補助金等	10,400,000	0	10,400,000	0	0	0	10,400,000
受取県補助金	10,400,000	0	10,400,000	0	0	0	10,400,000
基本財産運用益	1,278,246	0	1,278,246	0	0	319,562	1,597,808
一般正味財産への振替額	△ 6,415,770	0	△ 6,415,770	0	0	△ 319,562	△ 6,735,332
受取県補助金	△ 5,137,524	0	△ 5,137,524	0	0	0	△ 5,137,524
基本財産運用益	△ 1,278,246	0	△ 1,278,246	0	0	△ 319,562	△ 1,597,808
当期指定正味財産増減額	5,262,476	0	5,262,476	0	0	0	5,262,476
指定正味財産期首残高	1,633,847,990	0	1,633,847,990	0	0	400,000,000	2,033,847,990
指定正味財産期末残高	1,639,110,466	0	1,639,110,466	0	0	400,000,000	2,039,110,466
III 正味財産期末残高	1,629,434,318	8,313,402	1,637,747,720	17,483,292	17,483,292	460,106,217	2,115,337,229

## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	179,314,867	145,367,855	33,947,012
未収金	9,780,175	47,249,165	△ 37,468,990
前払金	593,763	367,434	226,329
立替金	4,274,745	3,764,415	510,330
仮払金	400	0	400
流動資産合計	193,963,950	196,748,869	△ 2,784,919
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	2,000,000,000	2,000,000,000	0
基本財産合計	2,000,000,000	2,000,000,000	0
(2) 特定資産			
特定資産	39,110,466	33,847,990	5,262,476
特定資産合計	39,110,466	33,847,990	5,262,476
(3) その他固定資産			
構築物	339,167	379,867	△ 40,700
車両運搬具	50,711	101,421	△ 50,710
什器備品	2,021,633	1,319,591	702,042
一括償却資産	533,585	565,034	△ 31,449
電話加入権	3,000	3,000	0
投資有価証券	0	10,000,000	△ 10,000,000
敷金	316,800	338,800	△ 22,000
その他固定資産合計	3,264,896	12,707,713	△ 9,442,817
固定資産合計	2,042,375,362	2,046,555,703	△ 4,180,341
資産合計	2,236,339,312	2,243,304,572	△ 6,965,260
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	87,738,115	94,032,033	△ 6,293,918
前受金	16,830,320	15,445,490	1,384,830
預り金	2,106,983	2,505,240	△ 398,257
仮受金	3,129,910	13,850	3,116,060
賞与引当金	11,196,755	11,522,004	△ 325,249
流動負債合計	121,002,083	123,518,617	△ 2,516,534
負債合計	121,002,083	123,518,617	△ 2,516,534
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
県補助金	39,110,466	33,847,990	5,262,476
寄付金	2,000,000,000	2,000,000,000	0
指定正味財産合計	2,039,110,466	2,033,847,990	5,262,476
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000,000)	(2,000,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(39,110,466)	(33,847,990)	(5,262,476)
2. 一般正味財産	76,226,763	85,937,965	△ 9,711,202
正味財産合計	2,115,337,229	2,119,785,955	△ 4,448,726
負債及び正味財産合計	2,236,339,312	2,243,304,572	△ 6,965,260

## 貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計		法人会計	合計
	県民文化会館指定管理事業及び財団実施事業	倉吉未来中心 指定管理事業	小計	両施設の貸与事業 (公益目的事業以外)	小計		
I 資産の部							
1. 流動資産							
現金預金	74,570,916	34,578,462	109,149,378	0	0	70,165,489	179,314,867
現金	200,130	112,270	312,400	0	0	0	312,400
決済用普通預金	74,370,786	34,466,192	108,836,978	0	0	70,165,489	179,002,467
未収金	5,705,776	4,074,399	9,780,175	0	0	0	9,780,175
前払金	529,402	64,361	593,763	0	0	0	593,763
立替金	603,553	3,671,192	4,274,745	0	0	0	4,274,745
仮払金	400	0	400	0	0	0	400
部門間貸借	△ 15,407,394	7,924,102	△ 7,483,292	17,483,292	17,483,292	△ 10,000,000	0
流動資産合計	66,002,653	50,312,516	116,315,169	17,483,292	17,483,292	60,165,489	193,963,950
2. 固定資産							
(1) 基本財産							
基本財産	1,600,000,000	0	1,600,000,000	0	0	400,000,000	2,000,000,000
基本財産合計	1,600,000,000	0	1,600,000,000	0	0	400,000,000	2,000,000,000
(2) 特定資産			0				
特定資産	39,110,466	0	39,110,466	0	0	0	39,110,466
特定資産合計	39,110,466	0	39,110,466	0	0	0	39,110,466
(3) その他固定資産							
構築物	339,167	0	339,167	0	0	0	339,167
車両運搬具	1	50,710	50,711	0	0	0	50,711
什器備品	1,912,111	109,522	2,021,633	0	0	0	2,021,633
一括償却資産	304,517	229,068	533,585	0	0	0	533,585
電話加入権	0	0	0	0	0	3,000	3,000
敷金	316,800	0	316,800	0	0	0	316,800
その他固定資産合計	2,872,596	389,300	3,261,896	0	0	3,000	3,264,896
固定資産合計	1,641,983,062	389,300	1,642,372,362	0	0	400,003,000	2,042,375,362
資産合計	1,707,985,715	50,701,816	1,758,687,531	17,483,292	17,483,292	460,168,489	2,236,339,312
II 負債の部							
1. 流動負債							
未払金	53,800,750	33,883,931	87,684,681	0	0	53,434	87,738,115
前受金	13,199,600	3,630,720	16,830,320	0	0	0	16,830,320
預り金	1,789,339	308,806	2,098,145	0	0	8,838	2,106,983
仮受金	3,129,910	0	3,129,910	0	0	0	3,129,910
賞与引当金	6,631,798	4,564,957	11,196,755	0	0	0	11,196,755
流動負債合計	78,551,397	42,388,414	120,939,811	0	0	62,272	121,002,083
負債合計	78,551,397	42,388,414	120,939,811	0	0	62,272	121,002,083
III 正味財産の部							
1. 指定正味財産							
県補助金	39,110,466	0	39,110,466	0	0	0	39,110,466
寄付金	1,600,000,000	0	1,600,000,000	0	0	400,000,000	2,000,000,000
指定正味財産合計	1,639,110,466	0	1,639,110,466	0	0	400,000,000	2,039,110,466
(うち基本財産への充当額)	(1,600,000,000)	(0)	(1,600,000,000)	(0)	(0)	(400,000,000)	(2,000,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(39,110,466)	(0)	(39,110,466)	(0)	(0)	(0)	(39,110,466)
2. 一般正味財産	△ 9,676,148	8,313,402	△ 1,362,746	17,483,292	17,483,292	60,106,217	76,226,763
正味財産合計	1,629,434,318	8,313,402	1,637,747,720	17,483,292	17,483,292	460,106,217	2,115,337,229
負債及び正味財産合計	1,707,985,715	50,701,816	1,758,687,531	17,483,292	17,483,292	460,168,489	2,236,339,312

## 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

## (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価格によっている。

## (2) 固定資産の減価償却の方法

構築物 … (県民文化会館 西部事務所屋外看板(サイン)) …定額法によっている。  
 車両運搬具 … (県民文化会館 除雪機 1台) …定率法によっている。  
 車両運搬具 … (倉吉未来中心 グランドピアノ 運搬台車) …定率法によっている。  
 工具器具及び備品 … (県民文化会館 プロジェクター①) …定率法によっている。  
 工具器具及び備品 … (県民文化会館 音響調整卓用パソコン一式) …定率法によっている。  
 工具器具及び備品 … (県民文化会館 プロジェクター②) …定率法によっている。  
 工具器具及び備品 … (倉吉未来中心 プロジェクター・スクリーン) …定率法によっている。  
 工具器具及び備品 … (県民文化会館 デスクトップパソコン) …定率法によっている。  
 工具器具及び備品 … (県民文化会館 電話音声応答転送装置) …定率法によっている。  
 工具器具及び備品 … (倉吉未来中心 エンジン溶接機) …定率法によっている。  
 工具器具及び備品 … (県民文化会館 監視カメラ(増設)) …定率法によっている。  
 工具器具及び備品 … (県民文化会館 発熱測定カメラセット) …定率法によっている。  
 工具器具及び備品 … (県民文化会館 西部事務所空調機(新設)) …定率法によっている。

## (3) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

## (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
(投資有価証券)	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000
(決済用普通預金)	1,000,000,000	0	1,000,000,000	0
(大口定期預金)	0	1,000,000,000	0	1,000,000,000
小 計	2,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	2,000,000,000
特定資産				
(文化振興事業積立資産)	33,847,990	10,400,000	5,137,524	39,110,466
小 計	33,847,990	10,400,000	5,137,524	39,110,466
合 計	2,033,847,990	1,010,400,000	1,005,137,524	2,039,110,466

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
(投資有価証券)	1,000,000,000	(1,000,000,000)	(0)	(0)
(大口定期預金)	1,000,000,000	(1,000,000,000)	(0)	(0)
小 計	2,000,000,000	(2,000,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
(文化振興事業積立資産)	39,110,466	(39,110,466)	(0)	(0)
小 計	39,110,466	(39,110,466)	(0)	(0)
合 計	2,039,110,466	(2,039,110,466)	(0)	(0)

## 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	407,000	67,833	339,167
車両運搬具	1,529,180	1,478,469	50,711
什器備品	5,026,174	3,004,541	2,021,633
合 計	6,962,354	4,550,843	2,411,511

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
鳥取県債	1,000,000,000	1,000,000,000	0
合 計	1,000,000,000	1,000,000,000	0

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
<b>補助金</b>						
<b>受取県補助金</b>						
基金造成事業補助金	鳥 取 県 知 事	33,847,990	10,400,000	5,137,524	39,110,466	指定正味財産
とりアート事業事務局運営補助金	鳥 取 県 知 事	0	24,936,787	24,936,787	0	—
芸術鑑賞教室等補助金	鳥 取 県 知 事	0	5,734,219	5,734,219	0	—
<b>助成金</b>						
<b>受取国庫助成金</b>						
文化芸術振興費補助金						
文化施設活動継続支援事業(県民文化会館)	文 化 庁	0	131,000	131,000	0	—
文化施設活動継続支援事業(倉吉未来中心)	文 化 庁	0	253,000	253,000	0	—
子供鑑賞体験支援事業(プロフェッショナル公演)	文 化 庁	0	900,000	900,000	0	—
再興支援事業(鑑賞型事業)	文 化 庁	0	3,144,000	3,144,000	0	—
アートキャラバン事業(ハイ・リリック・ファンダム)	文 化 庁	0	2,198,199	2,198,199	0	—
<b>受取民間助成金</b>						
文化・芸術活動助成金(フロンティア基金)	(一財)地域創造	0	3,898,000	3,898,000	0	—
ごうぎん鳥取文化振興財団助成金(楽演祭)	(公財)ごうぎん鳥取文化振興財団	0	300,000	300,000	0	—
合 計		33,847,990	51,895,205	46,632,729	39,110,466	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取県補助金	5,137,524
基本財産運用益	1,597,808
合 計	6,735,332

8. その他  
 (1) 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	11,522,004	11,196,755	11,522,004	0	11,196,755
合 計	11,522,004	11,196,755	11,522,004	0	11,196,755

## 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	312,400	
		決済用普通預金	運転資金として	179,002,467	
		山陰合同銀行 鳥取県庁支店			
		鳥取銀行 鳥取県庁支店			
		山陰合同銀行 倉吉支店			
		鳥取銀行 倉吉支店			
		山陰合同銀行 鳥取県庁支店			
		鳥取銀行 鳥取県庁支店			
		山陰合同銀行 倉吉支店			
		山陰合同銀行 鳥取県庁支店			
		鳥取銀行 鳥取県庁支店			
		鳥取銀行 鳥取県庁支店			
	未収金	施設利用者 外	令和4年度施設利用料 外	9,780,175	
	前払金	鳥取県労働基準協会東部支部 外	令和4年度労働保険料 外	593,763	
	立替金	倉吉未来中心 外	12～3月分PCA法定調書がらみ貸借料 外	4,274,745	
	仮払金	鳥取童謡・おもちゃ館 外	誤入金(預り残計精算)	400	
流動資産合計				193,963,950	
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	運用益を公益目的事業及び管理運営の財源として	2,000,000,000	
			鳥取県平成28年度第12号債	1,000,000,000	
			鳥取県平成29年度第12号債		
	特定資産	特定資産	大口定期預金		1,000,000,000
				西日本信用漁業協同組合連合会大口定期預金	
	その他固定資産	構造物 車両運搬具 什器備品  一括償却資産 電話加入権 敷金	西部事務所(アルテプラ) 屋外看板(サイン)	公益目的事業の用に供している	339,167
			歩行型ロータリー除雪機1台, グランドピアノ運搬台車1台	管理運営の用に供している	50,711
			プロジェクター2台, 音響調整卓用パソコン1式, プロジェクター-スクリーン1式, テストアップパソコン1台, 電話音声応答転送装置1台, エンジン溶接機1台, 監視カメラ(増設), 発熱測定カメラセット1式, 空調機(新設)1式	管理運営の用に供している	2,021,633
			中央監視装置交換用バッテリー 外	管理運営の用に供している	533,585
電話1回線			管理運営の用に供している	3,000	
西部事務所(アルテプラ)移転後の賃貸借契約に係る保証金			公益目的事業の用に供している	316,800	
固定資産合計				2,042,375,362	
資産合計				2,236,339,312	
(流動負債)	未払金 前受金 預り金 仮受金 賞与引当金	理事長 外	3月分精算旅費 外	87,738,115	
		施設利用者 外	令和5年度施設利用料 外	16,830,320	
		鳥取税務署 外	3月分源泉徴収税 外	2,106,983	
		施設利用者 外	施設利用料誤入金 外	3,129,910	
		職員	令和5年度6月期末・勤怠手当分(R4.12月～R5.3月)	11,196,755	
流動負債合計				121,002,083	
負債合計				121,002,083	
正味財産				2,115,337,229	



## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細  
基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細  
引当金の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

## 令和5年度事業計画

近年、地域・社会が大きく変容する中、文化芸術の社会的効用の重要性が増すとともに、公立文化施設が果たすべき役割は、ますます重要となっている。とりわけ、新型コロナウイルスの感染拡大により、リアルな文化芸術のもつ大きな効用が改めて認識されたことから、状況に応じた感染防止対策を行いながら地域に実演芸術を届けていくことが重要となっている。

当財団は、改めて公立文化施設（劇場・音楽堂）の役割である「文化芸術の振興」「地域の文化振興」「地域の活性化」「シティセールス」を再認識し、その機能を十分に発揮するよう各種事業を展開していく。

## I 公益目的事業1：文化芸術に関する各種の事業を推進することによる文化振興事業

鳥取という地域をステージに、アウトリーチを事業の基軸として、第一線で活躍するアーティストが会館に集い、会館から地域へ、そして、全国へ質の高い実演芸術を創造・発信し、アートとともに人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が絆を形成するための環境づくりを目指す。事業実施にあたっては、目的と目標を明確化させ、段階的かつ重層的に事業を体系化（STAGE1～3）し戦略的に実施する。

## 1 文化芸術事業の実施（財団実施事業及び鳥取県立県民文化会館の指定管理事業）

## (1)【STAGE1】出会いを生む文化芸術事業の展開

目的：県内市町村や文化芸術団体等とこれまで以上の連携協力のもと、これまで縁の薄かった方々にも新鮮で笑顔溢れる実演芸術を届ける。

目標：・初めての实演芸術体験の機会創出を狙い、誰もが鑑賞・体験できる機会を設ける。

・若年層や家族が気軽に参加できる仕掛けを作る。\*指：県民文化会館指定管理事業

	事業名	開催時期	開催場所
1	<次世代育成事業> *指 実演芸術市町村連携事業	調整中（年4回程度）	県内市町村ホール
	本格的なホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と協働して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、新規鑑賞者に開拓、潜在的な鑑賞者を掘り起こし、地域の文化芸術の発展と地域の活性化を図る。		
2	<次世代育成事業> *指 とっとりの芸術宅配便	5月～2月（年25回程度）	県内小・中学校、特別支援学校等
	子どもや青少年をはじめ、年齢や障がいの有無、経済的な理由にかかわらず、誰もが実演芸術に触れ、気軽に楽しむ機会を提供することで、将来の文化芸術の担い手としての裾野の拡大を図る。		
3	<県補助事業> 芸術鑑賞教室（芸術鑑賞教室開催事業）	通年	県内高等学校、特別支援学校等
	実演芸術を鑑賞する機会を等しく提供することで、次世代を担う青少年の豊かな情操を養い、健全な育成に資することを目的するとともに、実演芸術に対する関心を高め、将来的な文化芸術ファンの開拓に繋げる。		
4	<地域の賑わい創出事業> *指 みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート	8月12日（土）	とりぎん文化会館
	実演芸術への関心や意欲向上を目的とし、会館が保有する3種のグランドピアノを活用し、参加・体験型の事業及び専門家による解説付きミニコンサートを実施する。		

## (2) 【STAGE 2】 彩を添える実演芸術事業の展開

目的：県内市町村や文化芸術団体等綿密な連携のもと、心地よい実演芸術に触れることにより、ライフスタイルに彩と夢を届ける。

目標：・県民が多彩な実演芸術に触れ、魅力ある事業を体験できる機会と環境を整える。

・アウトリーチ事業の実施により実演芸術をより楽しみ深める。

\*指：県民文化会館指定管理事業

	事業名	開催時期	開催場所
1	<プロデュース公演> *指 とっとりチェンバーオーケストラ事業	11月3日(金)	とりぎん文化会館
	鳥取県クラシックアーティスト・オーディション」受賞者及び国内外で活躍する県出身・在住のプロ奏者で構成する「とっとりチェンバーオーケストラ」コンサートの開催と共に、ジュニアオーケストラ、県内高校の弦楽部等、若手活動者や若年層を対象とし、とっとりチェンバーオーケストラメンバーを講師としたクリニックを実施する。		
2	<プロデュース公演> *指 新作バレエ「赤毛のアン」 (令和6年度公演準備)	調整中	とりぎん文化会館
	「挑戦」と「出会い」をテーマに、文化芸術がもたらす心の潤いと豊かな未来の創造へとつなげ、多くの新規鑑賞者に実演芸術の魅力伝えていくことを目的とし、併せて、課題(財団スタッフのプロデュース力向上、活動者の活性化、次世代育成等)の改善を目指し、活動者及び関係者とのネットワークづくりに取り組む。		
3	<プロデュース公演> *指 U-18シアタープロジェクト Act 3 (令和7年度公演準備)	令和5年6月下旬 ～令和6年6月 (全18回予定)	調整中
	県内の18歳以下が創作した戯曲を同じく県内18歳以下が演じる、新作オリジナル作品の演劇公演の準備年として戯曲創作講座を実施する。過去に取り組んだ演劇創造事業で育成した人材を講師として起用し、地域においてさらなる人材育成と後進の発掘・育成を図り、県内における新たな演劇の発展と発信を目指し、演出指導者として、新国立劇場演劇研修所所長の宮田慶子氏を引き続き起用する。		
4	<県民文化会館30周年記念事業>*指 MUSIC ENCOUNTER「とっとりスーパー ラス公演/木嶋真優ヴァイオリン コンサート」	11月5日(日)	とりぎん文化会館
	これまでのコロナ禍の影響により文化祭やコンクールの中止の影響を受けた、県内で音楽を学ぶ若年層との共演の場を設けて発表の場を提供するとともに、鳥取県を代表する文化の殿堂「梨花ホール」においてプロとして国内外で活躍する鳥取県にゆかりあるアーティストとの共演を通じて、活動継続の意欲向上と若手アーティスト及び若年層活動者の人材育成を行い、より豊かな感性を育む機会の提供と、観客である地域住民と鑑賞機会を共有し、「県民に愛され誇りとなる劇場づくり」を目指す。		
5	<次世代育成事業> *指 実演芸術市町村連携事業【再掲】	調整中(年4回程度)	県内市町村ホール
	本格的なホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と協働して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、新規鑑賞者に開拓、潜在的な鑑賞者を掘り起こし、地域の文化芸術の発展と地域の活性化を図る。		
6	<伝承・継承事業> *指 鳥取県青少年郷土芸能の祭典	10月21日(土)	米子市文化ホール
	地域に根付く郷土芸能の伝承・発信・交流を主軸とした青少年による「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」により、地域独自の文化継承に寄与するとともに、その素晴らしさを広く県民に伝え、郷土芸能への興味・関心を引き出すことを目指すと共に、地域が一体となって子どもたちを支援する環境づくり、後継者育成、県内青少年郷土芸能団体の活性化、ネットワークづくりを図る。		

## (3) 【STAGE 3】感動を届ける実演芸術事業の展開

目的: 基幹ホールの優れた機能とこれまで培った専門的ネットワーク及び技術のもと、鑑賞・参加者を高質な実演芸術で満たすことにより大きな感動を届ける。

目標: ・県民を魅了する良質な実演芸術作品の鑑賞機会を提供する。

・次世代を担う若手芸術家・活動者との協働により高質な創造作品をつくる。

## ア 鑑賞事業

	事業名(公演名)	開催時期	開催場所
1	澤和樹&蓼沼恵美子 with プレミアムアーティスト ～チェロの巨匠、アラン・ムニエを迎えて	5月20日(土)	境港市文化ホール
2	東京シティ・フィルのドラゴンクエスト 交響組曲「ドラゴンクエストV」 天空の花嫁	6月18日(日)	とりぎん文化会館
3	東京バレエ団 子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」	8月6日(日)	とりぎん文化会館
4	大阪フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤークンサート 倉吉公演	令和6年 1月13日(土)	倉吉未来中心
5	二期会オペラ「椿姫」	令和6年 1月14日(日)	とりぎん文化会館
6	県民文化会館 30周年記念事業 MANSAI CREATION BOX with オーケストラ・アンサンブル金沢 鳥取公演	令和6年 3月3日(日)	とりぎん文化会館
6公演(東部4公演、中部1公演、西部1公演)			

## イ プロデュース公演 \*県民文化会館指定管理事業

	事業名	開催時期	開催場所
1	とっとりチェンバーオーケストラ事業【再掲】	11月3日(金)	とりぎん文化会館
2	新作バレエ「赤毛のアン」【再掲】(令和6年度公演準備)	調整中	とりぎん文化会館
3	<県民文化会館30周年記念事業> MUSIC ENCOUNTER「とっとりスーパーブラス公演/木嶋真優 ヴァイオリンコンサート」【再掲】	11月5日(日)	とりぎん文化会館

## ウ 特別共催事業

	事業名(公演名)	開催時期	開催場所
1	マスコミ 9公演程度	通年	全県
2	一般団体 6公演程度	通年	全県

## 2 鳥取県補助事業の実施(鳥取県からの移管事業の実施)

## (1) 【再掲】芸術鑑賞教室(県補助事業:芸術鑑賞教室開催事業)

鳥取県からの助成を受けて芸術鑑賞教室の開催のための事務、事業の円滑な運営を行う。

## (2) とりアート実行委員会等事務局(県補助事業:第21回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2023)

鳥取県からの助成を受けて、鳥取県総合芸術文化祭実行委員会事務局及び東・中・西部地区企画運営委員会事務局業務により、とりアート(鳥取県総合芸術文化祭)開催事業の事務、事業の円滑な運営を行う。

3 鳥取県文化振興財団文化振興事業基金事業

県からの基金造成補助金を受け、県民の多様化、高度化する文化への志向に応えるための文化振興に関する事業の実施等の経費に充当する。

(1) 鑑賞事業及び事業共通経費への充当

4 鳥取県立県民文化会館の管理運営事業（指定管理事業）

県からの指定を受け、鳥取県立県民文化会館の管理運営に関する協定書に基づき、県民文化会館の管理運営を行う。

(1) 施設の貸与事業

ア 管理事務

イ 利用料徴収事務

(2) 地域の賑わい創出事業

ア 県民文化会館周辺賑わい事業（年1回程度）

イ アートSQUARE夢空間（年3回程度）

ウ とりぎん文化会館ホール探検ツアー（年1回）

エ 【再掲】 みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート（年1回）

(3) 情報発信事業

文化振興財団情報誌「アルテ」の発行等情報発信（年4回発行）

(4) 教育機連携事業

とりぎん文化会館「舞台技術研修会（舞台技術支援）」（年3回程度）

(5) その他

ア 鳥取県文化施設協議会会長館（事務局）

イ 公益社団法人全国公立文化施設協会中四国支部委員館（及び全国公立文化施設協会副会長）

II 公益目的事業2：県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することにより、自主的な活動を支援し、人と人との交流、地域の活性化を図る事業

1 鳥取県立倉吉未来中心の管理運営事業（指定管理事業）

鳥取県及び倉吉市（中部町村分担金を含む）から指定管理を受け、鳥取県立倉吉未来中心の管理運営に関する協定書等に基づき、「人と人との交流、地域活性化事業」として施設の管理運営を行うとともに、財団独自に各種実演芸術事業等を行い、指定管理を受けている施設の利用促進はもとより、地域に根差した事業を実施する。

(1) 施設の貸与事業

ア 管理事務

イ 利用料徴収事務

(2) 未来つながるプロジェクト

ア ハッピーマイルコンサート（年7回程度）

イ みらい楽演祭（年2回程度）

- ウ 施設体験ツアー「ホールたいけんツアー」(年1回)、  
「ホールたいけんツアーミニ(仮)」(年3回程度)
- エ 舞台技術ワークショップ(年4回)

Ⅲ 収益事業1：鳥取県立県民文化会館及び鳥取県立倉吉未来中心の施設貸与事業(公益目的事業以外)

指定管理者として鳥取県から指定を受け、協定書等に基づき、県民が広く利用する公の施設の指定管理者として施設の管理運営を行う。また、文化振興に関する目的及び文化を通じた人と人との交流目的以外でも施設を貸与することにより、県民の様々な活動の場を提供する。

## 収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,834,000	1,597,000	237,000
管理運営事業収益	118,627,000	114,363,000	4,264,000
施設利用料収益	107,165,000	102,136,000	5,029,000
手数料収益	6,246,000	6,163,000	83,000
使用料収益	4,200,000	4,200,000	0
公衆電話通話料収益	27,000	34,000	△ 7,000
複写機利用料収益	405,000	340,000	65,000
充電器利用料収益	7,000	7,000	0
入場料・参加料収益	577,000	1,483,000	△ 906,000
文化芸術事業収益	26,465,000	35,854,000	△ 9,389,000
入場料・参加料収益	16,646,000	27,999,000	△ 11,353,000
共催分配金収益	6,095,000	2,895,000	3,200,000
友の会会費収益	1,720,000	1,815,000	△ 95,000
預かりチケット等手数料収益	2,004,000	3,145,000	△ 1,141,000
受託事業収益	457,688,000	457,688,000	0
県受託収益	401,862,000	401,862,000	0
市受託収益	55,826,000	55,826,000	0
受取補助金等	72,972,000	62,078,000	10,894,000
受取県補助金	46,800,000	58,578,000	△ 11,778,000
受取国庫助成金	26,172,000	0	26,172,000
受取民間助成金	0	3,500,000	△ 3,500,000
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	0
雑収益	3,063,000	78,000	2,985,000
その他固定資産運用益	0	78,000	△ 78,000
雑収益	3,063,000	0	3,063,000
経常収益計	684,649,000	675,658,000	8,991,000
(2) 経常費用			
事業費	724,158,417	682,603,508	41,554,909
給料手当	198,647,000	201,505,000	△ 2,858,000
臨時雇賃金	6,286,000	4,568,000	1,718,000
福利厚生費	42,833,000	42,495,000	338,000
旅費交通費	10,345,000	10,747,000	△ 402,000
通信運搬費	5,938,000	6,606,000	△ 668,000
消耗什器備品費	200,000	500,000	△ 300,000
消耗品費	7,056,000	9,143,000	△ 2,087,000
修繕費	10,500,000	10,500,000	0
印刷製本費	4,033,000	5,615,000	△ 1,582,000
食糧費	1,472,000	1,628,000	△ 156,000
燃料費	636,000	627,000	9,000
光熱水料費	124,010,000	75,273,000	48,737,000
賃借料	34,588,000	33,552,000	1,036,000
保険料	1,151,000	1,175,000	△ 24,000
諸謝金	7,586,000	5,545,000	2,041,000
租税公課	25,844,000	24,985,000	859,000
支払負担金	269,000	290,000	△ 21,000
委託費	216,729,000	223,125,000	△ 6,396,000
支払手数料	13,508,000	12,278,000	1,230,000
賞与引当金繰入額	11,519,000	11,604,000	△ 85,000
減価償却費	1,008,417	842,508	165,909
管理費	4,735,000	4,804,000	△ 69,000
役員報酬	2,496,000	2,271,000	225,000
旅費交通費	569,000	700,000	△ 131,000
通信運搬費	100,000	110,000	△ 10,000
消耗品費	7,000	7,000	0
印刷製本費	17,000	17,000	0
食糧費	45,000	41,000	4,000
賃借料	267,000	286,000	△ 19,000
保険料	85,000	81,000	4,000
諸謝金	726,000	726,000	0
租税公課	84,000	84,000	0
支払負担金	50,000	70,000	△ 20,000
委託費	11,000	11,000	0
支払手数料	278,000	400,000	△ 122,000
経常費用計	728,893,417	687,407,508	41,485,909
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 44,244,417	△ 11,749,508	△ 32,494,909
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 44,244,417	△ 11,749,508	△ 32,494,909

## (6) 公益財団法人 鳥取県文化振興財団

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
他会計からの繰入額	47,309,000	30,674,156	16,634,844
他会計からの繰出額	△ 47,309,000	△ 30,674,156	△ 16,634,844
当期一般正味財産増減額	△ 44,244,417	△ 11,749,508	△ 32,494,909
一般正味財産期首残高	76,226,763	85,937,965	△ 9,711,202
一般正味財産期末残高	31,982,346	74,188,457	△ 42,206,111
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	16,059,000	10,399,000	5,660,000
受取県補助金	16,059,000	10,399,000	5,660,000
基本財産運用益	1,834,000	1,597,000	237,000
一般正味財産への振替額	10,276,000	19,480,000	△ 9,204,000
受取県補助金	8,442,000	18,780,000	△ 10,338,000
基本財産運用益	1,834,000	700,000	1,134,000
当期指定正味財産増減額	7,617,000	△ 7,484,000	15,101,000
指定正味財産期首残高	2,039,110,466	2,033,847,990	5,262,476
指定正味財産期末残高	2,046,727,466	2,026,363,990	20,363,476
III 正味財産期末残高	2,078,709,812	2,100,552,447	△ 21,842,635



## 収支予算内訳書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			収益事業等会計		法人会計	合計
	県民文化会館指定管理事業及び附随実施事業	倉吉未来中心指定管理事業	小計	両施設の出向事業(公益目的事業以外)	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	1,468,000	0	1,468,000	0	0	366,000	1,834,000
管理運営事業収益	40,834,800	28,051,350	68,886,150	49,740,850	49,740,850	0	118,627,000
施設利用料収益	37,179,000	24,860,000	62,039,000	45,126,000	45,126,000	0	107,165,000
手数料収益	1,810,800	1,775,400	3,586,200	2,659,800	2,659,800	0	6,246,000
使用料収益	1,440,000	990,000	2,430,000	1,770,000	1,770,000	0	4,200,000
公衆電話通話料収益	6,000	9,350	15,350	11,650	11,650	0	27,000
複写機利用料収益	142,200	92,400	234,600	170,400	170,400	0	405,000
充電器利用料収益	1,800	2,200	4,000	3,000	3,000	0	7,000
入場料・参加料収益	255,000	322,000	577,000	0	0	0	577,000
文化芸術事業収益	26,465,000	0	26,465,000	0	0	0	26,465,000
入場料・参加料収益	16,646,000	0	16,646,000	0	0	0	16,646,000
共催分配金収益	6,095,000	0	6,095,000	0	0	0	6,095,000
友の会会費収益	1,720,000	0	1,720,000	0	0	0	1,720,000
預かりチケット等手数料収益	2,004,000	0	2,004,000	0	0	0	2,004,000
受託事業収益	164,012,400	101,383,700	265,396,100	192,291,900	192,291,900	0	457,688,000
県受託収益	164,012,400	70,679,400	234,691,800	167,170,200	167,170,200	0	401,862,000
市受託収益	0	30,704,300	30,704,300	25,121,700	25,121,700	0	55,826,000
受取補助金等	72,972,000	0	72,972,000	0	0	0	72,972,000
受取県補助金	46,800,000	0	46,800,000	0	0	0	46,800,000
受取国庫助成金	26,172,000	0	26,172,000	0	0	0	26,172,000
受取寄付金	4,000,000	0	4,000,000	0	0	0	4,000,000
雑収益	3,063,000	0	3,063,000	0	0	0	3,063,000
雑収益	3,063,000	0	3,063,000	0	0	0	3,063,000
経常収益計	312,815,200	129,435,050	442,250,250	242,032,750	242,032,750	366,000	684,649,000
(2) 経常費用							
事業費	344,152,481	150,693,136	494,845,617	229,312,800	229,312,800	0	724,158,417
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	89,552,200	37,425,300	126,977,500	71,669,500	71,669,500	0	198,647,000
臨時雇賃金	4,253,000	2,033,000	6,286,000	0	0	0	6,286,000
福利厚生費	19,082,000	8,139,450	27,221,450	15,611,550	15,611,550	0	42,833,000
旅費交通費	9,209,000	1,136,000	10,345,000	0	0	0	10,345,000
通信運搬費	5,452,000	486,000	5,938,000	0	0	0	5,938,000
消耗什器備品費	100,000	100,000	200,000	0	0	0	200,000
消耗品費	4,107,000	2,949,000	7,056,000	0	0	0	7,056,000
修繕費	6,500,000	4,000,000	10,500,000	0	0	0	10,500,000
印刷製本費	3,526,000	507,000	4,033,000	0	0	0	4,033,000
食糧費	1,374,000	98,000	1,472,000	0	0	0	1,472,000
燃料費	532,000	104,000	636,000	0	0	0	636,000
光熱水料費	37,491,600	33,838,200	71,329,800	52,680,200	52,680,200	0	124,010,000
賃借料	22,825,200	4,833,150	27,658,350	6,929,650	6,929,650	0	34,588,000
保険料	743,000	408,000	1,151,000	0	0	0	1,151,000
諸謝金	5,891,000	1,695,000	7,586,000	0	0	0	7,586,000
租税公課	9,309,000	5,621,000	14,930,000	10,914,000	10,914,000	0	25,844,000
支払負担金	148,000	121,000	269,000	0	0	0	269,000
委託費	104,095,800	41,125,300	145,221,100	71,507,900	71,507,900	0	216,729,000
支払手数料	12,124,000	1,384,000	13,508,000	0	0	0	13,508,000
賞与引当金繰入額	7,058,000	4,461,000	11,519,000	0	0	0	11,519,000
減価償却費	779,681	228,736	1,008,417	0	0	0	1,008,417
管理費	0	0	0	0	0	4,735,000	4,735,000
役員報酬	0	0	0	0	0	2,496,000	2,496,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	569,000	569,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	100,000	100,000
消耗品費	0	0	0	0	0	7,000	7,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	17,000	17,000
食糧費	0	0	0	0	0	45,000	45,000
賃借料	0	0	0	0	0	267,000	267,000
保険料	0	0	0	0	0	85,000	85,000
諸謝金	0	0	0	0	0	726,000	726,000
租税公課	0	0	0	0	0	84,000	84,000
支払負担金	0	0	0	0	0	50,000	50,000
委託費	0	0	0	0	0	11,000	11,000
支払手数料	0	0	0	0	0	278,000	278,000
経常費用計	344,152,481	150,693,136	494,845,617	229,312,800	229,312,800	4,735,000	728,893,417
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 31,337,281	△ 21,258,086	△ 52,595,367	12,719,950	12,719,950	△ 4,369,000	△ 44,244,417
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 31,337,281	△ 21,258,086	△ 52,595,367	12,719,950	12,719,950	△ 4,369,000	△ 44,244,417

## (6) 公益財団法人 鳥取県文化振興財団

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			収益事業等会計		法人会計	合計
	県民文化会館指定管理事業及び新田図書館事業	倉吉未来中心指定管理事業	小計	百施設の貸与事業(公益目的事業以外)	小計		
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	17,563,000	21,304,000	38,867,000	0	0	△ 38,867,000	0
他会計からの繰入額	26,005,000	21,304,000	47,309,000	0	0	0	47,309,000
他会計からの繰出額	△ 8,442,000	0	△ 8,442,000	0	0	△ 38,867,000	△ 47,309,000
当期一般正味財産増減額	△ 13,774,281	45,914	△ 13,728,367	12,719,950	12,719,950	△ 43,236,000	△ 44,244,417
一般正味財産期首残高	4,467,400	0	4,467,400	0	0	71,759,363	76,226,763
一般正味財産期末残高	△ 9,306,881	45,914	△ 9,260,967	12,719,950	12,719,950	28,523,363	31,982,346
II 指定正味財産増減の部							
受取補助金等	16,059,000	0	16,059,000	0	0	0	16,059,000
受取県補助金	16,059,000	0	16,059,000	0	0	0	16,059,000
基本財産運用益	1,468,000	0	1,468,000	0	0	366,000	1,834,000
一般正味財産への振替額	9,910,000	0	9,910,000	0	0	366,000	10,276,000
受取県補助金	8,442,000	0	8,442,000	0	0	0	8,442,000
基本財産運用益	1,468,000	0	1,468,000	0	0	366,000	1,834,000
当期指定正味財産増減額	7,617,000	0	7,617,000	0	0	0	7,617,000
指定正味財産期首残高	1,639,110,466	0	1,639,110,466	0	0	400,000,000	2,039,110,466
指定正味財産期末残高	1,646,727,466	0	1,646,727,466	0	0	400,000,000	2,046,727,466
III 正味財産期末残高	1,637,420,585	45,914	1,637,466,499	12,719,950	12,719,950	428,523,363	2,078,709,812

## (7) 公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館経営状況報告書

### 法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館
- 2 目 的 多様化する県民の文化に対する要求に応えるため、童謡・おもちゃを通じた各種文化事業を行い、もって童謡・おもちゃをテーマとした特色ある地域文化の振興に資することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成25年3月21日  
(財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館設立許可年月日  
平成6年10月1日)
- 4 設立登記年月日 平成25年4月1日  
(財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館設立登記年月日  
平成6年10月3日)
- 5 基本財産 出えん金 24,000,000円  
鳥取県出えん金 12,000,000円  
鳥取市出えん金 12,000,000円
- 6 役員等 評議員 7人 理事 7人 監事 2人  
評議員 盛田 聖一 (鳥取県地域社会振興部長)  
" 塩谷 範夫 (鳥取市企画推進部長)  
" 五島 朋子 (国立大学法人鳥取大学地域学部地域学  
研究科附属芸術文化センター教授)  
" 尾崎 直美 (鳥取市少年少女合唱団指揮者)  
" 大嶋 陽一 (鳥取県立博物館学芸課人文担当主任学  
芸員)  
" 長尾 志保 (鳥取県PTA協議会事務局長)  
" 小谷 泰司 (社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会  
瀬町総合福祉センター所長)  
理事長 酒嶋 優 (わらべ館館長)  
理事 西尾 麻都子 (鳥取県教育委員会事務局社会教育課  
長)

理 事 福 山 博 俊 (鳥取市企画推進部文化交流課長)

〃 張 漢 賢 (公立大学法人鳥取環境大学環境学部教授)

〃 木 村 昭 彦

〃 山 口 朝 子 (一般社団法人地域サポートネットワークとっとり代表理事)

〃 植 田 紀 子 (株式会社新日本海新聞社編集制作局報道部社会班デスク)

監 事 上 田 雅 稔 (弁護士)

〃 山 下 恭 史 (前親和商事株式会社代表取締役)

7 職 員 12人

8 事 務 所 鳥取市西町三丁目202番地

## 令和4年度事業実施状況

実施事業（総事業費 172,425 千円）

## (1) コロナ禍における事業と利用者数の回復

当年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響を受けた一年間だったが、影響は前年度ほどではなく、社会環境を含め館を取り巻く状況は時とともに改善しつつある。主催事業については、規模の縮小を継続し、十分なソーシャルディスタンスを維持するため、いべんとほーるでの開催時には最大でも100名未満、工作などの小人数参加型イベントでもコロナ以前の半分以下の定員とするなどの感染防止対策を取った。「ふるさと専門高校フェスタ」など2事業は中止せざるを得なかったものの、概ね事業計画どおりの事業が実施できた。

利用者に関しては、夏休みシーズンと重なった第7波や、年末年始がピークとなった第8波の影響を受けながらも76,585人（前年度56,126人、36%増）を記録し、コロナ以前の約63.8%まで回復した。また、これに伴い入館料収益は11,414千円（同7,588千円、50.4%増）、文化事業収益全体でも15,741千円（同10,487千円、50.1%増）となるなど、状況の好転が鮮明になってきた。

## (2) 為替レートとウクライナ情勢がもたらす施設管理コストの高騰

円安やウクライナ情勢などによる石炭や液化天然ガスの輸入価格高騰の影響により電気・ガス料金ともに値上がりが続けたため、施設管理コストが大幅に増加した。電気・ガス料金ともに年度末に至ってやや落ち着いたものの、光熱水費全体では24,572千円（前年度17,408千円、41%増）となった。これに対し、県市からそれぞれ光熱費の高騰対策として400万円超の指定管理料の増額を受けたため、法人の財政面への直接的な影響はなかった。

また、施設設備の老朽化に伴い修繕費も嵩み、施設管理費全体では75,749千円（同66,489千円、14%増）となった。これらの結果、施設管理費、事業費ともに増加し、法人としての総事業費は172,425千円（同155,535千円、10.9%増）となった。

## (3) 文化事業と新たな取り組み

主な事業として、7月には開館27周年事業として（株）コクヨMVP（鳥取市）との共催による「クレヨンらくがき体験」を2日間にわたって開催した。先着100名にはクレヨンのプレゼントもあり、両日とも開館前から待機列ができるほどの盛況となった。

調査研究、資料収集部門での大きな成果として、童謡館とおもちゃ館の収集資料のオンライン公開に向け、それぞれの収集資料のデータベースを統合した。令和5年4月からはホームページ上での一般公開も始まり、一部準備中の資料を除き、誰もが収集資料を検索できる状態になっている。

また、令和4年7月にはオンラインによるイベントの予約管理システムを導入し、予約制のイベントの大半が24時間WEBで受け付け可能になった。

1. 童謡唱歌に関する事業（公益目的事業1 事業費83,072千円）

童謡・唱歌の普及啓発を図るため、次の3つを柱とした事業を行った。

- (1) 童謡唱歌体験事業
- (2) 調査研究、資料収集事業
- (3) 展示事業

童謡・唱歌に関する事業では、参加者同士の距離を確保できる鳥取市民会館を会場に選び、この3月に「ベイビーブー&ともしびうたごえコンサート」を開催した。歌詞を見ながら皆で歌う場面もあり230名の参加があった。

2. おもちゃに関する事業（公益目的事業2 事業費80,698千円）

おもちゃ文化の普及啓発を図るため、次の3つを柱とした事業を行った。

- (1) おもちゃ文化体験事業
- (2) 調査研究、資料収集事業
- (3) 展示事業

おもちゃに関する事業では、2月に県内の人形芝居の伝統を受け継ぐ三座が一堂に集う「人形芝居三座合同公演 in わらべ館 2023」を2年振りに開催した。今年度は新たに円通寺人形芝居保存会から指導を受ける市立倉田小学校でこクラブに出演を依頼し、小学生4名による人形操演が好評を博した。

3. 法人管理事業（管理事業 事業費8,655千円）

定時評議員会のほか、理事会を4回開催した。事業計画書や財務諸表等をWEBサイト上で公開し、公益法人として透明性のある法人運営に努めた。オンラインによる利用者アンケートを初めて通年で実施した。

## 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	144,000	144,000	0
受取利息	144,000	144,000	0
文化事業収益	15,741,575	10,487,595	5,253,980
入館料収益	11,414,200	7,588,550	3,825,650
ほーる利用収益	1,647,975	1,324,805	323,170
友の会会費収益	651,000	527,000	124,000
事業収益	329,950	81,550	248,400
館内販売売上高	1,698,450	965,690	732,760
受取補助金等	155,631,332	144,221,988	11,409,344
県市受託収益	155,527,932	142,734,222	12,793,710
童謡館受託収益	79,809,707	71,631,506	8,178,201
おもちゃ館受託収益	75,718,225	71,099,273	4,618,952
鳥取県受託収益	0	3,443	△ 3,443
補助金等振替額	103,400	1,487,766	△ 1,384,366
童謡館事業資産振替額	0	946,070	△ 946,070
おもちゃ館事業資産振替額	0	438,296	△ 438,296
民間補助金振替額	103,400	103,400	0
雑収益	512,084	432,142	79,942
受取利息	337	367	△ 30
雑収益	511,747	431,775	79,972
自販機受取手数料	388,297	298,563	89,734
その他雑収益	123,450	133,212	△ 9,762
経常収益計	172,028,991	155,285,725	16,743,266
(2) 経常費用			
文化事業費	163,770,388	147,454,045	16,316,343
報酬	13,712,633	15,583,590	△ 1,870,957
役員報酬	4,134,668	4,198,792	△ 64,124
非常勤職員報酬	9,527,965	11,344,798	△ 1,816,833
その他報酬	50,000	40,000	10,000
給料手当	41,979,112	39,087,576	2,891,536
職員給料	28,455,840	27,117,274	1,338,566
職員手当	10,384,510	9,286,220	1,098,290
賞与引当金繰入	3,138,762	2,684,082	454,680
臨時雇い賃金	1,435,980	1,050,600	385,380
退職給付費用	1,282,500	1,228,500	54,000
福利厚生費	8,775,479	8,636,286	139,193
福利厚生費	6,556,840	6,012,474	544,366
報酬福利厚生費	2,057,008	2,474,008	△ 417,000
賃金福利厚生費	4,659	3,164	1,495
法定外福利費	156,972	146,640	10,332

## (7) 公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	881,877	364,245	517,632
費用弁償	68,730	174,960	△ 106,230
普通旅費	467,977	27,940	440,037
特別旅費	345,170	161,345	183,825
通信運搬費	1,257,791	1,060,586	197,205
消耗什器備品費	1,708,261	1,107,648	600,613
消耗品費	3,827,925	3,431,186	396,739
食糧費	316,165	224,262	91,903
修繕費	4,647,393	4,441,054	206,339
印刷製本費	1,911,090	1,338,084	573,006
燃料費	63,218	51,274	11,944
光熱水費	24,051,300	17,038,784	7,012,516
電気代	14,923,572	10,919,802	4,003,770
水道代	700,926	619,950	80,976
下水道代	348,140	274,866	73,274
ガス代	8,078,662	5,224,166	2,854,496
使用料賃借料	4,649,100	4,023,720	625,380
保険料	233,744	203,543	30,201
諸謝金	2,788,399	2,154,027	634,372
租税公課	7,423,018	7,204,144	218,874
支払負担金	126,000	469,500	△ 343,500
委託費	37,333,896	34,616,000	2,717,896
支払手数料	834,748	841,101	△ 6,353
広告宣伝費	2,711,800	2,050,145	661,655
減価償却費	338,002	482,738	△ 144,736
館内販売仕入高	1,480,552	764,352	716,200
雑費	405	1,100	△ 695
財団管理費	8,655,064	8,081,401	573,663
報酬	671,407	631,533	39,874
役員報酬	671,407	631,533	39,874
給料手当	4,664,346	4,343,062	321,284
職員給料	3,161,760	3,013,030	148,730
職員手当	1,153,835	1,031,801	122,034
賞与引当金繰入	348,751	298,231	50,520
退職給付費用	142,500	136,500	6,000
福利厚生費	807,874	759,927	47,947
福利厚生費	728,537	668,052	60,485
報酬福利厚生費	61,896	75,582	△ 13,686
法定外福利費	17,441	16,293	1,148
旅費交通費	11,545	24,110	△ 12,565
費用弁償	11,545	24,110	△ 12,565
通信運搬費	55,844	47,750	8,094
消耗品費	345,497	293,478	52,019
食糧費	3,936	2,021	1,915
印刷製本費	57,069	19,135	37,934
光熱水費	521,315	369,316	151,999
電気代	323,470	236,687	86,783



科 目	当年度	前年度	増 減
水道代	15,193	13,437	1,756
下水道代	7,546	5,958	1,588
ガス代	175,106	113,234	61,872
使用料賃借料	269,410	268,061	1,349
保険料	19,992	15,850	4,142
諸謝金	293,500	364,000	△ 70,500
租税公課	639,282	643,356	△ 4,074
支払負担金	10,540	13,800	△ 3,260
委託費	109,560	112,200	△ 2,640
支払手数料	4,630	2,030	2,600
減価償却費	26,817	35,227	△ 8,410
雑費	0	45	△ 45
経常費用計	172,425,452	155,535,446	16,890,006
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 396,461	△ 249,721	△ 146,740
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 396,461	△ 249,721	△ 146,740
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	△ 396,462	△ 249,721	△ 146,741
一般正味財産期首残高	2,207,224	2,456,945	△ 249,721
一般正味財産期末残高	1,810,762	2,207,224	△ 396,462
II 指定正味財産増減の部			
受取県補助金等	5,359,000	7,113,000	△ 1,754,000
受取市補助金等	4,892,000	7,029,000	△ 2,137,000
特定資産運用益(童謡)	230	192	38
特定資産運用益(おもちゃ)	176	120	56
一般正味財産への振替額	△ 103,400	△ 1,487,766	1,384,366
行政補助金より	0	△ 1,384,366	1,384,366
民間補助金より	△ 103,400	△ 103,400	0
当期指定正味財産増減額	10,148,006	12,654,546	△ 2,506,540
指定正味財産期首残高	62,099,802	49,445,256	12,654,546
指定正味財産期末残高	72,247,808	62,099,802	10,148,006
III 正味財産期末残高	74,058,570	64,307,026	9,751,544

## 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合計
	童謡・唱歌に 関する事業	おもちゃに 関する事業	小計		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	0	144,000	144,000
受取利息	0	0	0	144,000	144,000
文化事業収益	3,175,680	4,577,081	7,752,761	7,988,814	15,741,575
入館料収益	2,862,180	2,862,181	5,724,361	5,689,839	11,414,200
ほーる利用収益	0	0	0	1,647,975	1,647,975
友の会会費収益	0	0	0	651,000	651,000
事業収益	235,750	94,200	329,950	0	329,950
館内販売売上高	77,750	1,620,700	1,698,450	0	1,698,450
受取補助金等	79,856,237	75,764,755	155,620,992	10,340	155,631,332
県市受託収益	79,809,707	75,718,225	155,527,932	0	155,527,932
童謡館受託収益	79,809,707	0	79,809,707	0	79,809,707
おもちゃ館受託収益	0	75,718,225	75,718,225	0	75,718,225
補助金等振替額	46,530	46,530	93,060	10,340	103,400
民間補助金振替額	46,530	46,530	93,060	10,340	103,400
雑収益	0	0	0	512,084	512,084
受取利息	0	0	0	337	337
雑収益	0	0	0	511,747	511,747
自販機受取手数料	0	0	0	388,297	388,297
その他雑収益	0	0	0	123,450	123,450
経常収益計	83,031,917	80,341,836	163,373,753	8,655,238	172,028,991
(2) 経常費用					
文化事業費	83,071,941	80,698,447	163,770,388		163,770,388
報酬	6,861,317	6,851,316	13,712,633		13,712,633
役員報酬	2,067,334	2,067,334	4,134,668		4,134,668
非常勤職員報酬	4,763,983	4,763,982	9,527,965		9,527,965
その他報酬	30,000	20,000	50,000		50,000
給料手当	20,989,556	20,989,556	41,979,112		41,979,112
職員給料	14,227,920	14,227,920	28,455,840		28,455,840
職員手当	5,192,255	5,192,255	10,384,510		10,384,510
賞与引当金繰入	1,569,381	1,569,381	3,138,762		3,138,762
臨時雇い賃金	0	1,435,980	1,435,980		1,435,980
退職給付費用	641,250	641,250	1,282,500		1,282,500
福利厚生費	4,385,410	4,390,069	8,775,479		8,775,479
福利厚生費	3,278,420	3,278,420	6,556,840		6,556,840
報酬福利厚生費	1,028,504	1,028,504	2,057,008		2,057,008
賃金福利厚生費	0	4,659	4,659		4,659
法定外福利費	78,486	78,486	156,972		156,972
旅費交通費	607,465	274,412	881,877		881,877
費用弁償	36,590	32,140	68,730		68,730
普通旅費	297,817	170,160	467,977		467,977
特別旅費	273,058	72,112	345,170		345,170
通信運搬費	681,987	575,804	1,257,791		1,257,791

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合計
	童謡・唱歌に 関する事業	おもちゃに 関する事業	小計		
消耗什器備品費	956,915	751,346	1,708,261		1,708,261
消耗品費	1,555,837	2,272,088	3,827,925		3,827,925
食糧費	158,291	157,874	316,165		316,165
修繕費	2,772,018	1,875,375	4,647,393		4,647,393
印刷製本費	1,068,317	842,773	1,911,090		1,911,090
燃料費	31,609	31,609	63,218		63,218
光熱水費	12,025,650	12,025,650	24,051,300		24,051,300
電気代	7,461,786	7,461,786	14,923,572		14,923,572
水道代	350,463	350,463	700,926		700,926
下水道代	174,070	174,070	348,140		348,140
ガス代	4,039,331	4,039,331	8,078,662		8,078,662
使用料賃借料	2,229,902	2,419,198	4,649,100		4,649,100
保険料	116,872	116,872	233,744		233,744
諸謝金	2,407,704	380,695	2,788,399		2,788,399
租税公課	3,711,509	3,711,509	7,423,018		7,423,018
支払負担金	63,000	63,000	126,000		126,000
委託費	19,758,199	17,575,697	37,333,896		37,333,896
支払手数料	512,149	322,599	834,748		834,748
広告宣伝費	1,355,900	1,355,900	2,711,800		2,711,800
減価償却費	147,599	190,403	338,002		338,002
館内販売仕入高	33,283	1,447,269	1,480,552		1,480,552
雑費	202	203	405		405
財団管理費				8,655,064	8,655,064
報酬				671,407	671,407
役員報酬				671,407	671,407
給料手当				4,664,346	4,664,346
職員給料				3,161,760	3,161,760
職員手当				1,153,835	1,153,835
賞与引当金繰入				348,751	348,751
退職給付費用				142,500	142,500
福利厚生費				807,874	807,874
福利厚生費				728,537	728,537
報酬福利厚生費				61,896	61,896
法定外福利費				17,441	17,441
旅費交通費				11,545	11,545
費用弁償				11,545	11,545
通信運搬費				55,844	55,844
消耗品費				345,497	345,497
食糧費				3,936	3,936
印刷製本費				57,069	57,069
光熱水費				521,315	521,315
電気代				323,470	323,470
水道代				15,193	15,193
下水道代				7,546	7,546
ガス代				175,106	175,106
使用料賃借料				269,410	269,410
保険料				19,992	19,992
諸謝金				293,500	293,500

## (7) 公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合計
	童謡・唱歌に 関する事業	おもちゃに 関する事業	小計		
租税公課				639,282	639,282
支払負担金				10,540	10,540
委託費				109,560	109,560
支払手数料				4,630	4,630
減価償却費				26,817	26,817
経常費用計	83,071,941	80,698,447	163,770,388	8,655,064	172,425,452
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 40,024	△ 356,611	△ 396,635	174	△ 396,461
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 40,024	△ 356,611	△ 396,635	174	△ 396,461
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	0	0	0	1	1
経常外費用計	0	0	0	1	1
当期経常外増減額	0	0	0	△ 1	△ 1
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 40,024	△ 356,611	△ 396,635	173	△ 396,462
当期一般正味財産増減額	△ 40,024	△ 356,611	△ 396,635	173	△ 396,462
一般正味財産期首残高	1,021,365	1,136,246	2,157,611	49,613	2,207,224
一般正味財産期末残高	981,341	779,635	1,760,976	49,786	1,810,762
II 指定正味財産増減の部					
受取県補助金等	5,359,000	0	5,359,000	0	5,359,000
受取市補助金等	0	4,892,000	4,892,000	0	4,892,000
特定資産運用益(童謡)	230	0	230	0	230
特定資産運用益(おもちゃ)	0	176	176	0	176
一般正味財産への振替額	△ 46,530	△ 46,530	△ 93,060	△ 10,340	△ 103,400
民間補助金より	△ 46,530	△ 46,530	△ 93,060	△ 10,340	△ 103,400
当期指定正味財産増減額	5,312,700	4,845,646	10,158,346	△ 10,340	10,148,006
指定正味財産期首残高	22,363,939	15,702,257	38,066,196	24,033,606	62,099,802
指定正味財産期末残高	27,676,639	20,547,903	48,224,542	24,023,266	72,247,808
III 正味財産期末残高	28,657,980	21,327,538	49,985,518	24,073,052	74,058,570

## 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,408,746	22,614,185	△ 2,205,439
現金	367,730	412,580	△ 44,850
普通預金	20,041,016	22,201,605	△ 2,160,589
鳥取銀行	15,741,917	18,256,428	△ 2,514,511
山陰合同銀行	4,299,099	3,945,177	353,922
未収金	287,547	466,087	△ 178,540
商品	1,018,013	1,353,616	△ 335,603
貯蔵品	49,327	35,271	14,056
前払費用	57,200	57,200	0
流動資産合計	21,820,833	24,526,359	△ 2,705,526
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
鳥取県債	24,000,000	24,000,000	0
基本財産合計	24,000,000	24,000,000	0
(2) 特定資産			
童謡館事業資産	27,571,947	22,212,717	5,359,230
普通預金	27,571,947	22,212,717	5,359,230
おもちゃ館事業資産	20,443,211	15,551,035	4,892,176
普通預金	20,443,211	15,551,035	4,892,176
什器備品	232,650	336,050	△ 103,400
特定資産合計	48,247,808	38,099,802	10,148,006
(3) その他固定資産			
什器備品	743,422	818,337	△ 74,915
その他固定資産合計	743,422	818,337	△ 74,915
固定資産合計	72,991,230	62,918,139	10,073,091
資産合計	94,812,063	87,444,498	7,367,565
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	16,421,351	19,324,258	△ 2,902,907
鳥取県委託料精算	1,749,293	5,700,494	△ 3,951,201
鳥取市委託料精算	4,839,775	5,232,727	△ 392,952
その他未払金	9,832,283	8,391,037	1,441,246
前受金	202,830	127,740	75,090
預り金	289,623	350,985	△ 61,362
所得税	113,819	103,905	9,914
社会保険料	47,804	100,280	△ 52,476
市県民税	128,000	146,800	△ 18,800
賞与引当金	3,839,689	3,334,489	505,200
流動負債合計	20,753,493	23,137,472	△ 2,383,979
負債合計	20,753,493	23,137,472	△ 2,383,979
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
県市出捐金	24,000,000	24,000,000	0
地方公共団体補助金	48,015,158	37,763,752	10,251,406
什器備品	232,650	336,050	△ 103,400
指定正味財産合計	72,247,808	62,099,802	10,148,006
(うち基本財産への充当額)	24,000,000	24,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	48,247,808	38,099,802	10,148,006
2. 一般正味財産	1,810,762	2,207,224	△ 396,462
正味財産合計	74,058,570	64,307,026	9,751,544
負債及び正味財産合計	94,812,063	87,444,498	7,367,565

## 財務諸表に対する注記

## 1. 継続事業の前提に関する注記

記載すべき事項はありません。

## 2. 重要な会計方針

## (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期目的保有債権は取得価額をもって評価額としています。

## (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しています。

## (3) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用しています。

## (4) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する6月賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込額を計上しています。

## (5) 消費税等の会計処理

税込方式を採用しています。

## 3. 会計方針の変更

会計方針に変更はありません。

## 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
鳥取県債	24,000,000	0	0	24,000,000
小 計	24,000,000	0	0	24,000,000
特定資産				
童謡館事業資産				
普通預金	22,212,717	5,359,230	0	27,571,947
おもちゃ館事業資産				
普通預金	15,551,035	4,892,176	0	20,443,211
什器備品	336,050	0	103,400	232,650
小 計	38,099,802	10,251,406	103,400	48,247,808
合 計	62,099,802	10,251,406	103,400	72,247,808

## 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
鳥取県債	24,000,000	(24,000,000)	(0)	(0)
小 計	24,000,000	24,000,000	0	0
特定資産				
童謡館事業資産				
普通預金	27,571,947	(27,571,947)	(0)	(0)
おもちゃ館事業資産				
普通預金	20,443,211	(20,443,211)	(0)	(0)
什器備品	232,650	(232,650)	(0)	(0)
小 計	48,247,808	48,247,808	0	0
合 計	72,247,808	72,247,808	0	0

## 6. 担保に供している資産

該当事項はありません。

## 7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具備品(除雪機等17点)	4,827,943	3,851,871	976,072
合 計	4,827,943	3,851,871	976,072

## 8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未 収 金			
入館料ほか売上未収	213,750	0	213,750
PayPayほか電子決済	167,750	0	167,750
その他クーポン類	46,000	0	46,000
ともしび電子チケット売上未収	18,032	0	18,032
鳥取県債未収利息	6,312	0	6,312
委託販売未収金	2,560	0	2,560
自販機販売手数料3月分	46,893	0	46,893
合 計	287,547	0	287,547

## 9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当事項はありません。

## 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
鳥取県債(償還期日:令和6年3月31日)	24,000,000	24,000,000	0
合 計	24,000,000	24,000,000	0

## 11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
鳥取県立童謡館基金造成事業補助金	鳥取県	22,212,717	5,359,230	0	27,571,947	指定正味財産
鳥取世界おもちゃ館基金造成事業補助金	鳥取市	15,551,035	4,892,176	0	20,443,211	指定正味財産
新型コロナウイルス感染拡大防止機器整備事業補助	(公財)JKA	336,050	0	103,400	232,650	指定正味財産
合 計		38,099,802	10,251,406	103,400	48,247,808	

(注) 当期増加額には運用利息を含みます。

## 12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

## 13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却による指定解除額	103,400
合 計	103,400

## 14. 関連当事者との取引の内容

該当なし

## 15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし

## 16. 重要な後発事象

該当なし

## 17. その他

該当なし

## 財産目録

令和5年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金	手元保管	運転資金として	367,730
	預金	普通預金	運転資金として	20,041,016
		鳥取銀行	鳥取県庁支店	15,741,917
		山陰合同銀行	鳥取県庁支店	4,299,099
	未収金		入館未収(エージェントクーポン等)他	287,547
	商品		繰越商品	1,018,013
	貯蔵品		郵券、印紙	49,327
	前払費用		前払い保険料等	57,200
流動資産合計				21,820,833
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
	鳥取県債	償還期限10年、償還 期日令和6年3月31日	基本財産であり、運用益を法人管理費に充て ています。	24,000,000
<b>特定資産</b>				
	普通預金			27,571,947
	山陰合同銀行	鳥取県庁支店	鳥取県より、童謡を通じた文化事業費または 県立童謡館の管理運営費に使用することが定 められています。	27,571,947
	普通預金			20,443,211
	山陰合同銀行	鳥取県庁支店	鳥取市より、おもちゃを通じた文化事業費ま たは鳥取世界おもちゃ館の管理運営費に使用 することが定められています。	20,443,211
	什器備品		(公財)JKAにより2026年3月31日までの使用 及び管理が義務付けられています。	232,650
<b>その他固定資産</b>				
	什器備品		除雪機等17点	743,422
固定資産合計				72,991,230
資産合計				94,812,063
<b>(流動負債)</b>				
	未払金			16,421,351
	鳥取県委託料精算		鳥取県への指定管理委託料返納額	1,749,293
	鳥取市委託料精算		鳥取市への指定管理委託料返納額	4,839,775
	その他未払金		電気代3月分 他	9,832,283
	前受金		いべんとほーる前受利用料他	202,830
	預り金		各種預かり金	289,623
	所得税			113,819
	社会保険料			47,804
	市県民税			128,000
	賞与引当金			3,839,689
流動負債合計				20,753,493
負債合計				20,753,493
正味財産				74,058,570



## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	鳥取県債	24,000,000	0	0	24,000,000
	基本財産計	24,000,000	0	0	24,000,000
特定資産	童謡館事業資産				
	普通預金	22,212,717	5,359,230	0	27,571,947
	おもちゃ館事業資産				
	普通預金	15,551,035	4,892,176	0	20,443,211
	什器備品	336,050	0	103,400	232,650
	特定資産計	38,099,802	10,251,406	103,400	48,247,808

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	3,334,489	3,839,689	3,334,489		3,839,689

## 令和5年度事業計画

### 基本方針

当年度は、平成31(2019)年4月1日を始期日とする5年間の指定管理期間の最終年度となる。長かった新型コロナウイルスによる自粛生活もようやく終わりをみせ、GW明けには感染症法上における5類への移行も決まっている。自粛期間中は館の事業も大きな影響を受け、臨時休館やイベントの全面休止を余儀なくされた時期もあった。再開後も長期間に亘るイベント規模の縮小など不本意なかたちでの運営が続いたが、いよいよこの4月からは、人数制限を原則撤廃し、規模や定員を以前の水準まで戻すべく準備を進めている。

マスクの着用を含めた館内での感染予防対策については、利用者からもさまざまな意見があり、一気呵成に元通りとはいかない面もあるが、県内の情勢をみながら徐々に緩和し、引き続き童謡・唱歌とおもちゃの文化普及に努めていきたいと考えている。

当法人は公益財団法人として、非営利かつ不特定多数の利益の増進を普遍的な行動指針として掲げている。県民市民のみならず、多くの人々に広く門戸の開かれた“うた”と“おもちゃ”の文化事業を提供することにより、童謡・唱歌とおもちゃをテーマとした特色ある地域文化の発展を図り、公益法人としての社会的役割と責任を果たしていきたいと考えている。

### 実施事業（総事業費 186,768 千円）

法人の目的を達成するため、指定管理者としてわらべ館の管理運営を行うとともに、次の事業を実施する。

#### 1. 童謡唱歌に関する事業（公益目的事業1 事業費 89,219 千円）

##### (1) 童謡唱歌体験事業

童謡唱歌に親しむ機会を提供するため、実際に童謡唱歌を歌ったり聴いたりすることの出来る体験活動を実施する。定期イベントとして唱歌教室を開催するほか、希望する団体や施設を募り、県内外の各地に出向いてのコンサートを実施するなどして、童謡唱歌の普及と愛好者人口の拡大に努める。家庭でも唱歌に親しんでもらうことを目的として、わらべ館のオリジナル唱歌集を販売する。また田村虎蔵生誕150年にあわせ唱歌教室においても年間を通じて田村作品の発信に努めるとともに、年2回田村虎蔵関連のコンサートを実施する。

##### (2) 調査研究、資料収集事業

「童謡・唱歌のふるさと鳥取」の拠点施設として、日本の音楽教育の発展に大きな役割を果たした鳥取県出身の三人の音楽家、岡野貞一・田村虎蔵・永井幸次の業績を顕彰し、関連資料の収集を行う。また併せて、本県ゆかりの音楽家や童謡全般に係る資料収集を行い、専門員による調査研究を進める。

昨年度におもちゃ資料と統合して作成されたデータベースによる収蔵資料の整備とオ

ンライン公開後の利活用策を進める。

(3) 展示事業

岡野貞一ら鳥取県出身の音楽家の業績を顕彰するとともに、童謡唱歌に対する興味関心を広く一般に喚起するため、常設展のほかテーマを定めた企画展を童謡館で開催する。展示には専門員による調査研究、資料収集の成果を反映し、わらべ館の入館料のみで広く一般に公開する。また今年度は田村虎蔵生誕 150 年にあたることから秋に特別展を開催する。

2. おもちゃに関する事業 (公益目的事業2 事業費 88,225 千円)

(1) おもちゃ文化体験事業

おもちゃに親しみ、おもちゃ文化に触れる機会を提供するため、工作や遊びなどの体験型事業を実施する。鳥取世界おもちゃ館を拠点として、おもちゃを使った工作や遊びの体験活動を提供するほか、壊れたおもちゃの修理やリサイクルおもちゃのワークショップなど様々なアプローチにより、楽しみながら学べる環境の実現を目指す。おもちゃづくり体験で販売する工作キットやその他材料代等の徴収に際しては、低廉な価格に設定し、多くの方に参加してもらえるよう工夫する。また、手軽に遊べる日本の伝統玩具を紹介するため、こまの販売を行う。

(2) 調査研究、資料収集事業

鳥取世界おもちゃ館の展示の充実を図るため、鳥取県の郷土玩具や資料的価値のあるおもちゃを収集するとともに、専門員による調査研究を行う。県東部だけでなく近隣のおもちゃ作家とも連携しながら、地域性のある特徴的なおもちゃの収集に力を入れる。

昨年度に童謡資料と統合して作成されたデータベースによる収蔵資料の整備とオンライン公開後の利活用策を進める。

(3) 展示事業

「'89 鳥取・世界おもちゃ博覧会」を顕彰するとともに、当時の収集資料を活用するため財団が新たに収集した資料も交えて、鳥取世界おもちゃ館において常設展やテーマを定めた企画展を開催する。展示には専門員による調査研究、資料収集の成果を反映し、わらべ館の入館料のみで広く一般に公開する。

3. 法人管理事業 (管理事業 事業費 9,324 千円)

公益法人として関係諸法令に則り、透明性のある法人運営を行うとともに、人材育成に力を入れ、職員の知識、技量の向上を図る。

## 収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	前年度最終予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	144,000	144,000	0
受取利息	144,000	144,000	0
文化事業収益	16,924,000	11,359,000	5,565,000
入館料収益	12,750,000	9,117,000	3,633,000
ほーる利用収益	1,554,000	518,000	1,036,000
友の会会費収益	736,000	736,000	0
事業収益	74,000	74,000	0
館内販売売上高	1,810,000	914,000	896,000
受取補助金等	156,253,000	165,221,000	△ 8,968,000
県市受託収益	153,664,000	162,116,000	△ 8,452,000
童謡館受託収益	77,332,000	81,558,000	△ 4,226,000
おもちゃ館受託収益	76,332,000	80,558,000	△ 4,226,000
補助金等振替額	2,589,000	3,105,000	△ 516,000
童謡館事業資産振替額	1,703,000	1,500,000	203,000
おもちゃ館事業資産振替額	781,000	1,500,000	△ 719,000
民間補助金振替額	105,000	105,000	0
雑収益	406,000	406,000	0
受取利息	2,000	2,000	0
雑収益	404,000	404,000	0
自販機受取手数料	300,000	202,000	98,000
その他雑収益	104,000	202,000	△ 98,000
経常収益計	173,727,000	177,130,000	△ 3,403,000
(2) 経常費用			
文化事業費	177,444,000	169,019,000	8,425,000
報酬	16,168,000	14,600,000	1,568,000
役員報酬	4,230,000	4,230,000	0
非常勤職員報酬	11,898,000	10,320,000	1,578,000
その他報酬	40,000	50,000	△ 10,000
給料手当	43,476,000	41,982,000	1,494,000
職員給料	29,170,000	28,456,000	714,000
職員手当	10,888,000	10,386,000	502,000
賞与引当金繰入	3,418,000	3,140,000	278,000
臨時雇い賃金	1,695,000	1,594,000	101,000
退職給付費用	1,346,000	1,286,000	60,000
福利厚生費	9,775,000	9,028,000	747,000
福利厚生費	7,008,000	6,558,000	450,000
報酬福利厚生費	2,544,000	2,268,000	276,000
賃金福利厚生費	9,000	8,000	1,000
法定外福利費	214,000	194,000	20,000
旅費交通費	1,513,000	1,407,000	106,000
費用弁償	58,000	235,000	△ 177,000
普通旅費	638,000	468,000	170,000

科 目	予算額	前年度最終予算額	増 減
特別旅費	817,000	704,000	113,000
通信運搬費	1,883,000	1,617,000	266,000
消耗什器備品費	1,400,000	1,710,000	△ 310,000
消耗品費	4,142,000	4,170,000	△ 28,000
食糧費	588,000	544,000	44,000
修繕費	3,000,000	4,650,000	△ 1,650,000
印刷製本費	3,484,000	2,602,000	882,000
燃料費	100,000	100,000	0
光熱水費	27,346,000	24,594,000	2,752,000
電気代	17,054,000	15,166,000	1,888,000
水道代	686,000	708,000	△ 22,000
下水道代	344,000	350,000	△ 6,000
ガス代	9,262,000	8,370,000	892,000
使用料賃借料	6,308,000	4,899,000	1,409,000
保険料	280,000	280,000	0
諸謝金	3,202,000	3,218,000	△ 16,000
租税公課	7,254,000	7,438,000	△ 184,000
支払負担金	210,000	210,000	0
委託費	38,180,000	37,335,000	845,000
支払手数料	1,100,000	990,000	110,000
広告宣伝費	2,888,000	2,720,000	168,000
減価償却費	268,000	373,000	△ 105,000
館内販売仕入高	1,788,000	1,670,000	118,000
雑費	50,000	2,000	48,000
財団管理費	9,324,000	8,830,000	494,000
報酬	802,000	758,000	44,000
役員報酬	802,000	758,000	44,000
給料手当	4,831,000	4,665,000	166,000
職員給料	3,241,000	3,162,000	79,000
職員手当	1,210,000	1,154,000	56,000
賞与引当金繰入	380,000	349,000	31,000
退職給付費用	143,000	143,000	0
福利厚生費	869,000	823,000	46,000
福利厚生費	779,000	729,000	50,000
報酬福利厚生費	73,000	76,000	△ 3,000
法定外福利費	17,000	18,000	△ 1,000
旅費交通費	122,000	24,000	98,000
費用弁償	22,000	24,000	△ 2,000
普通旅費	100,000	0	100,000
通信運搬費	58,000	63,000	△ 5,000
消耗品費	241,000	346,000	△ 105,000
食糧費	5,000	10,000	△ 5,000
印刷製本費	75,000	60,000	15,000
光熱水費	582,000	524,000	58,000
電気代	362,000	324,000	38,000
水道代	15,000	16,000	△ 1,000
下水道代	8,000	8,000	0
ガス代	197,000	176,000	21,000
使用料賃借料	284,000	273,000	11,000

## (7) 公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館

科 目	予算額	前年度最終予算額	増 減
保険料	20,000	20,000	0
諸謝金	264,000	294,000	△ 30,000
租税公課	846,000	642,000	204,000
支払負担金	20,000	20,000	0
委託費	132,000	129,000	3,000
支払手数料	6,000	5,000	1,000
減価償却費	24,000	31,000	△ 7,000
経常費用計	186,768,000	177,849,000	8,919,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,041,000	△ 719,000	△ 12,322,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,041,000	△ 719,000	△ 12,322,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1,000	△ 1,000
経常外費用計	0	1,000	△ 1,000
当期経常外増減額	0	△ 1,000	1,000
当期一般正味財産増減額	△ 13,041,000	△ 720,000	△ 12,321,000
一般正味財産期首残高	1,488,000	2,207,000	△ 719,000
一般正味財産期末残高	△ 11,553,000	1,487,000	△ 13,040,000
II 指定正味財産増減の部			
受取県補助金等	0	5,359,000	△ 5,359,000
受取市補助金等	0	4,892,000	△ 4,892,000
特定資産運用益(童謡)	1,000	1,000	0
特定資産運用益(おもちゃ)	1,000	1,000	0
一般正味財産への振替額	△ 2,589,000	3,210,000	△ 621,000
行政補助金より	△ 2,484,000	0	2,484,000
民間補助金より	△ 105,000	105,000	0
当期指定正味財産増減額	△ 2,587,000	7,043,000	△ 9,630,000
指定正味財産期首残高	72,289,000	62,100,000	10,189,000
指定正味財産期末残高	69,702,000	69,143,000	559,000
III 正味財産期末残高	58,149,000	70,630,000	△ 12,481,000

## 収支予算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業			法人会計	合計
	童謡唱歌に 関する事業	おもちゃに 関する事業	小計		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	0	144,000	144,000
受取利息	0	0	0	144,000	144,000
文化事業収益	3,127,000	4,641,000	7,768,000	9,156,000	16,924,000
入館料収益	1,797,000	1,797,000	3,594,000	9,156,000	12,750,000
ほーる利用収益	777,000	777,000	1,554,000	0	1,554,000
友の会会費収益	368,000	368,000	736,000	0	736,000
事業収益	55,000	19,000	74,000	0	74,000
館内販売売上高	130,000	1,680,000	1,810,000	0	1,810,000
受取補助金等	79,082,000	77,160,000	156,242,000	11,000	156,253,000
県市受託収益	77,332,000	76,332,000	153,664,000	0	153,664,000
童謡館受託収益	77,332,000	0	77,332,000	0	77,332,000
おもちゃ館受託収益	0	76,332,000	76,332,000	0	76,332,000
補助金等振替額	1,750,000	828,000	2,578,000	11,000	2,589,000
童謡館事業資産振替額	1,703,000	0	1,703,000	0	1,703,000
おもちゃ館事業資産振替額	0	781,000	781,000	0	781,000
民間補助金振替額	47,000	47,000	94,000	11,000	105,000
雑収益	203,000	203,000	406,000	0	406,000
受取利息	1,000	1,000	2,000	0	2,000
雑収益	202,000	202,000	404,000	0	404,000
自販機受取手数料	150,000	150,000	300,000	0	300,000
その他雑収益	52,000	52,000	104,000	0	104,000
経常収益計	82,412,000	82,004,000	164,416,000	9,311,000	173,727,000
(2) 経常費用					
文化事業費	89,219,000	88,225,000	177,444,000		177,444,000
報酬	8,084,000	8,084,000	16,168,000		16,168,000
役員報酬	2,115,000	2,115,000	4,230,000		4,230,000
非常勤職員報酬	5,949,000	5,949,000	11,898,000		11,898,000
その他報酬	20,000	20,000	40,000		40,000
給料手当	21,738,000	21,738,000	43,476,000		43,476,000
職員給料	14,585,000	14,585,000	29,170,000		29,170,000
職員手当	5,444,000	5,444,000	10,888,000		10,888,000
賞与引当金繰入	1,709,000	1,709,000	3,418,000		3,418,000
臨時雇い賃金	0	1,695,000	1,695,000		1,695,000
退職給付費用	673,000	673,000	1,346,000		1,346,000
福利厚生費	4,883,000	4,892,000	9,775,000		9,775,000
福利厚生費	3,504,000	3,504,000	7,008,000		7,008,000
報酬福利厚生費	1,272,000	1,272,000	2,544,000		2,544,000
賃金福利厚生費	0	9,000	9,000		9,000
法定外福利費	107,000	107,000	214,000		214,000
旅費交通費	1,077,000	436,000	1,513,000		1,513,000
費用弁償	35,000	23,000	58,000		58,000
普通旅費	380,000	258,000	638,000		638,000

## (7) 公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館

科 目	公益目的事業			法人会計	合計
	童謡唱歌に 関する事業	おもちゃに 関する事業	小計		
特別旅費	662,000	155,000	817,000		817,000
通信運搬費	1,041,000	842,000	1,883,000		1,883,000
消耗什器備品費	725,000	675,000	1,400,000		1,400,000
消耗品費	1,733,000	2,409,000	4,142,000		4,142,000
食糧費	268,000	320,000	588,000		588,000
修繕費	1,500,000	1,500,000	3,000,000		3,000,000
印刷製本費	2,132,000	1,352,000	3,484,000		3,484,000
燃料費	50,000	50,000	100,000		100,000
光熱水費	13,673,000	13,673,000	27,346,000		27,346,000
電気代	8,527,000	8,527,000	17,054,000		17,054,000
水道代	343,000	343,000	686,000		686,000
下水道代	172,000	172,000	344,000		344,000
ガス代	4,631,000	4,631,000	9,262,000		9,262,000
使用料賃借料	3,088,000	3,220,000	6,308,000		6,308,000
保険料	140,000	140,000	280,000		280,000
諸謝金	2,446,000	756,000	3,202,000		3,202,000
租税公課	3,627,000	3,627,000	7,254,000		7,254,000
支払負担金	100,000	110,000	210,000		210,000
委託費	19,572,000	18,608,000	38,180,000		38,180,000
支払手数料	750,000	350,000	1,100,000		1,100,000
広告宣伝費	1,694,000	1,194,000	2,888,000		2,888,000
減価償却費	131,000	137,000	268,000		268,000
館内販売仕入高	69,000	1,719,000	1,788,000		1,788,000
雑費	25,000	25,000	50,000		50,000
財団管理費				9,324,000	9,324,000
報酬				802,000	802,000
役員報酬				802,000	802,000
給料手当				4,831,000	4,831,000
職員給料				3,241,000	3,241,000
職員手当				1,210,000	1,210,000
賞与引当金繰入				380,000	380,000
退職給付費用				143,000	143,000
福利厚生費				869,000	869,000
福利厚生費				779,000	779,000
報酬福利厚生費				73,000	73,000
法定外福利費				17,000	17,000
旅費交通費				122,000	122,000
費用弁償				22,000	22,000
普通旅費				100,000	100,000
通信運搬費				58,000	58,000
消耗品費				241,000	241,000
食糧費				5,000	5,000
印刷製本費				75,000	75,000
光熱水費				582,000	582,000
電気代				362,000	362,000
水道代				15,000	15,000
下水道代				8,000	8,000
ガス代				197,000	197,000



科 目	公益目的事業			法人会計	合計
	童謡唱歌に関する事業	おもちゃに関する事業	小計		
使用料賃借料				284,000	284,000
保険料				20,000	20,000
諸謝金				264,000	264,000
租税公課				846,000	846,000
支払負担金				20,000	20,000
委託費				132,000	132,000
支払手数料				6,000	6,000
減価償却費				24,000	24,000
経常費用計	89,219,000	88,225,000	177,444,000	9,324,000	186,768,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,807,000	△ 6,221,000	△ 13,028,000	△ 13,000	△ 13,041,000
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,807,000	△ 6,221,000	△ 13,028,000	△ 13,000	△ 13,041,000
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 6,807,000	△ 6,221,000	△ 13,028,000	△ 13,000	△ 13,041,000
当期一般正味財産増減額	△ 6,807,000	△ 6,221,000	△ 13,028,000	△ 13,000	△ 13,041,000
一般正味財産期首残高	718,000	740,000	1,458,000	30,000	1,488,000
一般正味財産期末残高	△ 6,089,000	△ 5,481,000	△ 11,570,000	17,000	△ 11,553,000
II 指定正味財産増減の部					
特定資産運用益(童謡)	1,000	0	1,000	0	1,000
特定資産運用益(おもちゃ)	0	1,000	1,000	0	1,000
一般正味財産への振替額	△ 1,750,000	△ 828,000	△ 2,578,000	△ 11,000	△ 2,589,000
行政補助金より	△ 1,703,000	△ 781,000	△ 2,484,000	0	△ 2,484,000
民間補助金より	△ 47,000	△ 47,000	△ 94,000	△ 11,000	△ 105,000
当期指定正味財産増減額	△ 1,749,000	△ 827,000	△ 2,576,000	△ 11,000	△ 2,587,000
指定正味財産期首残高	27,677,000	20,548,000	48,225,000	24,064,000	72,289,000
指定正味財産期末残高	25,928,000	19,721,000	45,649,000	24,053,000	69,702,000
III 正味財産期末残高	19,839,000	14,240,000	34,079,000	24,070,000	58,149,000

## (8) 公益財団法人 鳥取県スポーツ協会経営状況報告書

### 法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県スポーツ協会
- 2 目 的 県内スポーツの競技力向上、生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進、文化活動・地域産業の振興に資する事業を行うことで、県民スポーツに対する意識の高揚を図るとともに、健康で文化的な県民生活の向上と地域産業の発展に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月21日  
(財団法人 鳥取県体育協会設立許可年月日  
昭和48年12月22日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日  
(財団法人 鳥取県体育協会設立登記年月日  
昭和48年12月25日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 1,187,988円  
鳥取県出えん金 500,000円  
その他出えん金 687,988円
- 6 役 員 等 評 議 員 67人 理 事 25人 監 事 2人  
評 議 員 江 原 正 光 (鳥取県スキー連盟副会長)  
" 保 木 本 泉 (鳥取県スケート連盟理事)  
" 中 西 照 典 (鳥取県アイスホッケー連盟会長)  
" 山 根 賢 士 (一般財団法人鳥取陸上競技協会総務部長)  
" 本 田 義 志 (一般財団法人鳥取県水泳連盟常務理事)  
" 高 田 貴 志 (一般財団法人鳥取県サッカー協会専務理事)  
" 浅 倉 俊 一 (鳥取県テニス協会副会長)  
" 竹 田 新 太 郎 (鳥取県ローイング協会副会長兼理事長)  
" 坂 田 陽 彦 (鳥取県ホッケー協会理事長)  
" 川 上 寛 (鳥取県ボクシング連盟理事長)

評 議 員	石 田 則 男 (鳥取県バレーボール協会副会長)
〃	岡 田 幸 樹 (鳥取県体操協会常務理事)
〃	西 垣 宏 紀 (一般社団法人鳥取県バスケットボール協会事務局長)
〃	林 原 祐 二 (鳥取県レスリング協会副理事長)
〃	富 田 博 司 (鳥取県セーリング連盟理事長)
〃	中 嶋 政 幸 (鳥取県ウエイトリフティング協会会長)
〃	小 澤 敏 正 (鳥取県ハンドボール協会副理事長)
〃	河 田 拓 也 (鳥取県自転車競技連盟理事長)
〃	山 口 宏 志 (鳥取県ソフトテニス連盟副理事長)
〃	松 本 秀 樹 (一般社団法人鳥取県卓球連盟理事長)
〃	松 田 金 幸 (鳥取県軟式野球連盟副理事長)
〃	石 浦 外喜義 (鳥取県相撲連盟理事長)
〃	高 岡 智奈美 (鳥取県フェンシング協会理事)
〃	稲 田 一 (鳥取県柔道連盟理事長)
〃	福 澤 美恵子 (鳥取県ソフトボール協会女性委員会委員長)
〃	源 憲 治 (鳥取県バドミントン協会理事長)
〃	羽 戸 豊 二 (鳥取県弓道連盟副会長)
〃	松 本 雅 文 (鳥取県ライフル射撃協会理事長兼事務局長)
〃	山 根 國 弘 (鳥取県剣道連盟理事長)
〃	長 見 奠 文 (鳥取県ラグビーフットボール協会名誉会長)
〃	葉 狩 健 一 (鳥取県山岳・スポーツクライミング協会監事)
〃	林 原 潤 (鳥取県カヌー協会顧問)
〃	安 治 直 人 (鳥取県アーチェリー協会事務局長)
〃	三 村 健 一 (鳥取県空手道連盟理事長)
〃	高 橋 浩 二 (鳥取県クレ射撃協会事務局長)
〃	鳥 飼 明 子 (鳥取県なぎなた連盟理事長)

評議員	松岡義信 (鳥取県ボウリング連盟理事長)
〃	石橋名菜子 (鳥取県ゴルフ協会事務局次長)
〃	川福正光 (鳥取県綱引連盟理事長)
〃	森田典秀 (鳥取県少林寺拳法連盟事務局長)
〃	出村昭一 (鳥取県ゲートボール協会理事長)
〃	前田慶一郎 (鳥取県武術太極拳連盟理事長)
〃	宮脇武由 (鳥取県グラウンド・ゴルフ協会会長)
〃	石名勝実 (鳥取県トライアスロン協会理事)
〃	水田靖子 (鳥取県スポーツチャンバラ協会事務局長)
〃	谷口一之 (鳥取県バウンドテニス協会副会長)
〃	村山繁 (鳥取県ペタンク連盟副会長)
〃	前田博 (鳥取県ダンススポーツ連盟会長)
〃	岡田信俊 (鳥取市体育協会副会長)
〃	椿正昌 (米子市スポーツ協会副会長)
〃	西坂泰仁 (倉吉市体育協会副会長)
〃	松本熙 (境港市スポーツ協会副会長)
〃	寺本努 (岩美町体育会会長)
〃	中尾等 (八頭郡体育会副会長)
〃	黒松悟司 (東伯郡体育協会理事長)
〃	岩田典弘 (西伯郡スポーツ協会事務局長)
〃	松本豊文 (日野郡体育協会会長)
〃	岡田優 (鳥取県高等学校体育連盟会長)
〃	伊藤賢二 (鳥取県中学校体育連盟会長)
〃	谷口達哉 (鳥取県小学校体育連盟前会長)
〃	西村正広 (国立大学法人鳥取大学体育連合会)
〃	大野政人 (国立米子工業高等専門学校体育連合会理事長)
〃	近藤剛 (学校法人藤田学院鳥取短期大学体育連合会会長)
〃	田村嘉庸 (鳥取県高等学校野球連盟理事長)

評議員	今井陸雄 (学識経験者)
〃	後藤 弥 (学識経験者)
〃	本名俊正 (学識経験者)
会長	林 昭男
副会長	堀田 收 (境港商工会議所会頭)
〃	松本典子 (学校法人藤田学院鳥取短期大学学長)
〃	小倉健一
専務理事	山崎嘉彦
常務理事	丸山真治 (鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局局長)
〃	生田文子
〃	長谷川和郎 (鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長)
〃	須崎ひとみ (鳥取市体育協会事務局長)
理事	松浦喜房 (鳥取県東部医師会顧問)
〃	長谷川 隆 (鳥取県教育委員会事務局教育次長)
〃	岡田行雄 (鳥取県自転車競技連盟副会長)
〃	森谷哲郎 (鳥取県スキー連盟事務局長)
〃	土橋義親 (鳥取県ホッケー協会副会長)
〃	井勢智則 (鳥取県レスリング協会理事長)
〃	岩永奈穂 (鳥取県セーリング連盟事務局長)
〃	安達仁美 (鳥取県ソフトテニス連盟副会長)
〃	新田明彦 (一般財団法人鳥取陸上競技協会専務理事)
〃	港 浩二 (鳥取県ライフル射撃協会強化経理担当)
〃	土橋芳子 (鳥取県ペタンク連盟監事)
〃	山下 忍 (一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会スポーツ指導員)
〃	坂田光史郎 (鳥取県中学校体育連盟理事長)
〃	富田 学 (鳥取県高等学校体育連盟理事長)
〃	成田博顕 (米子市スポーツ協会理事長)

(8) 公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

理 事 徳 永 由 樹 (鳥取県スポーツ推進委員協議会監事)

監 事 小 林 敬 典

” 高 田 充 征

7 職 員 55人 (うち県退職職員 5人)

8 事 務 所 鳥取市東町一丁目220番地

令和4年度事業実施状況

【1】公益目的事業実施状況

1 競技力向上

(1) 競技力向上対策等事業

県の競技力対策事業に基づき、本県の競技力の向上を図った。

① 幼児の運動能力向上事業 (20 園)

2 巡目国民スポーツ大会の少年選手世代となる園児の基礎運動能力の獲得を目指し、幼稚園・保育園・認定こども園に対して、幼児運動指導の専門家を派遣した。

② 目指せトップアスリート！わかとりっこ育成事業

スポーツに触れる機会を提供することで、興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、その後のジュニア育成・強化により、選手育成を図った。

・ わかとりっこ育成体験会

(1 回目)

[期 日] 令和4年11月3日(木)

[場 所] ヤマタスポーツパーク県民体育館

[参加者数] 205名

[競 技] ボート、ホッケー、ボクシング、卓球、スポーツクライミング、ラグビーフットボール

(2、3 回目)

[期 日] 令和4年12月4日(日)、18日(日)

[場 所] 鳥取屋内プール、皆生市民プール

[参加者数] 23名

[競 技] 水球

③ ジュニア指導者講習会事業 (34 競技)

ジュニア指導にあたる指導者を対象に講習会を開催し、指導者自身の資質向上と県内指導者間の指導方法の共有・周知を図った。

④ カテゴリー別合同練習会事業 (35 競技)

小学校高学年と中学1年、中学3年と高校1年など、カテゴリーをまたいで合同練習会を実施した。

⑤ ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業 (19 競技 23 クラブ)

特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行った。

⑥ 運動部活動活性化事業

ア 中学生選抜選手育成・強化支援 (19 競技 20 専門部)

競技団体と県中学校体育連盟専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図った。

イ 高等学校運動部指定合宿等支援 (22 校 29 競技 64 部)

各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的として各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行った。

ウ 高等学校運動部指定特別指導者確保支援（2校2競技2名）

指定校への指導者配置の支援を行うことにより、競技力の向上を図った。

エ 高等学校運動部指定外部指導者支援（9校21名）

各高等学校における指定運動部の外部指導者に対する支援を行うことにより競技力の向上を図った。

⑦ 県外等優秀アスリート受入支援事業（1校6名）

本県の県立高校へ入学する県外アスリートの受入体制の支援を行った。

⑧ 特別ジュニア選手指定強化事業（26競技）

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図った。

⑨ 鳥取ジュニアアスリート育成強化事業（11競技）

県直轄の鳥取ジュニアアスリート発掘事業で認定された選手に対する強化育成を図った。

⑩ 指導者の育成事業（25競技）

全国トップレベルの指導者の元への派遣または国内外の優秀コーチの招へい訪問等を行い、県内の指導者の指導力向上を図った。

⑪ 大学部指定強化事業（2大学3部）

協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施した。

⑫ 社会人等選手指定強化事業（27競技）

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図った。

⑬ 成年団体競技強化チーム事業（2競技2クラブ）

県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行った。

⑭ 優秀選手確保事業（2名）

令和4年4月及び9月採用の補助対象者2名分を県内企業に補助した。

⑮ 特別指定競技国体強化事業（9競技）

令和3年度から5年間のビジョン、強化策等プレゼンテーションの結果を踏まえ県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することにより、国体等での成績向上を図った。

⑯ 医・科学サポート事業（27競技）

医事、栄養、アンチ・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実・県内外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図った。



- ⑰ 強化練習用消耗品等対策事業 (12 競技)  
国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行った。
- ⑱ 安全管理対策事業 (35 競技)  
国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整えた。
- ⑲ 国体等強化備品整備事業 (12 競技)  
国体等強化備品の整備を行った。
- ⑳ 公認指導者資格取得・更新補助事業 (7 競技)  
国民体育大会の監督資格要件として必要な公益財団法人日本スポーツ協会 (以下「日本スポーツ協会」という。) 公認指導者資格の取得及び更新に係る経費の一部について助成した。
- ㉑ 強化推進事業
  - ア 強化推進事業費 (事務費)  
競技団体との連絡・調整・指導等を行った。
  - イ 競技力向上担当人件費  
競技力向上対策事業を受託執行するための3名の人件費を執行した。
- (2) わかとり国体開催記念スポーツ振興事業 (自主事業)
  - ア 国民体育大会入賞奨励金支給事業 (17 競技 45 種目)  
国民体育大会において入賞した競技 (種目) に対し、報奨金を支給した。
  - イ 強化推進費  
上記以外で、競技力向上を推進していくために必要となる経費を支出した。
- (3) 国体予選会の開催及び国体等の選手団派遣
  - ① 国体予選会の開催 (40 競技)  
国民体育大会選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託した。
  - ② 中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣
    - ア 国民体育大会中国ブロック大会  
[本大会] 令和4年5月21日 (土) ~ 8月28日 (日) 30 競技  
[冬季] 令和4年12月10日 (土) ~ 12月11日 (日) 1 競技
    - イ フィギュアスケート競技全国予選会  
[期 日] 令和4年12月3日 (土) ~ 12月4日 (日) 1 競技  
[会 場] 滋賀県立アイスアリーナ (滋賀県)
  - ③ 第77回国民体育大会及び特別国民体育大会冬季大会への選手団派遣
    - ア 第77回国民体育大会  
[期 日] 令和4年10月1日 (土) ~ 10月11日 (火)  
※会期前実施競技は令和4年9月10日 (土) ~ 9月19日 (月)  
[競技種目] 陸上競技他 36 競技
    - イ 第77回冬季大会

○冬季大会（スケート競技・アイスホッケー競技）

[期 日] 令和5年1月28日（土）～2月5日（日）

[場 所] 青森県八戸市・南部町

○冬季大会（スキー競技）

[期 日] 令和5年2月17日（金）～2月20日（月）

[場 所] 岩手県八幡平市

④ 国体等派遣選手指導費

県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行った。

(4) 競技力向上のための指導者確保事業（体育指導員2名）

本県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図った。

(5) JOC競技別強化拠点（セーリング・クライミング）整備等事業（体育指導員2名）

JOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）認定競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリーナ及び倉吉体育文化会館における競技力向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な整備を行った。

(6) アンチ・ドーピング教育・啓発事業（日本スポーツ協会受託事業）

（1回目）

[期 日] 令和4年8月30日（火）

[場 所] 白兔会館 飛翔の間

（2回目）

[期 日] 令和4年9月22日（木）

[場 所] 鳥取県民体育館 メインアリーナ

(7) 賛助会費事業

① ジュニア期の一貫指導・育成支援事業（8校18部）

全国での入賞実績のない高校運動部を指定し、全国レベルに到達することを目的として支援を行った。

② 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業（0団体、応募なし）

③ 賛助会員体育施設利用券の発行（発行枚数304枚）

本会が管理する指定管理及び所有する施設の利用券を交付した。

④ 賛助会運営費

本会が賛助会を運営していくための経費を執行した。

2 生涯スポーツ推進事業

(1) 広域スポーツセンター事業

① 総合型地域スポーツクラブ運営改善事業

総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブ創設・運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図った。

ア 研修会

[期 日] 令和4年10月15日(土)

[場 所] 倉吉体育文化会館

[参加者数] 15名

イ 指導者派遣

(1回目)

[期 日] 令和4年6月11日(土)

[場 所] 鹿野町農業者トレーニングセンター

[参加者数] 12名

(2回目)

[期 日] 令和5年3月12日(日)

[場 所] 北栄町B&G海洋センター

[参加者数] 13名

② クラブアドバイザー配置事業

クラブ設立・運営支援等を行うため、クラブアドバイザーを配置した。

③ クラブアシスタントマネジャー研修事業

総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象としたクラブ運営に関する研修(アシスタントマネジャー資格取得講習会)を行った。

[期 日] 令和4年7月9日(土)～10日(日)

[場 所] 倉吉体育文化会館

[参加者数] 3名

④ 県民まるごとスポーツ推進事業

ア 親子deスポーツ推進事業(総合型)(5クラブ)

子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的として総合型地域スポーツクラブが親子向け運動教室を開催することを支援した。

イ 親子deスポーツ推進事業(競技団体)(5競技団体)

子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的として競技団体が親子向け運動教室を開催することを支援した。

ウ みんなdeユニスポ推進事業(6クラブ)

年齢や性別、障がいの有無に関わらず、全ての人が気軽にスポーツを楽しむ機会を提供する総合型地域スポーツクラブに支援を行った。

⑤ 鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業

県内スポーツ施設、スポーツイベント、本県へのアクセスマップ及び宿泊施設等の情報に加え、各種支援制度をまとめた専用サイトを運用した。

⑥ 第23回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業

ア 夏季大会

[期 日] 令和4年8月27日(土)～28日(日)

[会 場] 西部地区を中心に開催

[種 目] 5種目 参加人数 547名 (前年度中止)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2種目を中止した。

イ 秋季大会

[期 日] 令和4年10月22日(土)～23日(日)

[会 場] 西部地区を中心に開催

[種 目] 35種目 参加人数 6,594名 (前年度 5,811名)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、6種目を中止した。

ウ 冬季大会

[期 日] 令和5年2月12日(日)他

[会 場] 西部地区を中心に開催

[種 目] 5種目 参加人数 508名 (前年度 64名)

⑦ 大韓民国江原道とのスポーツ交流事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止した。

⑧ 広域スポーツセンター人件費

広域スポーツセンターの事業を受託執行するための1名の人件費を執行した。

⑨ (新) スポトピアとっとりフェスタ開催事業

本県所縁のアスリートである、入江聖奈氏、立岡ほたる氏を招聘し、県民が気軽に参加できるスポーツ教室等を実施して交流した。

(東部地区)

[期 日] 令和5年1月21日(土)

[会 場] 鳥取県民体育館

[参加人数] 94人

(中部地区)

[期 日] 令和4年12月11日(日)

[会 場] 北栄町 B&G 海洋センター

[参加人数] 80人

(西部地区)

[期 日] 令和5年1月22日(日)

[会 場] 米子市民体育館

[参加人数] 129人

(2) スポ協表彰事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、優良団体賞、体育功労章、優秀指導者賞、スポーツ賞のうち1位を獲得した選手のみ出席し、表彰した。

[期 日] 令和5年2月18日(土)

[会 場] 白兔会館

[表彰内訳] 優良団体賞(2団体)

体育功労賞(5名)、優秀指導者賞(6名)、特別賞(4名)

スポーツ賞（個人 56 名、団体 11 チーム）  
スポーツ敢闘賞（個人 66 名、団体 6 チーム）  
スポーツ奨励賞（個人 24 名、団体 4 チーム）

(3) 公認コーチ養成事業

① 公認コーチ養成講習会の開催《日本スポーツ協会受託事業》

ア 公認バドミントンコーチ1 養成講習会

[期 日] 令和4年8月27日（土）～28日（日）

[場 所] 倉吉交流プラザほか

[参加者数] 25名

イ 公認卓球コーチ2 養成講習会

[期 日] 令和4年9月10日（土），18日（日）

[場 所] 倉吉市スポーツセンター体育館及び研修室

[参加者数] 14名

ウ 公認共通科目Ⅱ養成講習会

[期 日] 令和4年10月15日（土）～16日（日）

[場 所] 倉吉未来中心

[参加者数] 11名

② 公認コーチ育成事業《日本スポーツ協会受託事業》

ア 第1回

[期 日] 令和4年9月4日（日）

[場 所] 米子コンベンションセンター

[参加者数] 72名

イ 第2回

[期 日] 令和4年11月6日（日）

[場 所] 倉吉体育文化会館

[参加者数] 70名

(4) スポーツ少年団の育成《日本スポーツ協会助成事業等》

① 県競技別交流大会開催事業

ア 軟式野球交流大会

[期 日] 令和4年7月23日（土）

[場 所] 琴浦町赤碕総合運動公園野球場

[参加単位団数] 3単位団

イ ミニバスケットボール交流大会

[期 日] 令和4年10月2日（日）

[場 所] 米子産業体育館

[参加単位団数] 6単位団

ウ 剣道交流大会

[期 日] 令和4年10月30日（日）

[会 場] 名和農業者トレーニングセンター

[参加単位団数] 6 単位団

エ バレーボール交流大会

[期 日] 令和4年12月11日(日)

[会 場] 米子産業体育館

[参加単位団数] 11 単位団

② 中国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会開催事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を中止した。

③ 中国ブロック交流大会派遣事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各交流大会の開催が中止となった。

④ 全国交流大会派遣事業

ア 第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会(新潟県)

[期 日] 令和5年3月25日(土)～27日(月)

イ 第20回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会(静岡県)

[期 日] 令和5年3月24日(金)～27日(月)

⑤ 中央講習会派遣事業

各講習会に参加者はなかった。

ア スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター移行研修会

イ スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター養成講習会

⑥ スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の開催

[期 日] 令和4年11月20日(日)

[場 所] 倉吉体育文化会館

[参加者数] 57名

⑦ ジュニア・リーダースクールの開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を中止した。

⑧ 地区別交流大会開催費(3団体)

本県の市町村で開催される競技別交流大会費用の助成を行った。

⑨ 地区別指導者研修費(2団体)

本県の市町村で開催される指導者研修費用の助成を行った。

⑩ スポーツ少年団本部運営費

上記以外で、スポーツ少年団事業を運営していくために必要となる経費を執行した。

(5) スポーツ安全保険業務《スポーツ安全協会受託事業》

アマチュアスポーツ・文化・ボランティア・地域・指導活動を行う4名以上の社会教育関係団体に対し、団体活動中の事故及び通常経路往復中の事故の補償を行う保険の加入受付業務を行うとともに、スポーツ安全保険の広報活動を行った。

[協定期間] 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(6) 施設基金実施事業

① ガイナーレ鳥取支援事業

クラブスポンサーとして支援した。

② 備品整備事業

県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行えるよう備品の整備を行った。

(7) スポーツスクエア整備事業

県民のスポーツへの興味・関心を高めることを目的として、本県出身選手や本県ゆかりの選手等に関する展示物を展示するなど、管理施設（布勢総合運動公園ほか）のスポーツ展示スペースの整備を行った。

3 体育施設管理・運営

鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図った。

(1) 鳥取県立布勢総合運動公園

[利用者数] 830,944人（令和3年度実績：753,000人）

[収入額] 49,176,355円（令和3年度実績：41,758千円）

(2) 鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取県営鳥取屋内プール

[利用者数] 132,525人（令和3年度実績：126,366人）

[収入額] 26,625,057円（令和3年度実績：19,662千円）

(3) 米子市皆生市民プール

[利用者数] 79,069人（令和3年度実績：76,422人）

[収入額] 18,808,027円（令和3年度実績：14,762千円）

(4) 鳥取県立米子産業体育館

[利用者数] 117,050人（令和3年度実績：90,761人）

[収入額] 18,943,022円（令和3年度実績：15,790千円）

(5) 鳥取県立武道館

[利用者数] 96,615人（令和3年度実績：70,187人）

[収入額] 12,685,305円（令和3年度実績：7,896千円）

【2】収益事業実施状況

1 施設関連事業

(1) 鳥取県立倉吉体育文化会館

[利用者数] 89,589人（令和3年度実績：74,057人）

[収入額] 15,342,767円（令和3年度実績：14,706千円）

(2) 倉吉自転車競技場

倉吉自転車競技場の管理運営を行った。

2 自動販売機設置事業

利用者の利便性の向上を図るため、本会が管理するスポーツ振興等事業の指定管理施設の5施設に自動販売機を設置した。

(1) 鳥取県立布勢総合運動公園

(8) 公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

[収入額] 8,155,293 円

(2) 鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取県営鳥取屋内プール

[収入額] 1,581,244 円

(3) 米子市皆生市民プール

[収入額] 681,108 円

(4) 鳥取県立米子産業体育館

[収入額] 1,341,702 円

(5) 鳥取県立武道館

[収入額] 2,377,978 円



正味財産増減計算書  
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減(当年度-前年度)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	35	23	12
基本財産受取利息	35	23	12
② 特定資産運用益	1,222,648	2,604,461	△ 1,381,813
特定資産受取利息	6,948	4,261	2,687
特定資産運用益	1,215,700	2,600,200	△ 1,384,500
③ 受取会費	4,430,000	4,497,000	△ 67,000
受取会費	4,430,000	4,497,000	△ 67,000
④ 事業収益	131,331,641	112,259,563	19,072,078
施設使用料収益	99,272,408	82,872,732	16,399,676
教室参加料収益	29,372,183	27,267,546	2,104,637
イベント収益	2,687,050	2,119,285	567,765
⑤ 受取補助金等	1,108,383,899	1,011,408,591	96,975,308
受取地方公共団体補助金	136,310,089	133,270,653	3,039,436
受取民間補助金	0	0	0
その他委託料	4,393,474	5,556,762	△ 1,163,288
市委託料	51,070,000	51,000,000	70,000
県委託料	874,320,301	778,216,504	96,103,797
受取国庫助成金	0	0	0
受取民間助成金	5,483,000	5,313,690	169,310
受取補助金等振替額	36,807,035	38,050,982	△ 1,243,947
⑥ 受取負担金	2,435,400	2,739,950	△ 304,550
受取負担金	2,435,400	2,739,950	△ 304,550
⑦ 受取寄付金	221,763	0	221,763
受取寄付金	221,763	0	221,763
⑧ 雑収益	21,537,690	15,327,948	6,209,742
雑収益	6,107,568	1,655,633	4,451,935
自販機手数料	15,430,122	13,672,315	1,757,807
経常収益計	1,269,563,076	1,148,837,536	120,725,540
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業経費	1,149,503,557	1,040,908,266	108,595,291
給料手当	184,400,255	183,985,586	414,669
賃金	22,757,571	19,439,526	3,318,045
福利厚生費	49,485,464	50,553,929	△ 1,068,465
役員報酬	1,248,581	1,179,992	68,589
職員手当	69,471,168	64,982,846	4,488,322
旅費交通費	83,055,675	25,484,747	57,570,928
通信運搬費	4,399,838	3,685,126	714,712
減価償却費	37,719,070	37,494,061	225,009
消耗品費	22,128,797	13,032,255	9,096,542
修繕費	23,582,172	25,021,334	△ 1,439,162
印刷製本費	3,973,053	4,223,961	△ 250,908
燃料費	28,301,810	24,676,922	3,624,888
光熱水料費	132,238,862	107,061,294	25,177,568
賃借料	7,906,946	7,230,214	676,732
保険料	3,841,292	3,672,380	168,912
租税公課	30,179,919	28,854,995	1,324,924
支払寄付金	87,680	3,745,036	△ 3,657,356
報償費	12,297,544	11,787,937	509,607
食糧費	325,850	181,172	144,678
手数料	10,820,506	8,176,483	2,644,023
交際費	19,241	12,490	6,751
委託料	216,065,069	213,058,202	3,006,867
負担金補助	203,923,664	201,669,963	2,253,701
広告費	793,600	798,600	△ 5,000
備品購入費	479,930	899,215	△ 419,285
事業費計	1,149,503,557	1,040,908,266	108,595,291

## (8) 公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

(単位:円)

科 目	当年度	当年度	増減(当年度-前年度)
②管理費			
役員報酬	5,630,327	5,523,968	106,359
給料手当	50,062,340	52,859,560	△ 2,797,220
福利厚生費	15,414,790	15,699,529	△ 284,739
賃金	0	595,000	△ 595,000
職員手当	26,032,661	22,858,048	3,174,613
旅費交通費	1,244,522	1,163,587	80,935
通信運搬費	735,649	710,672	24,977
減価償却費	49,338	36,835	12,503
消耗品費	649,035	599,903	49,132
印刷製本費	647,630	823,355	△ 175,725
燃料費	34,711	58,720	△ 24,009
光熱水料費	684,690	546,975	137,715
賃借料	4,105,467	4,376,388	△ 270,921
保険料	177,130	183,840	△ 6,710
租税公課	99,841	109,465	△ 9,624
支払寄付金	33,000	23,000	10,000
報償費	327,400	263,900	63,500
食糧費	35,756	63,492	△ 27,736
手数料	766,293	781,783	△ 15,490
交際費	24,300	19,800	4,500
委託料	335,500	335,500	0
負担金補助金	763,631	727,209	36,422
管理費計	107,854,011	108,360,529	△ 506,518
経常費用計	1,257,357,568	1,149,268,795	108,088,773
評価損益等調整前当期経常増減額	12,205,508	△ 431,259	12,636,767
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	12,205,508	△ 431,259	12,636,767
2経常外増減の部			
(1)経常外収益			
①他経常外収益	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
①固定資産廃棄損	0	1	△ 1
車両運搬具廃棄損	0	0	0
器具備品廃棄損	0	1	△ 1
②他経常外費用	1,192,391	0	1,192,391
雑損失	1,192,391	0	1,192,391
経常外費用計	1,192,391	1	1,192,390
当期経常外増減額	△ 1,192,391	△ 1	△ 1,192,390
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	11,013,117	△ 431,260	11,444,377
当期一般正味財産増減額	11,013,117	△ 431,260	11,444,377
一般正味財産期首残高	97,658,300	98,089,560	△ 431,260
一般正味財産期末残高	108,671,417	97,658,300	11,013,117
II 指定正味財産増減の部			
①受取補助金等	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0
受取民間補助金	0	0	0
②受取寄付金	1,335,000	1,160,000	175,000
受取寄付金	1,335,000	1,160,000	175,000
③特定資産運用益	275,230	275,230	0
特定資産受取利息	275,230	275,230	0
④一般正味財産への振替額	△ 36,807,035	△ 38,050,982	1,243,947
一般正味財産への振替額	△ 36,807,035	△ 38,050,982	1,243,947
当期指定正味財産増減額	△ 35,196,805	△ 36,615,752	1,418,947
指定正味財産期首残高	942,629,281	979,245,033	△ 36,615,752
指定正味財産期末残高	907,432,476	942,629,281	△ 35,196,805
III 正味財産期末残高	1,016,103,893	1,040,287,581	△ 24,183,688

正味財産増減計算書内訳表  
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	総合計
		施設関連事業	自動販売機設置事業	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	0	0	0	0	35	0	35
基本財産受取利息					35		35
② 特定資産運用益	1,212,148	0	0	0	10,500	0	1,222,648
特定資産受取利息	6,948						6,948
特定資産運用益	1,205,200				10,500		1,215,700
③ 受取会費	0	0	0	0	4,430,000	0	4,430,000
受取会費					4,430,000		4,430,000
④ 事業収益	117,123,016	14,208,625	0	14,208,625	0	0	131,331,641
施設使用料収益	86,305,376	12,967,032		12,967,032			99,272,408
教室参加料収益	28,325,890	1,046,293		1,046,293			29,372,183
イベント収益	2,491,750	195,300		195,300			2,687,050
⑤ 受取補助金等	907,012,192	95,798,961	0	95,798,961	105,572,746	0	1,108,383,899
受取地方公共団体補助金	22,818,388	7,918,955		7,918,955	105,572,746		136,310,089
受取民間補助金	0			0			0
その他委託料	4,393,474						4,393,474
市委託料	51,070,000						51,070,000
県市委託料	817,115,127	57,205,174		57,205,174			874,320,301
受取国庫助成金	0			0			0
受取民間助成金	5,483,000						5,483,000
受取補助金等振替額	6,132,203	30,674,832		30,674,832			36,807,035
⑥ 受取負担金	2,435,400	0	0	0	0	0	2,435,400
受取負担金	2,435,400						2,435,400
⑦ 受取寄付金	221,763	0	0	0	0	0	221,763
受取寄付金	221,763						221,763
⑧ 雑収益	3,180,968	1,392,497	14,137,325	15,529,822	2,826,900	0	21,537,690
雑収益	3,180,968	99,700		99,700	2,826,900		6,107,568
自販機手数料		1,292,797	14,137,325	15,430,122			15,430,122
経常収益計	1,031,185,487	111,400,083	14,137,325	125,537,408	112,840,181	0	1,269,563,076
(2) 経常費用							
① 事業費							
事業経費	1,038,271,653	109,937,572	1,294,332	111,231,904	0	0	1,149,503,557
給料手当	160,787,315	23,612,940		23,612,940			184,400,255
賃金	18,263,887	4,493,684		4,493,684			22,757,571
福利厚生費	43,801,421	5,684,043		5,684,043			49,485,464
役員報酬	1,136,209	112,372		112,372			1,248,581
職員手当	61,865,864	7,605,304		7,605,304			69,471,168
旅費交通費	82,693,831	361,844		361,844			83,055,675
通信運搬費	4,050,448	349,390		349,390			4,399,838
減価償却費	6,729,644	30,989,426		30,989,426			37,719,070
消耗品費	20,498,670	1,630,127		1,630,127			22,128,797
修繕費	20,716,060	2,866,112		2,866,112			23,582,172
印刷製本費	3,527,903	445,150		445,150			3,973,053
燃料費	26,841,227	1,460,583		1,460,583			28,301,810
光熱水料費	122,221,723	10,010,839	6,300	10,017,139			132,238,862
賃借料	6,433,785	1,473,161		1,473,161			7,906,946
保険料	3,211,692	629,600		629,600			3,841,292
租税公課	25,286,945	3,608,792	1,284,182	4,892,974			30,179,919
支払寄付金		87,680		87,680			87,680
報償費	12,092,214	205,330		205,330			12,297,544
食糧費	325,850						325,850
手数料	9,143,137	1,673,519	3,850	1,677,369			10,820,506
交際費	19,241						19,241
委託料	203,458,305	12,606,764		12,606,764			216,065,069
負担金補助	203,892,752	30,912		30,912			203,923,664
広告費	793,600						793,600
備品購入費	479,930						479,930
事業費計	1,038,271,653	109,937,572	1,294,332	111,231,904	0	0	1,149,503,557
② 管理費							
役員報酬					5,630,327		5,630,327
給料手当					50,062,340		50,062,340
福利厚生費					15,414,790		15,414,790
職員手当					26,032,661		26,032,661
旅費交通費					1,244,522		1,244,522
通信運搬費					735,649		735,649
減価償却費					49,338		49,338
消耗品費					649,035		649,035
印刷製本費					647,630		647,630
燃料費					34,711		34,711
光熱水料費					684,690		684,690
賃借料					4,105,467		4,105,467
保険料					177,130		177,130
租税公課					99,841		99,841
支払寄付金					33,000		33,000
報償費					327,400		327,400
食糧費					35,756		35,756
手数料					766,293		766,293
交際費					24,300		24,300
委託料					335,500		335,500
負担金補助					763,631		763,631
管理費計	0	0	0	0	107,854,011	0	107,854,011
経常費用計	1,038,271,653	109,937,572	1,294,332	111,231,904	107,854,011	0	1,257,357,568
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,086,166	1,462,511	12,842,993	14,305,504	4,986,170	0	12,205,508
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,086,166	1,462,511	12,842,993	14,305,504	4,986,170	0	12,205,508

## (8) 公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	総合計
		施設関連事業	自動販売機設置事業	小計			
2 経常外増減の部							
(1) 経常外 収益							
経常外 収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外 費用							
① 他 経常外費用	794,420	397,971	0	397,971	0	0	1,192,391
雑損失	794,420	397,971		397,971			1,192,391
経常外 費用計	794,420	397,971	0	397,971	0	0	1,192,391
当期経常外増減額	△ 794,420	△ 397,971	0	△ 397,971	0	0	△ 1,192,391
他会計 振替額	8,039,711	△ 244,344	△ 8,099,647	△ 8,343,991	304,280	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	159,125	820,196	4,743,346	5,563,542	5,290,450	0	11,013,117
当期一般正味財産増減額	159,125	820,196	4,743,346	5,563,542	5,290,450	0	11,013,117
一般正味財産期首残高	33,115,162	19,274,020	30,441,421	49,715,441	14,827,697	0	97,658,300
一般正味財産期末残高	33,274,287	20,094,216	35,184,767	55,278,983	20,118,147	0	108,671,417
II 指定正味財産増減の部							
① 受 取 寄付金	1,335,000	0	0	0	0	0	1,335,000
受 取 寄付金	1,335,000						1,335,000
② 特定資産運用益	275,230	0	0	0	0	0	275,230
特定資産受取利息	275,230						275,230
③ 一般正味財産への振替額	△ 6,132,203	△ 30,674,832	0	△ 30,674,832	0	0	△ 36,807,035
一般正味財産への振替額	△ 6,132,203	△ 30,674,832	0	△ 30,674,832	0	0	△ 36,807,035
当期指定正味財産増減額	△ 4,521,973	△ 30,674,832	0	△ 30,674,832	0	0	△ 35,196,805
指定正味財産期首残高	582,407,573	301,091,707	0	301,091,707	59,130,001	0	942,629,281
指定正味財産期末残高	577,885,600	270,416,875	0	270,416,875	59,130,001	0	907,432,476
III 正味財産期末残高	611,159,887	290,511,091	35,184,767	325,695,858	79,248,148	0	1,016,103,893

貸借対照表  
令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減(当年度-前年度)
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	795,955	1,282,752	△ 486,797
預金	190,786,115	184,044,698	6,741,417
未収金	8,069,730	7,140,775	928,955
前払金	107,392	187,276	△ 79,884
前払費用	305,876	175,312	130,564
流動資産合計	200,065,068	192,830,813	7,234,255
<b>2 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
指定基本財産定期預金	500,000	500,000	
一般基本財産定期預金	687,988	687,988	
基本財産合計	1,187,988	1,187,988	0
(2) 特定資産			
運営基盤強化基金	58,630,000	58,630,000	
わかとり国体開催記念基金	504,924,417	504,649,187	275,230
施設基金造成積立資産	12,331,685	12,657,945	△ 326,260
県民スポーツ振興事業積立	15,621,207	14,660,863	960,344
指定特定資産建物	138,686,484	151,073,812	△ 12,387,328
指定特定資産構築物	167,977,394	188,369,417	△ 20,392,023
指定特定資産什器備品	8,608,409	11,935,177	△ 3,326,768
電話加入権	152,880	152,880	0
特定資産合計	906,932,476	942,129,281	△ 35,196,805
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	4,609,057	4,023,841	585,216
建物付属建物	448,484	485,319	△ 36,835
その他固定資産合計	5,057,542	4,509,161	548,381
固定資産合計	913,178,006	947,826,430	△ 34,648,424
資産合計	1,113,243,074	1,140,657,243	△ 27,414,169
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	83,019,293	90,232,195	△ 7,212,902
前受金	2,230,315	2,258,590	△ 28,275
預り金	3,187,353	1,816,580	1,370,773
未払法人税等	201,000	201,000	
未払消費税等	8,501,220	5,861,297	2,639,923
流動負債合計	97,139,181	100,369,662	△ 3,230,481
負債合計	97,139,181	100,369,662	△ 3,230,481
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
指定正味財産合計	907,432,476	942,629,281	△ 35,196,805
(内基本財産への充当額)	500,000	500,000	0
(内特定資産への充当額)	906,932,476	942,129,281	△ 35,196,805
<b>2 一般正味財産</b>			
(内基本財産への充当額)	687,988	687,988	0
正味財産合計	1,016,103,893	1,040,287,581	△ 24,183,688
負債及び正味財産合計	1,113,243,074	1,140,657,243	△ 27,414,169

## 財務諸表に対する注記

## 1.重要な会計方針

## (1)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)

その他の有価証券

時価のあるもの・・・移動平均法に基づく原価法

時価のないもの・・・移動平均法に基づく原価法

## (2)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法

無形固定資産・・・定額法

## (3)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

## 2.会計基準の変更

なし

## 3.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
指定基本財産定期預金	500,000	0	0	500,000
一般基本財産定期預金	687,988	0	0	687,988
小 計	1,187,988	0	0	1,187,988
特定資産				
運営基盤強化基金	58,630,000	0	0	58,630,000
わかとり国体開催記念基金	504,649,187	275,230	0	504,924,417
施設基金造成積立資産	12,657,945	0	326,260	12,331,685
県民スポーツ振興事業積立	14,660,863	1,335,000	374,656	15,621,207
建 物	151,073,812	0	12,387,328	138,686,484
構築物	188,369,417	0	20,392,023	167,977,394
什器備品	11,935,177	0	3,326,768	8,608,409
電話加入権	152,880	0	0	152,880
小 計	942,129,281	1,610,230	36,807,035	906,932,476
合 計	943,317,269	1,610,230	36,807,035	908,120,464

## 4.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。 (単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
指定基本財産定期預金	500,000	(500,000)		
一般基本財産定期預金	687,988		(687,988)	
小 計	1,187,988	(500,000)	(687,988)	0
特定資産				
運営基盤強化基金	58,630,000	(58,630,000)		
わかとり国体開催記念基金	504,924,417	(504,924,417)		
施設基金造成積立資産	12,331,685	(12,331,685)		
県民スポーツ振興事業積立	15,621,207	(15,621,207)		
建 物	138,686,484	(138,686,484)		
構築物	167,977,394	(167,977,394)		
什器備品	8,608,409	(8,608,409)		
電話加入権	152,880	(152,880)		
小 計	906,932,476	(906,932,476)	0	0
合 計	908,120,464	(907,432,476)	(687,988)	0

## 5.担保に供している資産

なし

## 6.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。 (単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	218,727,349	80,040,865	138,686,484
建物付属建物	549,780	101,296	448,484
構 築 物	474,049,021	306,071,627	167,977,394
車 両 運搬具	300,000	299,999	1
什 器 備 品	38,696,370	25,478,904	13,217,466
合 計	732,322,520	411,992,691	320,329,829

## 7.保証債務等の偶発債務

なし

## 8.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。 (単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
大阪府公募公債第444回	159,824,373	-	-
合 計	159,824,373	-	-

## 9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
鳥取県スポーツ協会運営費補助金	鳥取県	0	105,572,746	105,572,746	0	
競技力向上のための指導者の 確保事業補助金	鳥取県	0	11,600,000	11,600,000	0	
JOC認定競技別強化センター支援 補助金	鳥取県	0	11,218,388	11,218,388	0	
倉吉自転車競技場管理運営費 補助金(管理運営)	鳥取県	0	7,918,955	7,918,955	0	
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	3,913,000	3,913,000	0	
スポーツ少年団組織整備強化 費助成	日本スポーツ協会	0	899,000	899,000	0	
スポーツ少年団活性化事業交 付金	日本スポーツ協会	0	370,000	370,000	0	
スポーツ指導者育成事業交 付金	日本スポーツ協会	0	201,000	201,000	0	
教育文化事業助成金	日本教育公務員弘 済会	0	100,000	100,000	0	
合計			141,793,089	141,793,089		



## 10.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内訳	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	36,106,119
目的達成による指定解除額	700,916
合 計	36,807,035

## 11.関連当事者との取引の内容

なし

## 12.重要な後発事象

なし

## 13.その他

なし

## (8) 公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

## 財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>					
現金 預金	現金	手元保管	運転資金として	795,955	
		普通預金			
		山陰合同銀行鳥取営業部	運転資金として	87,543,840	
		山陰合同銀行鳥取県庁支店	運転資金として	22,038,961	
		山陰合同銀行福生出張所	運転資金として	1,037,047	
		鳥取銀行本店営業部	運転資金として	20,000	
		鳥取銀行湖山支店	運転資金として	36,383,904	
		鳥取銀行鳥取駅南支店	運転資金として	8,802,729	
		鳥取銀行倉吉中央支店	運転資金として	16,069,043	
		鳥取銀行米子営業部	運転資金として	8,492,919	
	未収金		鳥取銀行三柳支店	運転資金として	10,397,672
			公益事業	競技力向上対策事業の未収金	380,250
			クラブアドバイザー配置事業の未収金	1,663,000	
			スポ少本部運営事業の未収金	15,200	
			布勢総合運動公園管理事業の未収金	1,505,989	
			鳥取産業体育館管理事業の未収金	68,041	
			米子産業体育館管理事業の未収金	166,256	
前払金 前払費用	職員分	米子市皆生市民プール事業の未収金	2,539,582		
		鳥取県立武道館管理事業の未収金	99,214		
		倉吉体育文化会館管理事業の未収金	239,257		
		倉吉自転車競技場管理事業の未収金	1,678		
		自動販売機設置事業の未収金	1,391,263		
		公益目的事業に従事する職員に対する保険料	107,392		
競技力向上事業の資産における長期保証料	116,874				
布勢総合運動公園管理事業の旅費、登録料及び保険料	189,002				
<b>流動資産合計</b>				<b>200,065,068</b>	
<b>(固定資産)</b>					
基本財産	定期預金	山陰合同銀行鳥取営業部	運用益を法人運営事業の財源に充当	1,187,988	
特定資産	運営基盤強化基金	普通預金			
		鳥取銀行本店営業部	運用益を法人運営事業の財源に充当	8,000,000	
	わかとり国体開催記念基金	定期預金	山陰合同銀行鳥取営業部	運用益を法人運営事業の財源に充当	50,630,000
			山陰合同銀行鳥取県庁支店	公益目的事業の財源に充当	107,504,124
		普通預金	鳥取銀行本店営業部	公益目的事業の財源に充当・運用益を公益事業の財源として充当	80,295,920
			定期預金		
	施設基金造成積立資産	普通預金	山陰合同銀行鳥取営業部	運用益を公益事業の財源として充当	20,300,000
			鳥取銀行本店営業部	運用益を公益事業の財源として充当	137,000,000
			投資有価証券		
	県民スポーツ振興事業積立資産	普通預金	大阪府公募公債第444回公募公債	運用益を公益事業の財源として充当	159,824,373
			山陰合同銀行鳥取営業部	公益目的事業の財源に充当	12,331,685
	指定特定資産建物	普通預金	山陰合同銀行鳥取営業部	公益目的事業の財源に充当	7,837,696
			鳥取銀行本店営業部	公益目的事業の財源に充当	7,294,511
			ゆうちょ銀行五八二	公益目的事業の財源に充当	489,000
			管理棟 463.68㎡		
			鳥取県倉吉市桜字後口山68-24	収益事業目的に使用	119,746,737
			倉庫棟 81.98㎡		
指定特定資産構築物	普通預金	鳥取県倉吉市桜字後口山68-24	収益事業目的に使用	2,828,435	
		倉庫棟 104.34㎡			
		鳥取県倉吉市桜字後口山68-24	収益事業目的に使用	16,111,312	
		12,361㎡			
指定特定什器備品	普通預金	鳥取県倉吉市桜字後口山68-24	収益事業目的に使用	123,121,984	
		布勢電光掲示板			
		鳥取県鳥取市布勢146-1	公益目的事業に使用	44,855,410	
その他固定資産	電話加入権	公益目的事業、法人運営事業及び収益目的事業に使用	8,608,409		
		公益目的事業に使用	152,880		
	車両運搬具	公益目的事業に使用	1		
		公益目的事業、法人運営事業及び収益目的事業に使用	4,609,057		
建物付属建物	普通預金	法人運営事業に使用	448,484		
<b>固定資産合計</b>				<b>913,178,006</b>	
<b>資産合計</b>				<b>1,113,243,074</b>	

(単位:円)

(流動負債)	未払金		公益事業	競技力向上対策事業の未払金	17,710,707
				競技力向上担当人件費の未払金	691,799
				国体県予選会事業の未払金	194,043
				国体等派遣選手指導費の未払金	210,219
				国体中国ブロック大会派遣事業の未払金	358,143
				国体派遣事業の未払金	2,381,043
				指導者確保事業の未払金	188,639
				JOC競技別強化拠点整備事業の未払金	434,756
				新型コロナウイルス感染症対策事業の未払金	978,056
				賛助会費事業の未払金	20,000
				スポ協表彰事業の未払金	8,499
				スポーツ展示スペース整備・管理事業の未払金	256,985
				スポーツ安全保険業務受託事業の未払金	192,839
				みんなdeユニスポ推進事業の未払金	171,459
				親子deスポーツ推進(総合型)事業の未払金	331
				親子deスポーツ推進(競技団体)事業の未払金	230,010
				県民スポレク祭開催事業の未払金	38,149
				スポーツ情報サイト運用・保守料等事業に未払金	412,630
				広域スポーツセンター人件費の未払金	352,025
				総合型地域スポーツクラブ運営改善事業の未払金	58,943
				クラブマネージャー研修事業の未払金	587
				スポピアとっとりフェスタ開催事業の未払金	20,323
				クラブアドバイザー配置事業の未払金	129,402
スポーツ少年団本部運営事業の未払金	2,100				
全国大会派遣事業の未払金	4,136				
布勢総合運動公園管理事業の未払金	26,695,556				
鳥取産業体育館管理事業の未払金	8,107,192				
米子産業体育館管理事業の未払金	2,363,360				
米子市皆生市民プール管理事業の未払金	2,392,231				
鳥取県立武道館管理事業の未払金	8,459,932				
倉吉体育文化会館管理事業の未払金	4,954,115				
倉吉自転車競技場管理事業の未払金	2,015,524				
法人運営事業	2,985,560				
翌年度教室参加料	2,215,875				
翌年度施設利用料	14,440				
公益事業・収益事業・法人運営事業に従事する職員及び講師の所得税等	1,587,293				
スポーツ安全保険料	70,850				
水道料負担分・入札保証金	1,529,210				
公益事業・収益事業・法人運営事業の未払法人税	201,000				
公益事業・収益事業の未払消費税	8,501,220				
流動負債合計		97,139,181			
固定負債合計		0			
負債合計		97,139,181			
正味財産		1,016,103,893			

## 附属明細書

## 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
基本財産	定期預金	1,187,988	0	0	1,187,988
	基本財産計	1,187,988	0	0	1,187,988
特定資産	運営基盤強化基金	58,630,000	0	0	58,630,000
	わかとり国体開催記念基金	504,649,187	275,230	0	504,924,417
	施設基金造成積立資産	12,657,945	0	326,260	12,331,685
	県民スポーツ振興事業積立	14,660,863	1,335,000	374,656	15,621,207
	建 物	151,073,812	0	12,387,328	138,686,484
	構築物	188,369,417	0	20,392,023	167,977,394
	什器備品	11,935,177	0	3,326,768	8,608,409
	電話加入権	152,880	0	0	152,880
	特定資産計	942,129,281	1,610,230	36,807,035	906,932,476

## 2. 引当金の明細

なし

令和5年度事業計画

【1】公益目的事業

1 競技力向上事業

(1) 競技力向上対策等事業

本県の競技力の向上を図る。

① 幼児の運動能力向上事業

2巡目国民スポーツ大会の少年選手世代となる幼児の基礎運動能力の獲得を目指し、幼稚園・保育所・認定こども園に対して、幼児運動指導の専門家を派遣する。

② 目指せトップアスリート！わかとりっこ育成事業

小学生を対象に、スポーツに触れる機会を提供することで、スポーツに興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、ジュニア育成へと繋げ、未来のトップアスリートを目指すきっかけとするため「わかとりっこ体験会」を実施する。

③ ジュニア指導者講習会

ジュニア指導にあたる指導者を対象に講習会を開催することにより、指導者自身の資質向上と県内指導者間の指導方法の共有・周知を図る。

④ カテゴリー別合同練習会

小学校高学年と中学1年、中学3年と高校1年など、カテゴリーをまたいで合同練習会を実施する。進学により校種が変わる段階においても、一貫した指導体制を維持し組織的な強化を図る。

⑤ ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業

特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。

⑥ 運動部活動活性化事業

・中学生選抜選手育成・強化支援

競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。

・高等学校運動部指定合宿等支援

各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的として各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。

・高等学校運動部指定特別指導者確保支援

指定校への指導者配置の支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

・高等学校運動部指定外部指導者支援

各高等学校における指定運動部の外部指導者に対する支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

⑦ 県外等優秀アスリート受入支援事業

本県の県立高校へ入学する県外アスリートの受入体制の支援を行う。

⑧ 特別ジュニア選手指定強化事業

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。

⑨ 鳥取ジュニアアスリート育成強化事業

県直轄の鳥取ジュニアアスリート発掘事業で認定された選手に対する強化育成を図る。

⑩ 指導者の育成事業

全国トップレベルの指導者の元への派遣、又は国内外の優秀コーチの招へい訪問等を行い、県内の指導者の指導力向上を図る。

⑪ 大学部指定強化事業

協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施する。

⑫ 社会人等選手指定強化事業

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。

⑬ 成年団体競技強化チーム事業

県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して、補助を行う。

⑭ 優秀選手確保事業

成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に補助する。

⑮ 特別指定競技国体強化事業

令和3年度から5年間のビジョン、強化策等プレゼンテーションの結果を踏まえ、県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体での成績向上を図る。

⑯ 医・科学サポート事業

医事、栄養、アンチ・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実・県内外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。

⑰ 強化練習用消耗品等対策事業

国民体育大会に参加する上で、その特殊性を考慮し、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等の補助を行う。

⑱ 安全管理対策事業

国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整える。

⑲ 強化推進事業

競技団体と連携を図るため、連絡・調整・指導・視察・会議等を行う。

- ⑳ 国体等強化備品整備事業  
国体等強化備品の整備を行う。
  - ㉑ 公認指導者資格取得・更新補助事業  
国民体育大会の監督資格要件として必要な公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）公認指導者資格の取得及び更新に係る経費の1/2を補助する。
  - ㉒ 競技力向上担当人件費  
競技力向上対策事業を執行するための4名の人件費。
- (2) わかとり国体開催記念スポーツ振興事業（自主事業）

【激励関係】

- ・国民体育大会入賞奨励金支給事業  
国民体育大会において入賞した競技（種別）に対し、奨励金を支給する。

【その他】

- ・強化推進費  
上記以外で、競技力向上を推進していくために必要となる経費を競技団体へ支給する。

(3) 国体予選会の開催及び国体等の選手団派遣

① 国体予選会の開催

国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。

② 中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣

山口県で開催される国体中国ブロック大会及びフィギュアスケート全国予選会へ選手団を派遣する。

期 日 令和5年5月～12月

会 場 山口県内の各会場等

競技種目 水泳（水球）ほか32競技

③ 特別回国民体育大会及び第78回国体冬季大会への選手団派遣

- ・鹿児島県で開催される特別国民体育大会（会期前・本大会）に選手団を派遣する。

（本大会及び会期前）

期 日 令和5年10月7日（土）～10月17日（火）

※会期前実施競技は令和5年9月16日（土）～24日（日）

競技種目 陸上競技ほか36競技

- ・第78回国体冬季大会に選手団を派遣する。

（スキー競技）

期 日 令和6年2月21日（水）～24日（土）

場 所 山形県山形市・上山市・最上町

（スケート・アイスホッケー競技）

期 日 令和6年1月27日（土）～2月4日（日）

場 所 北海道苫小牧市

④ 国体等派遣選手指導費

県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。

⑤ (臨) 新型コロナウイルス感染症対策費

中国ブロック大会及び国民体育大会に出場するためのPCR検査代。

(4) 競技力向上のための指導者確保事業

本県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。

※ホッケー競技・セーリング競技

(5) JOC競技別強化拠点(セーリング・クライミング)整備等事業

JOC競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリナー及び倉吉体育文化会館における競技力向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な整備を行う。

(6) アンチ・ドーピング教育・啓発事業《日本スポーツ協会受託事業》

① 指導者、選手を対象とした講習会を開催する。

② アンチ・ドーピングに関する啓発を行う。

(7) 賛助会費事業

① ジュニア期の一貫指導・育成支援事業

全国で入賞実績のない高校運動部を指定し、全国レベルに到達することを目的として支援を行う。

② 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

総合型地域スポーツクラブが指導者を招へいして教室開催等を行うことにより、会員確保やクラブ活性化を図る。

③ 賛助会員体育施設利用券の発行

本会が管理する指定管理及び所有する施設の利用券を交付する。

④ 賛助会運用費

本会が賛助会費を運用していくための経費。

2 生涯スポーツ推進事業

(1) 広域スポーツセンター事業

① 総合型地域スポーツクラブ運営改善事業

総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブ創設・運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。

② クラブアドバイザー配置事業

総合型地域スポーツクラブ設立・運営支援等を行うため、クラブアドバイザーを配置する。

③ クラブアシスタントマネジャー研修事業

総合型地域スポーツクラブのマネジメントに必要な基礎知識を有する人材を養成



するため、総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象とした資格取得のための研修会を行う。

④ 県民まるごとスポーツ推進事業

・親子deスポーツ推進事業（総合型）

子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的として総合型地域スポーツクラブが親子向け運動教室を開催する経費を補助する。

・親子deスポーツ推進事業（競技団体）

子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツを楽しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的として競技団体が親子向け運動教室を開催することを支援する。

・みんなdeユニスポ推進事業

年齢や性別、障がいの有無に関わらず、すべての人が気軽にスポーツを楽しむ機会を提供することを目的として総合型地域スポーツクラブが幅広い層を対象としたスポーツ機会を提供することに対して支援する。

⑤ 鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業

県内スポーツ施設、スポーツイベント、本県へのアクセスマップ及び宿泊施設等の情報に加え、各種支援制度をまとめた専用サイトを運用する。

⑥ 第24回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業

スポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を広く県民に提供することにより、県民一人一人の参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

・夏季大会 4種目

期 日 令和5年8月26日（土）～27日（日）

会 場 中部地区中心に全県で開催

・秋季大会 33種目

期 日 令和5年10月28日（土）～29日（日）

会 場 中部地区中心に全県で開催

・冬季大会 5種目

期 日 令和6年2月11日（日）

会 場 中部地区中心に全県で開催

⑦ 大韓民国江原道とのスポーツ交流事業

本会と江原道体育会との協定（平成13年11月6日締結）に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。

令和5年度は鳥取県が江原道を訪問する。

・スポーツ交流大会 競技未定

期 日 令和5年11月（予定）

## (8) 公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

参加者 3 競技の監督、選手、スポ協役員等

⑧ 広域スポーツセンター人件費

広域スポーツセンターの事業を受託執行するための1名分の人件費。

⑨ スポトピアとっとりフェスタ開催事業

総合型地域スポーツクラブと連携し、国民の祝日である「スポーツの日」の関連行事として、スポーツの楽しさや喜びを伝える「スポトピアとっとりフェスタ」を開催する。

⑩ (新) 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

総合型クラブが公益性の高い持続可能な「社会的な仕組み」として地域社会に定着することを目的として、県内の総合型地域スポーツクラブの相互交流と活動支援等を行う。

(2) 鳥取県スポーツ協会表彰事業

スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき、本県のスポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。

期 日 令和6年2月25日(日)

場 所 白兔会館

表彰内訳	体育功労賞	若干名
	優良団体賞	数団体
	優秀指導者賞	若干名
	特別賞	国際大会出場者等
	スポーツ賞	全国大会等上位入賞
	スポーツ敢闘賞	全国大会等下位入賞
	スポーツ奨励賞	全国規模大会入賞者

(3) 公認コーチ養成事業

① 公認コーチ養成講習会の開催《日本スポーツ協会受託事業》

・コーチ1養成講習会 競技未定

② 公認コーチ育成事業《日本スポーツ協会受託事業》

・スポーツ指導者研修会の開催 年2回

・指導者育成関係事業事務費

(4) スポーツ少年団の育成事業《日本スポーツ協会助成事業等》

① 県競技別交流大会開催事業

各地区を代表するスポーツ少年団による県交流大会を開催する。

・軟式野球大会

期 日 令和5年7月1日(土)、2日(日)(予備日)

会 場 米子市営球場

・ミニバスケットボール大会

期 日 令和5年10月1日(日)  
会 場 あやめ池スポーツセンター

・剣道大会

期 日 令和5年11月5日(日)  
会 場 鳥取市武道館

・バレーボール大会

期 日 令和5年12月9日(土)  
会 場 米子産業体育館

② 中国ブロックスポーツ少年団競技別交流大会開催事業

各県代表のスポーツ少年団による競技別交流大会を開催する。

期 日 令和5年8月19日(土)～20日(日)

会 場 赤碕総合運動公園野球場及び東伯総合運動公園野球場

③ 中国大会派遣事業

各県で開催される中国ブロック競技別交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。

④ 全国大会派遣事業

全国で開催されるスポーツ少年団交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。

⑤ 中央講習会派遣事業

新規インストラクター養成のための研修会等へスポーツ少年団登録者を派遣する。

・インストラクター(スポーツ少年団)養成講習会

⑥ スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の開催

単位団運営において最低2名以上必要となる、スタートコーチ(スポーツ少年団)資格を取得できる講習会を開催する。

期 日 令和5年11月19日(日)

会 場 鳥取県立倉吉体育文化会館

⑦ ジュニア・リーダースクール開催事業

日本スポーツ少年団リーダー制度におけるジュニア・リーダー資格を取得できる講習会を開催する。

期 日 令和5年9月9日(土)～10日(日)

会 場 鳥取県立船上山少年自然の家

⑧ 地区別交流大会開催費

東・中・西各地区の市町村で開催される交流大会費用を助成する。

⑨ 地区別指導者研修費

東・中・西部地区の市町村で開催される指導者研修費用を助成する。

⑩ 中国ブロック指導者研究協議会開催事業

## (8) 公益財団法人 鳥取県スポーツ協会

スポーツ少年団登録指導者の中国ブロック内における相互の連帯と資質・指導力の向上を図るための会議を開催する。

⑪ スポーツ少年団本部運営費

⑫ (臨) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会事業

令和6年度に本県にて開催される全国スポーツ少年団軟式野球交流大会の準備委員会の開催及び視察員を派遣する。

⑬ (臨) 日独スポーツ少年団

日本スポーツ少年団とドイツスポーツユースとの協定(日独スポーツ少年団国際交流協定書〔2022年～2023年〕)に基づき、日独両国のスポーツ少年団の青少年及び指導者の相互交流により、国際的能力を高めるとともに、両国の青少年スポーツの発展と友好親善を図る。

(5) スポーツ安全保険業務《スポーツ安全協会受託事業》

公益財団法人スポーツ安全協会と業務及び経費について協定を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。

(6) 施設基金実施事業

① ガイナーレ鳥取支援事業

ガイナレ鳥取に対し、本会として可能な支援を行い、本県スポーツの充実を図るとともに地域活性化に寄与する。

② 備品整備事業

県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行えるよう、公用車の維持・修繕等、備品の整備を行う。

(7) スポーツスクエア整備事業

県民のスポーツへの興味・関心を高めることを目的として、本県出身選手や本県ゆかりの選手等に関する展示物を展示するなど、管理施設(布勢総合運動公園ほか)のスポーツ展示スペースの整備を行う。

3 体育施設管理・運営

鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

○ 布勢総合運動公園	[利用予定人員]	923,100人
	[利用収入等金額]	46,024千円
○ 鳥取産業体育館	[利用予定人員]	80,400人
○ 鳥取屋内プール	[利用予定人員]	51,600人
	[利用収入等金額]	25,416千円
○ 皆生市民プール	[利用予定人員]	87,000人
	[利用収入等金額]	22,870千円
○ 米子産業体育館	[利用予定人員]	144,000人
	[利用収入等金額]	30,300千円

- 武道館 [利用予定人員] 113,000 人  
[利用収入等金額] 11,060 千円

## 【2】収益事業

### 1 施設関連事業

体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

#### (1) 倉吉体育文化会館の管理運営

- 倉吉体育文化会館 [利用予定人員] 200,000 人  
[利用収入等金額] 20,537 千円

#### (2) 倉吉自転車競技場の管理運営

##### ① 倉吉自転車競技場管理運営

職員3名を配置し管理運営を行う。

##### ② 倉吉自転車競技場整備

新しい水源を確保するために調査を行う。

### 2 自動販売機設置事業

本会が管理する公の施設に、利用者の利便性の向上を図るため自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

収支予算書  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収入				
特定資産運用益	173	1,219	△ 1,046	
特定資産受取資産	8	4	4	
特定資産運用益	165	1,215	△ 1,050	
受取会費	4,985	4,980	5	
賛助会員受取会費	0	490	△ 490	
受取会費	4,985	4,490	495	
事業収益	153,176	151,590	1,586	
施設使用料収益	111,448	110,624	824	
教室参加料収益	35,704	35,636	68	
イベント収益	6,024	5,330	694	
受取補助金等	1,267,033	1,186,460	80,573	
受取地方公共団体補助金	433,404	142,979	290,425	
その他委託料	4,708	4,712	△ 4	
県委託料	731,197	944,418	△ 213,221	
市委託料	54,222	51,070	3,152	
受取民間補助金	0	0	0	
受取民間助成金	7,180	6,536	644	
受取補助金等振替額	36,322	36,745	△ 423	
受取負担金	2,740	2,949	△ 209	
受取負担金	2,740	2,949	△ 209	
雑収益	16,737	20,740	△ 4,003	
受取利息	0	0	0	
雑収益	927	3,375	△ 2,448	
自販機手数料	15,810	17,365	△ 1,555	
経常収益計	1,444,844	1,367,938	76,906	
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	192,810	188,959	3,851	
賃金	23,531	23,028	503	
福利厚生費	53,841	54,184	△ 343	
役員報酬	1,514	1,301	213	
職員手当	74,721	76,515	△ 1,794	
旅費交通費	129,171	118,277	10,894	
通信運搬費	3,635	4,928	△ 1,293	
減価償却費	37,092	37,394	△ 302	
消耗品費	23,095	42,481	△ 19,386	
修繕費	25,051	24,022	1,029	
印刷製本費	4,996	5,912	△ 916	
燃料費	29,354	28,694	660	
光熱水料費	171,282	141,850	29,432	
賃借料	12,416	9,534	2,882	
保険料	4,189	4,061	128	
租税公課	31,733	32,460	△ 727	
報償費	15,705	15,162	543	
食糧費	1,157	894	263	

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
手数料	8,438	11,595	△ 3,157	
委託料	220,422	220,705	△ 283	
交際費	45	23	22	
負担金補助	221,948	210,557	11,391	
広告費	821	822	△ 1	
支払寄付金	0	88	△ 88	
備品購入費	200	2,344	△ 2,144	
工事請負費	31,993	0	31,993	
事業費計	1,319,160	1,255,790	63,370	
管理費				
役員報酬	6,247	6,252	△ 5	
給料手当	58,580	53,167	5,413	
福利厚生費	19,527	16,835	2,692	
職員手当	32,724	26,033	6,691	
旅費交通費	2,508	1,882	626	
通信運搬費	937	848	89	
減価償却費	51	37	14	
消耗品費	1,111	1,201	△ 90	
印刷製本費	865	1,038	△ 173	
燃料費	150	150	0	
光熱水料費	754	685	69	
賃借料	4,026	4,477	△ 451	
保険料	406	414	△ 8	
租税公課	121	121	0	
報償費	300	328	△ 28	
食糧費	140	150	△ 10	
手数料	891	921	△ 30	
交際費	100	100	0	
委託料	336	336	0	
負担金補助	814	837	△ 23	
支払寄付金	0	33	△ 33	
広告費	3	3	0	
修繕費	297	297	0	
管理費計	130,888	116,145	14,710	
経常費用計	1,450,048	1,371,935	78,080	
当期経常増減額	△ 5,204	△ 3,997	△ 1,174	
Ⅱ 経常外増減の部	0	0		
(1) 経常外収益	0	0		
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0		
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 5,204	△ 3,997	△ 1,174	
一般正味財産期首残高	97,658	98,088	△ 430	
一般正味財産期末残高	92,454	94,091	△ 1,604	
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0		
受取補助金等	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
一般正味財産への振替額	△ 36,322	△ 36,745	423	
当期指定正味財産増減額	△ 36,322	△ 36,745	423	
指定正味財産期首残高	942,629	979,244	△ 36,615	
指定正味財産期末残高	906,307	942,499	△ 36,192	
Ⅲ 正味財産期末残高	998,761	1,036,590	△ 37,829	





## (9) 公益財団法人 鳥取県教育文化財団経営状況報告書

### 法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県教育文化財団
- 2 目 的 鳥取県内の埋蔵文化財の発掘調査及び保存活用並びに鳥取県の生涯学習の振興に資する事業及び施設管理業務を行い、もって郷土の教育文化の向上発展及び生涯学習の振興に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成25年3月21日  
(財団法人 鳥取県教育文化財団設立許可年月日  
昭和48年3月26日)
- 4 設立登記年月日 平成25年4月1日  
(財団法人 鳥取県教育文化財団設立登記年月日  
昭和48年3月30日)
- 5 基本財産 出えん金 100,000円  
鳥取県出えん金 100,000円
- 6 役員等 評議員 5人 理事 6人 監事 2人  
評議員 中井 太一郎 (元鳥取県高等学校PTA連合会会長)  
" 上山 弘子 (元鳥取県教育委員会委員長)  
" 眞田 廣幸 (元倉吉博物館館長)  
" 野村 勇二 (前(公財)鳥取県教育文化財団理事長)  
" 牧田 浩文 (元船上山少年自然の家所長)  
理事長 福本 慎一 (元鳥取県立図書館長)  
理事 生田 文子 (元鳥取県教育委員会事務局教育次長)  
" 大西 保江 (鳥取市生涯学習推進協議会委員)  
" 白井 靖二 (県立米子産業体育館館長)  
" 高田 健一 (国立大学法人鳥取大学地域学部教授)  
" 藤田 則恵 (国立大学法人鳥取大学特任教授)  
監事 内田 克彦 (元(公財)鳥取県国際交流財団常務理事)  
" 森木 絵理子 (税理士)

7 職 員 16人 (うち県派遣職員 5人、県退職職員 4人)

8 事 務 所 鳥取市扇町21番地

## 令和4年度事業実施状況

## 1 埋蔵文化財の発掘調査

## (1) 報告書の刊行

一般国道313号(倉吉関金道路)の改良工事に伴う発掘調査済み遺跡の報告書を作成、刊行した。

## (2) 発掘調査

一般国道9号(北条道路)の改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。

長瀬高浜遺跡(2区)(東伯郡湯梨浜町)

## 2 教育施設の管理受託

県から指定管理者として指定された鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)、鳥取県立大山青年の家及び鳥取県立むきぼんだ史跡公園の施設の運営管理を行った。

また、生涯学習の振興に関する業務を行った。

## ○鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)

## (1) 生涯学習の振興

## ① とっとり県民カレッジ講座の企画・運営

- ・市町村連携講座 3講座(3講座ライブ配信)
- ・特別講座(県内高等教育機関との連携講座) 9講座(3講座ライブ配信)
- ＊うち1講座は新型コロナウイルス感染予防のため、オンライン開催
- ・とっとり県民カレッジ運営協議会 2回

## ② 生涯学習情報の提供

- ・県内の生涯学習講座の情報収集及び連携講座の登録
- ・生涯学習情報提供システム「とっとり県民学習ネット」の運用
- ・「生涯学習とっとり」の企画、編集、発行 1回4,800部(年6回)

## ③ 生涯学習講座等の開設

- ・ふるさと再発見生涯学習講座 2講座(歴史講座1、自然講座1)
- ・健康セミナー 1講座(生涯学習公開講座1)
- ・家庭教育支援講座 3講座(東部、中部、西部 各1)

## ④ 生涯学習団体等の支援

地域づくりスキルアップ講座1回

## ⑤ 生涯学習スクール[まなび]の設置

登録団体 54団体 受講生 約670名

## ⑥ 第15回まなび・ふれあい交流会

- ・期日 令和5年3月11、12日
- ・参加団体 34団体(「まなび」登録団体24団体・一般参加団体10団体)

## ⑦ その他

- ・学習相談、入居団体への支援
- ・ふれあい文庫の企画・運営
- ・生涯学習展示コーナーの企画・運営

(9) 公益財団法人 鳥取県教育文化財団

- ・ランチタイムコンサート 3回
- ・生涯学習情報コーナーの企画・運営

(2) 施設利用状況 (ホール・研修室)

利用人数 51,705 人

○大山青年の家

(1) 施設の管理運営

- ・施設設備の維持管理
- ・施設の利用許可、利用料金の徴収
- ・生涯学習の振興 (補助業務)
- ・受付、電話対応、来客対応、利用促進等

(2) 生涯学習の振興

- ・主催事業  
大山青年の家が企画募集する野外活動・集団宿泊訓練等  
春の体験満開フェスティバル・ファミリーエンジョイカヌーなど体験型の 21 事業
- ・受入事業  
活動計画のある 5 名以上のグループの野外活動等  
(野外宿泊訓練、オリエンテーション等)

(3) 施設利用状況

利用人数 延べ 18,710 人

○むきばんだ史跡公園

(1) 施設の管理運営

- ・施設設備の維持管理
- ・管理運営の補助、売店・自動販売機運営の委託
- ・受付、来客対応、利用促進等
- ・生涯学習の振興 (補助業務)

(2) 生涯学習の振興

- ・主催事業  
史跡公園が企画するイベントや講座  
ライトアップむきばんだ・むきばんだフェスタ等
- ・受入事業  
県内外の各種団体からの希望を受け、実施される各種事業  
修学旅行・遠足・見学・出前授業・職場体験等

(3) 施設利用状況

利用人数 20,681 人

## 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2	2	0
基本財産受取利息	2	2	0
特定資産運用益	60	60	0
特定資産受取利息	60	60	0
事業収益	399,949,304	552,142,554	△ 152,193,250
埋蔵文化財発掘事業受託料収益	192,751,561	350,431,512	△ 157,679,951
むきばんだ受託料収益	56,003,000	54,671,000	1,332,000
県民ふれあい会館受託料収益	94,345,000	91,839,770	2,505,230
大山青年の家受託料収益	42,469,384	41,356,733	1,112,651
利用料収益	13,777,969	13,261,300	516,669
取扱手数料収益	602,390	578,439	23,951
受講料収益	0	3,800	△ 3,800
雑収益	3,870,757	3,541,405	329,352
受取利息	1,862	3,176	△ 1,314
雑収益	3,836,395	3,418,319	418,076
参加費	32,500	119,910	△ 87,410
経常収益計	403,820,123	555,684,021	△ 151,863,898
(2) 経常費用			
事業費	382,073,296	531,970,020	△ 149,896,724
給料手当	107,615,009	106,672,634	942,375
臨時雇賃金	13,359,900	10,754,310	2,605,590
退職給付費用	720,000	712,000	8,000
福利厚生費	18,108,847	17,422,592	686,255
諸謝金	1,315,600	1,217,800	97,800
旅費交通費	680,774	519,661	161,113
食糧費	162,023	186,606	△ 24,583
消耗品費	11,769,874	11,975,943	△ 206,069
燃料費	2,234,039	1,852,571	381,468
印刷製本費	10,323,315	4,113,034	6,210,281
光熱水費	26,384,256	20,335,408	6,048,848
修繕費	6,275,263	6,010,048	265,215
通信運搬費	4,126,879	3,632,070	494,809
広告宣伝費	27,500	0	27,500
手数料	3,429,026	2,888,066	540,960
保険料	511,400	495,800	15,600
委託費	140,495,149	309,743,840	△ 169,248,691
賃借料	20,863,008	19,928,538	934,470
支払負担金	134,876	132,874	2,002
租税公課	13,536,558	13,376,225	160,333

## (9) 公益財団法人 鳥取県教育文化財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	21,487,222	21,293,157	194,065
役員報酬	5,685,572	5,627,431	58,141
給料手当	9,162,060	9,039,984	122,076
福利厚生費	2,417,556	2,370,889	46,667
会議費	93,345	94,475	△ 1,130
旅費交通費	0	29,230	△ 29,230
消耗品費	275,772	432,317	△ 156,545
燃料費	21,735	12,427	9,308
印刷製本費	9,350	24,750	△ 15,400
修繕費	0	6,380	△ 6,380
通信運搬費	50,358	70,768	△ 20,410
手数料	107,905	72,860	35,045
筆耕翻訳料	104,907	75,504	29,403
賃借料	1,615,215	1,522,377	92,838
支払負担金	24,544	24,364	180
租税公課	1,918,903	1,889,401	29,502
経常費用計	403,560,518	553,263,177	△ 149,702,659
評価損益等調整前当期経常増減額	259,605	2,420,844	△ 2,161,239
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	259,605	2,420,844	△ 2,161,239
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	259,605	2,420,844	△ 2,161,239
一般正味財産期首残高	41,755,164	39,334,320	2,420,844
一般正味財産期末残高	42,014,769	41,755,164	259,605
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	2	2	0
基本財産受取利息	2	2	0
一般正味財産への振替額	△ 2	△ 2	0
一般正味財産への振替額	△ 2	△ 2	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000	100,000	0
指定正味財産期末残高	100,000	100,000	0
III 正味財産期末残高	42,114,769	41,855,164	259,605

## 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	埋蔵文化財 発掘事業	生涯学習振興事業 (ふれあい)	生涯学習振興事業 (大山)	生涯学習振興事業 (むきばんだ)	事務局		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	0	2	0	2
基本財産受取利息	0	0	0	0	2	0	2
特定資産運用益	0	0	0	0	60	0	60
特定資産受取利息	0	0	0	0	60	0	60
事業収益	172,564,655	106,163,208	42,358,535	55,003,000	24,186,906	△ 327,000	399,949,304
埋蔵文化財発掘事業受託料収益	172,564,655	0	0	0	20,186,906	0	192,751,561
むきばんだ受託料収益	0	0	0	55,003,000	1,000,000	0	56,003,000
県民ふれあい会館受託料収益	0	92,345,000	0	0	2,000,000	0	94,345,000
大山青年の家受託料収益	0	0	41,469,384	0	1,000,000	0	42,469,384
利用料収益	0	13,293,259	811,710	0	0	△ 327,000	13,777,969
取扱手数料収益	0	524,949	77,441	0	0	0	602,390
雑収益	0	3,989,646	37,558	108,231	711	△ 265,389	3,870,757
受取利息	0	810	110	231	711	0	1,862
雑収益	0	3,988,836	4,948	108,000	0	△ 265,389	3,836,395
参加費	0	0	32,500	0	0	0	32,500
経常収益計	172,564,655	110,152,854	42,396,093	55,111,231	24,187,679	△ 592,389	403,820,123
(2) 経常費用							
事業費	172,564,655	112,668,288	42,214,638	54,625,715	0	0	382,073,296
給料手当	38,728,579	41,893,245	9,915,252	17,077,933	0	0	107,615,009
臨時雇賃金	12,143,490	1,216,410	0	0	0	0	13,359,900
退職給付費用	96,000	624,000	0	0	0	0	720,000
福利厚生費	8,379,115	6,582,402	1,437,279	1,710,051	0	0	18,108,847
諸謝金	9,200	683,000	623,400	0	0	0	1,315,600
旅費交通費	23,620	472,840	184,314	0	0	0	680,774
食糧費	0	49,865	77,890	34,268	0	0	162,023
消耗品費	470,308	4,174,255	3,787,951	3,337,360	0	0	11,769,874
燃料費	75,630	68,813	1,783,238	306,358	0	0	2,234,039
印刷製本費	6,150,980	3,711,281	170,500	290,554	0	0	10,323,315
光熱水費	1,074,716	18,776,687	2,532,717	4,000,136	0	0	26,384,256
修繕費	0	4,378,973	500,830	1,395,460	0	0	6,275,263
通信運搬費	505,366	2,293,556	373,184	954,773	0	0	4,126,879
広告宣伝費	0	0	0	27,500	0	0	27,500
手数料	183,315	1,443,528	1,110,923	691,260	0	0	3,429,026
保険料	0	56,300	124,190	330,910	0	0	511,400
委託費	84,776,648	17,957,882	16,793,659	20,966,960	0	0	140,495,149
貸借料	14,272,721	3,440,847	1,678,730	1,470,710	0	0	20,863,008
支払負担金	4,960	85,212	26,079	18,625	0	0	134,876
租税公課	5,670,007	4,759,192	1,094,502	2,012,857	0	0	13,536,558
管理費	0	0	0	0	22,079,611	△ 592,389	21,487,222
役員報酬	0	0	0	0	5,685,572	0	5,685,572
給料手当	0	0	0	0	9,162,060	0	9,162,060
福利厚生費	0	0	0	0	2,417,556	0	2,417,556
会議費	0	0	0	0	102,435	△ 9,090	93,345
消耗品費	0	0	0	0	275,772	0	275,772
燃料費	0	0	0	0	21,735	0	21,735
印刷製本費	0	0	0	0	9,350	0	9,350
光熱水費	0	0	0	0	163,221	△ 163,221	0
通信運搬費	0	0	0	0	94,943	△ 44,585	50,358
手数料	0	0	0	0	165,488	△ 57,583	107,905
筆耕翻訳料	0	0	0	0	104,907	0	104,907
貸借料	0	0	0	0	1,933,125	△ 317,910	1,615,215
支払負担金	0	0	0	0	24,544	0	24,544
租税公課	0	0	0	0	1,918,903	0	1,918,903
経常費用計	172,564,655	112,668,288	42,214,638	54,625,715	22,079,611	△ 592,389	403,560,518
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 2,515,434	181,455	485,516	2,108,068	0	259,605
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	△ 2,515,434	181,455	485,516	2,108,068	0	259,605
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	△ 2,515,434	181,455	485,516	2,108,068	0	259,605
当期一般正味財産増減額	0	△ 2,515,434	181,455	485,516	2,108,068	0	259,605
一般正味財産期首残高	0	24,427,878	1,726,789	2,642,381	12,958,116	0	41,755,164
一般正味財産期末残高	0	21,912,444	1,908,244	3,127,897	15,066,184	0	42,014,769
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益	0	0	0	0	2	0	2
基本財産受取利息	0	0	0	0	2	0	2
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	△ 2	0	△ 2
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	△ 2	0	△ 2
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	100,000	0	100,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	100,000	0	100,000
III 正味財産期末残高	0	21,912,444	1,908,244	3,127,897	15,166,184	0	42,114,769

## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	139,486,513	73,512,063	65,974,450
未収金	5,098,395	7,562,454	△ 2,464,059
前払金	52,987	3,598	49,389
仮払金	27,224	18,852	8,372
流動資産合計	144,665,119	81,096,967	63,568,152
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	100,000	100,000	0
基本財産合計	100,000	100,000	0
(2) 特定資産			
公益目的事業積立金	3,000,000	3,000,000	0
特定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,100,000	3,100,000	0
資産合計	147,765,119	84,196,967	63,568,152
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	91,070,877	31,484,197	59,586,680
前受金	36,960	0	36,960
預り金	558,433	546,891	11,542
受託精算返納金	13,984,080	10,310,715	3,673,365
流動負債合計	105,650,350	42,341,803	63,308,547
負債合計	105,650,350	42,341,803	63,308,547
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
鳥取県出資金	100,000	100,000	0
指定正味財産合計	100,000	100,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000	100,000	0
2. 一般正味財産	42,014,769	41,755,164	259,605
(うち特定資産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
正味財産合計	42,114,769	41,855,164	259,605
負債及び正味財産合計	147,765,119	84,196,967	63,568,152



## 貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益事業会計			法人会計		内部取引 消去	合計
	埋蔵文化財 発掘事業	生涯学習 振興事業 (ふれあい)	生涯学習 振興事業 (大山)	生涯学習 振興事業 (むきばんだ)	事務局		
I 資産の部							
1. 流動資産							
現金預金	68,941,320	29,651,003	5,086,257	20,901,322	14,906,611	0	139,486,513
未収金	0	641,674	4,456,721	0	0	0	5,098,395
前払金	1,916	974	48,250	1,676	171	0	52,987
仮払金	0	0	0	27,224	0	0	27,224
流動資産合計	68,943,236	30,293,651	9,591,228	20,930,222	14,906,782	0	144,665,119
2. 固定資産							
(1) 基本財産							
定期預金	0	0	0	0	100,000	0	100,000
基本財産合計	0	0	0	0	100,000	0	100,000
(2) 特定資産							
公益目的事業積立金	0	0	0	0	3,000,000	0	3,000,000
特定資産合計	0	0	0	0	3,000,000	0	3,000,000
固定資産合計	0	0	0	0	3,100,000	0	3,100,000
資産合計	68,943,236	30,293,651	9,591,228	20,930,222	18,006,782	0	147,765,119
II 負債の部							
1. 流動負債							
未払金	60,993,230	8,167,278	3,137,404	17,768,435	1,004,530	0	91,070,877
前受金	0	36,960	0	0	0	0	36,960
預り金	198,661	176,969	95,939	33,890	52,974	0	558,433
受託精算返納金	7,751,345	0	4,449,641	0	1,783,094	0	13,984,080
流動負債合計	68,943,236	8,381,207	7,682,984	17,802,325	2,840,598	0	105,650,350
負債合計	68,943,236	8,381,207	7,682,984	17,802,325	2,840,598	0	105,650,350
III 正味財産の部							
1. 指定正味財産							
鳥取県出資金	0	0	0	0	100,000	0	100,000
指定正味財産合計	0	0	0	0	100,000	0	100,000
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0	100,000	0	100,000
2. 一般正味財産							
(うち特定資産への充当額)	0	21,912,444	1,908,244	3,127,897	15,066,184	0	42,014,769
正味財産合計	0	21,912,444	1,908,244	3,127,897	15,166,184	0	42,114,769
負債及び正味財産合計	68,943,236	30,293,651	9,591,228	20,930,222	18,006,782	0	147,765,119

## 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

(1) この会計は「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会)で行っている。

## (2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	100,000	0	0	100,000
特定資産 公益目的事業積立金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,100,000	0	0	3,100,000

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	100,000	100,000	0	0
特定資産 公益目的事業積立金	3,000,000	0	3,000,000	0
合 計	3,100,000	100,000	3,000,000	0

## 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
現金		手元保管 ふれあい、むきばんだ	運転資金として	58,560
預金		普通預金		126,512,283
		山陰合同銀行 鳥取県庁支店 (事務局)	〃	14,906,611
		山陰合同銀行 鳥取駅南支店 (ふれあい1)	〃	13,652,628
		山陰合同銀行 鳥取駅南支店 (ふれあい2)	〃	3,044,145
		山陰合同銀行 名和支店 (大山1)	〃	5,019,097
		山陰合同銀行 名和支店 (大山2)	〃	67,160
		山陰合同銀行 羽合支店 (調査室)	〃	68,941,320
		山陰合同銀行 淀江出張所 (むきばんだ1)	〃	20,874,332
		山陰合同銀行 淀江出張所 (むきばんだ2)	〃	6,990
		定期預金		12,915,670
		山陰合同銀行 鳥取駅南支店 (ふれあい)	〃	12,915,670
未収金		ふれあい、大山	自販機取扱手数料、冷暖房料 委託料返戻金 他	5,098,395
前払金		調査室、ふれあい、大山 むきばんだ、事務局	雇用保険料、公用車任意保険料	52,987
仮払金				27,224
光熱水費		むきばんだ	電気料金	27,224
流動資産合計				144,665,119
<b>(固定資産)</b>				
基本財産				
定期預金		山陰合同銀行 鳥取県庁支店 (事務局)	法人確保のための資産	100,000
特定資産				
公益目的事業積立金		〃	〃	3,000,000
固定資産合計				3,100,000
資産合計				147,765,119
<b>(流動負債)</b>				
未払金		調査室、ふれあい、大山 むきばんだ、事務局	令和4年度事業の未払分	91,070,877
前受金				36,960
研修室等利用料		ふれあい	令和5年度分	36,960
預り金				558,433
社会保険料		調査室、ふれあい	人件費に係る預り金	70,491
所得税		調査室、ふれあい、大山 むきばんだ、事務局	〃	147,992
住民税		調査室、ふれあい むきばんだ、事務局	〃	265,800
施設使用料		大山		67,160
刊行物		むきばんだ		6,990
受託精算返納金		調査室、大山、事務局	委託料精算返納金	13,984,080
流動負債合計				105,650,350
負債合計				105,650,350
正味財産				42,114,769

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載のとおり。

2. 引当金の明細

なし

## 令和5年度事業計画書

### 1 事務局

一般国道9号（北条道路）道路改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査についての鳥取県との業務委託契約並びに鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館）、鳥取県立大山青年の家及び鳥取県立むきばんだ史跡公園の指定管理に関する協定に基づき、財団の予算編成や決算の作成、理事会、評議員会の開催、また鳥取県からの派遣職員等の人事管理など財団運営に係る事務局業務を行う。

### 2 調査室

【一般国道9号（北条道路）道路改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査】

鳥取県から受託する標記の事業について、以下の遺跡に係る発掘調査及び出土品等の整理作業並びに報告書作成のための筆耕作業等を行う。

遺跡名	所在地	遺跡の概要
ながせたかはま 長瀬高浜遺跡	東伯郡湯梨浜町 はわい長瀬	弥生時代前期～近世の集落跡、古墳群、畠跡など。特に古墳時代の集落跡は県内最大規模で、過去の発掘調査で出土した埴輪群は国指定重要文化財。

### 3 県民ふれあい会館

鳥取県から指定管理を受託した鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館）の施設の管理運営及び生涯学習の振興に関する業務を行う。

【受託期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで】

#### 管理運営の概要

- ・開館時間 午前9時から午後9時（日曜日、祝日は午後7時）まで
- ・休館日 年末年始（12月29日から1月3日まで） 点検等による臨時休館日あり
- ・業務内容
  - ア 施設設備の維持管理
  - イ 利用者の総合受付・案内等
  - ウ 施設の利用の受付・許可・貸出等、利用料金の徴収
  - エ 団体交流室の利用・許可、利用料金及び光熱水費等の徴収
  - オ 自動販売機の設置
  - カ レストランの運営

(1) 管理運営の基本的な考え方、方針

生涯学習センターの設立趣旨や生涯学習施策を進めるための拠点施設であることを十分に把握し、県教育委員会と連携して管理運営にあたる。

社会教育の推進と県民の生涯学習の機運醸成を図ることを管理運営の基本に据える。

---

- ・安全・安心・快適な学習環境の提供を行う。
- ・公平・平等な管理運営を行う。
- ・法令等を遵守した適切な施設維持管理を行う。
- ・利用者のニーズを把握し、利用者の視点に立ったサービスの向上を図る。
- ・コスト削減を行いながら、適正な管理運営に努める。
- ・県民や関係機関との連携を視野に入れた効果的な管理運営を行う。

(ア) 県の事業への協力

常に県教育委員会と連絡を密にし、社会教育・生涯学習に関する事業での生涯学習センターの利用を図る。

(イ) 管理基準・サービスの提供内容

当センターには、社会教育団体などの事務所があり、平日を休館にすることができない。また、利用者のサービスの観点から、休館日は12月29日から1月3日までの6日間とする。ただし、設備点検作業等及び工事を実施するために臨時的に休館日を設ける。

(ウ) 組織及び職員の配置等

令和5年度の組織及び職員の配置については次のとおりであるが、業務の効率性や効果的な管理運営等を勘案し、変更も含めて今後検討していきたい。

館長①		
総務係長①	庶務担当 (非常勤①)、施設貸出担当 (非常勤③)	
生涯学習係長①	情報提供担当	生涯学習指導員①、生涯学習相談員 (非常勤①)
	県民カレッジ担当	生涯学習指導員①
	生涯学習推進担当	生涯学習相談員 (非常勤②)
技術管理係長①	技術管理担当	技術職員①
	警備担当	警備員 (非常勤②)

(2) 生涯学習の普及振興事業

① 受託事業

- ・学習相談
- ・県内生涯学習団体等への支援
- ・入居団体等への支援

- ・生涯学習展示コーナーの企画・運営
- ・ふれあい文庫の企画・運営
- ・とっとり県民カレッジ講座の企画・運営
  - ア 市町村連携講座（3）  
倉吉市教育委員会、若桜町教育委員会、西部地区社会教育担当者研究協議会
  - イ 特別講座（9）  
鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学との連携講座（予定）
  - ウ とっとり県民カレッジ運営協議会（2）
- ・生涯学習情報の提供
  - ア 県内の生涯学習講座の情報収集及び連携講座の登録
  - イ 生涯学習情報提供システム「とっとり県民学習ネット」の運用
  - ウ 『生涯学習とっとり』の企画、編集、発行 1回4,800部（年6回）
  - エ SNS等の活用（講座情報発信のために活用）

## ② 自主事業

- ・生涯学習スクール「まなび」への登録・支援
- ・生涯学習講座等の企画・運営
  - 家庭教育支援講座 出前講座（東部1・中部1・西部1）
  - 健康セミナー 生涯学習公開講座（1）
  - まちの保健室（1）
  - ふるさと再発見生涯学習講座 歴史講座（1）自然講座（1）
- ・生涯学習団体等への支援
  - 地域づくりスキルアップ講座（1）
- ・ランチタイムコンサート
- ・その他、生涯学習センターの利用促進を図るための業務

## (3) 利用者数の見込み

令和5年度ホール・講義室・研修室等の利用者数の見込み

区分	社会教育活動のための利用	左以外の利用	合 計
上半期 (4～9月)	(970人・100件) 1,010人・110件	(1,680人・180件) 24,830人・2,610件	(2,650人・280件) 25,840人・2,720件
下半期 (10～3月)	(920人・100件) 950人・110件	(2,020人・220件) 27,770人・2,580件	(2,940人・320件) 28,720人・2,690件
合 計	(1,890人・200件) 1,960人・220件	(3,700人・400件) 52,600人・5,190件	(5,590人・600件) 54,560人・5,410件
令和4年度 実績	(1,936人・247件) 1,985人・253件	(5,798人・475件) 49,720人・5,021件	(7,734人・722件) 51,705人・5,274件

※（ ）は、減免対象で内数

## 4 大山青年の家

鳥取県から指定管理を受託した鳥取県立大山青年の家の管理運営及び生涯学習の振興に関する業務を行う。

受託期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

### 管理運営の概要

- ・利用時間 午前8時30分から午後5時15分まで
- ・休所日
  - ・月曜日
  - ・国民の祝日に関する法律に規定する国民の祝日（その日が日曜日又は土曜日である場合を除く。）
  - ・年末年始（12月29日から1月3日まで）ただし、大人数の団体の申込みがあるなどの特別な場合は開所とする場合もある。
- ・業務内容
  - ・施設設備の維持管理
  - ・施設の利用許可、利用料金の徴収
  - ・生涯学習の振興（補助）
  - ・受付、来客対応、利用促進等

### (1) 管理運営の基本的な考え方、方針

「鳥取県立大山青年の家管理運営に関する協定書」やそれに付属する業務委託仕様書を遵守し、県が行う業務に協力し、連携しながら進める。

**利用者の安全確保** 日常の巡視点検による異常や損傷の早期発見、器具等の整理整頓、屋外の炊事場、オリエンテーリングコース等の点検・危険物の確認除去等を行う。

**サービス向上・利用促進** あいさつの励行や関係者全員で情報共有することにより、思い違いによるトラブルの回避を図るとともに、PRのターゲットを絞るなどの工夫をしながら、SNS等を活用する。

**経費の節減** 施設の維持管理業務の外部委託の場合、県産業振興条例の趣旨を踏まえ、競争入札を実施したり、物品購入でも品質の維持を図りながら、価格比較等を原則に、購入を進める。

### (ア) 県の事業への協力

利用者の受付・計画段階から指導部門と連携を行い、円滑に事業を推進する。県の委託事業（星空観察事業や「地域ぐるみで体験の風をおこそう」運動推進事業）へも積極的に協力する。

### (イ) 管理基準・サービスの提供内容

宿泊施設を伴う公の施設であることから、環境衛生、消防設備など法令に基づく維持管理はもちろん、45年経過した老朽化施設であることから日頃の巡視・点検を行い、利用者の安全安心を確保する。



アンケート集計などを通じ利用者の意見をくみ上げ、サービス向上に取り組み、広報活動にも参画し、青少年のみならずシニア世代へも利用促進を図っていく。また、SDGsへの取り組みにも積極的に取り組む。

(ウ) 組織及び職員の配置等

4名の職員を配置し資格を活かした業務の展開、さらには研修を行って業務の円滑に進める。宿泊に伴う早朝、夜間の業務も指導担当と綿密に情報共有しながら進める。

<p>大山青年の家（県直営）</p> <p>[県職員]  所長①  係長①、  指導員④</p>
<p>公益財団法人鳥取県教育文化財団</p> <p>[常勤]  次長①</p> <p>非常勤職員（事務職員①、技術指導支援員①、ボイラー技士①）</p>

(エ) 委託・再委託等

産業廃棄物処理や除雪業務など必要に応じて随時外部委託を行う。また、警備、浄化槽維持管理、建物清掃などは外部に再委託をして、円滑に業務を行う。

(2) 生涯学習の振興事業

① 主催事業（19事業） 別紙参照

大山青年の家が企画募集する野外活動・集団宿泊訓練等

大山ファミリー登山、エンジョイカヌー外体験型事業等

満天の星を見よう会（年間3回）（受託事業）

② 受入事業の野外活動等

活動計画のあるグループ（5名以上）の野外活動等

野外宿泊訓練、オリエンテーション等

(3) 利用者数の見込み 収支計画

コロナ禍により利用者数の見込みが立てにくい状況ではあるが、利用者数は前年度と同じ延べ23,000人を計画目標としていく。また、小グループの利用が伸びた結果団体数は過去最多となり、宿泊者数が回復傾向にある。一方、光熱水費の高騰が懸念されることから、支出経費面でも留意し運営していく必要がある。

年度	日帰り（人）	宿泊者（人）	延宿泊者（人）	延べ利用者数（人）	利用団体数
R5見込	13,000	4,500	5,500	23,000	440
R4実績	12,269	2,913	3,528	18,710	488
R3実績	11,873	2,177	2,602	16,652	399

(4) 新型コロナウイルス対策

令和元年度末から感染症対策が最重要課題となっているが、当所においても鳥取県新型コロナウイルス感染症対策行動計画及び鳥取県主催イベントにおける新型コロナウイルス感染症感染拡大防止マニュアル等に基づき、所内での感染防止を行っている。

また、令和3年12月に鳥取県新型コロナ対策認証事業所としての認証を取得し、定期的に業務手順書の見直しや遵守状況を点検確認しており、令和5年度も引き続き新型コロナウイルス感染防止対策に取り組む。

5 むきばんだ史跡公園

鳥取県から指定管理を受託した鳥取県立むきばんだ史跡公園の管理運営及び生涯学習の振興に関する業務を行う。

受託期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

管理運営の概要

- ・利用時間 午前9時から午後5時まで
- ・休所日
  - ・毎月第4月曜日（その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日である場合は、その直後の休日ではない日）
  - ・年末年始（12月29日から1月3日まで）
- ・業務内容
  - ・施設設備の維持管理
  - ・管理運営の補助
    - i) 受付、来客対応、利用促進等
    - ii) 受入事業・主催事業実施に関する補助
  - ・利用料金の徴収
  - ・その他利用者へのサービス提供
    - i) 売店及び自動販売機運営の委託
    - ii) 弥生体験活動と古代歴史教育の提供（補助）

(1) 管理運営の基本的な考え方、方針

**施設の管理運営** 「鳥取県立むきばんだ史跡公園の管理運営に関する協定書」やそれに付随する業務委託仕様書を遵守し、県が行う業務に協力し、連携しながら進める。

**利用者等の安全確保** 施設設備については、日常の巡視点検により異常や損傷の早期発見を行って、施設の不備による事故を防止するほか、受入事業・主催事業実施の際は、会場、駐車場の草刈を改めて行うほか、事前に園内の点検を行う。

**景観の美化** 広大な史跡公園の園内にある数多くの復元建物や墳丘墓とともに、眼下に見下ろす日本海や大山の山並みなどの素晴らしい景観を来園者の方々に楽しんでもらうため、園内の草刈りや管理道・遊歩道の整備を重点的に行う。

**利用者等へのサービス向上、利用促進** 令和2年度から継続して、利用者アンケートを実施しており、施設の維持管理においては、「いつも綺麗に手入れがされている」「広くて見晴らしが良い」といった高評価が得られている。令和5年度も利用者アンケートを継続し、更なるサービスの向上や利用促進につなげていく。

(ア) 県の行う受入事業・主催事業についての協力・連携

受入事業・主催事業への協力・連携は指定管理者として極めて重要であり、特に事業計画の策定段階から参画し、事業の全貌を把握して事業実施の補助や協力を積極的に行う。

(イ) 主な管理の基準・サービスの提供内容

職員による施設内の巡視を定期的に行い、事件、事故の未然防止に努めるとともに、職員不在となる夜間や年末年始の休園日は警備会社に委託し、事件、事故、盗難などの未然防止を図る。  
施設設備の維持管理で財団職員が対応できないものは、専門業者に業務を委託して対応する。  
窓口での聞き取りやメール、アンケートを活用して利用者の声を把握するとともに、意見、要望の内容やそれに対する処理方針及び対応結果はホームページで公開する。

(ウ) 史跡管理に係る一定の技術水準を確保する方策

史跡管理に係る技術に関し、一定の水準を保つためには、維持管理作業に係る職員の復元建物の補修の知識や技術が必要である。引き続き、外部講師による茅葺技術者講習会の開催や毎月1回程度の県の文化財専門職員等との協議を実施し、技術水準の維持・向上に努める。

(エ) 組織及び職員の配置等

14名の職員を配置し適切な施設設備の管理を行うとともに、県のイベント等への積極的な協力をを行う。また、受付では好感のもたれる来園者対応・電話対応を行う。

<b>むきばんだ史跡公園</b> [県職員]  所長①  係長③、文化財主事③、 非常勤職員（活用補助員）②、非常勤職員（史跡管理補助員）①
<b>公益財団法人鳥取県教育文化財団</b> [常勤]  次長① 非常勤職員（事務職員①、史跡管理員②、受付員②、維持管理作業員⑧）

(2) 生涯学習の振興事業

むきばんだ史跡公園活用事業計画（県主催事業）別紙参照

鳥取県立むきばんだ史跡公園が実施する次の事業について、連携・協力して実施する。

①とっとり弥生の王国 知・楽・学事業

・遺跡を知る ・遺跡を楽しむ ・遺跡を学ぶ

②「とっとり弥生の王国」プロモーション推進事業

・むきばんだフェスタ（10月中旬）

(3) 利用者数の見込み 収支計画

令和2年～4年度は、新型コロナの影響で利用者数は大きく減少した。一方で県外移動の制限を受けて、県内、特に東部地区小学校の修学旅行の受入は増加した。

引き続き、修学旅行等の受入などの増を利用者数は25,000人を計画目標としていく。

年 度	利用者数 (人)	利用団体数
R5 計画	25,000	130
R4 実績	20,681	122
R3 実績	19,688	111

(4) 新型コロナウイルス対策

令和元年度末から感染症対策が最重要課題となっているが、当園においても鳥取県新型コロナウイルス感染症対策行動計画及び鳥取県主催イベントにおける新型コロナウイルス感染症感染拡大防止マニュアル等に基づき、園内での感染防止を行っている。

また、令和3年度に県から鳥取県新型コロナ対策認証事業所としての認証を受け、これ以降は、この認証事業所として作成した「鳥取県立むきばんだ史跡公園 COVID-19感染予防マニュアル」を含めた感染予防対策を徹底しており、令和5年度も引き続き新型コロナウイルス感染防止対策に取り組む。

## 収支予算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度 予算額	前年度 予算額	増減	備考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益	765,197,000	405,113,000	360,084,000	
①基本財産運用益	1,000	1,000	0	
基本財産受取利息	1,000	1,000	0	
②特定財産運用益	1,000	1,000	0	
特定財産受取利息	1,000	1,000	0	
③事業収益	761,091,000	401,363,000	359,728,000	
埋蔵文化財発掘事業 受託料収益	559,405,000	202,286,000	357,119,000	
県民ふれあい会館 受託料収益	91,345,000	91,345,000	0	
大山青年の家 受託料収益	39,513,000	38,713,000	800,000	
むきばんだ史跡公園 受託料収益	54,671,000	54,671,000	0	
利用料収益	15,447,000	13,507,000	1,940,000	
取扱手数料収益	710,000	841,000	△131,000	
受講料収益	0	0	0	
広告料収益	0	0	0	
④雑収益	4,104,000	3,748,000	356,000	
受取利息	5,000	6,000	△1,000	
雑収益	3,979,000	3,622,000	357,000	
参加費	120,000	120,000	0	
経常収益計	765,197,000	405,113,000	360,084,000	
(2) 経常費用	774,360,000	410,771,000	363,589,000	
①事業費	747,871,000	384,796,000	363,075,000	
役員報酬	0	0	0	
給料手当	123,646,000	105,874,000	17,772,000	
臨時雇賃金	13,992,000	13,544,000	448,000	
退職給付費用	816,000	817,000	△1,000	
福利厚生費	21,219,000	18,477,000	2,742,000	
会議費	0	0	0	
諸謝金	2,053,000	2,095,000	△42,000	
旅費交通費	2,003,000	1,956,000	47,000	
食糧費	483,000	494,000	△11,000	
消耗品費	5,817,000	8,495,000	△2,678,000	
燃料費	2,265,000	2,190,000	75,000	
印刷製本費	4,978,000	9,953,000	△4,975,000	
光熱水費	33,056,000	22,570,000	10,486,000	
修繕費	2,518,000	4,412,000	△1,894,000	
通信運搬費	4,140,000	4,427,000	△287,000	
広告宣伝費	30,000	30,000	0	
手数料	3,674,000	3,490,000	184,000	
筆耕翻訳料	0	0	0	
保険料	659,000	620,000	39,000	
委託費	485,865,000	150,492,000	335,373,000	
賃借料	26,009,000	21,861,000	4,148,000	
工事請負費	0	0	0	
支払負担金	162,000	162,000	0	
租税公課	14,486,000	12,837,000	1,649,000	
予備費	0	0	0	

(単位：円)

科 目	当年度 予算額	前年度 予算額	増減	備考
②管理費	26,489,000	25,975,000	514,000	
役員報酬	6,027,000	6,050,000	△23,000	
給料手当	10,136,000	9,745,000	391,000	
臨時雇賃金	58,000	58,000	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	2,690,000	2,565,000	125,000	
会議費	266,000	282,000	△16,000	
諸謝金	90,000	90,000	0	
旅費交通費	660,000	780,000	△120,000	
食糧費	0	0	0	
消耗品費	532,000	535,000	△3,000	
燃料費	110,000	110,000	0	
印刷製本費	100,000	100,000	0	
光熱水費	350,000	230,000	120,000	
修繕費	200,000	200,000	0	
通信運搬費	230,000	230,000	0	
広告宣伝費	0	0	0	
手数料	400,000	400,000	0	
筆耕翻訳料	276,000	277,000	△1,000	
保険料	0	0	0	
委託費	50,000	50,000	0	
賃借料	2,150,000	2,150,000	0	
工事請負費	0	0	0	
支払負担金	46,000	46,000	0	
租税公課	2,118,000	2,077,000	41,000	
予備費	0	0	0	
經常費用計	774,360,000	410,771,000	363,589,000	
当期經常増減額	△9,163,000	△5,658,000	△3,505,000	
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益	0	0	0	
經常外収益計	0	0	0	
(2) 經常外費用	0	0	0	
經常外費用計	0	0	0	
当期經常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	△9,163,000	△5,658,000	△3,505,000	
一般正味財産期首残高	31,877,164	32,341,320	△464,156	
一般正味財産期末残高	22,714,164	26,683,320	△3,969,156	
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	100,000	100,000	0	
指定正味財産期末残高	100,000	100,000	0	
III. 正味財産期末残高	22,814,164	26,783,320	△3,969,156	



## (10) 公益財団法人 鳥取県臓器・アイバンク経営状況報告書

### 法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県臓器・アイバンク
- 2 目 的 臓器の移植に関する法律に定める臓器移植の普及を図るため、県民への臓器移植に関する知識や意義の普及啓発を行うとともに、医療機関への教育及び臓器移植が適正に行われるための支援並びに眼球の提供のあっせんを行い、もって健康で活力のある社会の実現のため県民の医療の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。
- 3 設立許可年月日 平成25年3月21日  
(財団法人鳥取県腎バンク設立許可年月日 平成6年3月23日)
- 4 設立登記年月日 平成25年4月1日
- 5 基 本 財 産 出えん金 88,630,579円  
鳥取県出えん金 52,640,000円  
市町村出えん金 24,000,000円  
民間出えん金 11,990,579円
- 6 役 員 等 評 議 員 7人 理 事 5人 監 事 2人  
評 議 員 加 藤 敏 夫 (鳥取県腎友会副会長)  
〃 紙 谷 秀 規 (鳥取県立厚生病院副院長)  
〃 高 橋 義 幸 (鳥取県市長会事務局長)  
〃 小 林 健 治 (一般社団法人鳥取県薬剤師会顧問)  
〃 武 中 篤 (国立大学法人鳥取大学医学部教授)  
〃 豊 島 良 太 (独立行政法人労働者健康安全機構山陰労  
災病院院長)  
〃 廣 岡 保 明 (鳥取県立中央病院院長)  
理 事 長 魚 谷 純 (公益社団法人鳥取県医師会顧問)  
常 務 理 事 中 西 眞 治 (鳥取県福祉保健部長)  
理 事 井 上 幸 次 (日野病院組合日野病院名誉病院長)  
〃 太 田 匡 彦 (医療法人さとに田園クリニック院長)  
〃 松 本 美 智 子 (公益社団法人鳥取県看護協会会長)



監 事 植 田 昭 (植田昭公認会計士事務所所長)

〃 後 藤 秀 一 (後藤事務所代表 (行政書士) )

7 職 員 2人

8 事 務 所 米子市西町36番地の1

## 令和4年度事業実施状況

## 〔1〕 県民への臓器移植に関する普及啓発

普及啓発のための活動	結果 ※〈 〉は前年度
(1) 臓器移植普及推進街頭キャンペーン	COVID-19 感染症感染拡大防止を考慮し中止。
(2) 移植を受けた子ども達の作品展 ・東部 8/19～8/31 (13日間) 鳥取市役所・県庁 ・中部 8/3～8/17 (15日間) 倉吉未来中心 ・西部 7/20～8/1 (13日間) イオンモール日吉津	ポスター 120枚、チラシ 50枚作成配布 アンケート回収：40枚 〈31枚〉 web 3名 東部来場者 61名 〈27名〉 中部来場者 274名 〈89名〉 西部来場者 238名 〈178名〉
(3) 他団体主催イベントへの参加	病院主催イベント：0回 〈1回〉 その他イベント：1回 〈1回〉
(4) 出前講座および教育機関における講義の実施	出前講座：3件 〈2件〉 大学・専門学校：7件 〈7件〉 高校・中学校：2件 〈2件〉 ホイッスル付きライトペン（普及啓発資材）配布
(5) 財団機関紙の発行	鳥取県臓器・アイバンクだよりNo.21 作成 1,000部 賛助会員、献眼登録者他へ送付
(6) グリーンライトアップ ・10/16～10/23 (8日間) 鳥取駅前：風紋広場、ケヤキ広場 米子駅前：米っ子合掌像 米子コンベンションセンター	(全国の実施状況) 40都道府県 109か所 〈38都道府県 97か所〉
(7) 各種広告・広報	新聞広告：2回（読売新聞、朝日新聞） ラジオ：BSS 山陰放送、FM 山陰
(8) ウェブサイトの充実	イベントの告知・実施状況等を毎月掲載
(9) 臓器提供の意思表示に関する意識調査	意思表示率：17.9% 〈17.8%〉 ホイッスル付ライトペン（普及啓発資材）配布
その他 (1) アイバンク協会ポスターの配布	県内の公民館（175か所）へ掲示依頼 県内のライオンズクラブ（18か所）および眼科のある医療機関（52か所）へ配布（鳥取大学への委託業務の一部）

## 〔2〕 臓器の提供者と臓器移植希望者との調整協力事業

臓器移植のあっせん支援	結果 ※〈 〉は前年度
(1) 臓器提供候補者情報対応	ドナー情報：3件 〈1件〉 問い合わせ：1件 〈0件〉 脳死下臓器提供：0件 〈0件〉 心停止下臓器提供：0件 〈0件〉

	他県臓器提供支援 : 1件 <0件>
(2) 遺族対応	なし
(3) 臓器移植希望登録支援	移植に関する問い合わせ・患者相談 : 1件 <2件>
(4) 組織適合性検査料助成	申請なし

## 〔3〕 医療機関の体制支援及び教育事業

体制支援及び教育事業	結果 ※〈 〉は前年度
(1) 鳥取県院内移植コーディネーター会議  ・第25回鳥取県院内移植コーディネーター会議 9/21 オンライン開催 ・第26回鳥取県院内移植コーディネーター会議 3/7 オンライン開催	院内 Co 設置状況 : 7病院、34名  内容 : 委嘱状交付式、外部講師講演、報告 出席者 : 39名 (内、院内 Co 32名、出席率 94%) 内容 : 活動報告、外部講師講演、報告 出席者 : 41名 (内、院内 Co 30名、出席率 88%)
(2) 病院訪問	訪問 : 25回 <23回> 院内研修会 : 1件 <2件> 臓器提供シミュレーション : 1件 <0件> 院内マニュアル作成・改訂 : 2件 <2件>

## 〔4〕 眼球の提供のあっせんに関する事業

眼球等のあっせん	結果 ※〈 〉は前年度
(1) 角膜等のあっせん業	眼球提供者 : 0名 <0名> 角膜あっせん : 0件 <0件> 強膜あっせん : 0件 <0件> アイバンク新規登録者 : 2名 <6名>
(2) あっせん業の一部委託	あっせん業の一部は国立大学法人鳥取大学へ委託

## 〔5〕 腎臓病に関する知識の普及啓発を実施する団体への支援事業

各団体への支援事業	結果
腎臓病に関する知識の普及啓発を実施する団体への支援事業	補助対象団体 : 鳥取県腎友会 補助事業 : 慢性腎臓病患者のための交流研修会 日時 : 令和4年11月20日(日) 10:00~12:30 場所 : 鳥取県立倉吉体育文化会館 参加者 : 26名 内容 : 講演「長期透析患者の合併症予防と対策」 講師 吉野・三宅ステーションクリニック医師 ※料理講習会は中止

## 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	201,587	193,171	8,416
基本財産受取利息	201,587	193,171	8,416
受取会費	1,026,000	949,000	77,000
賛助会員受取会費	1,026,000	949,000	77,000
受取補助金等	12,877,096	12,516,872	360,224
鳥取県受取補助金	12,620,301	12,339,652	280,649
(公社)日本臓器移植ネットワーク受取補助金	118,675	80,175	38,500
(公財)日本アイバンク協会受取補助金	138,120	97,045	41,075
受取寄附金	277,586	297,630	△ 20,044
受取寄附金	277,586	297,630	△ 20,044
雑収益	67	70	△ 3
受取利息	67	70	△ 3
経常収益計	14,382,336	13,956,743	425,593
(2) 経常費用			
事業費	10,846,074	11,152,501	△ 306,427
給料手当	6,513,956	6,488,760	25,196
退職給付費用	214,952	215,795	△ 843
福利厚生費	1,059,727	1,033,669	26,058
旅費交通費	334	1,336	△ 1,002
通信運搬費	289,556	321,868	△ 32,312
減価償却費	391,500	391,500	0
消耗品費	246,392	278,015	△ 31,623
印刷製本費	278,550	337,475	△ 58,925
広告宣伝費	468,600	550,000	△ 81,400
燃料費	51,677	35,711	15,966
光熱水料費	112,648	67,096	45,552
賃借料	784,749	761,137	23,612
使用料	95,894	94,653	1,241
保険料	49,572	59,391	△ 9,819
諸謝金	40,000	40,000	0
支払負担金	47,000	39,600	7,400
支払補助金	32,000	50,000	△ 18,000
委託費	162,367	373,295	△ 210,928
支払手数料	6,600	13,200	△ 6,600
管理費	3,287,121	3,280,840	6,281
給料手当	1,957,269	1,950,162	7,107
退職給付費用	60,628	60,865	△ 237
福利厚生費	298,893	291,546	7,347
旅費交通費	4,140	6,100	△ 1,960
通信運搬費	122,939	155,575	△ 32,636
消耗什器備品費	88,000	0	88,000

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗品費	49,348	20,833	28,515
修繕費	55,000	0	55,000
印刷製本費	12,760	35,860	△ 23,100
燃料費	5,739	3,963	1,776
光熱水料費	31,766	18,917	12,849
賃借料	151,481	144,973	6,508
使用料	27,047	26,697	350
保険料	5,508	6,599	△ 1,091
租税公課	1,120	1,720	△ 600
支払負担金	150,000	150,000	0
委託費	220,000	330,000	△ 110,000
支払手数料	40,643	39,030	1,613
雑費	4,840	38,000	△ 33,160
経常費用計	14,133,195	14,433,341	△ 300,146
評価損益等調整前当期経常増減額	249,141	△ 476,598	725,739
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	249,141	△ 476,598	725,739
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	249,141	△ 476,598	725,739
一般正味財産期首残高	21,284,072	21,760,670	△ 476,598
一般正味財産期末残高	21,533,213	21,284,072	249,141
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	76,640,000	76,640,000	0
指定正味財産期末残高	76,640,000	76,640,000	0
III 正味財産期末残高	98,173,213	97,924,072	249,141

## 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合計
	臓器バンク事業	アイバンク	小計	法人会計	
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	151,190	0	151,190	50,397	201,587
基本財産受取利息	151,190	0	151,190	50,397	201,587
受取会費	554,040	61,560	615,600	410,400	1,026,000
賛助会員受取会費	554,040	61,560	615,600	410,400	1,026,000
受取補助金等	8,746,911	1,189,975	9,936,886	2,940,210	12,877,096
鳥取県受取補助金	8,628,236	1,051,855	9,680,091	2,940,210	12,620,301
(公社)日本臓器移植ネットワーク受取補助金	118,675	0	118,675	0	118,675
(公財)日本アイバンク協会受取補助金	0	138,120	138,120	0	138,120
受取寄附金	277,586	0	277,586	0	277,586
受取寄附金	277,586	0	277,586	0	277,586
雑収益	0	0	0	67	67
受取利息	0	0	0	67	67
経常収益計	9,729,727	1,251,535	10,981,262	3,401,074	14,382,336
(2) 経常費用					
事業費	9,287,662	1,558,412	10,846,074	0	10,846,074
給料手当	5,845,860	668,096	6,513,956	0	6,513,956
退職給付費用	193,457	21,495	214,952	0	214,952
福利厚生費	951,207	108,520	1,059,727	0	1,059,727
旅費交通費	334	0	334	0	334
通信運搬費	264,267	25,289	289,556	0	289,556
減価償却費	0	391,500	391,500	0	391,500
消耗品費	190,549	55,843	246,392	0	246,392
印刷製本費	245,520	33,030	278,550	0	278,550
広告宣伝費	468,600	0	468,600	0	468,600
燃料費	46,514	5,163	51,677	0	51,677
光熱水料費	101,389	11,259	112,648	0	112,648
賃借料	706,391	78,358	784,749	0	784,749
使用料	86,059	9,835	95,894	0	95,894
保険料	44,615	4,957	49,572	0	49,572
諸謝金	40,000	0	40,000	0	40,000
支払負担金	17,000	30,000	47,000	0	47,000
支払補助金	32,000	0	32,000	0	32,000
委託費	47,300	115,067	162,367	0	162,367
支払手数料	6,600	0	6,600	0	6,600
管理費	0	0	0	3,287,121	3,287,121
給料手当	0	0	0	1,957,269	1,957,269
退職給付費用	0	0	0	60,628	60,628
福利厚生費	0	0	0	298,893	298,893
旅費交通費	0	0	0	4,140	4,140
通信運搬費	0	0	0	122,939	122,939
消耗什器備品費	0	0	0	88,000	88,000
消耗品費	0	0	0	49,348	49,348
修繕費	0	0	0	55,000	55,000
印刷製本費	0	0	0	12,760	12,760
燃料費	0	0	0	5,739	5,739
光熱水料費	0	0	0	31,766	31,766
賃借料	0	0	0	151,481	151,481
使用料	0	0	0	27,047	27,047
保険料	0	0	0	5,508	5,508
租税公課	0	0	0	1,120	1,120
支払負担金	0	0	0	150,000	150,000
委託費	0	0	0	220,000	220,000
支払手数料	0	0	0	40,643	40,643
雑費	0	0	0	4,840	4,840
経常費用計	9,287,662	1,558,412	10,846,074	3,287,121	14,133,195
評価損益等調整前当期経常増減額	442,065	△ 306,877	135,188	113,953	249,141
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	442,065	△ 306,877	135,188	113,953	249,141

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合計
	臓器バンク事業	アイバンク	小計	法人会計	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	442,065	△ 306,877	135,188	113,953	249,141
当期一般正味財産増減額	442,065	△ 306,877	135,188	113,953	249,141
一般正味財産期首残高	15,154,030	1,719,702	16,873,732	4,410,340	21,284,072
一般正味財産期末残高	15,596,095	1,412,825	17,008,920	4,524,293	21,533,213
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	57,480,000	0	57,480,000	19,160,000	76,640,000
指定正味財産期末残高	57,480,000	0	57,480,000	19,160,000	76,640,000
III 正味財産期末残高	73,076,095	1,412,825	74,488,920	23,684,293	98,173,213

## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,672,054	8,880,832	△ 208,778
未収金	388,109	262,180	125,929
仮払金	0	5,486	△ 5,486
流動資産合計	9,060,163	9,148,498	△ 88,335
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	88,630,579	58,630,579	30,000,000
地方債	0	30,000,000	△ 30,000,000
基本財産合計	88,630,579	88,630,579	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,505,340	1,229,760	275,580
特定資産合計	1,505,340	1,229,760	275,580
(3) その他固定資産			
什器備品	1,533,375	1,924,875	△ 391,500
その他固定資産合計	1,533,375	1,924,875	△ 391,500
固定資産合計	91,669,294	91,785,214	△ 115,920
資産合計	100,729,457	100,933,712	△ 204,255
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	970,026	1,711,203	△ 741,177
預り金	80,878	68,677	12,201
流動負債合計	1,050,904	1,779,880	△ 728,976
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,505,340	1,229,760	275,580
固定負債合計	1,505,340	1,229,760	275,580
負債合計	2,556,244	3,009,640	△ 453,396
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	76,640,000	76,640,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 76,640,000 )	( 76,640,000 )	( 0 )
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	( 11,990,579 )	( 11,990,579 )	( 0 )
正味財産合計	98,173,213	97,924,072	249,141
負債及び正味財産合計	100,729,457	100,933,712	△ 204,255



## 貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合 計
	臓器バンク事業	アイバンク	小 計	法人会計	
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	3,438,713	937,331	4,376,044	4,296,010	8,672,054
未収金	33,176	354,933	388,109	0	388,109
流動資産合計	3,471,889	1,292,264	4,764,153	4,296,010	9,060,163
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金	22,500,000	0	22,500,000	66,130,579	88,630,579
基本財産合計	22,500,000	0	22,500,000	66,130,579	88,630,579
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	654,284	72,601	726,885	778,455	1,505,340
特定資産合計	654,284	72,601	726,885	778,455	1,505,340
(3) その他固定資産					
什器備品	0	1,533,375	1,533,375	0	1,533,375
その他固定資産合計	0	1,533,375	1,533,375	0	1,533,375
固定資産合計	23,154,284	1,605,976	24,760,260	66,909,034	91,669,294
資産合計	26,626,173	2,898,240	29,524,413	71,205,044	100,729,457
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	736,324	31,322	767,646	202,380	970,026
預り金	17,070	0	17,070	63,808	80,878
流動負債合計	753,394	31,322	784,716	266,188	1,050,904
2. 固定負債					
退職給付引当金	654,284	72,601	726,885	778,455	1,505,340
固定負債合計	654,284	72,601	726,885	778,455	1,505,340
負債合計	1,407,678	103,923	1,511,601	1,044,643	2,556,244
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
指定正味財産合計	57,480,000	0	57,480,000	19,160,000	76,640,000
(うち基本財産への充当額)	( 57,480,000 )	( 0 )	( 57,480,000 )	( 19,160,000 )	( 76,640,000 )
2. 一般正味財産					
一般正味財産合計	15,587,995	1,412,956	17,000,951	4,532,262	21,533,213
(うち基本財産への充当額)	( 9,207,134 )	( 0 )	( 9,207,134 )	( 2,783,445 )	( 11,990,579 )
正味財産合計	73,067,995	1,412,956	74,480,951	23,692,262	98,173,213
負債及び正味財産合計	74,475,673	1,516,879	75,992,552	24,736,905	100,729,457

## 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・定額法にて行っている。

## (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の必要支給額に相当する金額を計上している。

## (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式にて行っている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	58,630,579	30,000,000	0	88,630,579
地方債	30,000,000	0	30,000,000	0
小 計	88,630,579	30,000,000	30,000,000	88,630,579
特定資産				
退職給付引当資産	1,229,760	275,580	0	1,505,340
小 計	1,229,760	275,580	0	1,505,340
合 計	89,860,339	30,275,580	30,000,000	90,135,919

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	88,630,579			
小 計	88,630,579	(76,640,000)	(11,990,579)	
特定資産				
退職給付引当資産	1,505,340			(1,229,760)
小 計	1,505,340			(1,229,760)
合 計	90,135,919	(76,640,000)	(11,990,579)	(1,229,760)

## 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品(角膜内皮細胞計測器)	3,132,000	391,500	1,598,625	1,533,375
合 計	3,132,000	391,500	1,598,625	1,533,375

## 5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
運営費補助金	鳥取県	0	12,620,301	12,620,301	0	—
都道府県支援事業補助金	(公社)日本臓器移植ネットワーク	0	118,675	118,675	0	—
普及啓発事業助成金	(公財)日本アイバンク協会	0	138,120	138,120	0	—
合 計		0	12,877,096	12,877,096	0	

## 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	普通預金	山陰合同銀行 鳥取県庁支店 No.2285627	運転資金として	8,672,054
		鳥取銀行 鳥取県庁支店 No.1483911		1,778,958
		米子信用金庫 米子支店 No.478937		1,108,323
		郵便振替口座 No.01350-5-92999		7,467
		山陰合同銀行 米子支店 No.3676804		5,519,206
				258,100
	未収金	(公社)日本臓器移植ネットワーク	都道府県支援助成金補助金	388,109
		国立大学法人鳥取大学	アイバンク事業委託料不要額返還	32,075
		職員	年末調整還付金過払戻入等	354,933
				1,101
流動資産合計				9,060,163
(固定資産)	基本財産	米子信用金庫 No.1218782	3/4は公益目的保有財産であり、運用益を公益 目的事業の財産として使用している 1/4は運用益を管理費の財源として使用している	88,630,579
		山陰合同銀行米子支店 No.8881286		40,000,000
		鳥取銀行鳥取県庁支店 No.4520		30,000,000
		山陰合同銀行鳥取県庁支店 No.6452604		8,630,579
	特定資産	退職給付引当資産		1,505,340
		定期預金	山陰合同銀行米子支店 No.8881286	職員2名に対する退職金の支払に備えたもの
	その他固定資産	什器備品	角膜内皮細胞計測器	公益目的保有財産でありアイバンク業務に使用 している
固定資産合計				91,669,294
資産合計				100,729,457
(流動負債)	未払金	国立大学法人鳥取大学	3月分光熱水料	970,026
		鳥取県石油協同組合	3月分ガソリン代	15,766
		日本年金機構	3月分社会保険料(事業主負担分)	5,115
		職員	3月分時間外勤務手当	157,560
		株式会社愛進堂	3月分プリンター購入費	13,207
			保険料確定による不足額	88,000
		鳥取県	県補助金返還	921
		NTTファイナンス株式会社他	3月分通信費	548,699
		ブングルドットコム株式会社	3月分事務用品代	18,206
		株式会社愛進堂	3月分PCリース料	44,702
		東京海上日動火災保険株式会社	3月分PCリース料	22,770
			公用車任意保険料	55,080
	預り金	源泉徴収税		80,878
		住民税		28,878
				52,000
流動負債合計				1,050,904
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員2名に対する退職金の支払に備えたもの	1,505,340
	退職給付引当金			1,505,340
固定負債合計				1,505,340
負債合計				2,556,244
正味財産				98,173,213

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	58,630,579	30,000,000	0	88,630,579
	地方債	30,000,000	0	30,000,000	0
	基本財産合計	88,630,579	30,000,000	30,000,000	88,630,579
特定資産	退職給付引当資産	1,229,760	275,580		1,505,340
	特定資産合計	1,229,760	275,580	0	1,505,340

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,229,760	275,580	0	0	1,505,340

令和5年度事業計画

1 県民への臓器移植に関する普及啓発

- (1) 移植を受けた子ども達の作品展の開催及び医療機関、市町村、ライオンズクラブ等が開催するイベント等への参加を通じて、移植医療の普及啓発を行う。
- (2) 新聞・县市町村広報、ラジオ、WEBサイト等の媒体を活用して広報を行う。
- (3) 地域の公民館、企業及び教育機関へ普及啓発活動の協力を得られるよう働きかけ、臓器移植に関する正しい理解を深める出前講座・学習会を実施する。
- (4) 移植医療のシンボルマークであるグリーンリボンにちなみ、鳥取駅前・米子駅前のメニュー等をグリーンにライトアップすることで、移植医療が広く認知されるよう広報を行う。
- (5) 機関紙「鳥取県臓器・アイバンクだより」を発行し、賛助会員、病院などに配布する。
- (6) 臓器提供の意思表示について、認知や意思表示に関する現況を把握するため、臓器提供意思表示に関する意識調査を実施する。

2 臓器の提供者と臓器移植希望者との調整協力

- (1) 臓器移植コーディネーターは、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク（以下「JOT」という。）の委嘱を受け、死体から提供される臓器のあっせんに対して、以下の活動を行う。
  - ① 医療機関、JOTとの連絡調整、臓器提供候補者の家族への説明、検体搬送の手配、臓器搬送の協力機関等との連絡調整等を行う。
  - ② 臓器提供者の遺族訪問を行い、移植患者の経過報告を行う。
  - ③ 臓器移植希望者に対して登録申請のための支援及び相談対応を行う。

3 医療機関の体制支援及び教育

- (1) 各医療機関で研修会の実施や、臓器提供シミュレーションの支援等を行うことにより、医療者の移植医療に対する知識・認識を高める。
- (2) 鳥取県院内移植コーディネーターの資質向上及び情報共有のため、院内移植コーディネーター会議を行う。

4 眼球提供による角膜等のあっせん業のため、以下の活動を行う。

- (1) 眼球提供者の情報の窓口となり、摘出医師の派遣、角膜移植実施機関へのあっせん、搬送、遺族への対応等を行う。
- (2) あっせん業のうち献眼希望者の登録、角膜等の保管、記録等の業務については、国立大学法人鳥取大学へ委託して実施する。

5 腎臓病に関する知識の普及啓発を実施する団体への支援

腎臓病に関する知識の普及啓発を実施する団体に対して補助金を交付する。

## 収 支 予 算 書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3	193	△ 190	
基本財産利息	3	193	△ 190	
受取補助金等	13,779	13,714	65	
鳥取県補助金収入	13,169	13,169	0	
(公社)日本臓器移植ネットワーク補助金収入	500	435	65	
(公財)日本アイバンク協会補助金収入	110	110	0	
受取寄付金	110	110	0	
受取寄付金	110	110	0	
受取会費	1,000	1,000	0	
賛助会員会費収入	1,000	1,000	0	
事業収益	800	800	0	
角膜等あっせん手数料	800	800	0	
雑収益	1	1	0	
受取利息	1	1	0	
雑収入	0	0	0	
経常収益計	15,693	15,818	△125	
(2) 経常費用				
事業費	12,800	12,851	△ 51	
給料手当	6,418	6,531	△ 113	
退職給付費用	216	216	0	
福利厚生費	1,046	1,043	3	
旅費交通費	953	846	107	
通信運搬費	290	290	0	
減価償却費	392	392	0	
消耗品費	479	405	74	
修繕費	0	20	△ 20	
印刷製本費	368	435	△ 67	
燃料費	80	63	17	
光熱水料費	133	70	63	
広告宣伝費	638	643	△ 5	
賃借料	772	783	△ 11	
使用料	96	95	1	
保険料	54	72	△ 18	
諸謝金	120	140	△ 20	

## (10) 公益財団法人 鳥取県臓器・アイバンク

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
支払手数料	10	30	△ 20	
支払負担金	57	57	0	
支払補助金	40	70	△ 30	
委託費	620	630	△ 10	
雑費	18	20	△ 2	
管理費	3,285	3,459	△174	
給料手当	1,930	1,963	△ 33	
退職給付費用	61	61	0	
福利厚生費	295	293	2	
旅費交通費	20	30	△ 10	
通信運搬費	144	144	0	
消耗什器備品費	52	70	△ 18	
消耗品費	22	24	△ 2	
修繕費	30	118	△ 88	
印刷製本費	32	40	△ 8	
燃料費	9	7	2	
光熱水料費	37	20	17	
賃借料	160	149	11	
使用料	27	27	0	
保険料	6	8	△ 2	
支払手数料	46	80	△ 34	
支払負担金	155	155	0	
租税公課	10	10	0	
委託費	220	220	0	
雑費	29	40	△ 11	
経常費用計	16,085	16,310	△225	
評価損益等調整前当期経常増減額	△392	△492	100	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△392	△492	100	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額	△392	△492	100	
一般正味財産期首残高	21,184	21,284	△ 100	
一般正味財産期末残高	20,792	20,792	0	
II 指定正味財産増減の部			0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	76,640	76,640	0	
指定正味財産期末残高	76,640	76,640	0	
III 正味財産期末残高	97,432	97,432	0	



## 収支予算書内訳表

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2	1		3
基本財産利息	2	1		3
受取補助金等	10,896	2,883		13,779
鳥取県補助金収入	10,286	2,883		13,169
(公社)日本臓器移植ネットワーク補助金収入	500	0		500
(公財)日本アイバンク協会補助金収入	110	0		110
受取寄付金	110	0		110
受取寄付金	110	0		110
受取会費	600	400		1,000
賛助会員会費収入	600	400		1,000
事業収益	800	0		800
角膜等あっせん手数料	800	0		800
雑収益	0	1		1
受取利息	0	1		1
雑収入	0	0		0
経常収益計	12,408	3,285		15,693
(2) 経常費用				
事業費	12,800	0		12,800
給料手当	6,418	0		6,418
退職給付費用	216	0		216
福利厚生費	1,046	0		1,046
旅費交通費	953	0		953
通信運搬費	290	0		290
減価償却費	392	0		392
消耗品費	479	0		479
修繕費	0	0		0
印刷製本費	368	0		368
燃料費	80	0		80
光熱水料費	133	0		133
広告宣伝費	638	0		638
賃借料	772	0		772
使用料	96	0		96
保険料	54	0		54

## (10) 公益財団法人 鳥取県臓器・アイバンク

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
諸謝金	120	0		120
支払手数料	10	0		10
支払負担金	57	0		57
支払助成金	40	0		40
委託費	620	0		620
雑費	18	0		18
管理費	0	3,285		3,285
給料手当	0	1,930		1,930
退職給付費用	0	61		61
福利厚生費	0	295		295
旅費交通費	0	20		20
通信運搬費	0	144		144
消耗什器備品費	0	52		52
消耗品費	0	22		22
修繕費	0	30		30
印刷製本費	0	32		32
燃料費	0	9		9
光熱水料費	0	37		37
賃借料	0	160		160
使用料	0	27		27
保険料	0	6		6
支払手数料	0	46		46
支払負担金	0	155		155
租税公課	0	10		10
委託費	0	220		220
雑費	0	29		29
経常費用計	12,800	3,285		16,085
評価損益等調整前当期経常増減額	△392	0		△392
基本財産評価損益等	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0		0
評価損益等計	0	0		0
当期経常増減額	△392	0		△392
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△392	0		△392
一般正味財産期首残高	16,874	4,310		21,184
一般正味財産期末残高	16,482	4,310		20,792
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	57,480	19,160		76,640
指定正味財産期末残高	57,480	19,160		76,640
III 正味財産期末残高	73,962	23,470		97,432